

2018年PRI報告フレームワーク 組織概要

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社[QUICK](#)にご協力いただきました。

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報があります。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は自由です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織がモジュール内の他の指標に該当する場合、他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用します。
コア評価項目		これらの指標は評価の基本を形成し、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替の実務を表し、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標で、組織の活動を説明することができます。

指標の下部

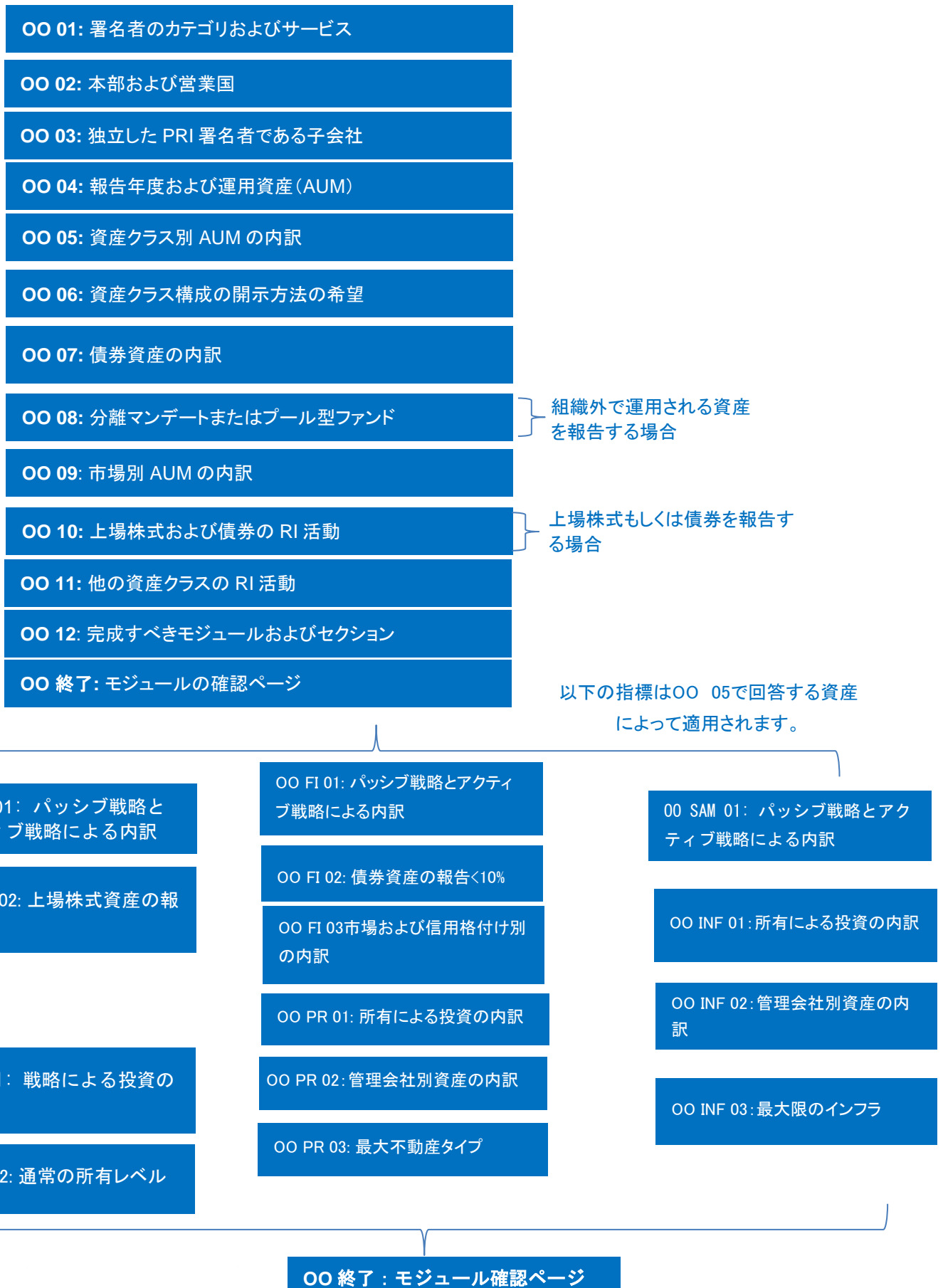
指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が組織に該当することを確認してください。

xxx 01	説明
xxx 01.1	報告する可能性がある事例など、サブ指標を理解する方法の指針となります。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する時、そしてその指標がサブ指標に影響するかどうかを説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は常に適用され、他の指標には影響しません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価アプローチの概要です。
xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される具体的な用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
モジュールの経路	4
序文	5
基本情報	6
ゲートウェイ資産クラス実施指標	29

モジュールの経路



序文

本モジュールで報告される情報により、組織のステークホルダーは組織の種類や特性を理解し、PRIは組織のピアグループを決定します。本モジュールでは、回答によって報告フレームワークの後半に表示される指標を決定し、さらには組織に関連しない指標については回答する必要がないようにするフィルタリングとしても機能します。

改正の概要

2017 指標	改正概要
OO 01	サブ指標の追加および/または番号の変更が行われ、投資マネージャー向けの新しいヘッジファンド選択オプションが追加されました。
OO 04	サブ指標の追加および/または番号の変更が行われました。
OO 05	新しいサブ指標が追加されました。
OO 08	この指標は各行の合計が 100%になるように修正されました。
OO 10	サブ指標が削除され、番号が変更され、または修正されました。
OO 11	資産クラスごとに選択オプションが追加されました。
LEI 01 - LEI 02	この指標は LEI から移動し、OO LE 01 と OO LE 02 に変更されました。
FI 01 - FI 03	この指標は FI から移動し、OO FI 01 - OO FI 03 に変更されました。
SAM 03	この指標は SAM から移動し、OO SAM 01 に変更されました。
PE 01 - PE 02	この指標は PE から移動し、OO PE 01 と OO PE 02 に変更されました。
PR 01 - PR 03	この指標は PR から移動し、OO PR 01 - OO PR 03 に変更されました。OO PR 03 のステータスが変更されました。
INF 01 - INF 03	この指標は INF から移動し、OO INF 01 - OO INF 03 に変更されました。OO INF 02 のステータスが変更されました。

セクション

基本情報

OO 01	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ/グループ分け	原則 一般
-------	----------------	---------------------	----------

OO 01	指標		
OO 01.1	組織または組織が提供するサービスに最もよく当てはまる種類を選択してください。		
	資産保有者	組織の主要な活動に最もよく当てはまる種類を選択してください。	
	[a] 企業年金以外の年金またはスーパーアニュエーション、退職年金、積立基金、プラン	<input type="radio"/>	
	[b] 企業年金またはスーパーアニュエーション、退職基金、積立基金、プラン	<input type="radio"/>	
	[c] 保険会社	<input type="radio"/>	
	[d] 財団	<input type="radio"/>	
	[e] 基金	<input type="radio"/>	
	[f] 開発資金融資機関	<input type="radio"/>	
	[g] 準備金 - ソブリンまたは政府が管理するファンド	<input type="radio"/>	
	[h] ファミリーオフィス	<input type="radio"/>	
	[i] その他(具体的に記入してください) _____	<input type="radio"/>	
	運用会社	組織が提供しているサービスおよびファンドを選択してください。	運用資産(AUM)に占める割合(%)
	[j] ファンドの運用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 10%未満、 <input type="checkbox"/> 10~50%、 <input type="checkbox"/> 50%超
	[k] ファンドオブファンズ、マネージャーオブマネージャーズ、サブアドバイザー商品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 10%未満、 <input type="checkbox"/> 10~50%、 <input type="checkbox"/> 50%超
[l] その他(具体的に記入してください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 10%未満、 <input type="checkbox"/> 10~50%、 <input type="checkbox"/> 50%超	
合計		100%	

基本情報

	投資マネージャーが(上記のオプションに加えて)選択できます。		
	[m] 執行および顧問業務	<input type="checkbox"/>	
	[n] ヘッジファンド	<input type="checkbox"/>	
	[o] ファンド・オブ・ヘッジファンド	<input type="checkbox"/>	
OO 01.2	組織のヘッジファンド戦略と分類を記述してください。 [任意]		
	ヘッジファンドの選択肢		
	<p>○株式ヘッジファンド ドロップダウンの選択肢:</p> <p><input type="checkbox"/>株式マーケットニュートラル <input type="checkbox"/>ファンダメンタル成長 <input type="checkbox"/>ファンダメンタルバリュー <input type="checkbox"/>定量的指向性 <input type="checkbox"/>セクター: エネルギー/基礎材料 <input type="checkbox"/>セクター: ヘルスケア <input type="checkbox"/>セクター: 技術 <input type="checkbox"/>ショートバイアス <input type="checkbox"/>マルチ戦略</p> <p>○イベント駆動型 ドロップダウンの選択肢:</p> <p><input type="checkbox"/>アクティビスト <input type="checkbox"/>クレジットアービトラージ <input type="checkbox"/>ディストレスド/リストラ <input type="checkbox"/>合併アービトラージ <input type="checkbox"/>私募/レグ D <input type="checkbox"/>スペシャル・シチュエーション <input type="checkbox"/>マルチ戦略</p>	<p>○マクロ ドロップダウンの選択肢:</p> <p><input type="checkbox"/>アクティブトレーディング <input type="checkbox"/>コモディティ: 農業 <input type="checkbox"/>コモディティ: エネルギー <input type="checkbox"/>コモディティ: 金属 <input type="checkbox"/>コモディティ: マルチ <input type="checkbox"/>通貨: 任意 <input type="checkbox"/>通貨: 体系的 <input type="checkbox"/>テーマ: 任意 <input type="checkbox"/>体系的分散投資 <input type="checkbox"/>マルチ戦略</p> <p>○レラティブ・バリュー ドロップダウンの選択肢:</p> <p><input type="checkbox"/>債券 - 資産担保証券 <input type="checkbox"/>債券 - コンバーチブルアービトラージ <input type="checkbox"/>債券 - 社債 <input type="checkbox"/>債券 - 国債 <input type="checkbox"/>ボラティリティ <input type="checkbox"/>金利代替: エネルギー・インフラストラクチャー <input type="checkbox"/>金利代替: 不動産 <input type="checkbox"/>マルチ戦略</p>	
	ファンド・オブ・ヘッジファンドの選択肢		
	<p>○ファンド・オブ・ヘッジファンド ドロップダウンの選択肢:</p>		

基本情報

	<input type="checkbox"/> 保守的 <input type="checkbox"/> 分散投資 <input type="checkbox"/> 市場守備 <input type="checkbox"/> 戦略的
OO 01.3	補足情報 [任意]

OO 01	説明
OO 01	<p>組織を分類する方法については、以下の定義を参考にしてください。</p> <p>「その他」に回答すると、組織やピアグループのベンチマークの結果がゆがむ可能性がありますので、PRI(reporting@unpri.org)までご相談ください。</p> <p><i>資産保有者</i></p> <p>資産保有者は、組織に最も近いカテゴリを選択してください。例えば、組織が年金と保険ファンドの両方を保有している場合、運用資産(AUM)に占める割合が最も大きいカテゴリを選択してください。子会社の報告に関しては、概要&ガイダンス文書を参考にしてください。</p> <p><i>運用会社</i></p> <p>当てはまるものをすべて選択してください(h-k)。組織が一つのサービスしか提供していない場合は、「50%以上」を選択してください。</p> <p>顧問または執行のみのアプローチの資産を除外した運用資産を基に、これを計算してください。「執行および顧問業務」を選択すると、これらの業務も提供していることを示すことができます。指標SG 16により、執行および顧問業務におけるESGへのアプローチを報告することができます。フレームワークの残りの部分については、運用資産に焦点を当てて報告してください。</p> <p>比率を計算する際、子会社もPRI署名者である運用会社は、この指標への回答が[OO 03.2]および[OO 04]への回答や、[OO 05]で記載する資産構成と整合するように注意してください。子会社を報告から除外する選択をする場合、このモジュールのすべての計算から除外してください。</p> <p>責任投資活動を説明するうえで重要となる、組織の組織、ミッション、戦略、事業活動または投資に関する追加情報があれば記載して下さい。</p>
OO 01.2	HFRヘッジファンド戦略分類システムからオプションを選択してください。
ロジック	

基本情報

OO 01	<p>指標内:</p> <p>この指標の最初の部分は資産保有者に、2番目の部分は運用会社に適用されます。これは、組織がどのようにPRIに署名しているかによって定義されます。組織のカテゴリについての照会は、PRIまでお問い合わせください。</p> <p>OO 01.2では、OO 01.1で「ヘッジファンド」および/または「ヘッジファンド基金」が選択されたかどうかによって、異なるチェックボックス選択肢が表示されます。</p> <p>指標間:</p> <p>「執行および顧問業務」オプションを選択する場合、指標OO 04.4が適用されます。</p> <p>OO 01.1で「ヘッジファンド」および/または「ヘッジファンド基金」を選択する場合、指標OO 01.2が適用されます。</p>
--------------	---

OO 01	定義
資産保有者	
企業年金以外の年金またはスーパーアニュエーション、退職基金、積立基金、プラン	企業以外の退職金制度や年金制度に関連する資産を運用する組織。組織にはおそらく、慎重な運営に責任を負う受託者または取締役会があり、組織の義務の一部は法律により規定されている場合があります。
企業年金またはスーパーアニュエーション、退職基金、積立基金、プラン	企業の退職金制度や年金制度に関連する資産を運用する組織。組織にはおそらく、慎重な運営に責任を負う受託者がおり、組織の義務の一部は法律により規定されている場合があります。
保険会社	生命保険や損害保険市場で保険を販売したり、再保険を提供する金融機関。保険会社は投資資本がある限り、資産保有者です。保険コンサルタントや保険ブローカーはこのカテゴリには含まれません。ただし、従来型の保険商品に加えて年金、スーパーアニュエーション、退職金商品を提供する保険会社はこのカテゴリに含まれます。
財団	慈善を目的とする非政府の非営利組織。資金の出所は通常、家族、個人、または法人および財団自体の受託者または取締役が運用する主要資力です。民間の財団は、最初の寄付金を投資することで収入を生みます。多くの場合、毎年、運用収入の大半を慈善活動に支出します。
基金	非営利組織、大学、病院、教会によって使われることが多い、寄附を財源とする投資ファンド。寄贈者が寄贈時に目的を明示する場合もしない場合もあります。多くの非営利組織は、長期にわたって募金活動を支えるために基金を設けています。配当金からの運用収入を慈善活動に使いながら、元本残高は減らさず、そこから生まれた利子を運営や募金活動に使います。
開発資金融資機関	事業または経済開発のための開発資金の融資(例: 出資金、融資資金)を提供する金融機関。

基本情報

<p>準備金 - ソブリンまたは政府が管理するファンド</p>	<p>これにはソブリンウェルスファンド、国債投資ファンド、安定化ファンド、政府準備金ファンド(将来のポジションのバッファーとなることを目的としながらも定義された加盟国のアカウントがないファンドも含む)が含まれます。</p> <p>これらのファンドは以下の基準の1つまたは複数を満たします: a) AUMの50%以上を政府が保有している、b) 政府が取締役会やCEOの指名権を持つ、c) 政府が投資決定に直接または間接的な影響力を持っている。開発資金融資機関はここにはリストされません。</p>
<p>ファミリーオフィス</p>	<p>ファミリーオフィスは、多額の個人財産運用に関わるあらゆる形態の組織とサービスを意味する言葉です。家族の財産をプールしておくファミリービジネスか、または多額の個人財産をもつ顧客に金融サービスを提供する会社や銀行の部署として組織されることがあります。この場合も意思決定の権限は家族が保持しています。</p>
<p>その他</p>	<p>「その他」を報告すると、組織やピアグループのベンチマークの結果がゆがむ可能性がありますので、PRI(reporting@unpri.org)までご相談ください。</p>
<p>運用会社</p>	
<p>ファンドの運用</p>	<p>このカテゴリには、第三者のファンド経由ではなく、企業およびその他の資産への直接投資する方が含まれます。これには組織内で投資調査を行い、投資適格(または非適格)の証券のリストをサブアドバイザーに提供する投資家が含まれます。</p>
<p>ファンドオブファンズ、マネージャー・オブ・マネージャーズ、サブアドバイザー商品</p>	<p>このカテゴリには、運用する資産クラスを問わず、すべてのファンドオブファンズの運用会社が含まれます。ファンズオブヘッジファンド、投資信託、不動産ファンド、プライベートエクイティファンドなどがこのカテゴリに含まれます。</p>
<p>その他</p>	<p>「その他」に回答すると、組織やピアグループのベンチマークの結果がゆがむ可能性がありますので、AUMの10%以上を「その他」に選択する前にPRI(reporting@unpri.org)までご相談ください。</p>
<p>執行および顧問業務</p>	<p>執行および顧問業務サービスでは、投資する証券やファンドのプラットフォームを提供します。顧客にはアドバイスをする場合としない場合がありますが、最終的な投資決定を行います。</p> <p>顧問業務は、投資アドバイスを顧客に提供しますが、意思決定(または推奨の承認)は顧客に委ねられます。</p> <p>執行のみの業務は、投資を行うプラットフォームを顧客に提供しますが、アドバイスは行いません。</p> <p>このカテゴリには、執行または顧問による投資プラットフォームや第三者のファンドのスーパーマーケットを含みます。こうしたサービスは通常リテールまたはプライベートバンクが提供しています。一部の運用会社でもこのサービスを提供しています。</p>
<p>ヘッジファンド</p>	<p>ヘッジファンドを管理する場合は、このオプションを選択してください。ヘッジファンドの定義は、PRIヘッジファンド業界ガイドに記載されています。</p>
<p>ファンド・オブ・ヘッジファンド</p>	<p>ファンド・オブ・ヘッジファンドを管理する場合は、このオプションを選択してください。</p> <p>ファンド・オブ・ヘッジファンドは、ヘッジファンドまたはマネージド・アカウントを通じて複</p>

基本情報

	数のマネージャーに投資します。詳細は、ヘッジファンドのリサーチのウェブサイトに記載されています。
--	--

基本情報

OO 02	指標のステータス 必須	目的 グループ分け	原則 一般
-------	----------------	--------------	----------

OO 02	指標
OO 02.1	<p>組織の拠点がある場所を選択してください。</p> <p><input type="text"/> [国名のドロップダウン]</p>
OO 02.2	<p>オフィスが所在している国数を記載してください(本部を含む)。</p> <p><input type="radio"/> 1カ国</p> <p><input type="radio"/> 2～5カ国</p> <p><input type="radio"/> 6～10カ国</p> <p><input type="radio"/> 10カ国超</p>
OO 02.3	<p>組織が正規雇用しているスタッフのおおよその人数を記載してください。</p> <p><input type="text"/></p>
OO 02.4	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p> <p><input type="text"/></p>

OO 02	説明
OO 02	<p>この指標はグループを分けるため、また、これ以降の回答についてその文脈や背景を理解するために必要です。</p>
OO 02.1	<p>ほとんどの組織には本拠となるオフィスが1つあります。しかし、組織に2つ以上の本拠地がある場合は、スタッフの人数の観点で見ると主要な所在地を選択してください。</p>
OO 02.2	<p>この指標は、組織が直面する複雑性のレベルを測定する指標となります。調査、分析、営業、事務部門のオフィスであるかに関わらず、資産運用業務のオフィス部門を含めてください。</p> <p>銀行、保険会社、またはその他の機関の資産運用子会社または事業部門のみがPRIの署名者である場合は、その子会社または事業部門のスタッフが含まれるオフィスのみを考慮してください。</p>
OO 02.3	<p>スタッフ数には投資の意思決定プロセスに直接関与する正規社員、事務、マーケティング、人事においてサポート的役割を行う正規社員が含まれます。</p> <p>スタッフ数には、受益者や顧客は含めないでください。</p> <p>報告する組織に常勤スタッフがない場合、ゼロと記入し、OO 02.4でその構造を説明してください。</p> <p>銀行、保険会社、またはその他の機関の資産運用子会社または事業部門のみがPRIの署名者である場合は、その子会社または事業部門のスタッフのみを考慮してください。</p>

基本情報

OO 03	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 一般
-------	----------------	----------	----------

OO 03	指標		
OO 03.1	組織内に単独でPRI署名者となっている子会社があるかどうかを記載してください。		
	○ はい	○ いいえ	
OO 03.2	単独でPRIの署名者となっている子会社をリストし、その子会社のRI活動を組織の連結報告書で報告することを希望するかどうかを記載してください。		
	PRI署名者である子会社の名称	本指標で連結ベースで報告するRIの実施	
		○ はい	○ いいえ
		○ はい	○ いいえ
		○ はい	○ いいえ
		○ はい	○ いいえ
		○ はい	○ いいえ
		○ はい	○ いいえ
OO 03.3	補足情報		
	[任意]		

OO 03	説明
OO 03	<p>PRIでは、組織の最高レベルが子会社を含めた組織全体のために署名することを求めています。これは、署名者は通常連結AUMのすべてについて報告することが求められることを意味します。</p> <p>しかし、組織が署名者になった後でも、子会社が単独で署名する場合があります。PRIでは、グループ内の責任投資プロセスや実践をより体系的にとらえるため、単独でPRI に署名した子会社の過半数を超える所有者である組織が連結AUMのすべてについて報告することを奨励しています。</p> <p>PRIは連結ベースで作成するには余分な時間やリソースが必要になることを理解しています。従って、すでにPRIに単独で報告している子会社がある場合、この指標を組織の報告から除外し、こうした子会社の単独の報告を参照することができます。</p> <p>子会社がPRIに署名していて、報告していることを確認してから、組織の報告から除外してください。</p> <p>報告のフレームワークを通じて組織のアプローチが一貫していることが重要です。子会社の活動またはAUMを本指標で除外する場合、[OO 01]の組織の種類、[OO 04.2]のAUM、[OO 05]の資産構成など、報告するすべての情報から除外してください。</p>
ロジック	
OO 03	<p>指標内:</p> <p>[OO 03.1]で「ある」と回答すると、[OO 03.2]が適用されます。</p>

OO 03	定義
子会社	<p>子会社とは、その会社の支配的利権を持つ別の会社により一部をまたは完全に所有されている会社のことです。支配的利権とは通常、議決権株式の50%以上、または完全子会社なら株式の100%を意味します。</p>

基本情報

OO 04	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ/グループ分け	原則 一般
-------	----------------	---------------------	----------

OO 04	指標					
OO 04.1	報告年度の最終日を記載してください。					
	日付	年	月	日		
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
OO 04.2	報告しないことを選択した子会社を除き、報告年度末の AUM 合計を記載してください。					
	AUM合計	兆	10億	100万	千	百
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	通貨	ドロップダウンリストから選んで下さい: 米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドルを上位に、次にアルファベット順				
	報告される通貨は自動的に米ドルに換算されます。					
OO 04.3	報告から除外した子会社の報告年度末時点の AUM 合計を記載してください。					
	子会社の AUM 合計	兆	10億	100万	千	百
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
		報告される通貨は自動的に米ドルに換算されます。				
OO 04.4	執行および顧問業務サービスを利用して運用する資産の報告年度末時点の AUM 合計を記載してください。					
	執行および顧問業務サービスを利用して運用する資産	兆	10億	100万	千	百
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
		報告される通貨は自動的に米ドルに換算されます。				
OO 04.5	補足情報					
	[任意]					

OO 04	説明
OO 04.1	報告年度は、報告することを選択した12ヵ月です。
OO 04.2	<p>報告する数値は、報告年度末時点の組織のAUM合計を記載してください。これには未使用のコミットメント(プライベートエクイティやインフラなど)を含めてください。</p> <p>以下の状況は除外しても構いません。</p> <p>1) 子会社も署名者である組織</p> <p>子会社もPRI署名者である場合、この指標の回答はこうした子会社の活動を報告するかどうかを示す指標[OO 03.2]と一致させてください。</p> <p>一部またはすべての子会社の報告をしないことを選択する場合、それらのAUMは[OO 04.2]の報告に含めないでください。指標[OO 04.3]で、それらのAUMを報告することができます。</p> <p>子会社のある組織の報告の詳細にわたるガイダンスは包括的ガイダンスを参照してください。</p> <p>2) 執行や顧問業務を提供している署名者のみ</p> <p>可能な場合、[OO 04.2]のAUMは、執行や顧問アプローチの対象となる資産を除外してください。</p> <p>執行や顧問のみのアプローチの対象となる資産は、別の指標[OO 04.4]で報告できます。</p> <p>米ドルへの換算</p> <p>現地通貨建てのAUM総額に記載した金額は、国際通貨基金(IMF)が発表する2017年12月4日の為替レートによって米ドルに換算されます。別の為替レートでAUMを換算したい場合は、直接米ドルで情報を入力してください。</p>
OO 04.3	この指標は、OO 03.2で組織にはこの報告で連結されていないAUMを持つ子会社があると報告する場合に適用されます。ここでは、これらの子会社のAUM合計を記載してください。この数値は、組織の報告の詳細を説明するために必要です。
ロジック	
OO 04	<p>指標間:</p> <p>子会社も PRI の署名者でありながら、AUM は連結ベースで報告していないと報告する場合、指標[OO 04.3]が適用されます。</p> <p>もし、“執行および顧問業務サービス”を選択される場合、指標[OO 04.4]が適用されます。</p>

基本情報

OO 05	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
-------	--------------------------	--------------	----------

OO 05	指標		
OO 05.1	以下の資産クラスを使用して、報告年度末時点の組織のAUMのおおよその内訳を記載してください。		
		組織内で運用	組織外で運用
	[a] 上場株式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[b] 債券	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[c] プライベートエクイティ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[d] 不動産	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[e] インフラ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[f] コモディティ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[g] ヘッジファンド	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[h] 森林	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[i] 農地	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[j] 包括的な金融	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[k] 現金	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[l] その他(1) (具体的に記入してください) _____	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	[m] その他(2) (具体的に記入してください) _____	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
合計 (100%になるようにしてください)	100%		
OO 05.2	組織がフィデューシャリー・マネージャーを使うかどうかを記載してください。		
	<input type="checkbox"/> はい。フィデューシャリー・マネージャーを使用しており、OO 5.1 に対する回答はフィデューシャリー・マネージャーにより資産運用を反映しています。 <input type="checkbox"/> いいえ。フィデューシャリー・マネージャーを使っていません。		

OO 05	説明
OO 05.1	<p>この指標への回答は、[OO 04.2]で報告するAUMの数値と一致させてください。可能であれば、顧問や執行のみのアプローチの対象となる資産は含めないでください。[OO 04.2]で組織のAUMから除外することを選択したPRI署名者の子会社資産は資産構成に含めないでください。</p> <p>すべての説明や定義をよく読んでから回答してください。この指標への回答により、報告フレームワークの後半でどのモジュール、セクションおよび指標が表示されるかを決定します。パーセンテージのすべての分母はAUM総額を基にしています。AUMの10%未満を占める資産クラスについては、ESG (OO 11 および OO 12) を組み込む場合には、OO 13にある資産カテゴリについて報告するかどうかを選択することができます。</p> <p>これらの説明に加え、別の資産クラスの定義も参照してください。これにより、二重カウントや資産を間違ったカテゴリに掲載することを防ぐことができます。</p> <p><i>フィデューシャリー・マネージャー</i></p> <p>自ら直接資産の一部を運用しているフィデューシャリー・マネージャーを有している場合には、それらの資産は社内運用資産として報告して下さい。フィデューシャリー・マネージャーが外部のマネージャーを選定・任命・モニタリングを行っている場合には、それらの資産を間接的運用資産として報告して下さい。</p> <p><i>資金拠出を確約したファンド</i></p> <p>資産クラス構成には、すべての未使用のコミットメントおよび資金拠出を確約したファンド(プライベートエクイティやインフラなど)を含めることが理想です。ただし、組織がこれらを別々に分類している場合(例えば投資資金の内訳のみを公表しているなど)は、そのように報告し、OO 06で説明してください。</p> <p>組織に(資金調達目的でありながら)100%未使用のコミットメントがある場合、これを「その他」と分類し、OO 06で「未使用のコミットメント」を説明してください。</p> <p><i>再委託資産</i></p> <p>売り-買い-保有の意思決定が社内で行われる場合には、これらの資産を直接運用資産として報告して下さい。自身のスクリーニングまたは統合アプローチを再委託先の投資ユニバースに適用させている(但し、実際には、売り-買い-保有の意思決定は行っていない)場合には、それらの資産を組織外運用資産として報告して下さい。</p>
ロジック	
OO 05.1	<p>外部運用会社の運用する資産クラスがある場合、指標[OO 08]が適用されます。</p> <p>組織内や外部運用会社の運用する上場株式がある場合、もしくは組織内で運用する債券がある場合には、指標[OO 10]が適用されます。</p> <p>組織内や外部運用会社の運用する資産クラスがある場合、指標[OO 11]が適用されます。</p>
OO 05.2	<p>この指標で[はい]を選択すると、SG 12.5「フィデューシャリー・マネージャーの監視における以下の責任投資要因のいずれかを考慮しているかどうかを報告する」に報告する必要があります。</p>

00 05		定義
組織内と組織外で運用する資産		
組織内と組織外で運用する際のオプション		<p>組織内とは、連結子会社や完全子会社を含む自社内で行う投資決定（買い-売り-保持-ウェイト）のことを指します。</p> <p>組織外とは、自社に代わって第三者組織（運用会社など）が行う投資決定（買い-売り-保持-ウェイト）のことを指します。</p> <p>主に組織内で投資調査を行い、投資適格証券（または非適格証券）のリストをサブアドバイザーに提供する運用会社は、その資産を組織内で運用している資産として掲載すべきです。ファンドオブファンズまたはマネージャーオブマネージャーであっても、運用する資産の投資決定（買い-売り-保持）を第三者が行う場合は、資産を組織外で運用している資産として入力してください。</p> <p>組織内運用（自己運用）と組織外運用（委託）に何を含めているか、その詳細が各資産クラスの定義に含まれているかを確認してください。組織内と組織外で運用する包括的な金融の区別に関するガイダンスは、以下を参照してください。</p>
資産クラス		
上場株式		すべての国・地域における全上場株式。ヘッジファンドが保有している上場株式は含まれません。
債券 - SSA	国際機関債	超国家的組織が発行する債務証券（多国間開発銀行や国際労働組合が発行している債券など）として定義されているもの。
	ソブリン債	政府が発行する証券として定義されているもの（あらゆる通貨建ての国債など）。
	政府機関債	政府機関が発行する証券（政府が完全所有する機関の債券など）として定義されているもの。
	地方債	市町村、地域、都道府県等の自治体が発行する証券として定義されているもの。
債券 - 社債（金融）		銀行や保険会社を含む金融サービス会社が発行する証券として定義されているもの。（御社が銀行部門も営んでいる場合、これには預金や融資などの貸出ポートフォリオ内の資産は含まれません。）
債券 - 社債（非金融）		公開または非公開の非金融会社が発行する証券として定義されているもの。公募債（シニア債または劣後債）、私募債または民間融資、プロジェクトファイナンス、インフラ債を含みます。
債券 - 証券化商品		資産プールの裏付けがあり、特別目的事業体が発行する証券として定義されているもの。資産担保証券、不動産担保証券、債務担保証券またはローン担保証券、およびカバードボンドを含みます。
プライベートエクイティ		<p>非公開会社の株式持分。</p> <p>インフラ、不動産、およびインクルーシブファイナンスは、別々の報告カテゴリとして扱われ</p>

基本情報

	<p>ます。これは、それぞれのセクターで投資の特性が異なるためです。可能な場合、インフラ、不動産、および非上場株式としての包括的な金融への投資は、プライベートエクイティではなくそれらのカテゴリで報告してください。リミテッドパートナーシップ投資ファンドのセカンダリー持ち分については、委託ー運用会社の選定、指名、モニタリング (SAM) モジュールで報告してください。</p>
不動産	<p>全ての非上場物的財産物件への自己運用投資(株式のみ)、非上場不動産ファンドへの投資および不動産に投資している(投資決定に深く関与している)上場または非上場不動産会社への投資は、組織内運用(直接運用)として入力してください。</p> <p>組織に代わって投資決定と監視を行う非上場の不動産ファンドまたはプロパティ・マネジメント会社への投資は、組織外運用(間接的運用)として入力してください。</p> <p>不動産投資信託 (REIT)</p> <p>投資対象の選定および監視に深く関与している REIT (または同等のもの) への投資は組織内運用不動産として報告して下さい。投資対象の選定または監視に深く関与していない場合には、これらの資産は組織外運用不動産として報告して下さい。</p>
インフラ	<p>非上場のインフラファンドと自己運用のインフラ投資。これには株式のみが含まれます。</p>
森林	<p>自己運用投資、森林ファンド、および管理投資スキームを含む、あらゆる形式の森林関連投資。</p>
農地	<p>自己運用投資、農地ファンド、および管理投資スキームを含む、あらゆる形式の農地および農業関連の投資。</p>
ヘッジファンド	<p>ヘッジファンド構造へのあらゆる投資。資産クラスや戦略は問いません。ヘッジファンド構造を経由して非公開または公開会社に投資している場合はここに報告し、二重にカウントしないでください(例えば、ヘッジファンド構造に組み込まれている上場株式を、上場株式としても報告することは避けてください)。</p>
コモディティ	<p>物的資産への自己運用投資、商品先物契約によるコモディティへの長期投資、およびコモディティの上場投資信託 (ETF) を含む、あらゆる形式のコモディティ関連投資。ヘッジファンド戦略にコモディティ投資が一部含まれているものの、コモディティ投資のみに特化していない場合は、ヘッジファンドの数字に含めてください。</p>
包括的な金融	<p>このカテゴリには、自己運用の包括的な金融投資がすべて網羅されています。株式、債券、またはギャランティーのいずれの形式かは問いません。</p> <p>このカテゴリには、自己運用か委託かを問わず、従来は金融サービス(クレジット、貯蓄、保険、住宅金融、送金、支払い)から除外されていた顧客(消費者、零細企業、または中小企業など)にそうしたサービスを提供する小売機関(会社、銀行、マイクロファイナンス)への投資がすべて含まれます。新興国市場または先進国市場のどちらでもあり得ます。</p> <p>組織内(自己運用)と組織外(委託)で運用する投資の区別に関するガイダンスは、以下を参照してください。</p>
現金	<p>このカテゴリには、単独の資産クラスとして運用されている現金と現金同等物が含まれます。</p>

<p>その他</p>	<p>このカテゴリには、以上のいずれのカテゴリにも当てはまらない資産が含まれます。</p>
<p>組織内と組織外で運用する包括的な金融</p>	
<p>組織内と組織外で運用する包括的な金融オプション</p>	<p>委託投資には、マイクロファイナンスを中核的な投資目的とマンドートの1つとするマイクロファイナンス投資仲介業者(MII)と投資事業体への投資が含まれます。これは、マイクロファイナンス投資ビークル(公開と非公開の両方)、持株会社、および特化されていないマイクロファイナンス投資ファンドを経由して行われる場合があります(以下の定義を参照)。MIIは、債券(自己運用または委託)、株式またはギャランティーをマイクロファイナンス機関(MFI)に提供することが出来る。MIIIは、金融の収益と社会的な利益のどちらに力点を置いているかにより収益予想に幅がありますが、いずれの場合も利益で資本を回復することを目指しています。</p> <p>主に次の3つのタイプがあります。</p> <p>1.マイクロファイナンス投資ビークル(MIV)はマイクロファイナンスを専門とする独立の投資事業体で、現金以外の資産の50%超をマイクロファイナンスに投資しています。MIVは、自己運用または運用会社による運用のどちらかで、多様な投資家に対して開かれています。MIVは、株式、短期証券、またはその他の金融商品を発行することができます。</p> <p>2.持株会社はマイクロファイナンス機関に融資と技術的支援を提供します。持株会社は通常、投資先の株式の過半数を保有しており、一般に私募によってのみ投資が可能です。</p> <p>3.その他のMIIIには以下が含まれますが、これらに限定されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多様な投資家に対して開かれていないマイクロファイナンス投資ファンド • マイクロファイナンスに特化してはいないものの、マイクロファイナンス投資ポートフォリオが大きい投資事業体 • ピアツーピアの小額融資業者 • ファンドオブファンズ

基本情報

OO 06	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 一般
-------	----------------	----------	----------

OO 06	指標
OO 06.1	<p>どのように資産クラス構成を開示したいかについて記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パーセンテージの内訳として ○ 大まかな種類別で
OO 06.2	<p>添付の画像に従って組織の資産クラス構成を公表する</p> <p>[以下のいずれか1つの形式の画像をアップロードしてください:.jpg, .png,.bmp または .gif]</p> <p>[任意]</p>
OO 06.3	<p>AUM資産クラス分割について説明する情報を記載してください。</p> <p>[任意]</p>

OO 06	説明
OO 06.1	<p>このツールへの回答から自動生成されたRI透明性レポートには、組織の資産クラス構成についてのセクションがあります。署名者全体で情報を統一して理解しやすくするため、PRIが提案するガイドラインに従って組織の資産構成を公表することが推奨されます。さらに、これらのカテゴリは報告フレームワークのモジュールの対象と一致し、ポートフォリオの規模やウェイトを理解するのに役立ちます。</p>
OO 06.2	<p>資産クラス構成を組織自身のアプローチに基づいて報告することも希望する場合は、ここで別の画像ファイルをアップロードし、報告することが可能です。</p> <p>以下の形式の画像が利用できます:.jpg, .png, .bmp および .gif</p>

00 07	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
-------	--------------------------	--------------	----------

00 07	指標		
00 07.1	以下のカテゴリを使用して、報告年度末時点の組織の債券AUMを5%単位での概算内訳を記載してください。		
	債券のタイプ	組織内で運用	組織外で運用
	SSA	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	社債(金融)	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	社債(非金融)	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	証券化商品	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	債券AUM合計	100%	100%

00 07	定義	
資産クラス		
SSA	国際機関債	超国家的組織が発行する債務証券(例えば、多国間開発銀行や国際労働組合が発行している債券)として定義されているもの。
	ソブリン債	政府が発行する証券として定義されているもの(例えば、あらゆる通貨建ての国債)。
	政府機関債	政府機関が発行する証券(例えば、政府出資機関債券、準政府債)として定義されているもの。
	地方政府債	市町村、地域、都道府県等の自治体が発行する証券(例えば、地方債)として定義されているもの。
社債(金融)	銀行、保険会社等の金融サービス会社が発行する証券として定義されているもの。但し、組織が銀行部門も営んでいる場合には、この定義には、預金や貸付などの貸出ポートフォリオ内の資産は含みません。	
社債(非金融)	公開または非公開の非金融会社が発行する証券として定義されているもの。具体的には、公募債(シニア債または劣後債)、私募債または民間融資、プロジェクトファイナンスやインフラ債などがあります。	
証券化商品	資産プールの裏付けがあり特別目的事業体が発行する証券として定義されているもの。具体的には、資産担保証券、不動産担保証券、債務担保証券またはローン担保証券およびカバードボンドなどがあります。	

OO 07	説明
OO 07.1	組織の債券資産の内訳は、債券モジュール内の続きの列をトリガーするために使用されます。適用される債券の4つの異なるタイプの詳細については、序文の分類基準を参照してください。
ロジック	
OO 07.1	<p>OO 05において「債券資産」を報告すると、OO 07が適用されます。</p> <p>これはゲートウェイ指標です。したがって、組織におけるSSA、社債 – (金融)、社債 – (非金融)、証券化商品の内訳は、それ以降の指標をトリガーするために使用されます。</p> <p><i>自己運用の債券の合計割り当てがAUM総額の10%以上である場合:</i></p> <ul style="list-style-type: none"> 自己運用の債券資産合計の10%以上を占める自己運用の債券は、タイプを問わず報告が義務付けられます。債券モジュールで、債券タイプの各指標が表示されます。 自己運用の債券資産合計の10%未満を占める自己運用の債券は、タイプを問わず報告が任意となります。指標OO 12でこれらの債券タイプについて報告するかどうかは、任意となります。 <p><i>自己運用の債券の合計割り当てがAUM総額の10%未満である場合:</i></p> <ul style="list-style-type: none"> あらゆるタイプの自己運用の債券について、報告は任意となります。指標OO 12でこれらの債券タイプについて報告するかどうかは、任意となります。 <p><i>委託で運用する債券の合計割り当てがAUM総額の10%以上である場合:</i></p> <ul style="list-style-type: none"> 委託運用の債券資産合計の10%以上を占める委託運用の債券は、タイプを問わず報告が義務付けられます。この場合、委託 – 運用会社選択、指名、モニタリングのモジュールで、各債券タイプの指標が表示されます。 委託運用の債券資産合計の10%未満を占める委託運用の債券は、タイプを問わず報告が任意となります。指標OO 12でこれらの債券タイプについて報告するかどうかは、任意となります。 <p><i>委託で運用する債券の合計割り当てがAUM総額の10%未満である場合:</i></p> <ul style="list-style-type: none"> あらゆるタイプの委託運用の債券について、報告は任意となります。指標OO 12でこれらの債券タイプについて報告するかどうかは、任意となります。

指標のステータス	目的	原則
----------	----	----

00 08	報告義務 自主開示	グループ分け	一般
-------	--------------	--------	----

00 08	指標			
00 08.1	00_08.1 組織外で運用する資産の内、分離型マニデートとプール型ファンドの内訳を明示して下さい。		資産クラス合計(各行が100%にならなければいけません)	
	資産クラスの内訳	分離型マニデート	プール型ファンド	100%
	[a] 上場株式	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[b] 債券 – SSA	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[c] 債券 – 社債 (金融)	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[d] 債券 – 社債 (非金融)	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[e] 債券 – 証券化商品	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[f] プライベートエクイティ	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[g] 不動産	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[h] インフラ	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[i] コモディティ	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[j] ヘッジファンド	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[k] 森林	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
[l] 農地	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%	
[m] 包括的金	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%	100%	

基本情報

	融	50%、○ 50%超	超	
	[n] 現金	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[o] その他 (1), 具体的に記入 して下さい _____	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
	[p] その他 (2), 具体的に記入 して下さい _____	○ 0%、○ 10%未満 ○ 10-50%、○ 50%超	○ 0%、○ 10%未満、○ 10-50%、○ 50%超	100%
OO 08.2	補足情報 [任意]			

OO 08	説明
OO 08.1	<p>この指標は、組織外で運用する資産のみに適用されます。すべての比率は、分離されたマニフェスト/プール型ファンド/ファンドオブファンズで組織外で運用される資産の比率を表すものとしてください。</p> <p>分離型マニフェストとプール型ファンドを区別する理由は、以下に定義を示すように、個々の投資家による影響度、すなわち外部の運用会社の選定、指名、モニタリングにESG問題を組み入れるアプローチが大きく異なる場合があるからです。従って、内訳を評価プロセスに使用し、同様の内訳を持つ組織と比較します。</p>

ロジック	
OO 08.1	この指標は、OO 05.1において組織外運用資産を報告している場合のみ適用されます。

OO 08	定義
分離型マニフェスト	投資は組織だけのために実行され、投資基準（エンゲージメントや議決権の行使の際にESG問題が投資のプロセスや実行にどのように考慮されるかを含む）は署名者と協議の上決定され、資産はこの基準に従って運用されます。
プール型ファンド	個人投資家の資産を投資目的のために合算する運用スキーム。一般的に、これらのファンドの投資家は分離型マニフェストよりも、これらのファンドに与える影響が小さくなりがちです。

基本情報

00 09	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 グループ分け	原則 一般
-------	--------------------------	--------------	----------

00 09	指標	
00 09.1	組織のAUMの内訳を市場別に示してください。	
	先進国市場	○ 0%、○ 10未満、○ 10~50%、○ 50%超
	新興国、フロンティア、およびその他市場	○ 0%、○ 10未満、○ 10~50%、○ 50%超
	合計	100%
00 09.2	補足情報。 [任意]	

00 09	説明
00 09	<p>市場および国は、MSCIの市場分類のフレームワークに従って分類されています。詳細は、こちらのリンクをご覧ください。定義は以下をご覧ください。</p> <p>先進国市場の投資家を実施できるRIは、新興国市場、フロンティア市場その他の市場の投資家を実施できるRIとは異なる場合があります。この情報を報告することにより、組織のRI実施の進捗を同様の内訳を持つ他の組織と比較できるようになります。</p>

00 09	定義
先進国市場	<p>MSCIの分類に基づき、以下の諸国が先進国に含まれます。</p> <p>オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、香港、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポルトガル、シンガポール、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカ合衆国。</p>
新興国、フロンティアおよびその他市場	<p>MSCIの分類に基づき、以下の諸国が新興国に含まれます。</p> <p>ブラジル、チリ、中国、コロンビア、チェコ共和国、エジプト、ハンガリー、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、モロッコ、メキシコ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ロシア、南アフリカ、台湾、タイ、トルコ、カタール、アラブ首長国連邦。</p> <p>以下の諸国はフロンティア市場のカテゴリに含まれます:アルゼンチン、バーレーン、バングラデシュ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボツワナ、ブルガリア、クロアチア、エストニア、ガーナ、ジャマイカ、ヨルダン、カザフスタン、ケニア、クウェート、レバノン、リトアニア、モーリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、</p>

基本情報

ルーマニア、セルビア、スロバキア、スリランカ、トリニダード・トバゴ、チュニジア、ベトナム、ジンバブエ、ウクライナ。

その他の市場には、上記のカテゴリにリストされていないすべての国が含まれます。

セクション

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO 10	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 一般
-------	----------------	--------------	----------

OO 10	指標			
OO 10.1	報告年度において組織が実施した積極的な保有活動(アクティブ・オーナーシップ)を選択してください。			
	上場株式 - エンゲージメント	<input type="checkbox"/> 組織のスタッフ、協働またはサービスプロバイダーを通じてESG要因に関して企業へのエンゲージメントを実施している。	<input type="checkbox"/> 組織外の運用会社が組織に代わり、ESG要因について企業とエンゲージメントをすることを要求している。	<input type="checkbox"/> 直接的にエンゲージメントを行わず、組織外の運用会社がESG要因について企業とエンゲージメントをすることを要求しない。(OO 10.2が適用されます。)
	上場株式 - 議決権行使	<input type="checkbox"/> 私たちは(代理人)投票を直接または専用の投票提供者を介して議決権行使する。	<input type="checkbox"/> 組織外の運用会社が組織に代わり、議決権行使することを要求している。	<input type="checkbox"/> 直接的に議決権行使を行わず、組織外の運用会社が議決権を行使することを要求しない。(OO 10.3が適用されます。)
	債券 - エンゲージメント	<input type="checkbox"/> 組織のスタッフ、協働またはサービスプロバイダーを通じてESG要因に関して企業へのエンゲージメントを実施している。	<input type="checkbox"/> 組織外の運用会社が組織に代わり、ESG要因について企業とエンゲージメントをすることを要求している。	<input type="checkbox"/> 直接的にエンゲージメントを行わず、組織外の運用会社がESG要因について企業とエンゲージメントをすることを要求しない。何故しないのか理由を説明してください。
	債券SSA - エンゲージメント	<input type="checkbox"/> SSA	<input type="checkbox"/> SSA	<input type="checkbox"/> SSA
	債券 - 社債(金融) - エンゲージメント	<input type="checkbox"/> 社債(金融)	<input type="checkbox"/> 社債(金融)	<input type="checkbox"/> 社債(金融)
	債券 - 社債(非金融) - エンゲージメント	<input type="checkbox"/> 社債(非金融)	<input type="checkbox"/> 社債(非金融)	<input type="checkbox"/> 社債(非金融)
	債券 - 社債(証券化) - エンゲージメント	<input type="checkbox"/> 証券化	<input type="checkbox"/> 証券化	<input type="checkbox"/> 証券化
OO 10.2	直接的にエンゲージメントを行わず、組織外の運用会社がESG要因について企業とエンゲージメントをすることを要求しない理由を示してください。			

ゲートウェイ資産クラス実施指標

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直接または専属の議決権行使プロバイダー経由で(委任状により)議決権を行使する ○ 組織外の運用会社に議決権行使を代行させている ○ 上記のいずれも行っていない
<p>OO 10.3</p>	<p>議決権を行使しない理由を示してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議決権を行使しない理由を示してください。_____ ○ 議決権は行使しないが、相当な調査結果と議決権行使の推奨事項を顧客に提供している。プロセスと実施した対応について説明してください。_____

OO 10	説明
OO 10	<p>このゲートウェイ指標への回答により、報告フレームワークの後半でどのモジュールが表示されるかを決定します。</p> <p>外部でファンドを運用し、組み入れ、エンゲージメントや議決権行使の責任を組織外の運用会社に委譲している場合は、OO 10.1で「組織外の運用会社の選定、指名やモニタリングプロセスにおいてESGの組み入れを行っている」を、OO 10.2で「組織外の運用会社にESG問題企業へのエンゲージメントを代行させている」を、OO 10.3で「組織外の運用会社に議決権行使を代行させている」を選択してください。</p> <p>これらの業務を組織内またはその目的専用に使ったサービスプロバイダーを使用して実行している場合は、OO 10.2で「組織のスタッフ、協働またはサービスプロバイダーを通じてESG問題企業へのエンゲージメントを実施している」を、またはOO 10.3で「直接または専属の議決権行使プロバイダー経由で(委任状により)議決権を行使する」のみを選択してください。</p>

ロジック	
OO 10	<p>[OO 05.1]の上場株式または債券を報告した場合、[OO 10]が適用されます。</p> <p>[OO 10.2]は、「直接的にエンゲージメントを行わず、組織外の運用会社がESG要因について企業とエンゲージメントをすることを要求しない。」を選択した場合に適用されます。</p> <p>[OO 10.3]は、「直接的に議決権行使を行わず、組織外の運用会社が議決権を行使することを要求しない。」を選択した場合に適用されます。</p> <p>報告された情報に基づいて以下が適用されます：</p> <p>OO 10.1「上場株式 - エンゲージメント」行：</p> <ul style="list-style-type: none"> 上場株式の積極的な保有 (LEA) モジュールが適用可能であるかどうかに関わらず、スタッフ、協働またはサービスプロバイダーを通じてESG問題企業へのエンゲージメントを実施していません。 「組織外の運用会社にESG問題企業へのエンゲージメントを代行させている」という回答は、「運用会社の選定、指名、モニタリング (SAM)」モジュールの上場株式 (LE) エンゲージメントの適用に影響します。 <p>OO 10.1「上場株式 - 議決権行使」行：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「直接または専属の議決権行使プロバイダー経由で(委任状により)議決権を行使する」という回答は、LEAの(委任状による)議決権行使セクションの適用に影響します。 「組織外の運用会社にESG問題企業へのエンゲージメントを代行させている」という回答は、「運用会社の選定、指名、モニタリング (SAM)」モジュールの上場株式 (LE) エンゲージメントの適用に影響します。 <p>OO 10.1「債券 - エンゲージメント」行 (以下に記載する該当する債券のSSA種類例は、(SSAモジュール)に代わります。</p> <p>債券 (SSA) - エンゲージメント</p> <p>「債券SSAのエンゲージメントが適用可能であるかどうかに関わらず、組織のスタッフ、協働またはサービスプロバイダーを通じてESG要因に関して企業へのエンゲージメントを実施している。」は指標[FI 15 - FI 17]に代わります。</p> <p>「組織外の運用会社にESG問題企業へのエンゲージメントを代行させている」という回答は、「運用会社の選定、指名、モニタリング (SAM)」モジュールの債券SSAのエンゲージメントの適用に影響します。</p>
評価	

OO 10	<p>この指標は、直接的には評価の対象とはなりません、ここで開示されている情報はその他のモジュールの評価に影響を及ぼす場合があります。</p> <p>最後のオプションにおいて、「...しない」を選択している場合には、以下が適用されます:</p> <p style="padding-left: 40px;">OO 10.1: LEI モジュールの上場株式エンゲージメントに対しては「ゼロ ★」</p> <p style="padding-left: 40px;">OO 10.3: LEA 議決権行使モジュールの上場株式議決権行使に対しては、「ゼロ ★」</p> <p style="padding-left: 40px;">OO 10.1: 債券モジュールの債券エンゲージメントに対しては「E」(エンゲージメントの質問)</p>
-------	---

OO 10	定義
積極的な保有	<p>積極的な保有とは、投資先の活動や行動に影響を及ぼすために権利や所有持分を使用することです。資産クラスにより、適用方法が異なる場合があります。上場株式については、エンゲージメントおよび(委任状による)議決権行使(株主決議の提案を含む)を含みます。他の資産クラス(債券など)については、エンゲージメントは関連する場合もありますが、(委任状による)議決権行使は関係しません。</p>
組み入れ	<p>PRI署名者の原則1において、署名者はESG問題を投資分析や意思決定プロセスに組み入れることを約束します。</p> <p>報告フレームワークでは、ESGの組み入れとは、投資の意思決定プロセスにおけるESG情報の考慮および使用を意味します。報告フレームワークはこれを行う4つの方法に触れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スクリーニング • サステナビリティをテーマとする投資(環境および社会をテーマとする投資) • ESG問題の統合 • 上記の組み合わせ <p>エンゲージメントのアプローチの対象となり、以上のいずれの戦略にも当てはまらない資産はESG組み入れに含めないでください。</p> <p>責任投資業界の標準化とコミュニケーションを改善するため、PRIは用語の定義をGlobal Sustainable Investment Allianceと一致させています。</p> <p>詳細は、主な定義文書を参照してください。</p>
エンゲージメント	<p>エンゲージメントとは、ESG問題についての投資家と現在の投資先または投資先候補(企業、政府、地方自治体など)の間のやりとりを指します。エンゲージメントはESGの実務に対して影響する(または影響する必要を特定する)、あるいはESGに関する情報開示を改善するために行われます。</p>
(委任状による)議決権行使	<p>議決権行使とは、経営陣や株主決議への投票、株主決議の提案を指します。</p>

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO 11	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 一般
-------	----------------	--------------	----------

OO 11	指標	
OO 11.1	投資決定や積極的な保有の実務に(報告年度中に)ESGの組み入れを行った組織内で運用される資産クラスを以下から選択してください。	
	<input type="checkbox"/> 上場株式 <input type="checkbox"/> 債券 – SSA <input type="checkbox"/> 債券 - 社債(金融) <input type="checkbox"/> 債券 - 社債(非金融) <input type="checkbox"/> 債券 - 証券化商品 <input type="checkbox"/> プライベートエクイティ <input type="checkbox"/> 不動産 <input type="checkbox"/> インフラ <input type="checkbox"/> コモディティ <input type="checkbox"/> ヘッジファンド <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> 包括的な金融 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> その他(1) <input type="checkbox"/> その他(2) <input type="checkbox"/> 上記のいずれにも取り組んでいない	表示される各資産クラスの選択肢: <input type="checkbox"/> ESGの実施に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ESGの実施をしていない。
OO 11.2	報告年度中に組織外の運用会社の選定、指名や、モニタリングプロセスにおいてESGの組み入れや積極的な保有に取り組んだ場合は、組織外で運用される資産クラスを選択してください。	
	アセット・クラス <input type="checkbox"/> 上場株式 <input type="checkbox"/> 債券 – SSA <input type="checkbox"/> 債券 - 社債(金融) <input type="checkbox"/> 債券 - 社債(非金融) <input type="checkbox"/> 債券 - 証券化商品 <input type="checkbox"/> プライベートエクイティ <input type="checkbox"/> 不動産 <input type="checkbox"/> インフラ <input type="checkbox"/> コモディティ <input type="checkbox"/> ヘッジファンド <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> 包括的な金融 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> その他(1) <input type="checkbox"/> その他(2)	組織外の運用会社の選定、指名や、モニタリングプロセスにおいてESGの組み入れや積極的な保有 各資産クラスの複数選択チェックボックス: <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 任命 <input type="checkbox"/> モニタリング <input type="checkbox"/> ESGの実施をしていない。

ゲートウェイ資産クラス実施指標

	<input type="checkbox"/> 上記のいずれにも取り組んでいない
OO 11.3	投資マネジャーの選定、任命、モニタリングプロセスに、投資に関する考慮事項がどのように含まれているかを簡単に説明してください。
OO 11.4	組織内または組織外で運用する資産について、組織がESG要因を投資決定に組み込まない場合は、その理由を説明してください。

OO 11	説明
OO 11	この指標への回答により、報告フレームワークの後半でどの指標またはモジュールが表示されるかを決定します。
OO 11.3	これは、ESGの組み入れに関するPRIの原則1や積極的な保有に関する原則2を実施していない資産クラスについての話し合いなどがあります。
ロジック	
OO 11.1	<p>組織内で運用する資産:</p> <ul style="list-style-type: none"> 上場株式について「ESGの組み入れを実施している」を選択した場合には LEI モジュールが適用されます。 債券について「ESGの組み入れを実施している」を選択した場合には FI モジュールの該当債券分類が適用されます。例えば、「ESGの組み入れを SSA について実施している」を選択した場合には FI モジュールの SSA 報告が適用されます。 債券への回答により、FIモジュールの該当する債券カテゴリの指標がトリガーされます。 モジュールがあるその他の資産については、この回答により、該当する資産クラスのモジュールがトリガーされます。ただし、AUMが10%の基準値を下回る場合は、OO 12において、それを報告しないことを選択することもできます。インフラについては今年度は自主報告モジュールであるため、基準値を超えていても報告しないことを選択することができます。 モジュールがないその他の資産クラスについては、このオプションを選択すると、自由回答方式のボックスが表示され、組織のアプローチを説明することができます。
OO 11.2	<p>組織外で運用する資産:</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての資産クラスのこの回答は、SAMモジュールで適用される指標が適用されます。例えば、上場株式について「任命」を選択した場合にはSAM 04.1で上場株式の任命について報告することができます。 但し、AUMが10%の基準値を下回る場合は、OO 12において、それを報告しないことを選択することもできます。 インフラの場合、AUMが10%の基準値が該当しないため、報告するかどうかを選択することができます。
評価	

OO 11	<p>この指標は、直接的には評価の対象とはなりません、ここで開示されている情報はその他のモジュールの評価に影響を及ぼす場合があります。</p> <p>ある資産クラスがオプションとして明示されているが、チェックマークが入っていない場合には、以下を適用して下さい:</p> <ul style="list-style-type: none"> • OO 11.1: チェック・ボックスが表示されているがチェックマークが入っていない自己運用モジュールに対しては「E」 • OO 11.2: チェック・ボックスが表示されているがチェックマークが入っていない委託運用モジュールに対しては「E」
-------	---

OO 11	定義
組み入れ	<p>PRI署名者の原則1において、署名者はESG問題を投資分析や意思決定プロセスに組み入れることを約束します。</p> <p>報告フレームワークでは、ESGの組み入れとは、投資の意思決定プロセスにおけるESG情報の考慮および使用を意味します。報告フレームワークはこれを行う4つの方法に触れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スクリーニング • サステナビリティをテーマとする投資(環境および社会をテーマとする投資) • ESG問題の統合 • 上記の組み合わせ <p>エンゲージメントのアプローチの対象となり、以上のいずれの戦略にも当てはまらない資産はESG組み入れに含めないでください。</p> <p>責任投資業界の標準化とコミュニケーションを改善するため、PRIは用語の定義をGlobal Sustainable 投資 Allianceと一致させています。</p> <p>詳細は、主な定義文書を参照してください。</p>

00 12	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 一般		
00 12	指標				
00 12.1	自主的な報告を希望される場合には、該当するするモジュールやセクションを以下のリストから選択して下さい。組織のAUMの10%以上を占める資産クラスについてのみ報告が義務付けられています。 中核的なモジュール				
<input type="checkbox"/> 戦略とガバナンス(専用モジュールのない資産クラスを含む)					
直接またはサービスプロバイダーを経由したRI実施					
外部の運用会社を経由したRI実施					
<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 自己運用 - 上場株式の組入れ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 上場株式の積極的な保有 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己運用 - エンゲージメント ○ 自己運用 - (委任状による)議決権行使 <input type="checkbox"/> 自己運用 - 債券 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己運用 - 債券 - SSA ○ 自己運用 - 債券 - 社債(金融) ○ 自己運用 - 債券 - 社債(非金融) ○ 自己運用 - 債券 - 証券化商品 <input type="checkbox"/> 自己運用 - プライベートエクイティ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 不動産 <input type="checkbox"/> 自己運用 - インフラ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 包括的な金融 </td> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 委託 - 組織外の運用会社の選定、指名、モニタリング <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託 - 上場株式 ○ 委託 - 債券 - SSA ○ 委託 - 債券 - 社債(金融) ○ 委託 - 債券 - 社債(非金融) ○ 委託 - 債券 - 証券化商品 ○ 委託 - プライベートエクイティ ○ 委託 - 不動産 ○ 委託 - インフラ <input type="checkbox"/> 委託 - 包括的な金融 </td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 自己運用 - 上場株式の組入れ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 上場株式の積極的な保有 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己運用 - エンゲージメント ○ 自己運用 - (委任状による)議決権行使 <input type="checkbox"/> 自己運用 - 債券 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己運用 - 債券 - SSA ○ 自己運用 - 債券 - 社債(金融) ○ 自己運用 - 債券 - 社債(非金融) ○ 自己運用 - 債券 - 証券化商品 <input type="checkbox"/> 自己運用 - プライベートエクイティ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 不動産 <input type="checkbox"/> 自己運用 - インフラ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 包括的な金融	<input type="checkbox"/> 委託 - 組織外の運用会社の選定、指名、モニタリング <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託 - 上場株式 ○ 委託 - 債券 - SSA ○ 委託 - 債券 - 社債(金融) ○ 委託 - 債券 - 社債(非金融) ○ 委託 - 債券 - 証券化商品 ○ 委託 - プライベートエクイティ ○ 委託 - 不動産 ○ 委託 - インフラ <input type="checkbox"/> 委託 - 包括的な金融
<input type="checkbox"/> 自己運用 - 上場株式の組入れ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 上場株式の積極的な保有 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己運用 - エンゲージメント ○ 自己運用 - (委任状による)議決権行使 <input type="checkbox"/> 自己運用 - 債券 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己運用 - 債券 - SSA ○ 自己運用 - 債券 - 社債(金融) ○ 自己運用 - 債券 - 社債(非金融) ○ 自己運用 - 債券 - 証券化商品 <input type="checkbox"/> 自己運用 - プライベートエクイティ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 不動産 <input type="checkbox"/> 自己運用 - インフラ <input type="checkbox"/> 自己運用 - 包括的な金融	<input type="checkbox"/> 委託 - 組織外の運用会社の選定、指名、モニタリング <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託 - 上場株式 ○ 委託 - 債券 - SSA ○ 委託 - 債券 - 社債(金融) ○ 委託 - 債券 - 社債(非金融) ○ 委託 - 債券 - 証券化商品 ○ 委託 - プライベートエクイティ ○ 委託 - 不動産 ○ 委託 - インフラ <input type="checkbox"/> 委託 - 包括的な金融				

OO 12	
ロジック	
OO 12	<p>以前の指標で特定の資産クラスや分野で責任投資を実施していないと回答すると、この指標における、そのモジュールまたはセクションは、AUMが10%または基準値を超えている場合であっても、適用されません。</p> <p>特定の活動を行っていることを確認すると、特定のモジュールまたはセクションを報告しなければならないかどうかを決定する基準値は以下のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AUMの10%以上を組織内において特定の資産クラスで運用している署名者は、自己運用の関連モジュールについて報告する義務があります。 • AUMの10%未満を組織内において特定の資産クラスで運用している署名者は自己運用の関連モジュールを報告する必要はありません。さらに、2016年度の報告期間では、運用比率に関係なく、インフラの自己運用モジュールの報告を選択することができます • AUMの10%以上を組織外にて特定の資産クラスで保有している署名者は、SAMモジュールにおける該当資産クラスについて報告する義務があります。 • AUMの10%未満を組織外にて特定の資産クラスで保有している署名者は、SAMモジュールの該当する資産クラスについて報告する必要はありません。さらに、2016年度の報告期間では、運用比率に関係なく、SAMインフラのサブ指標においての報告を選択することができます。 • 組織内で運用される資産のすべてまたは一部にエンゲージメントや(委任状による)議決権行使を実行している署名者は、組織内と組織外で運用する資産の合計が10%未満である場合、「自己運用 上場株式の積極的な保有(LEA)」モジュールで報告する必要はありません。 • 包括的な金融における組織内または組織外のAUMの50%以上を保有するPIIF署名者は、「組織概要」および「包括的な金融」モジュールのみを入力する必要があります。また任意で、戦略とガバナンスモジュールでこの内訳を説明することができます。 • さらに、委託で投資する包括的な金融資産を10%未満で保有し、大半の包括的な金融を自己運用する投資家は、「委託 – 包括的な金融」モジュールを入力する必要はありません。

セクション

上場株式

OO LE 01	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
----------	--------------------------	--------------	----------

OO LE 01	指標										
OO LE 01.1	組織内で運用する上場株式のパッシブ戦略と、数量的、ファンダメンタルおよびその他のアクティブ戦略の内訳を示してください。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>戦略</th> <th>組織内で運用する上場株式のパーセンテージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> パッシブ</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> アクティブ-数量的(クオンツ)</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> アクティブ-ファンダメンタルおよび・もしくはその他のアクティブ戦略</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td>組織内で運用する上場株式の合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	戦略	組織内で運用する上場株式のパーセンテージ	<input type="checkbox"/> パッシブ	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> アクティブ-数量的(クオンツ)	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> アクティブ-ファンダメンタルおよび・もしくはその他のアクティブ戦略	<input type="text"/> %	組織内で運用する上場株式の合計	100%
戦略	組織内で運用する上場株式のパーセンテージ										
<input type="checkbox"/> パッシブ	<input type="text"/> %										
<input type="checkbox"/> アクティブ-数量的(クオンツ)	<input type="text"/> %										
<input type="checkbox"/> アクティブ-ファンダメンタルおよび・もしくはその他のアクティブ戦略	<input type="text"/> %										
組織内で運用する上場株式の合計	100%										
OO LE 01.2	補足情報 [任意]										

OO LE 01	説明
OO LE 01.1	組織内で運用する上場株式のパッシブ戦略と、数量的、ファンダメンタルおよびその他のアクティブ戦略の内訳は後に続く指標の適用に影響します。
ロジック	
OO LE 01	<p>[OO 05.1]で組織内で運用する上場株式を報告した場合、[OO LE 01]が適用されます。</p> <p>指標間で:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッシブを報告した場合、指標[LEI 11] が適用され;そして

	<p>・ アクティブー数量的およびもしくはアクティブーファンダメンタルを報告した場合、指標[LEI 01] が適用されます。この指標では異なる ESG 実施戦略を報告することができます。ここで選択するものにより、後に続く指標の適用に影響します。追加詳細については[LE 01]をご参照ください。</p>
評価	
OO LE 01	<p>「パッシブ」のみを選択した場合、「ESG を組み込んだパブリッシュ」セクションで完了する査定指標の数が少ないため、自己運用 - 上場株式の組み入れ (LEI) モジュールで評価されません。</p> <p>「アクティブー数量的」およびもしくは「アクティブーファンダメンタルその他」もしくは「三つの戦略全て」を選択した場合、「実施プロセス」、「実施」、「成果と結果」、「コミュニケーション」の各セクションへの回答について評価されます。</p>

OO LE 01	定義
アクティブおよびパッシブ運用戦略	
パッシブ戦略	<p>パッシブ投資は、指数のパフォーマンスを反映し、積極的な予測を伴わない、あらかじめ決められたバイ・アンド・ホールド(長期保有)戦略に従う投資です。例としては、幅広い資本市場指数、ESG 加重指数、テーマ指数、受動管理 ETF、ESG に基づく銘柄の除外を伴う指数への投資が挙げられます。</p>
アクティブー数量的(クオンツ)戦略	<p>マネージャーが投資を魅力的かどうかを判断するコンピュータベースのモデルを構築するための投資戦略またはファンド。純粋な「数量モデル」では、モデルが売買の最終決定を行います。</p>
アクティブーファンダメンタル戦略	<p>投資判断は人間の判断に基づいている基本戦略。これには、ボトムアップ(例えば、特定銘柄の選択)戦略とトップダウン(例えば、セクターベース)戦略の両方が含まれます。</p>
アクティブーその他	<p>上記の戦略のいずれにも合致しない戦略。これらは、アクティブなクオンツとアクティブなファンダメンタル、または上記の定義のいずれにも当てはまらないと考えられるその他の戦略を組み合わせたアクティブな戦略です。[01.2]追加情報指標で戦略を明確にすることができます。</p>

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO LE 02	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
----------	--------------------------	--------------	----------

OO LE 02	指標	
OO LE 02.1	組織内で運用する上場株式の 10%未満を代表する戦略について報告を希望する場合は、その旨を明記してください。	
	戦略	戦略について報告
	パッシブ	○ はい ○ いいえ
	アクティブ	○ はい ○ いいえ
OO LE 02.2	補足情報. [任意]	

ロジック	
OO LE 02	アクティブ戦略で「はい」を選択すると、[LEI 01～LEI 13]の指標が適用されます。 アクティブ戦略の両方で「いいえ」を、パッシブ戦略で「はい」を選択すると、[LEI 03～LEI 10]の指標は適用されません。

LE 02	定義
アクティブ運用戦略およびパッシブ運用戦略	
パッシブ戦略	パッシブ運用は、指数のパフォーマンスを反映する投資で、積極的な予想を伴わず、事前に定義されたバイ・アンド・ホールド戦略に従います。この例には、広範な資本市場の指数、ESG を加重した指数、テーマ指数、パッシブ運用の ETF への投資あるいは ESG に基づく除外が挙げられます。
アクティブ運用	マネージャーがコンピューターに基づくモデルを構築し、投資が魅力的かどうかを判断する投資戦略またはファンド。純粋な「クオンツ」モデルでは、売買の最終決定はモデルが行います。
アクティブ運用 - ファundamental	投資決定が人間の判断に基づくファンダメンタル戦略。これには、ボトムアップ（銘柄選択）およびトップダウン（セクター中心）の両方の戦略が含まれます。
アクティブ運用 - その他	上記の戦略のいずれにも合致しない戦略。アクティブクオンツ戦略とアクティブファンダメンタル戦略を組み合わせたアクティブ戦略や、上記の定義のいずれにも適合しないと思われるその他の戦略が含まれます。[01.2]補足情報指標で戦略を説明できます。

セクション

債券

OO FI 01	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
----------	--------------------------	--------------	----------

OO FI 01	指標				
OO FI 01.1	組織内で運用する債券証券のアクティブ戦略とパッシブ戦略の内訳を示してください。				
	戦略	SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化
		組織内で運用する債券資産(+/- 5%)			
	<input type="checkbox"/> パッシブ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> アクティブ- 数量的(クオンツ)	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> アクティブ-フ アンダメンタルお よび・もしくはそ の他のアクティ ブ戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
組織内で運用す る債券証券合計	100%	100%	100%	100%	
OO FI 01.2	補足情報 [任意]				

OO FI 01	説明
ロジック	
OO FI 01.1	<p>[OO 05.1]で組織内で運用する債券について報告をすると、[OO FI 01]の指標が適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッシブを報告した場合、指標[FI 14]が適用され;そして ・アクティブ-数量的およびもしくはアクティブ-ファンダメンタルを報告した場合、指標[FI 01]が適用されます。この指標では異なる ESG 実施戦略を報告することができます。ここで選択するものにより、後に続く指標の適用に影響します。追加詳細については[FI 01]をご参照ください。

OO FI 01	定義	
資産クラス		
SSA	国際機関債	超国家的組織が発行する債務証券（例えば、多国間開発銀行や国際労働組合が発行している債券）として定義されているもの。
	ソブリン債	政府が発行する証券として定義されているもの（例えば、あらゆる通貨建ての国債）。
	政府機関債	政府機関が発行する証券（例えば、政府出資機関債券、準政府債）として定義されているもの。
	地方政府債	市町村、地域、都道府県等の自治体が発行する証券（例えば、地方債）として定義されているもの。
社債（金融）	銀行、保険会社等の金融サービス会社が発行する証券として定義されているもの。但し、組織が銀行部門も営んでいる場合には、この定義には、預金や貸付などの貸出ポートフォリオ内の資産は含まれません。	
社債（非金融）	公開または非公開の非金融会社が発行する証券として定義されているもの。具体的には、公募債（シニア債または劣後債）、私募債または民間融資、プロジェクトファイナンスやインフラ債などがあります。	
証券化商品	資産プールの裏付けがあり特別目的事業体が発行する証券として定義されているもの。具体的には、資産担保证券、不動産担保证券、債務担保证券またはローン担保证券およびカバードボンドなどがあります。	
アクティブおよびパッシブ運用戦略		
アクティブ-数量的(クオッツ)戦略	マネージャーが投資を魅力的かどうかを判断するコンピュータベースのモデルを構築するための投資戦略またはファンド。純粋な「数量モデル」では、モデルが売買の最終決定を行います。	
アクティブ-ファンダメンタルおよびその他の戦略	投資判断は人間の判断に基づいている基本戦略。これには、ボトムアップ（例えば、特定銘柄の選択）戦略とトップダウン（例えば、セクターベース）戦略の両方が含まれます。	
パッシブ戦略	パッシブ投資は、指数のパフォーマンスを反映し、積極的な予測を伴わない、あらかじめ決められたバイ・アンド・ホールド（長期保有）戦略に従う投資です。例としては、幅広い資本市場指数、ESG 加重指数、テーマ指数、受動管理 ETF、ESG に基づく銘柄の除外を伴う指数への投資が挙げられます。	

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO FI 02	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
----------	--------------------------	--------------	----------

OO FI 02	指標										
OO FI 02.1	<p>保有している債券銘柄の10%未満を占めるアクティブ戦略の報告を希望するかどうかを示してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>戦略</th> <th>SSA</th> <th>社債(金融)</th> <th>社債(非金融)</th> <th>証券化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>アクティブ-ファンダメンタルおよびその他のアクティブ戦略</td> <td> <input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない </td> <td> <input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない </td> <td> <input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない </td> <td> <input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない </td> </tr> </tbody> </table>	戦略	SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化	<input type="checkbox"/> アクティブ-ファンダメンタルおよびその他のアクティブ戦略	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない
戦略	SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化							
<input type="checkbox"/> アクティブ-ファンダメンタルおよびその他のアクティブ戦略	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない	<input type="radio"/> 報告する <input type="radio"/> 報告しない							
OO FI 02.2	<p>補足情報 [任意]</p>										

OO FI 02	説明
OO FI 02.2	RI活動を報告する/報告しない理由を説明できます。
ロジック	
OO FI 02	<p>アクティブ戦略で報告したいと回答した場合は、[FI 01 から FI 13] が適用されます パッシブ戦略で報告したいと回答した場合は、[FI 14] が適用されます。</p> <p>アクティブ戦略で報告しない、パッシブ戦略で報告すると回答した場合は、[FI 01 から FI 13] は適用されません。</p>

OO FI 02	定義
アクティブクオンツ	マネージャーがコンピューターに基づくモデルを構築し、投資が魅力的かどうかを判断する投資戦略またはファンド。純粋な「クオンツ」モデルでは、売買の最終決定はモデルが行います。
アクティブ-ファンダメンタルおよびその他のアクティブ戦略	人間の判断に基づいて投資決定を行うファンダメンタル戦略。ファンダメンタル戦略には、ボトムアップ（銘柄選択）およびトップダウン（セクター中心）の両方の戦略が含まれます。

OO FI 03	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	--------------------------	----------	----------

OO FI 03	指標			
OO FI 03.1	SSA 債券投資の先進国およびエマージングマーケット(新興市場)のおよその内訳(+/- 5%)を示してください。			
		SSA		
	先進国(+/- 5%)	<input type="text"/> %		
	エマージングマーケット (新興市場)(+/- 5%)	<input type="text"/> %		
	組織内で運用する合計	100%		
OO FI 03.2	社債および証券化債券の投資適格およびハイイールド証券のおよその内訳(+/- 5%)を示してください。			
		社債(金融)	社債(非金融)	証券化
	投資適格(+/- 5%)	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	ハイイールド証券(+/- 5%)	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	組織内で運用する合計	100%	100%	100%
OO FI 03.3	補足情報			
	[任意]			

OO FI 03	説明
OO FI 03.1	組織の先進および新興市場債券投資の内訳は、集計報告目的にのみ使用されます。
OO FI 03.2	組織の投資適格およびハイイールド証券投資の内訳は、集計報告目的にのみ使用されず
OO FI 03.3	ポートフォリオやファンドの信用格付けでもっとも特徴的なもの(例えば、投資適格のみ)と、運用する債券ファンドの詳細(例えば、新興市場、ロングオンリー、絶対リターン)に関する情報を含めることができます。
ロジック	
OO FI 03	<p>SSA 債券を保有し、[OO 12.1]と[OO FI 02.1]で SSA について報告したいと回答した場合には、[OO FI 03]が適用されます。</p> <p>SSA 債券を保有し、[OO 12.1]と[OO FI 02.1]で SSA について報告したいと回答した場合には、[OO FI 03.1]が適用されます。</p> <p>[OO 12.1]と[OO FI 02.1]で社債(金融)と社債(非金融)について報告したいと回答した場合には、[OO FI 03.2]が適用されます。</p>

OO FI 03	定義
投資適格	投資適格発行または発行体格付けはすべて BBB-または BAA-以上の格付けすべてです。
ハイイールド	主要格付け機関の 1 つでも「投資適格」格付けを受けていない団体が発行した社債。投機的な格付けとしても知られています。
先進市場	<p>MSCI の分類に基づいて、以下の国が先進市場の分類に含まれています。</p> <p>オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、香港、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポルトガル、シンガポール、スペイン、スウェーデン、スイス、英国および米国。</p>
新興市場	<p>MSCI の分類に基づいて、以下の国が新興市場の分類に含まれています。</p> <p>ブラジル、チリ、中国、コロンビア、チェコ共和国、エジプト、ハンガリー、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、モロッコ、メキシコ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ロシア、南アフリカ、台湾、タイ、トルコ、カタール、アラブ首長国連邦。</p> <p>上記の先進市場の分類以外の国は、新興市場に分類されます。</p>

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO SAM 01	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
-----------	--------------------------	--------------	----------

OO SAM 01	指標					
OO SAM 01.1	組織外で運用する上場株式と債券証券のパッシブ戦略とアクティブ・クオンツ戦略とアクティブ・ファンダメンタル戦略の内訳を示してください。					
		上場株式 (LE)	債券 - SSA	債券 - 社債 (金融)	債券 - 社債 (非金融)	債券 - 証券化
	組織外で運用する上場株式・債券証券の%					
	<input type="checkbox"/> パッシブ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> アクティブ-数量的(クオンツ)	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> アクティブ-ファンダメンタルおよび・もしくはその他のアクティブ戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
組織外で運用する上場株式・債券証券合計	100%	100%	100%	100%	100%	
OO SAM 01.2	補足情報 [任意]					

OO SAM 01	説明
OO SAM 01.1	<p>上場株式、債券 SSA、社債(金融)、社債(非金融)証券化債券におけるパッシブ、アクティブ・クオンツおよびアクティブ・ファンダメンタルの内訳は、外部の資産運用会社の ESG 組込み戦略に関するこの後の指標を適用するために使用されます。</p> <p>報告データは、類似の内訳を持つ組織と比較するために、評価プロセスでも使用されます。</p>
ロジック	
OO SAM 01	<p>[OO 05.1]で組織外で運用する上場株式もしくは債券を報告した場合には、[OO SAM 01]が適用されます。</p> <p>[OO SAM 01.1]に対する回答は、指標[SAM 01.1]のどの部分が該当するかを決定します。指標[SAM 01.1]には、アクティブ戦略とパッシブ戦略があります。</p> <p>たとえば、[OO SAM 01.1]の上場株式に関するパッシブ投資戦略を報告する場合、[SAM 01.1]では、上場投資の受動的投資戦略に関連する部分のみが表示されます。</p>

SAM 01	定義
アクティブおよびパッシブ運用戦略	
パッシブ戦略	<p>パッシブ投資は、指数のパフォーマンスを反映し、積極的な予測を伴わない、あらかじめ決められたバイ・アンド・ホールド(長期保有)戦略に従う投資です。例としては、幅広い資本市場指数、ESG 加重指数、テーマ指数、受動管理 ETF、ESG に基づく銘柄の除外を伴う指数への投資が挙げられます。</p>
アクティブ-数量的(クオンツ)戦略	<p>マネージャーが投資を魅力的かどうかを判断するコンピュータベースのモデルを構築するための投資戦略またはファンド。純粋な「数量モデル」では、モデルが売買の最終決定を行います。</p>
アクティブ-ファンダメンタル戦略	<p>投資判断は人間の判断に基づいている基本戦略。これには、ボトムアップ(例えば、特定銘柄の選択)戦略とトップダウン(例えば、セクターベース)戦略の両方が含まれます。</p>

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO PE 01	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	--------------------------	----------	----------

OO PE 01	指標	
OO PE 01.1	組織内で運用されるプライベートエクイティの内訳を投資戦略別に記載してください。	
	投資戦略	組織内で運用されるプライベートエクイティ保有がAUMに占める比率
	ベンチャーキャピタル	○>50%, ○10-50%, ○<10%, ○0%
	グロースキャピタル	○>50%, ○10-50%, ○<10%, ○0%
	(レバレッジド)パイアウト	○>50%, ○10-50%, ○<10%, ○0%
	ディストレスト/ターンアラウンド/特殊事情	○>50%, ○10-50%, ○<10%, ○0%
	セカンダリー	○>50%, ○10-50%, ○<10%, ○0%
	その他の投資戦略(具体的に記入してください) _____	○>50%, ○10-50%, ○<10%, ○0%
	合計	100%
OO PE 01.2	補足情報 [任意]	

OO PE 01	説明
OO PE 01.1	組織概要(OO)モジュールの指標 OO 05 で報告したプライベートエクイティへの直接投資のすべてに基づいて内訳を作成してください。「その他の投資戦略」は2行まで追加できます。
ロジック	
OO PE 01	[OO 05.1]で組織内で運用するプライベートエクイティを報告した場合には、[OO PE 01]が適用されます。

OO PE 01	定義
ベンチャーキャピタル	起業して間もない企業や新興企業に対する株式の形態による投資。このカテゴリにはシードや初期段階の資本が含まれます。
グロースキャピタル	比較的成熟した段階にあり、発展の重要な段階にある企業の少数持分または過半数への投資(例: 拡大または再編事業)。
(レバレッジド)パイアウト	現行のステークホルダーが財務レバレッジを使用して企業を買収する取引の一部としての株式投資を指します。これらの取引に関与する企業は通常成熟局面にあります。レバレッジドパイアウトでは、買収に必要な資金の全額を確約することなく、買収に同意している資金提供者が関与します。従って、資金提供者は買収資金を調達するために債券も発行します。
ディストレスト/ターンアラウンド/特殊事情	<p>経営難に陥っている企業に対する株式の形態による投資。これには、「特殊事情」および救済融資を利用する「転向戦略」が含まれます。</p> <p>ポリシーと手順が他のプライベートエクイティ投資と概ね同様であるとお考えなら、債務証券による投資をここで報告することもできます。ただし、<i>社債(非金融)</i> モジュールの方が適切と判断されるなら、それでも構いません。</p>
セカンダリー	<p>通常はポートフォリオを通じて、既存のプライベートエクイティの投資家から事業会社におけるディレクト・ポジションを取得することを説明します。</p> <p>リミテッドパートナーシップ投資ファンドのセカンダリー所有権の取得は、「マネージャーセクション」、「アポイントメントと監視モジュール」にて間接的に報告されるべきである。</p> <p><i>委託 - 運用会社の選定、指名、モニタリング(SAM)</i>モジュールで報告してください。</p>
その他	リストにないその他の形態のプライベートエクイティ投資

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO PE 02	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	--------------------------	----------	----------

OO PE 02	指標
OO PE 02.1	<p>プライベートエクイティ投資において組織が通常保有する所有権の割合を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過半数(50%超) ○ 50%の持分 ○ 重要な少数持分(10~50%) ○ 少数持分(10%未満) ○ 様々な所有持分
OO PE 02.2	<p>補足情報 [任意]</p>

OO PE 02	説明
OO PE 02.1	<p>ポートフォリオ企業に対する標準的な保有持分を示すオプションを選択してください(「通常」とはいずれかのカテゴリで 50%以上を構成するあらゆる数の資産とみなします)。これにより、同様のアプローチを持つ他の組織と同じピアグループが割り当てられます。ポートフォリオが多様で、保有持分が一定でない場合は、「様々な保有持分」を選択してください。</p>
OO PE 02.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プライベートエクイティ投資に対する組織のアプローチや取引における役割(例: 投資案件の特定および分析、投資後の投資のモニタリング) ● 組織の保有持分が過半数であるか少数であるかによるプライベートエクイティ投資に対するアプローチの違い ● 希望する場合は、組織から取締役を出しているポートフォリオ企業の割合を含めてください。
ロジック	
OO PE 02	<p>[OO 05.1]で組織内で運用するプライベートエクイティを報告した場合には、[OO PE 02]が適用されます。</p>

OO PR 01	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	--------------------------	----------	----------

OO PR 01	指標
OO PR 01.1	<p>不動産投資において組織が保有している持分の標準的な割合を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過半数(50%超) ○ 50%の持分 ○ 重要な少数持分(10~50%) ○ 限定的な少数持分(10%未満) ○ 多様な所有持分の組み合わせ ○ 該当なし。顧客のために不動産、新築物件や大規模改築物件を管理運用するが、顧客のために持分を保有しない
OO PR 01.2	<p>不動産投資信託(REIT)または類似のファンドへの組織の投資配分の内訳を明示して下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10 - 50% ○ 10%未満 ○ 0%
OO PR 01.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

OO PR 01	説明
OO PR 01.1	<p>不動産に対する標準的な所有持分を示す区分を選択してください(「標準的な」とはいずれのカテゴリにおいても数量にかかわらず50%以上を構成する資産であると考えてください)。これにより、同様のアプローチを行う他の組織と同じピアグループが割り当てられます。ポートフォリオが多様で、標準となるような持分比率を決められない場合には、「多様な所有持分の組み合わせ」を選択してください。</p> <p><i>「該当なし」 任意</i></p> <p>プロパティマネジメント会社が不動産の日常的な管理、不動産の運用データの提供、顧客の投資決定に関する助言などに関与していても、実際に顧客のために投資決定をしない場合に適用されます。</p>

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO PR 01.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動産投資に対する組織のアプローチや取引における役割(投資案件の特定および分析、投資後における投資対象のモニタリング) 組織の所有持分が過半数であるか少数であるかにより不動産投資に対するアプローチは異なるのか 投資不動産の標準的な保有期間
ロジック	
OO PR 01	[OO 05.1]で組織内で運用する不動産を報告した場合には、[OO PR 01]が適用されます。

OO PR 02	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
----------	--------------------------	--------------	----------

OO PR 02	指標													
OO PR 02.1	<ul style="list-style-type: none"> 組織の不動産資産の内訳を資産の運用者別に明示してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>不動産資産の運用者</th> <th>不動産資産の内訳(物件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 組織が自己運用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 組織が指名した第三者のプロパティマネジメント会社が運用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 他の投資家またはそのプロパティマネジメント会社が運用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> テナントが運営を管理して運用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 合計 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 100% </td> </tr> </tbody> </table>		不動産資産の運用者	不動産資産の内訳(物件数)	<ul style="list-style-type: none"> 組織が自己運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 	<ul style="list-style-type: none"> 組織が指名した第三者のプロパティマネジメント会社が運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 	<ul style="list-style-type: none"> 他の投資家またはそのプロパティマネジメント会社が運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 	<ul style="list-style-type: none"> テナントが運営を管理して運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 	<ul style="list-style-type: none"> 合計 	<ul style="list-style-type: none"> 100%
不動産資産の運用者	不動産資産の内訳(物件数)													
<ul style="list-style-type: none"> 組織が自己運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 													
<ul style="list-style-type: none"> 組織が指名した第三者のプロパティマネジメント会社が運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 													
<ul style="list-style-type: none"> 他の投資家またはそのプロパティマネジメント会社が運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 													
<ul style="list-style-type: none"> テナントが運営を管理して運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0% 													
<ul style="list-style-type: none"> 合計 	<ul style="list-style-type: none"> 100% 													
OO PR 02.2	<ul style="list-style-type: none"> 補足情報 [任意] 													

OO PR 02	説明	
OO PR 02.1	<ul style="list-style-type: none"> 「プロパティマネジメント」の定義は、GRESB2016年ガイダンスと整合しています。 ここで言うプロパティマネジメントとは、不動産資産の日常的な運営や不動産資産に対する意思決定の執行者を指します。投資の意思決定(例:買収決定など)は含みません。 自己運用する資産とは、組織が「運営管理権限」を持つことを決めている資産です。1つまたは複数のテナントが運営ポリシーおよび環境ポリシーを採用、実施する最大の権限を保有している場合、テナントが運営管理権限を持っているとみなされます。組織とテナントの両方が日常業務の運営手続きを採用、実施する権限を持っている場合、資産は自己運用として報告してください。 	

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO PR 02.2	<ul style="list-style-type: none"> これには、組織の不動産の管理に関与している人の詳細も含まれます。
<ul style="list-style-type: none"> ロジック 	
OO PR 02	<ul style="list-style-type: none"> 組織の不動産資産の一部が第三者のプロパティマネジメント会社によって管理されている場合、指標[13]が適用されます。

OO PR 02	定義
第三者のプロパティマネジメント会社	他の組織のためにあらゆる種類の不動産(例:小売店舗、商業、住居)を管理する組織。これらの組織は様々な分野(例:設備管理、会計、コンプライアンス、維持、活用)において助言や支援を提供します。
運営管理権限	これは、運営ポリシー、衛生安全ポリシーや環境に関するポリシーを導入・実施する能力を有していることと定義されます。

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO PR 03	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	--------------------------	----------	----------

OO PR 03	指標	
OO PR 03.1	投資不動産の内、保有比率が最も高い種類を運用資産(AUM)別に3つまで挙げてください。	
	種類	主要な不動産の種類 (AUM)
	<input type="checkbox"/> 最大の不動産の種類	<input type="checkbox"/> 工業用 <input type="checkbox"/> 小売店舗 <input type="checkbox"/> オフィス <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> レジャー/ホテル <input type="checkbox"/> 複合用途 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____
	<input type="checkbox"/> 2番目に多い不動産の種類	[同上]
	<input type="checkbox"/> 3番目に多い不動産の種類	[同上]
OO PR 03.2	補足情報 [任意]	

OO PR 03	説明
OO PR 03.1	<p>組織内で運用されている不動産資産別に主要な不動産の種類を決定してください。これにより、本モジュールの残りの部分で報告する情報が決定します。</p> <p>この指標のオプションは、2016年GRESB評価の「報告の特性」セクションのGRESB指標RC5.1を補足するものです。</p>
OO PR 03.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的な不動産の種類、単一および多世帯の賃貸、物件数、テナントの種類による内訳 個々の不動産の種類が組織内の不動産ポートフォリオ全体に占める割合 グリーンフィールド(未開発の用地等)不動産資産およびブラウンフィールド(環境汚染等で

ゲートウェイ資産クラス実施指標

	<p>利用されなくなった用地等)不動産資産の標準的な内訳</p> <p>組織が不動産に大きく偏重しており、この指標で標準的な不動産投資をすでに説明している場合は、<i>組織概要</i>モジュールの指標 00 09 を参照してください。</p>
ロジック	
OO PR 03	[OO 05.1]で組織内で運用する不動産を報告した場合には、[OO PR 03]が適用されます。

OO PR 03	定義
工業用	物流施設、倉庫、ガレージ、ロジスティックセンターなど
小売店舗	繁華街や郊外のモール、個人が経営する小売店舗、リテールパークなど
オフィス	オフィスビルやサービスを提供するオフィスなど
住宅	多世帯用の建物を含む
レジャー/ホテル	ホテル、スポーツ施設、レストランなど
複合用途	上記の用途の1つまたは複数を組み合わせた不動産

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO INF 01	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
-----------	--------------------------	----------	----------

OO INF 01	指標
OO INF 01.1	<p>インフラ投資において組織が保有する所有権の標準的な割合を明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過半数(50%超) ○ 50%の持分 ○ 重要な少数持分(10~50%) ○ 少数持分(10%未満) ○ 多様な所有持分の組み合わせ
OO INF 01.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

OO INF 01	説明
OO INF 01.1	<p>投資先企業における標準的な所有持分を表すオプションを選択してください(「標準的」とはいずれのカテゴリにおいても数量にかかわらず 50%以上を構成する資産と考えて下さい)。ポートフォリオが多様で、所有持分が一定でない場合は、「多様な所有持分の組み合わせ」を選択してください。</p>
OO INF 01.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 組織によるインフラ投資へのアプローチおよび取引における組織の役割(即ち、投資案件の洗い出しおよび分析段階での役割または投資後の投資のモニタリング段階での役割) • 組織の所有持分が過半数であるか少数であるかでインフラ投資へのアプローチは異なるのか • インフラ投資物件の標準的な保有期間および保有期間が ESG 問題へのアプローチにどのような影響を及ぼすのか
ロジック	
OO INF 01	[OO 05.1]で組織内で運用するインフラを報告した場合には、[OO INF 01]が適用されます。

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO INF 02	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ・グループ化	原則 一般
-----------	--------------------------	--------------------	----------

OO INF 02	指標	
OO INF 02.1	組織のインフラ資産の内訳を資産の運用者別に明示してください。	
	インフラ資産の運用者	インフラ資産の割合
	組織/組織が所有する企業が直接管理運用	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0%
	組織/組織が所有する企業が指名した第三者の事業者が管理運用	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0%
	他の投資家またはその第三者の事業者が管理運用	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ 0%
	合計	100%
OO INF 02.2	補足情報 [任意]	

OO INF 02	説明
OO INF 02.1	<p>ここで言う「インフラ管理」とは、インフラ資産の日常的な管理やインフラ資産に対する意思決定の執行を指します。投資の意思決定(例: 買収決定など)は含みません。</p> <p>「組織/組織が所有する企業が直接運用」とは、インフラ資産やインフラ企業を組織外で管理する組織内チーム、または組織が所有権を保有するインフラ資産の運営を管理する企業のいずれかを指します。</p> <p>「組織/組織が所有する企業が指名した第三者の事業者が運用」とは、組織は所有していても、指名した第三者の事業者が、組織が所有権を有するインフラ資産の経営および運営のために自社スタッフを抱えている場合を指します。</p> <p>「他の投資家またはその第三者の事業者が運用」とは、インフラ資産に少数持分を保有する場合にしばしば適用されます。このオプションは、共同投資家や支援者(政府など)が第三者の組織を指名している場合も捕捉します。</p> <p>この指標は、組織がインフラ資産にエクイティ持分を所有している場合にのみ、適用されます。</p>
OO INF 02.2	これには、組織のインフラ投資の管理に関与している人々の詳細を含めることができます。
ロジック	
OO INF 02	<p>[OO 05.1]で組織内で運用するインフラを報告した場合には、[OO INF 02]が適用されます。</p> <p>組織のインフラ資産の一部について、組織や組織が所有する企業が指名した第三者の事業者が運用していると報告すると、指標[INF 10]が適用されます</p>

OO INF 02	定義
第三者の事業者	他の組織のためにあらゆる種類のインフラ資産(例: 高速道路、空港)を管理または保守整備する組織。

ゲートウェイ資産クラス実施指標

OO INF 03	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
-----------	--------------------------	----------	----------

OO INF 03	指標	
OO INF 03.1	インフラの内、保有比率が最も高いインフラセクターを運用資産(AUM)別に3つまで挙げてください。	
	セクター	主なインフラセクター(AUM別)
	<input type="checkbox"/> 最大のインフラセクター	<input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> エネルギーインフラ <input type="checkbox"/> 従来型エネルギー <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー <input type="checkbox"/> 水資源管理 <input type="checkbox"/> 廃棄物管理 <input type="checkbox"/> 通信 <input type="checkbox"/> 社会インフラ <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____
	<input type="checkbox"/> 2番目に大きいインフラセクター	[同上]
	<input type="checkbox"/> 3番目に大きいインフラセクター	[同上]
OO INF 03.2	補足情報 [任意]	

OO INF 03	説明
OO INF 03.1	組織内で運用しているインフラ資産別に主要なインフラセクターを決定してください。これにより、本モジュールの残りの部分で組織が報告すべき情報が明らかになります。
OO INF 03.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準的なインフラの種類および個別案件数 個々のインフラセクターが組織全体のインフラ・ポートフォリオに占める割合 インフラ投資資産におけるグリーンフィールド(未開発の用地等)資産およびブラウンフィー

ゲートウェイ資産クラス実施指標

	<p>ルド(環境汚染等で利用されなくなった用地等)資産の標準的な内訳</p> <p>組織がインフラに大きく偏重しており、この指標で標準的なインフラ投資をすでに説明している場合は、<i>組織概要</i>(OO)モジュールの指標 OO 09 を参照願います。</p>
ロジック	
OO INF 03	[OO 05.1]の組織内で運用するインフラ資産で報告した場合は、[OO INF 03]が適用されます。

OO INF 03	定義
輸送	道路、トンネル、空港、港湾、鉄道など
エネルギーインフラ	送電・配電、ガス輸送・配送、液体およびガス貯蔵、その他のエネルギーインフラなど
従来型エネルギー	石炭、ガス、シェールガス、石油、原子力など
再生可能エネルギー	太陽光、風力、水力、波力、潮力、バイオマスなど
水資源管理	水処理施設、下水道など
廃棄物管理	埋め立て、焼却、リサイクル、ごみ収集、リカバリーなど
通信	通信塔、ケーブル網、放送ネットワーク、送波など
社会的インフラ	医療施設、教育、高齢者介護、刑務所、社会的な目的など

組織概要

2015年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

2018年PRI報告フレームワーク 戦略とガバナンス

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社QUICKにご協力いただきました。

PRI Association

Registered office: 5th floor, 25 Camperdown Street
London, UK, E1 8DZ Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 3714 3220 W: www.unpri.org E: info@unpri.org

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報があります。

トッパー

トッパーには、指標のステータス（必須または自主開示）、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス	目的	原則
	必須	コア評価	PRI 2

指標のステータス






必須
報告義務 自主開示
自主開示

必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。

一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は自由です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。

自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織がモジュール内の他の指標に該当する場合、他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用します。
コア評価項目		これらの指標は評価の基本を形成し、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替の実務を表し、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標で、組織の活動を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が組織に該当することを確認してください。

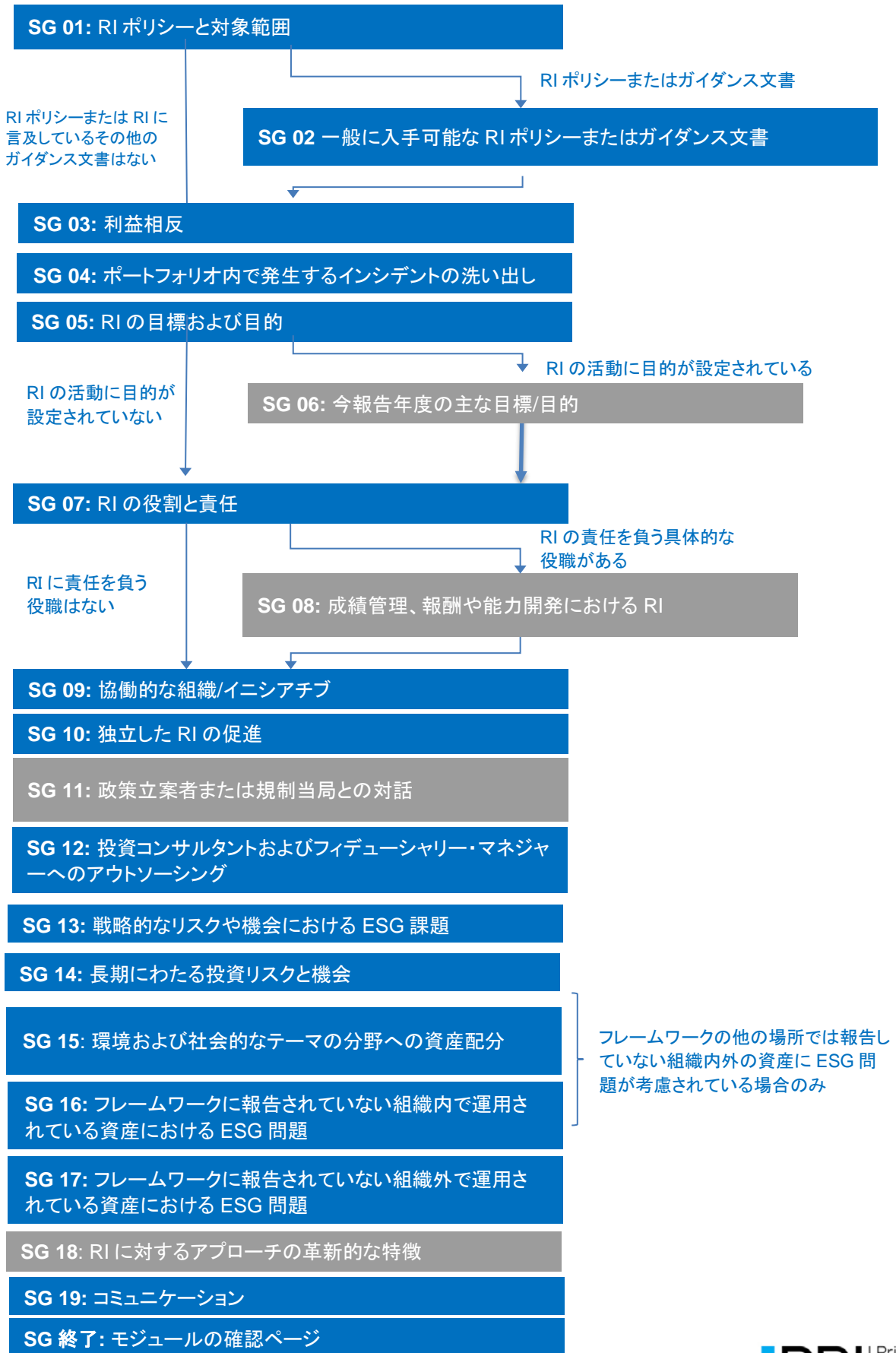
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告する可能性がある事例など、サブ指標を理解する方法の指針となります。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する時、そしてその指標がサブ指標に影響するかどうかを説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は常に適用され、他の指標には影響しません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価アプローチの概要です。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される具体的な用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
目次	3
モジュールの経路	4
序文	5
改正の概要	5
投資ポリシー	6
目的および戦略	17
ガバナンスおよび人事	21
責任投資の促進	27
フィデューシャリー・マネジャーや投資コンサルタントへの外部委託	37
資産配分におけるESG問題	42
他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施	51
革新	56
コミュニケーション	57

モジュールの経路



序文

本モジュールで報告される情報により、組織のステークホルダーは、組織のガバナンス、責任投資のポリシー、目的、目標、責任投資に割り当てるリソース、責任投資や公共政策に関連する問題のコラボレーションへのアプローチなど、組織の責任投資に対する包括的アプローチや、資産配分へのESG問題の組み入れが理解できるようになります。

改正の概要

指標	改正
SG 01	サブ指標を削除し、または番号を変更しました。
SG 03	新たな指標が SG 03 として追加されました。
SG 07	選択肢を追加しました。
SG 08	選択肢を追加しました。
SG 09	新たな指標が SG 09 として追加され、選択肢を追加しました。
SG 10	この指標は、文言と選択肢を変更しました。
SAM 01	この指標は、SAM から移動し、SG 12 に変更しました。サブ指標と選択肢を追加しました。
SG 12	この指標は、SG 13 に番号変更しました。
SG 13	この指標は、SG 14 に番号変更し、サブ指標を追加し、選択肢の文言を変更しました。
SG 14	この指標は、SG 15 に番号変更し、サブ指標を変更しました。
SG 15	この指標は、SG 16 に番号変更し、ヘッジファンドに関する選択肢を追加しました。
SG 16	この指標は、SG 17 に番号変更し、ヘッジファンドに関する選択肢を追加しました。
SG 17	この指標は、SG 18 に番号変更しました。
FI 23, INF 22, LEA 16, LEA 27, LEI 17, PE 18, PR 20, SAM 13SG 18	FI, INF, LEA, LEI, PE, PR および SAM からこれらの指標を移動し、SG 19 として追加しました。

セクション
投資ポリシー

SG 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 一般
-------	----------------	------------	----------

SG 01	指標	
SG 01.1	責任投資アプローチをカバーする投資ポリシーを策定しているかどうかを明示してください。	
	○ はい	○ いいえ
SG 01.2	ポリシーの構成要素/種類と対象範囲を示してください。	
	ポリシーの構成要素/種類	AUMの対象範囲
	<input type="checkbox"/> ポリシーでは包括的アプローチを規定している <input type="checkbox"/> 環境要因に関するガイドラインを正式に規定 <input type="checkbox"/> 社会的要因に関するガイドラインを正式に規定 <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスに関するガイドラインを正式に規定 <input type="checkbox"/> 資産クラス別の RI ガイドラインを正式に規定 <input type="checkbox"/> セクター毎の RI ガイドラインを規定 <input type="checkbox"/> スクリーニング/除外ポリシーの規定 <input type="checkbox"/> エンゲージメントポリシーの規定 <input type="checkbox"/> (委任状による) 議決権行使に関するポリシー <input type="checkbox"/> その他 (具体的に記載してください) (1) _____ <input type="checkbox"/> その他 (具体的に記載してください) (2) _____	<input type="checkbox"/> 適用ポリシーは全ての AUM を対象としている <input type="checkbox"/> 適用ポリシーは大部分の AUM を対象としている <input type="checkbox"/> 適用ポリシーは一部の AUM を対象としている
SG 01.3	投資ポリシーが以下のどの項目をカバーしているか明示して下さい:	
	<input type="checkbox"/> 組織としてのESG や責任投資の定義ならびに投資との関連性 <input type="checkbox"/> ESG ファクター/実体経済への影響を考慮に入れた投資目標 <input type="checkbox"/> 投資におけるタイムホライズン <input type="checkbox"/> 組織としてのESG 関連責任に係るガバナンス体制 <input type="checkbox"/> ESG 組み込みアプローチ <input type="checkbox"/> 積極的な議決権行使に係るアプローチ <input type="checkbox"/> 報告	

投資ポリシー

	<input type="checkbox"/> 気候に関連する問題 <input type="checkbox"/> その他RIに係る留意事項；具体的に記入して下さい (1) _____ <input type="checkbox"/> その他 RI に係る留意事項；具体的に記入して下さい (2) _____
SG 01.4	組織の投資原則および全体の投資戦略、ならびに、ESG 要因および実体経済の影響をどのように考慮に入れているのかについて説明して下さい。
SG 01.5	責任投資アプローチをカバーする組織の投資ポリシーの重要な構成要素、バリエーション、例外事項を簡潔に説明してください。

SG 01	説明
SG 01	<p>[SG 01. 1]および[SG 01. 5]はOECD 機関投資家に対する責任あるビジネス行動の提言に沿っています。</p>
SG 01. 1 & 2	<p>ここで言う「投資ポリシー」とは、組織における投資活動に関し包括的に述べたものを意味します。即ち、組織として、明示したミッションをどのように達成するか、そして、投資戦略をどのように構築するかに係るアプローチを明確に示すとともに、投資目標の概要を規定し、投資プロセスおよび達成度/パフォーマンスを測定する基準への手引きを提供するものです。また、投資ポリシーは、投資活動における責任投資またはESG問題に対するアプローチについても 含みます。</p> <p>一部の小規模なファンドは、単に親会社のポリシーや主要顧客のポリシーを採用していることがあります。この場合は、これらのポリシーを組織自身のポリシーとして扱い、その旨をここに注記してください。</p> <p>このセクションで取り扱っているポリシーは、オフィスや事業運営（例：リサイクルなど）や投資業務に関連のないその他の事項（例：企業の慈善活動）を対象とするものではありません。</p> <p><i>ポリシーの構成要素/種類</i></p> <p>ここに一覧表示するポリシーを含む文書は単一である場合もあれば、複数である場合もあります。したがって、複数のボックスをチェックしても構いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個々の資産クラスの問題を対象とする具体的なポリシー声明がある場合は、「資産クラス別の正式なRI ガイドライン」を選択してください。 ● 組織のポリシーが（委任状による）議決権行使を除く上場/非上場資産クラスにおける積極的保有活動に言及している場合は、「エンゲージメントポリシー」を選択してください。 ● 投資プロセス、ESG の組み入れや積極的保有に対するアプローチにおける ESG 問題への対処法に関するガイドラインやプロセスについて、組織のポリシーが明確に言及している場合は、「コーポレートガバナンスに関する正式なガイドライン」または「環境要因に関する正式なガイドライン」を選択してください。 <p><i>運用資産（AUM）別対象範囲</i></p> <p>一部のポリシーは原則としてすべての資産クラスに適用されますが、異なった状況で異なる方法で実施されることもあります。（委任状による）議決権行使に関するポリシー、特定の資産クラスに関連するポリシー（不動産またはヘッジファンドに固有の問題を対象とするなど）は当然ながらすべての資産クラスに適用されるわけではありません。例えば、（委任状による）議決権行使に係るポリシーは全上場株式を対象としていても、運用資産（AUM）総額の 30%に過ぎない場合があります。この場合でも、「該当するポリシーが全 AUM を対象としている」オプションを選択してください。</p> <p>ポリシーそのものは個別の資産クラスに特定していない全般的なポリシーであっても、特定の資産クラスや特定の資産クラスの一部分では実務上実施されない場合があります。例えば、特定の市場における企業とのエンゲージメントを投資家が意図的に行っていない場合です。</p>
SG 01. 3	<p>ここで言う「投資ポリシー」とは、組織における投資活動に関し、包括的に述べたものを意味します。即ち、組織として、明示したミッションをどのように達成するか、そして、投資戦略をどのよ</p>

	<p>うに構築するかに係るアプローチを明確に示すとともに、投資目標の概要を規定し、投資プロセスおよび達成度/パフォーマンスを測定する基準への手引きを提供するものです。また、投資ポリシーは、投資活動における責任投資またはESG問題に対するアプローチについても含みます。</p> <p>このセクションで取り扱っているポリシーは、オフィスや事業運営（例：リサイクルなど）や投資業務に関連のないその他の事項（例：企業の慈善活動）を対象とするものではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートフォリオ内のESGリスク・ファクターを測定するための目標を設定している、およびどのような成果が上がっているとESG戦略が適切に機能しているように見えるのかを定義している、またはそのいずれかの場合には、「組織としてのESG や責任投資の定義ならびに投資との関連性」を選択して下さい。 • ESGファクターを考慮に入れて投資のための一組の投資目標を設定している場合には、「ESG ファクター/実体経済の影響を考慮に入れた投資目標」を選択して下さい。例えば、これは、リスク、リターン、実体経済の影響およびより長期の時間軸といった観点を通じて、達成することができると考えられます。 • 投資ポリシーの導入・実施に関して説明責任と実施責任を負っている場合には、「組織としてのESG 関連責任に係るガバナンス体制」を選択して下さい。 • ポリシーセクションにおいて投資目標を達成する手段として特定のESGアプローチを取っている場合には、「ESG 組み込みアプローチ」を選択して下さい。 <p>PRI の討議資料である 投資戦略の策定 - 資産所有者向けのプロセス・ガイダンス (Crafting an Investment Strategy - A Process Guidance for Asset Owners) を参照願います。本資料には、明確かつ明示的な投資戦略の策定において資産保有者の助けとなる追加情報が記載されています。</p>
<p>SG 01.4</p>	<p>この指標は、組織の投資原則および全体の投資戦略の詳細を提示するとともに、以下のような戦略の様々な側面についてコメントを加える機会となります：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ESGファクター • 実体経済の影響 • 時間軸等 • ならびに、これらの各側面が戦略にどのような影響を及ぼしているか、および、戦略にどのような組み込まれているか。
<p>SG 01.5</p>	<p>この指標は、組織の投資ポリシーの全体的な概要を示し、以下のような問題に意見を述べる機会となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 責任投資を追求する動機。この項目には、以下に列記する理由の1つ以上が該当する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 投資の財務パフォーマンスを改善するため ○ 投資先企業の株主に対する結果責任を促進するため

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な資本市場を推進するとともに、投資を通じてシステミック・リスクの軽減を図るため ○ 組織が掲げるバリューや倫理基準を維持するため、または、国際的な法、規範またはガイドラインの遵守を促進するため ○ ESG 問題に関連する公共政策の変更を促進するため <ul style="list-style-type: none"> ● ポリシーの対象範囲 ● ポリシーの承認者 ● ポリシーを採用した時期および見直しの頻度 ● ポリシーの重要な例外事項 ● ポリシーの実施方法 ● ポリシーが対象とする具体的な ESG 問題。例えば、ポリシーが気候変動やその他 ESG のテーマをどのようにカバーしているのかについて説明いただいても構いません。 																		
ロジック																			
SG 01	<p>貴社が運用会社であり、かつ、[01.1]において「はい」と回答すると、指標 [01.2]、 [01.5]および[02] が適用されます。</p> <p>貴社が資産所有者であり、かつ、[01.1]において「はい」と回答すると、指標 [01.3]、[01.4]、[01.5]および[02]が適用されます。</p>																		
評価																			
SG 01	<p>評価は、[01.1] への回答に基づいて行われます。</p>																		
	指標採点方法																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">選択された回答</th> <th style="width: 20%;">スコア・レベル</th> <th style="width: 20%;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">ポリシーの構成要素</td> </tr> <tr> <td>RI ポリシーは策定していない</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大部分/全てのAUMをカバーするポリシーの構成要素の選択が一つの場合、または AUMの一部をカバーする選択が二つの場合</td> <td style="text-align: center;">★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大部分/全てのAUMをカバーする選択が二つの場合、または AUMの一部をカバーする選択が三つ以上場合</td> <td style="text-align: center;">★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大部分/全ての AUM をカバーする選択が三つ以上の場合</td> <td style="text-align: center;">★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	ポリシーの構成要素			RI ポリシーは策定していない	○		大部分/全てのAUMをカバーするポリシーの構成要素の選択が一つの場合、または AUMの一部をカバーする選択が二つの場合	★		大部分/全てのAUMをカバーする選択が二つの場合、または AUMの一部をカバーする選択が三つ以上場合	★★		大部分/全ての AUM をカバーする選択が三つ以上の場合	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細																	
ポリシーの構成要素																			
RI ポリシーは策定していない	○																		
大部分/全てのAUMをカバーするポリシーの構成要素の選択が一つの場合、または AUMの一部をカバーする選択が二つの場合	★																		
大部分/全てのAUMをカバーする選択が二つの場合、または AUMの一部をカバーする選択が三つ以上場合	★★																		
大部分/全ての AUM をカバーする選択が三つ以上の場合	★★★																		

SG 01	定義
投資ポリシー	<p>ここで言う「投資ポリシー」とは、組織における投資活動に関し包括的に述べたものを意味します。即ち、明示したミッションを組織としてどのように達成するか、そして、投資戦略をどのように構築するかに係るアプローチを明確に示すとともに、投資目標の概要を規定し、投資プロセスおよび達成度/パフォーマンスを測定する基準への手引きを提供するものです。また、投資ポリシーは、投資活動における責任投資または ESG 問題に対するアプローチについても規定することになります。</p>
実体経済への影響	<p>実体経済への影響とは、任意の投資が、財務収益に加え、環境、社会、ガバナンス等への影響を含む実体経済に、プラスかマイナスかは問わず、影響を及ぼす程度を意味します。</p>
投資戦略	<p>大まかな戦略計画を意味し、ポートフォリオに影響を及ぼす全ての長期的トレンドに関して留意すべき事項を包括的にまとめるとともに、利害関係者のために出来得る限り効率的に運用を行う方法を盛り込んだ戦略を意味します。</p>
投資原則	<p>(または、投資信念とも呼ばれています) 投資戦略の策定に役立つとともに、後に、当該戦略に沿った投資決定を行う上で役立つ明確かつ影響力の強い一組のステートメントをいいます。</p>

SG 02	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 6
-------	----------------	------------	-------------

SG 02	指標																																							
SG 02.1	一般に入手できる組織の投資ポリシー文書を記載してください。その文書の URL を記入し、該当文書を添付してください。																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #A6B8C9;"> <th style="width: 60%;">ポリシーまたは文書の名前</th> <th style="width: 20%;">URL</th> <th style="width: 20%;">添付文書（任意）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> ポリシーでは包括的アプローチを規定している</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 環境要因に関するガイドラインを正式に規定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 社会的要因に関するガイドラインを正式に規定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスに関するガイドラインを正式に規定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 資産クラス別の RI ガイドラインを正式に規定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> セクター毎の RI ガイドラインを規定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> スクリーニング/除外ポリシーの規定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> エンゲージメントポリシーの規定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> （委任状による）議決権行使に関するポリシー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (1) _____</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (2) _____</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資ポリシー文書を公表していません</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ポリシーまたは文書の名前	URL	添付文書（任意）	<input type="checkbox"/> ポリシーでは包括的アプローチを規定している			<input type="checkbox"/> 環境要因に関するガイドラインを正式に規定			<input type="checkbox"/> 社会的要因に関するガイドラインを正式に規定			<input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスに関するガイドラインを正式に規定			<input type="checkbox"/> 資産クラス別の RI ガイドラインを正式に規定			<input type="checkbox"/> セクター毎の RI ガイドラインを規定			<input type="checkbox"/> スクリーニング/除外ポリシーの規定			<input type="checkbox"/> エンゲージメントポリシーの規定			<input type="checkbox"/> （委任状による）議決権行使に関するポリシー			<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (1) _____			<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (2) _____			<input type="checkbox"/> 投資ポリシー文書を公表していません		
	ポリシーまたは文書の名前	URL	添付文書（任意）																																					
	<input type="checkbox"/> ポリシーでは包括的アプローチを規定している																																							
	<input type="checkbox"/> 環境要因に関するガイドラインを正式に規定																																							
	<input type="checkbox"/> 社会的要因に関するガイドラインを正式に規定																																							
	<input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスに関するガイドラインを正式に規定																																							
	<input type="checkbox"/> 資産クラス別の RI ガイドラインを正式に規定																																							
	<input type="checkbox"/> セクター毎の RI ガイドラインを規定																																							
	<input type="checkbox"/> スクリーニング/除外ポリシーの規定																																							
	<input type="checkbox"/> エンゲージメントポリシーの規定																																							
	<input type="checkbox"/> （委任状による）議決権行使に関するポリシー																																							
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (1) _____																																							
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (2) _____																																							
<input type="checkbox"/> 投資ポリシー文書を公表していません																																								
SG 02.2	一般に入手できる組織の投資ポリシー文書を記載してください。その文書の URL を記入し、該当文書を添付してください。																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #A6B8C9;"> <th style="width: 60%;">ポリシーの構成要素</th> <th style="width: 20%;">URL</th> <th style="width: 20%;">添付文書（任意）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 組織としての ESG や責任投資の定義ならびに投資との関連性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ESG ファクター/実体経済への影響を考慮に入れた投資目標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ESG の組み入れに向けたプロセス/アプローチ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資におけるタイムホライズン</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 組織としての ESG 関連責任に係るガバナンス体制</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ESG 組み込みアプローチ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 積極的な議決権行使に係るアプローチ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 報告</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 気候変動およびこれに関連する問題</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (1) _</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (2) _</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ポリシーの構成要素	URL	添付文書（任意）	<input type="checkbox"/> 組織としての ESG や責任投資の定義ならびに投資との関連性			<input type="checkbox"/> ESG ファクター/実体経済への影響を考慮に入れた投資目標			<input type="checkbox"/> ESG の組み入れに向けたプロセス/アプローチ			<input type="checkbox"/> 投資におけるタイムホライズン			<input type="checkbox"/> 組織としての ESG 関連責任に係るガバナンス体制			<input type="checkbox"/> ESG 組み込みアプローチ			<input type="checkbox"/> 積極的な議決権行使に係るアプローチ			<input type="checkbox"/> 報告			<input type="checkbox"/> 気候変動およびこれに関連する問題			<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (1) _			<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (2) _					
	ポリシーの構成要素	URL	添付文書（任意）																																					
	<input type="checkbox"/> 組織としての ESG や責任投資の定義ならびに投資との関連性																																							
	<input type="checkbox"/> ESG ファクター/実体経済への影響を考慮に入れた投資目標																																							
	<input type="checkbox"/> ESG の組み入れに向けたプロセス/アプローチ																																							
	<input type="checkbox"/> 投資におけるタイムホライズン																																							
	<input type="checkbox"/> 組織としての ESG 関連責任に係るガバナンス体制																																							
	<input type="checkbox"/> ESG 組み込みアプローチ																																							
	<input type="checkbox"/> 積極的な議決権行使に係るアプローチ																																							
	<input type="checkbox"/> 報告																																							
	<input type="checkbox"/> 気候変動およびこれに関連する問題																																							
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (1) _																																							
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (2) _																																							

投資ポリシー

	<input type="checkbox"/> 投資ポリシー文書を公表していません		
SG 02.3	組織の投資原則および全体の投資戦略が公表されているかどうかについて明示して下さい。		
	<input type="radio"/> はい、URL があります	<input type="radio"/> いいえ	
SG 02.4	補足情報 [任意]		

SG 02	説明		
SG 02.4	組織の責任投資ポリシーまたは責任投資に関連するその他のポリシーまたはガイドラインが一般に入手できない場合、将来公表する予定があるかどうか、あるいは公表する予定がない場合はその理由を記載することができます。		
ロジック			
SG 02	[01.1]で、貴社では、責任投資ポリシーを策定していると回答した場合に、指標[02.1]と[02.2]が適用されます。[01.2]で選択したオプションのみがこの指標において表示されます。		
評価			
SG 02	最大スコア： ★3つ この指標は、[02.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「投資ポリシー文書を公表していません」	●	
	一部の文書を公表しています	★★	
	全ての文書を公表しています	★★★	

SG 03	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 一般
-------	----------------	------------	----------

SG 03	指標		
SG 03.1	組織として、投資プロセスにおける潜在的な利益相反を管理するポリシーを策定しているかどうかについて明示して下さい。		
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">○ はい</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">○ いいえ</td> </tr> </table>	○ はい	○ いいえ
○ はい	○ いいえ		
SG 03.2	投資プロセスにおける潜在的な利益相反を管理するポリシーについて説明してください。		
SG 03.3	補足情報 [任意]		

SG 03	説明		
SG 03	この指標は ICGN のグローバルステewardship原則に沿っています。 利益相反は、顧客の利益が組織自身の利益と一致しない、または一致していないとみなされる場合に発生する可能性があります。これは、資産運用事業または事業のその他の部分のいずれかに関連していることがあります。 利益相反は、責任投資問題に関連しても起こることがあります。例えば、顧客の利益のために行動することは、投資家が企業の経営陣に反対する議決権を行使したり、その企業に関与しなければならないことを意味する一方、その企業の年金ファンドやその企業自身が投資家や投資家の親組織の顧客または潜在的顧客である場合があります。一部の市場では、投資家は規制または適正実施基準により、そうしたポリシーの設置を義務付けられています。この例として、米国、英国、南アフリカなどが挙げられます。		
ロジック			
SG 03	[03.1]において「はい」と回答すると、[03.2]が適用されます。		
評価			
SG 03	最大スコア： ★3つ この指標は、[03.1]への回答に基づいて評価されます。		
指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「いいえ」	0	

投資ポリシー

	「はい」	★★★	
--	------	-----	--

投資ポリシー

SG 04	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
-------	------------------	----------	----------

SG 04	指標
SG 04.1	組織では、ポートフォリオ対象企業において発生するインシデントの特定と管理を行うプロセスを設定しているかどうか明示して下さい。 ○ はい ○ いいえ
SG 04.2	インシデントを管理するプロセスを説明して下さい

SG 04	説明
SG 04.2	<p>ポートフォリオ内のESGインシデントをどのように規定のうえ、特定し、それらに対応しているか、それらのインシデントをどのようにクライアント/受益者に報告しているか、さらに、どのようなポリシーを設定し、それらインシデントを管理しているかについて説明されたい方もおられるかと思います。この指標は、貴社の業務において発生したインシデントに関する情報を把握するためのものではありません。</p> <p>報告年度に発生したインシデントの詳細、例えば、インシデントの種類、についても記載することができますし、また、管理、軽減策および報告戦略の具体例を記載いただいても結構です。</p> <p>例えば、インシデントには、ポートフォリオ対象企業における贈収賄スキャンダルや安全上の事故などが考えられます。</p>

セクション

目的および戦略

SG 05	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ/コア評価	原則 一般
-------	----------------	-------------------	----------

SG 05	指標					
SG 05.1	組織が責任投資活動に関して目的を設定して見直しを行っているかどうか、および、行っている場合にはその頻度を記載してください。					
	○ 四半期毎 かそれ以上	○ 半年毎	○ 毎年	○ 年1回以下	○ 適宜	○ 設定も見直しもしていない
SG 05.2	補足情報（任意）					

SG 05	説明		
SG 05	考えられる目的の例としては、指標[07]の手引きをご覧いただければ、組織の目的をより詳細に記載することができます。		
ロジック			
SG 05	SG 05.1で、「設定も見直しもしていない」以外のものを選択すると、[06]が適用されます。		
評価			
SG 05	<p>最大スコア： ★3つ</p> <p>この指標では、[05.1]で質問された目標が設定されているかどうか、および、その見直し頻度について評価します。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「設定も見直しもしていない」	0	
	「適宜」または「年一回以下」	★★	
	「毎年」、「半年毎」または「四半期毎かそれ以上」	★★★	

SG 06	指標のステータス 任意	目的 追加評価	原則 一般
-------	----------------	------------	----------

SG 06	指標			
SG 06.1	報告年度に組織として設定している責任投資の主な目的を挙げてください。			
	テーマ	責任投資の目的	主要パフォーマンス指標 (KPI)	進捗状況
	責任投資プロセス	<input type="checkbox"/> ESG組み入れの研修を行う		
		<input type="checkbox"/> ESGエンゲージメントの研修を行う		
		<input type="checkbox"/> 組織内におけるESG活動に関する意思疎通の向上を図る		
		<input type="checkbox"/> エンゲージメントを向上させ、ESG問題の管理について変革を促す		
		<input type="checkbox"/> 投資決定プロセスへのESG組み入れ向上を図る		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (1)		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (2)		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） (3)		
	投資に係る財務業績	<input type="checkbox"/> ESGファクターの考慮によるポートフォリオ業績の向上		

		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（1）		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（2）		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（3）		
	投資のESG特性	<input type="checkbox"/> ESG特性に基づき企業をオーバーウェイトまたはアンダーウェイトする		
		<input type="checkbox"/> ポートフォリオのESG格付けの向上		
		<input type="checkbox"/> ポートフォリオに対し炭素削減目標値を設定する		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（1）		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（2）		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（3）		
その他の活動	<input type="checkbox"/> RI イニシアチブへの参加や参画			
	<input type="checkbox"/> 他の人々にRIイニシアチブへの参加を促す			
	<input type="checkbox"/> ベストプラクティスのケーススタディの文書化			
	<input type="checkbox"/> ケーススタディを使って、エンゲージメントとESG組み入れの効果を顧客に実証する			
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（1）			

		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（2）		
		<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください）（3）		
SG 06.2	補足情報 [任意]			

SG 06	説明
SG 06	<p>組織が自身のために設定する責任投資の目的には、以下の項目に関連している場合があります：</p> <ul style="list-style-type: none"> 責任投資プロセス（例：エンゲージメント活動の記録の改善。この場合主要パフォーマンス指標は新規データベースの設定となります） 運用成績（例：特定のESG特性を持つ企業をオーバー/アンダーウェイトすることでポートフォリオのパフォーマンスを高める。この場合、主要パフォーマンス指標はそれらの企業の株価の変動でもあります） 投資のESG特性 - 例：ESG問題の管理を具体的な形で変更するよう説得するため該当企業と協働する。ここでのKPIはこの変更の導入になります。また、投資において、気候変動に取り組むなどの各種取り組みも含めることができます（例えば、ポートフォリオの二酸化炭素排出量の測定など） その他の活動 - 例：特定の協働イニシアチブへの参加。この場合のKPIはイニシアチブへの参加になります 能力やリソース - 例：運用スタッフに対するESG研修の実施。この場合のKPIは研修の実施になります。
ロジック	
SG 06	SG05.1で、「設定も見直しもしていない」以外のものを選択すると、[06]が適用されます。

セクション

ガバナンスおよび人事

SG 07	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 一般
-------	----------------	------------	----------

SG 07	指標			
SG 07.1	組織にある役職、それぞれについて責任投資を監督や実施する責任があるかどうかを記載してください。			
	組織にある役職	RIの監督責任 および説明責任	RIの実施	RIに責任を負う 役職はない
	<input type="checkbox"/> 取締役会メンバーまたは トラスティー（受託者）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 最高経営責任者（CEO）、最 高投資責任者（CIO）、投資委 員会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> その他の最高幹部レベルの スタッフまたは部門長 （具体的に記入してください） _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオマネージャ ー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ESG ポートフォリオマネー ジャー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 投資アナリスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 専任の責任投資担当者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 組織外の運用会社またはサ ービスプロバイダー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 投資者関係（IR）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> その他の役職（具体的に記 入してください） _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> その他の役職（具体的に記 入してください） _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SG 07.2	RIの監督/説明責任または実施責任を担う役職について、このような責任をどのように果たすの か記載してください。			

SG 07.3	組織にいる専任の責任投資担当者の人数を記載してください。 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>										
SG 07.4	補足情報 [任意]										
SG 07	説明										
SG 07	<p><u>指標 [SG 7.1]はOECD 機関投資家に対する責任あるビジネス行動の提言に沿っています。</u> <u>指標 [SG 7.1]]および[SG 7.3]はICGNのグローバルステewardシップ原則に沿っています。</u></p> <p>この指標は、組織内で行われている業務と、組織のために第三者が実施している業務（議決権行使、調査など）に関連しています。左の欄には、責任投資に関する監督/説明責任または実施の責任があるかどうかにかかわらず、組織にある役職の種類を表示してください。</p> <p><i>監督および実施については、以下のように定義しています。</i></p> <p>監督に責任を負う個人とは、組織がそのポリシーを実行し、責任投資のパフォーマンスにおける目的や目標の達成を確実にするために、運営やガバナンスを行う個人を指します。</p> <p>実施に責任を負う個人とは、ESG 関連調査の実施、投資戦略への ESG 問題の組み入れ、保有株式の議決権行使、企業や政策担当者への関与など、組織の責任投資の特定の側面を実施する責任を負います。</p> <p>組織が責任投資活動を監督する方法に関連し、以下の事項を含めることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会および経営陣の役割および責任 ● 正式な監督または諮問機関（顧客/受益者/組織外の専門家の諮問グループなど） ● 日常業務における責任投資の責任者 ● 責任投資のパフォーマンスの評価および検討方法 <p>この情報には組織図を含めることができます。</p>										
ロジック											
SG 07.1	ここで組織内の個人が責任投資に関連する監督/結果責任または実施の責任を負っていると報告する場合、指標[07.1]のその役職に関連する部分が適用されます。 SG 07.1で選択する役割はSG 08.1に適用されます。										
評価											
SG 07	<p>最大スコア： ★ 3つ</p> <p>この指標では、組織にRIの監督/説明責任を負う個人、RIを実施する個人がいるかどうかを評価します。リストされた役職のすべてが最高スコアを獲得する必要はありません。専任のRIスタッフによる実施とその他の組織内外の役職による実施にはスコアに違いは生じません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4" data-bbox="368 1742 1450 1794">指標採点方法</th> </tr> <tr> <th data-bbox="368 1794 863 1850">選択された回答</th> <th data-bbox="863 1794 1166 1850">スコア・レベル</th> <th colspan="2" data-bbox="1166 1794 1450 1850">詳細</th> </tr> </table>			指標採点方法				選択された回答	スコア・レベル	詳細	
指標採点方法											
選択された回答	スコア・レベル	詳細									

ガバナンスおよび人事

	責任投資の実施または監督は行っていない	○	
	全てのレベルで実施しているが監督は行っていない	★	
	取締役会、CEO、CIOまたは投資委員会 よりも下のレベルで監督を行っており、かつ、全てのレベルで実施している	★★	
	取締役会、CEO、CIOまたは投資委員会のレベルで監督を行っており、かつ、全てのレベルで実施している	★★★	

SG 07	定義
専任の責任投資担当者	専任の責任投資/ESG担当者とは、大半の時間を責任投資/ESG業務（監督または実施のいずれか）に充てている個人を指します。

SG 08	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 一般
-------	------------------	------------	----------

SG 08	指標				
SG 08.1	組織のパフォーマンス管理、報奨や個人の能力開発プロセスに責任投資の要素があるかどうかを記載してください。				
		目的にRIの KPI / 目標が 含まれている	査定プロセスに RIが含まれてい る	報酬がRIのパフ ォーマンスに連動す る	個人の能力開発/ 研修計画にRIが 含まれている
	取締役会メンバーまたは トラスティ（受託者）	該当なし	該当なし	該当なし	<input type="checkbox"/>
	最高経営責任者 （CEO）、最高投資責任 者（CIO）、投資委員会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他の最高幹部レベ ルのスタッフまたは部 門長 具体的に記入してくださ い _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ポートフォリオ マネージャー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG ポートフォリオ マネージャー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	投資アナリスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	専任の責任投資担当者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	投資者関係（IR）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他の役職 [SG 07から]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他の役職 [SG 07から]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SG 08.2	報告年度に取締役が責任投資に関連したスキルや知識を開発し、維持するために行った活動について説明してください。				

SG 08.3	組織の責任投資に関連したパフォーマンス管理、報奨や個人の能力開発プロセスについて詳細を説明してください。
SG 08.4	投資決定プロセスへの ESG 要因の組み入れに関取締役会メンバー/受託会社/チーフ・レベルのスタッフの経験レベルについて記載して下さい。

SG 08	説明
SG 08	<p><u>指標 [SG 8.1] は OECD 機関投資家に対する責任あるビジネス行動の提言および ICGN のグローバルスタンダードシップ原則に沿っています。</u></p> <p>この指標は、責任投資が組織のパフォーマンス管理システムにどのように組み入れられているかについて情報を提供する機会となります。</p> <p>パフォーマンスを評価するためにどのような KPI が使用され、こうした KPI が組織の責任投資の目的や目標とどのように関連しているか、こうした KPI に対するパフォーマンスがどのように評価されるか、パフォーマンスが報酬体系やその他の報奨制度にどのように組み入れられているか、能力開発および学習のニーズがどのように特定され、対応されているかについて、詳しい情報を含めることができます。</p> <p>KPI はまた、責任投資プロセスにも関連している場合があります。例えば、特定の資産クラスの責任投資ポリシーを策定または実施したり、責任投資のパフォーマンス、投資の ESG 特性、活動を運用成績に関連付けて責任投資を促進したり（特定の協働イニシアチブ参加など）、能力やリソースを構築する（投資アナリストへの ESG 研修など）ことが挙げられます。能力開発および学習のニーズは、特定の ESG 問題やより全般的な責任投資活動やアプローチについての知識の構築などに関連している場合があります。</p> <p>組織の責任投資に対する知識や能力の開発を目指す開発計画には公式または非公式の研修が含まれます。公式の研修には、大学、Sustainable Investment Professional Certification (SIPC) や Responsible Investment Academy of Australia (RIAA) が提供する研修コースへのウェブ上または実際の参加などがあります。非公式の研修には、コンファレンスや説明会への出席、メンタースキームへの参加などがあります。</p>
	ロジック
SG 08	[07.1]で、組織内の個人が責任投資に関連する監督/結果責任または実施責任を負っていると報告した場合に、指標[08.1]のその役職に関連する部分が適用されます。

	この指標では、[08.1]で「取締役/理事会の個人能力開発や研修計画に責任投資が含まれている」と報告すると、[08.2]が適用されます。		
評価			
SG 08	<p>最大スコア：★6つ</p> <p>この指標では、[08.1]の2つの部分を別々に評価し、まず、監督責任または実施責任を負う個人の目標、査定や報酬にRIが盛り込まれているかどうかについて評価を行い、最高で★3つが与えられます。</p> <p>次に、RIが監督責任または実施責任を負う個人を対象とする自己啓発や研修計画に織り込まれているかどうかを評価し、最高で★3つが与えられます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「上記のいずれにも盛り込まれていない」	○	
	監督責任または実施責任を負う個人の目標、査定や報酬にRIが盛り込まれている	★★	これは、いずれかの要素または全ての要素どちらでもよい。
	監督責任および実施責任を負う個人の目標、査定や報酬にRIが盛り込まれている	★★★	これは、いずれかの要素または全ての要素どちらでもよい。
	責任投資（RI）が自己啓発や研修計画に織り込まれている		
	上記のいずれにも織り込まれていない	○	
	監督責任または実施責任を負う個人の33%以下	★	パーセンテージは、SG 07.1で選択された監督責任または実施責任を負う役職の数を分母とし、SG 08.1で選択された役職数（を分子として計算します）。
	監督責任または実施責任を負う個人の34%から65%	★★	同上
監督責任または実施責任を負う個人の66%から100%	★★★	同上	

セクション

責任投資の促進

SG 09	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 4、5
-------	----------------	------------	---------------

SG 09	指標		
SG 09.1	報告年度に組織がメンバーであったり、参加していた協働組織やイニシアチブ、ならびにそこで組織が果たした役割のレベルを選択してください。		
	協働組織/イニシアチブ	イニシアチブにおける組織の報告年度の役割（定義を参照）	組織のイニシアチブへの関与の割合について、簡単に説明してください。 [任意]
	<input checked="" type="checkbox"/> 責任投資原則（PRI）	基本、中程度、高度 [ドロップダウン]	
	<input type="checkbox"/> アジアコーポレート・ガバナンス協会	[同上]	
	<input type="checkbox"/> オーストラリア退職年金投資家協会（ACSI）	[同上]	
	<input type="checkbox"/> AFIC - La Commission ESG	[同上]	
	<input type="checkbox"/> BVCA - 責任投資諮問委員会	[同上]	
	<input type="checkbox"/> CDP気候変動	[同上]	
	<input type="checkbox"/> CDPフォレスト	[同上]	
	<input type="checkbox"/> CDPウォーター	[同上]	
	<input type="checkbox"/> CFA協会（CFA Institute Centre for Financial Market Integrity）	[同上]	
	<input type="checkbox"/> SAの責任投資規範（CRISA）	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 21世紀金融行動原則	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 機関投資家協会（CII）	[同上]	
	<input type="checkbox"/> Eumedion	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 採取産業透明性イニシアチブ（EITI）	[同上]	
	<input type="checkbox"/> ESG調査オーストラリア	[同上]	
<input type="checkbox"/> EVCA - 責任投資ラウンドテーブル	[同上]		
<input type="checkbox"/> グローバル投資家ガバナンスネットワーク（GIGN）	[同上]		
<input type="checkbox"/> グローバルインパクト投資ネ	[同上]		

責任投資の促進

	ネットワーク (GIIN)		
	<input type="checkbox"/> グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク (GRESB)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> グリーン・ボンド原則 (Green Bond Principles)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 気候変動に関する機関投資家グループ (IIGCC)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 企業責任宗派連合センター (ICCR)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 国際コーポレートガバナンスネットワーク (ICGN)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 気候変動に関する投資家グループ (IGCC) オーストラリア/ニュージーランド	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 国際統合報告評議会 (IIRC)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 気候変動リスクに関する投資家ネットワーク (INCR) /GERES	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 地方自治体年金基金フォーラム	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 持続可能な保険原則 (PSI)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 地域または国の社会的投資フォーラム (UKSIF、Eurosif、ASrIA、RIAA、US SIFなど) ; 具体的に記入してください	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 包括的金融における責任金融原則	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 研究・教育のための株主協会 (Share)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> 国連グローバル・コンパクト	[同上]	
	<input type="checkbox"/> その他の協働組織/イニシアチブ (具体的に記入してください)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> その他の協働組織/イニシアチブ (具体的に記入してください)	[同上]	
	<input type="checkbox"/> その他の協働組織/イニシアチブ (具体的に記入してください)	[同上]	

責任投資の促進

	□ その他の協働組織/イニシアチブ（具体的に記入してください）	[同上]	
SG 09.2	指標の位置づけ	目的	原則
	報告義務	記述的	PRI 1
	自主開示		
	外部管理資産のおよそ何パーセント（+/- 5%）が PRI 署名者によ管理されているかを記入してください。		
	<input type="text"/>	%	

SG 09	説明		
SG 09	<p><u>指標 [SG 9.1] は OECD 機関投資家に対する責任あるビジネス行動の提言に沿っています。</u></p> <p>全署名者に対し「責任投資の原則」オプションが事前入力されています。</p> <p>あるいは、リストに記載されていない組織やイニシアチブを追加することもできます。</p> <p>ここには、特定の企業との協働エンゲージメントによって組織をサポートすることだけを目的とするイニシアチブや協働への関与については記載しないでください。これらに関する情報は、各資産クラスのマジュールのエンゲージメントセクションに記載してください。</p> <p>尚、サービスプロバイダーがメンバーとなっているまたは報告年度中に参加した協働的組織やイニシアチブについては報告しないようにして下さい。</p> <p>次の指標である SG 10 において、責任投資を促進するさらなるイニシアチブおよび措置について報告することができます。</p>		
	SG 09.2	これらの数字は、PRI の公的なコミュニケーション目的で、署名者の AUM の二重計算の範囲を縮小するために使用されます。このパーセンテージには価値判断はなく、得点/評価方法の一部としては使用されません。	
評価			
SG 09	最大スコア: ★3つ		
	この指標は、責任投資を促進する協働組織やイニシアチブへの署名者の関与を評価するものです。数多くの組織やイニシアチブに関与するよりも、関与のレベルが高い方が高い評価になります。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細

責任投資の促進

	「いいえ」または PRIの「基本的役割」のみ	○	
	いずれかのイニシアチブにおいて基本的役割を担っている	★	PRIに加えて
	いずれかのイニシアチブにおいて中程度の役割を担っている	★★	
	いずれかのイニシアチブにおいて高度な役割を担っている	★★★	

SG 09	定義
基本的な役割	<p>これらの活動の少なくとも1つが組織に該当する場合、このカテゴリを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イニシアチブに参加または署名 • 参加者としてカンファレンスに出席 • イニシアチブが組織した、進捗を報告する1つまたは2つの会議に出席した
中程度の役割	<p>これらの活動の少なくとも1つが組織に該当する場合、このカテゴリを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イニシアチブの 公式の 広報担当者として、状況に応じて活動した • ポリシー説明書や共同声明を作成し、イニシアチブの推進にある程度参加した • 組織に貢献した、またはイニシアチブが組織したイベントの内容に貢献した
高度な役割	<p>これらの活動の少なくとも1つが組織に該当する場合、このカテゴリを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポリシー説明書や共同声明を作成し、イニシアチブにおいて主導的役割を果たした • イニシアチブの公式の広報担当者として定期的に行動し、積極的にイニシアチブを推進した • 基本的なメンバー会員の義務だけでなく、イニシアチブの重要な運営、コンテンツ開発や財政的支援を行った

責任投資の促進

SG 10	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 4
-------	----------------	------------	-------------

SG 10	指標		
SG 10.1	組織が、協働的イニシアチブとは別に、独自に責任投資を推進しているかどうかについて記載して下さい。		
	○ している	○ していない	
SG 10.2	組織が協働的イニシアチブとは別に、独自に責任投資を推進するために行っているものを明示して下さい。選択した行動の目的に貢献するために組織が果たす役割と通常の行動頻度について説明して下さい。		
	責任投資を推進するために行っていること	説明	行動の頻度
	<input type="checkbox"/> 顧客、運用会社、ブローカー/ディーラー、投資コンサルタント、法務アドバイザーまたはその他の投資組織向けの教育または研修プログラム（同僚間の支援を含む）を提供した、または支援した。		[DROPDOWN メニューを作成] 四半期ごともしくはもっと頻繁 半年に一度 一年に一度 一年以上に一度 適時 その他、具体的に説明
	<input type="checkbox"/> 責任投資に関する学術的な研究または業界の調査に金銭的支援を提供した。		同上
	<input type="checkbox"/> 責任投資に関する学術的な研究にインプットを提供した、または協働した。		同上
	<input type="checkbox"/> 投資業界全般にわたる責任投資の実践の透明性や開示の向上を奨励した。		同上
	<input type="checkbox"/> 責任投資を促進するために、イベントやカンファレンスで公式に発言した。		同上
	<input type="checkbox"/> 責任投資に関する調査を組織内で執筆し、発行した。		同上

責任投資の促進

	<input type="checkbox"/> PRIの採用を奨励した。		同上
	<input type="checkbox"/> 政府機関以外（OECD, FSB等）からの責任投資に関する問い合わせに回答した。		同上
	<input type="checkbox"/> メディアに責任投資に関する記事を書いた。		同上
	<input type="checkbox"/> アドバイザリー・コミッティPRIアドバイザリー・コミッティPRIアドバイザリー・コミッティやワーキンググループのメンバーである。（具体的に記載してください） _____		同上
	<input type="checkbox"/> 責任投資組織の理事として、または他の責任投資組織（例：地元SIFs）のアドバイザーである。		同上
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） _____		同上
SG 10.3	組織が責任投資の推進のために、報告年度中に参加した追加の活動およびイニシアチブがあれば、それらを記載して下さい。		

SG 10	説明
SG 10.2	責任投資を促進するために果たした役割について説明してください。どの講演を行ったイベント、実施した教育および対象者、資金を提供しその結果が刊行された研究についての情報、どのようにして開示向上等を促したかについて説明してください。より良い開示をどのように奨励したか等について説明してください。 「行動頻度」は、たとえばワーキンググループやアドバイザリー・コミッティに会合や成果物へのフィードバックとして意見を提供する頻度などと考えられます。
SG 10.3	ここで提供いただく情報には、報告年度中に参加したものでSG 09.2にリストアップされていないものがあれば、追加の活動およびイニシアチブとして含めることができます。さらに、あなたが取り組んだテーマについても詳細を記載することができます。例えば、投資における気候変動または平等性と多様性、税の透明性および人権といったその他のESGテーマに対する説明責任な

責任投資の促進

	<p>どが挙げられます。加えて、ESG問題の内、特定のE、SやG問題を主として推進しているかどうかについても説明することができます。</p> <p>組織が参画している各種活動およびイニシアチブの概要を掲載するURL/ウェブサイトを提示されたい方もおられるかもしれません。</p> <p>尚、サービスプロバイダーが貴社の為だけに行っている単一のイニシアチブでない限り、サービスプロバイダーが貴社に代わって行っている活動やイニシアチブについては報告しないようにして下さい。</p>		
ロジック			
SG 10	[10.1]で「している」と回答した場合には、[10.2]についてもご回答ください。		
評価			
SG 10	<p>最大スコア： ★3つ</p> <p>この指標では、協働的イニシアチブとは別にRIを独自に推進しているかどうか[10.1]そしてどのような活動を行ったか[10.2]を評価します。</p>		
	指標採点不法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「していない」	○	
	「している」かつ活動数は2件以下	★★	
「している」かつ活動数が3件以上	★★★		

SG 11	<p>指標のステータス</p> <p>自主開示</p>	<p>目的</p> <p>追加評価</p>	<p>原則</p> <p>4、5、6</p>
--------------	-----------------------------	-----------------------	------------------------

責任投資の促進

SG 11	指標													
SG 11.1	<p>報告年度において、責任投資を支援するために、組織が単独で、あるいは他組織との協働により、政策立案者や規制当局との対話を行ったかどうかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> はい、但し、単独で行った</p> <p><input type="checkbox"/> はい、但し、他組織との協働により行った</p> <p><input type="checkbox"/> 「いいえ」の場合には、その理由を説明して下さい _____</p>													
SG 11.2	<p>使用した方法を選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 他者が策定した書面に署名し、政府、規制当局または政策立案者に提出した</p> <p><input type="checkbox"/> 自身が草案を作成した書面を政府、規制当局または政策立案者に提出した</p> <p><input type="checkbox"/> 政府関係者または高官と政策について協議するための対談に参加した</p> <p><input type="checkbox"/> その他（具体的に記入してください） _____</p>													
SG 11.3	<p>（単独でまたは協働により）政府または規制当局に書面を提出した場合、その書面が一般に入手できるかどうかを記載してください。</p> <table border="1" data-bbox="368 936 1450 1126"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="368 936 900 987">一般に入手できる</th> <th data-bbox="900 936 1450 987">URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 987 624 1126">○ 入手できる</td> <td data-bbox="624 987 900 1126">○ 入手できない</td> <td data-bbox="900 987 1450 1032"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="900 1032 1450 1077"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="900 1077 1450 1126"></td> </tr> </tbody> </table>		一般に入手できる		URL	○ 入手できる	○ 入手できない							
一般に入手できる		URL												
○ 入手できる	○ 入手できない													
SG 11.4	<p>組織が公共政策立案者または規制当局と話し合いを行った主なテーマの概略を記載して下さい。</p>													

SG 11	説明										
SG 11	<p>指標 [SG 11. 1]]および[SG 7. 3]は ICGN のグローバルステewardシップ原則に沿っていません。</p> <p>これらの活動の例には、政府機関、規制当局、基準の立案者との政策問題についての直接の対話、他の行動者の公共政策に関する対話の支援、特定の ESG 問題（気候変動、水資源、役員報酬など）についての情報提供、公共政策問題（企業のサステナビリティ報告の義務化など）に関する意見の説明、責任投資に関する情報のより広範な提供があります。</p>										
SG 11.2	<p>政府、規制当局、基準の立案者が実施した市民協議にフィードバックを提供した場合、「自身が草案を作成した書面を政府、規制当局または政策立案者に提出した」を選択してください。</p>										
SG 11.4	<p>ここに、対話のトピックを記載することができます。これらは、気候変動、エネルギー、サステナビリティ、温室効果ガス排出および二酸化炭素排出量、または、その他社会的およびガバナンス要因などが考えられます。公共政策に関する対話を行っていない場合は（規制による制限のため関与が許可されていない、またはそうしたエンゲージメントは組織のリソースの慎重な活用であると考えていない場合）、それについてここで説明していただいても結構です。</p>										
ロジック											
SG 11	<p>[11. 1]において「単独で行った」もしくは「他組織との協働で行った」と報告した場合には、[11. 2]および[11. 3]が適用されます。</p>										
評価											
SG 11	<p>最大スコア： ★3つ</p> <p>この指標は、署名者が責任投資を支援するために公共政策や基準の立案者との対話を行ったかどうかについて評価します。これが個別に行われたか、他者との協働を通じて行われたかはスコアには影響しません。</p>										
	<p>指標採点方法</p>										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「いいえ」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「はい」</td> <td>★★★</td> <td>★3つを得るには、署名者は、少なくとも、10. 2、10. 3 または 10. 4 の一部についても回答していなければなりません。</td> </tr> </tbody> </table>		スコア・レベル	詳細	「いいえ」	○		「はい」	★★★	★3つを得るには、署名者は、少なくとも、10. 2、10. 3 または 10. 4 の一部についても回答していなければなりません。
		スコア・レベル	詳細								
「いいえ」	○										
「はい」	★★★	★3つを得るには、署名者は、少なくとも、10. 2、10. 3 または 10. 4 の一部についても回答していなければなりません。									

セクション

フィデューシャリー・マネジャーや投資コンサルタントへの外部委託

SG12	指標									
SG12.1	あなたの組織では、投資コンサルタントを使用しているかどうかを明示してください。									
	<input type="checkbox"/> はい、投資コンサルタントを使用している。 <input type="checkbox"/> いいえ、投資コンサルタントを使用していない。									
SG12.2	組織では、外部運用会社の選定、指名やモニタリングにおいて投資コンサルタントを使用しているかどうかを明示してください。									
		上場株式 (LE)	債券 - SSA	債券 - 社債 (金融)	債券 - 社債 (非金融)	債券 - 証券化	未公開株式 (プライベートエクイティ) (PE)	インフラ (INF)	不動産 (PR)	その他の資産クラス
	<input type="checkbox"/> 外部運用会社の選定および指名の際に投資コンサルタントを使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 外部運用会社のモニタリングに投資コンサルタントを使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> いいえ、外部運用会社の選定、指名やモニタリングにおいて投資コンサルタントを使用していない。									
SG12.3	組織では、投資コンサルタントの選定、指名やレビュー・プロセスにおいて責任投資を考慮しているかどうかを明示してください。									

責任投資の促進

	<p><input type="checkbox"/> 投資コンサルタントの選定プロセスにおいて、投資コンサルタントの投資理念、戦略や方針を評価する際に責任投資を考慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 投資コンサルタントの選定プロセスにおいて、投資コンサルタントの責任投資に対する公約や推奨活動を考慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 運用会社の選定、指名およびモニタリングプロセスにおいて、投資コンサルタントによる運用会社の評価、調査および推薦した内容を評価するにあたり、責任投資を考慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 運用会社の選定、指名およびモニタリングプロセスにおける責任投資に関するコンサルタントの責任範囲をコンサルタントとの契約書に盛り込んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 運用会社の選定およびパフォーマンスのモニタリングに関する投資コンサルタントからの助言を精査する際に、責任投資を考慮していない。</p>																
<p>SG12.4</p>	<p>組織が下記のサービスについて投資コンサルタントを利用しているかどうかを記載してください。これらのサービスについてどのような責任投資要素が含まれるのか説明してください。</p> <table border="1" data-bbox="375 745 1362 1261"> <thead> <tr> <th data-bbox="375 745 874 835">投資コンサルタントのサービス</th> <th data-bbox="874 745 1362 835">どのような責任投資要素が含まれるのか説明してください。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="375 835 874 896"><input type="checkbox"/> 保管（カストディアン）サービス</td> <td data-bbox="874 835 1362 896"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 896 874 956"><input type="checkbox"/> 投資方針の開発</td> <td data-bbox="874 896 1362 956"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 956 874 1016"><input type="checkbox"/> 資産配分戦略</td> <td data-bbox="874 956 1362 1016"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1016 874 1077"><input type="checkbox"/> 投資リサーチ</td> <td data-bbox="874 1016 1362 1077"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1077 874 1137"><input type="checkbox"/> その他、具体的に(1) ____</td> <td data-bbox="874 1077 1362 1137"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1137 874 1198"><input type="checkbox"/> その他、具体的に(2) ____</td> <td data-bbox="874 1137 1362 1198"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1198 874 1261"><input type="checkbox"/> その他、具体的に(3) ____</td> <td data-bbox="874 1198 1362 1261"></td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="radio"/> 上記のいずれも該当なし。</p>	投資コンサルタントのサービス	どのような責任投資要素が含まれるのか説明してください。	<input type="checkbox"/> 保管（カストディアン）サービス		<input type="checkbox"/> 投資方針の開発		<input type="checkbox"/> 資産配分戦略		<input type="checkbox"/> 投資リサーチ		<input type="checkbox"/> その他、具体的に(1) ____		<input type="checkbox"/> その他、具体的に(2) ____		<input type="checkbox"/> その他、具体的に(3) ____	
投資コンサルタントのサービス	どのような責任投資要素が含まれるのか説明してください。																
<input type="checkbox"/> 保管（カストディアン）サービス																	
<input type="checkbox"/> 投資方針の開発																	
<input type="checkbox"/> 資産配分戦略																	
<input type="checkbox"/> 投資リサーチ																	
<input type="checkbox"/> その他、具体的に(1) ____																	
<input type="checkbox"/> その他、具体的に(2) ____																	
<input type="checkbox"/> その他、具体的に(3) ____																	
<p>SG12.5</p>	<p>組織では、フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングにおいて以下の責任投資要因のいずれかを考慮しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> パフォーマンスレビュー・ミーティングで責任投資を定例の議題の一つとして含めている。</p> <p><input type="checkbox"/> フィデューシャリー・マネジャーが、責任投資および ESG 問題に関する組織の全体的な投資信条を踏まえて職務を遂行しているかどうかについて議論している。</p> <p><input type="checkbox"/> フィデューシャリー・マネジャーの PRI 透明性報告書または評価報告書を精査している。</p> <p><input type="checkbox"/> フィデューシャリー・マネジャーの責任投資報告書を精査している (PRI が作成した報告書を除く)。</p> <p><input type="checkbox"/> フィデューシャリー・マネジャーがポートフォリオを構築するにあたり、適用している ESG 要素や特徴を精査している。</p>																

責任投資の促進

	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> フィデューシャリー・マネジャーが資産クラスすべてに適用している ESG 実現のためのアプローチを精査している。 <input type="checkbox"/> ESG 問題が財務業績に及ぼす影響を精査している。 <input type="checkbox"/> 責任投資イニシアティブ/組織への参画、または他の投資家との協働的プロジェクトへの参加をフィデューシャリー・マネジャーに働き掛けている。 <input type="checkbox"/> 責任投資基準を、フィデューシャリー・マネジャーの全体的なパフォーマンス評価の正式な構成要素の一つとして含めている。 <input type="checkbox"/> フィデューシャリー・マネジャーが外部運用会社の選定、指名およびモニタリングの際に適用している ESG 要素を精査している。 <input type="checkbox"/> フィデューシャリー・マネジャーが、ESG の重要度をどのように定義しているのかを精査している。 <input type="checkbox"/> 組織が行うモニタリングのその他一般的な側面（具体的に記入してください） _____ <input type="radio"/> フィデューシャリー・マネジャーの評価に当たり、責任投資を考慮していません。
SG12. 6	<p>フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングを行うにあたって組織が取っているアプローチ、およびこのアプローチを選択した理由について説明してください。</p> <p>[任意]</p>
SG12. 7	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

SG12	説明
SG12	<p>投資コンサルタントやフィデューシャリー・マネジャーは運用会社の選定、指名およびモニタリングや戦略的な資産配分において重要な役割を果たすことができます。それゆえ、責任投資の推進と進展に極めて大きな貢献をすることができます。この指標を使って、組織は、投資コンサルタントやフィデューシャリー・マネジャーと協力して責任投資を推進しているかどうか、そして、している場合には、どのように協力し合っているかを説明してください。サブ指標では、組織が、選定、指名およびモニタリングプロセスにおいて、投資コンサルタント/フィデューシャリー・マネジャーの責任投資実行能力をどのように検討し、また、どの程度まで考慮しているかを捕捉します。</p>
SG12. 2	<p>このサブ指標では、外部運用会社の選定およびモニタリングにおいて、資産コンサルタントを使用しているかどうかを捕捉することを目的としています。但し、このサブ指標では、<u>資産コンサルタントを使って責任投資を実施しているかどうか</u>までは対象としていません。これについては、SG12. 3 のサブ指標で捕捉します。</p>
SG12. 2	<p>この指標のオプションのいずれかを選ぶと、責任投資の実施の一部が投資コンサルタントを通じて行われていることとなります。</p> <p>「その他の資産クラス」オプションには、農地、森林、ヘッジファンド、現金等々が含まれます。組織の概要(00)モジュールで、これらのカテゴリのいずれかで（組織外で）運用している資産があると報告すると、この指標が適用されます。</p>
SG12. 4	<p>ここでは、組織が投資コンサルタントに ESG 問題を考慮したサービスを求めるのかにどうかを含めることができます。また、責任投資に係わるサービスの内、そこまでを投資コンサルタントに外部委託しているのか、たとえば、そのサービスの全般または特定のサービスのみに要求するのかについての説明を含めることができます。</p>

責任投資の促進

SG12. 5	このサブ指標では、組織がフィデューシャリー・マネジャーのモニタリングにおいて責任投資をどのように考慮しているかを捕捉することを目的としています。		
SG12. 7	これには、フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングプロセスに関するより詳細な説明、または、フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングを行わない理由の説明を含めることができます。		
ロジック			
SG12	<p>[SG12. 1] に「投資コンサルタントを使用している」と回答すると、[SG12. 2]および[SG12. 4]が適用されます。</p> <p>[SG12. 2] に「外部運用会社の選定、指名やモニタリングにおいて投資コンサルタントを使用している」と回答すると、[SG12. 3]が適用されます。</p> <p>[00 05. 2] に「フィデューシャリー・マネジャーを使用している」と回答すると、[SG12. 5]および[SG12. 6]が適用されます。</p> <p>[SG12. 2]で提示される資産クラスは「組織概要 (00)」において、開示した情報により異なります。たとえば、債権 SSA は、[00 05. 1]で債権を保有していると回答し、[00 07. 1]で SSA に回答し、[00 12. 1]を自主的に選んだ場合に、質問に提示されます。</p>		
評価			
SG12	<p>最高スコア：資産クラス毎に★ 3つ</p> <p>この指標は、[12. 3]、[12. 5]への回答に基づいて評価されます。</p> <p>投資コンサルタントまたはフィデューシャリー・マネジャーを使用していない組織はこの指標では評価されません。</p> <p>この指標のスコアは運用会社の選定、指名およびモニタリングのモジュールの全般的なスコアに反映されます。</p>		
指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	SG12.1 で「いいえ、投資コンサルタントもフィデューシャリー・マネジャーも使用していない」、または、SG12.1 で「はい、投資コンサルタントを使用している」と回答しているが、特定の資産クラスについては、投資コンサルタントを使用していない	該当しない	
投資コンサルタントを使用している場合：			
	SG12.3 で「投資コンサルタントの選定、指名や評価プロセスにおいて責任投資を考慮していない」	○	
	SG12.3 で一つのオプションを選択	★	
	SG12.3 で二つのオプションを選択	★★	

責任投資の促進

	SG12.3 で三つのオプションを選択	★★★	
	フィデューシャリー・マネジャーを使用している場合:		
	SG 12.5 で、「フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングプロセスにおいて責任投資を考慮していない」と回答	○	
	「フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングプロセスにおいて責任投資を考慮している」と回答、かつ、SG12.5 で一つを選択	★	
	「フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングプロセスにおいて責任投資を考慮している」と回答、かつ、SG12.5 で三つ以下を選択	★★	
	「フィデューシャリー・マネジャーのモニタリングプロセスにおいて責任投資を考慮している」と回答、かつ、SG12.5 で四つ以上を選択	★★★	

SG12	定義
フィデューシャリー・マネジャー	<p>受託管理（フィデューシャリー管理）とは、年金ファンドに提供される顧問業務と実施業務を組み合わせたものをいいます。フィデューシャリー・マネジャーは、通常、ファンドのパフォーマンスについて受託者に対し報告義務を負う一方、受託者はガバナンス上の監督権限を保持します。一定範囲の機能を委任することができますが、このフレームワークにおいては、受託管理を、フィデューシャリー・マネジャーが投資運用会社の任免を含め、様々な資産クラスへの配分およびファンドの日常運営について必要な判断を行う責任を有する管理業務と定義します。</p>

セクション

資産配分におけるESG問題

SG 13	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PRI 1
-------	----------------	----------	-------------

SG 13	指標
SG 13.1	<p>ポートフォリオレベルで将来の ESG トレンドのリスクプロファイルを計算するシナリオ分析やモデリングを組織が実施しているかどうかについて明示してください。</p> <p>○以下を行っている：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 将来の環境トレンドの投資影響を表す要因を含むシナリオ分析 <input type="checkbox"/> 将来の社会的トレンドの投資影響を表す要因を含むシナリオ分析 <input type="checkbox"/> 将来のガバナンストレンドの投資影響を表す要因を含むシナリオ分析 <input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください） _____ <p>○ そのようなシナリオ分析やモデリングは行っていない</p>
SG 13.2	<p>組織が戦略的な資産配分やセクターまたは地理的な市場間での資産の配分においてESG問題を考慮しているかどうかを記載してください。</p> <p>○ 以下を行っている：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 資産クラス間の配分 <input type="checkbox"/> 債券のデュレーションの決定 <input type="checkbox"/> 地理的な市場間の資産配分 <input type="checkbox"/> セクターの重み <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入してください） _____ <p>○ そのようなシナリオ分析やモデリングは行っていない</p>
SG 13.3	<p>補足情報 [任意]</p>

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

SG 13	説明
SG 13	指標 [SG 13.3]は OECD 機関投資家に対する責任あるビジネス行動の提言に沿っています。
SG 13.1	シナリオ分析には、ポートフォリオレベルのリスクプロファイルを含む、将来のトレンドの投資影響を表す各種要因を含み、例えば、資源不足、技術開発などが挙げられます。
SG 13.2	<p>戦略的資産配分は、投資家のリスク許容度、投資期間、投資目的/信条に合わせた様々なリスク/リターン特性に従った、高リスク資産への投資配分を含みます。これには、株式/債券/キャッシュの適正な配分、先進国/新興国市場の配分、債券のデュレーション、上場/非上場の配分の決定などがあります。</p> <p>署名者の中には、水不足などの問題が資産配分に与える影響を評価し始める動きがあります（経済シナリオの計画の元にするなど）。コーポレートガバナンスの実践、国の規制体制の厳格性、あるいは環境や社会問題に対する国のアプローチを地理的な配分を決定する際に検討している署名者もいます。こうしたアプローチは、特に環境および社会問題に関する限りでは、まだあまり一般的ではありません。この指標では、それにもかかわらずこの分野に取り組んでいる署名者がその活動を説明できるようにしています。</p> <p>これは、報告フレームワークの資産クラス別のモジュールで詳細を説明している個々の投資決定への一般的なESGの統合とは異なります。例えば、ESGが影響して上場株式に投資するか、あるいは代替の資産クラスに投資するかの決定はこの指標で報告できます。ESG基準に基づいた個別銘柄のスクリーニングは、上場株式 - 統合モジュールで報告してください。</p>
SG 13.3	ここで、組織では、戦略的資産配分において ESG 問題をどのように考慮しているか、例えば、化石燃料の過大資産への投資を避けるや、二酸化炭素排出量が低い資産への投資などについて、説明いただけます。
ロジック	
SG 13	[SG 13.1]において「はい」と回答すると、[SG 13.2]が適用されます。

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

SG 14	指標のステータス 報告義務、 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
-------	---------------------------	----------	-------------

SG 14	指標
SG 14.1	貴社と貴社の事業活動にとって重要な影響を及ぼしうる短・中・長期的なリスクや機会を決定するプロセスを説明してください。
SG 14.2	一部の投資リスクと機会は長期トレンドの結果として発生します。貴社では、以下のどの項目について考慮するか明示してください。
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 人口変動 <input type="checkbox"/> 気候変動およびこれに関連する問題 <input type="checkbox"/> 資源不足 <input type="checkbox"/> 技術開発 <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入してください）（1） ____ <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入してください）（2） ____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも該当しない場合には、その理由を説明して下さい _____
SG 14.3	気候に関するリスクと機会に対応して組織で実施されている活動を選択してください。
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 気候変動の影響を受けたり、気候変動を組み入れた資産配分戦略を確立している <input type="checkbox"/> 低炭素関連投資または気候変動に強い投資にターゲットを絞っている <input type="checkbox"/> 排出量が多いまたは化学燃料系の保有銘柄へのポートフォリオエクスポージャーを減らしている <input type="checkbox"/> 排出量データまたはその分析を投資関連の意思決定に組み込んでいる <input type="checkbox"/> 企業による気候変動要素の組み込みを評価している <input type="checkbox"/> 政府による環境保護政策を評価している <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入してください） ____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも該当しない場合には、その理由を説明して下さい _____
SG 14.4	気候に関するリスクと機会の管理に際して採用している手段を選択してください。
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> シナリオ分析 <input type="checkbox"/> 顧客/受託者/幹部/受益者に対する排出量リスクの開示 <input type="checkbox"/> 気候に関する目標値 <input type="checkbox"/> 社内外のポートフォリオマネージャーに排出量リスクの監視を促す <input type="checkbox"/> マネージャー指名時の契約に排出量リスクの監視と報告を組み入れる <input type="checkbox"/> 加重平均炭素濃度 <input type="checkbox"/> カーボンフットプリント（スコープ1と2） <input type="checkbox"/> ポートフォリオのカーボンフットプリント <input type="checkbox"/> 総炭素排出量

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

	<input type="checkbox"/> 炭素濃度 <input type="checkbox"/> 炭素関連資産へのエクスポージャー <input type="checkbox"/> その他の排出量メトリック <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入してください） _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも該当しない場合には、その理由を説明して下さい _____
SG 14.5	排出量リスクの開示を選択した場合、採用している開示方法またはそのフレームワークの中で気候関連のものを挙げてください。
SG 14.6	補足情報 [任意]

SG 14	説明		
SG 14.2	<p>この指標は、組織の責任投資への全体的なアプローチの一部として組織で考慮対象になっている長期 ESG トレンドを報告するためのものです。トレンド・リストにはすべてのトレンドが含まれていないわけではなく、含まれていないトレンドについては、その例を挙げていただくようお願いいたします。PRI は、今後もリストのモニタリングと更新を続けていきます。</p> <p>使用される条件は幅広く、さまざまな方法で投資プロセスに影響を与える可能性があります。「補足情報」欄には、これらのトレンドが組織の投資アプローチにどのように影響しているのか詳しく説明してください。</p>		
SG 14.3	気候変動によりリスクと機会の両方が発生します。この指標は、気候変動が、組織の投資決定、積極的な保有の実践、ファンドマネージャーに対するエンゲージメント、および投資家対象の環境保護政策を促進している政府とのエンゲージメントにどのように影響するかを扱います。		
SG 14.4	組織による自身のカーボン・フットプリントの測定および削減のための活動は、それが占有建物に対して実施され、自己運用不動産ポートフォリオの一部として報告される場合を除き、ここでは対象になりません。		
ロジック			
SG 14	[SG14.1]において「気候変動」と回答した場合に、[SG14.3]、[SG14.4]および[SG14.5]が適用されます。		
評価			
SG 14	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	SG 14.1では、「気候変動」を選んでいないか、または、 SG 14.1 および SG 14.3 共に、「上記のいずれも該当しない」を選択している	0	

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

	SG 14.2 または SG 14.3 のいずれかから一つのオプションを選択している	★★	
	SG 14.2 および SG 14.3 の両方からそれぞれ一つのオプションを選択している	★★★	

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

SG 15	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
-------	--------------------------	----------	-------------

SG 15	指標			
SG 15.1	貴社にて、特定の環境および社会をテーマとする分野に基づいてファンドに資産を配分したり、ファンドを運用しているかどうかについて明示してください。			
	○ している	○ していない		
SG 15.2	環境および社会的なテーマの分野へ投資された AUM の合計をパーセンテージで記入してください。			
	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> %			
SG 15.3	貴社にて投資しているのはどのテーマ別分野かを明示のうえ、AUM に占める当該資産クラスのパーセンテージを記載するとともに、その内容を簡潔に説明してください。			
	分野	投資している 資産クラス [00 05から自動 転載] [資産クラスの ドロップダウン・ リスト]	当該分野に投資している 資産クラスの資産クラス 毎AUMに占めるパーセン テージ	簡潔な説明および投資尺度
	<input type="checkbox"/> クリーンテクノロジー (再生可能エネルギーを含む)	<input type="checkbox"/> 資産クラス1	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス2	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス3	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス4	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス5	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス6 1	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス7	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス8	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス9	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	
		<input type="checkbox"/> 資産クラス10	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> % (AUMの)	

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

	<input type="checkbox"/> 資産クラス11		<input type="text"/> % (AUMの)	
	<input type="checkbox"/> 資産クラス12		<input type="text"/> % (AUMの)	
	<input type="checkbox"/> 資産クラス13		<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> 環境にやさしい建物	同上		<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> 持続可能な林業			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> 持続可能な農業			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> マイクロファイナンス			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> SME 向け融資			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> 社会事業 / コミュニティへの投資			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> 中低所得者層向け住宅			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> 教育			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> 地球規模の保健			<input type="text"/> % of AUM	
<input type="checkbox"/> 水資源			<input type="text"/> % (AUMの)	
<input type="checkbox"/> その他: 具体的に記載してください _____			<input type="text"/> % (AUMの)	

SG 15	説明
SG 15	この報告フレームワークにおいては、「E&Sをテーマとする」「サステナビリティをテーマとする」投資と言う用語はほぼ同じ意味で使用されています。この2つは、特に環境または社会のサステナビリティに関連したテーマまたは資産への投資です（例えば、クリーンエネルギー、環境

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

	<p>にやさしいテクノロジー、持続可能な農業)。これらの投資は通常、投資家に対し、社会の広範な目的に明確に沿って活動する一つの方法を提供します。</p> <p>この指標では、複数の資産クラスを含む可能性がある投資テーマに言及しています。これらの投資は、とりわけ特定のテーマに特化しています。この指標は広範なSRIファンドに関するものではありません。広範なSRIファンドは本報告のフレームワークの他の部分で説明できます。環境および社会をテーマとする投資に関する詳細は、こちらを参照してください。</p> <p>「E&Sをテーマとする」分野が2つ以上にまたがる場合には、例：「手頃な価格の住宅」と「グリーン・ビルディング」、該当する分野ごとに概算で按分して表示してください。</p>
SG 15.3	<p>組織内外で運用される 00 05 で報告された資産クラスがドロップダウンメニューに表示されません。</p> <p>各個別資産クラスの分野ごとのAUMに占めるパーセンテージを記載して下さい。</p> <p>簡潔な説明および投資尺度の欄には、各分野をどのように分類しているのか、および、各分野の洗い出しにどのような尺度・基準を使っているのかについて、簡潔に説明して下さい。</p>
ロジック	
SG 15	[SG15.1]において「している」と回答すると、[SG 15.2]が適用されます。

SG 15	定義
再生エネルギー および クリーンテクノロジー (cleantech)	天然資源の消費の削減または排除を目指したり、コストを低下させながらエネルギー効率の向上を実現する製品、サービスまたはプロセスを提供する企業への投資。Cleantechはエネルギー、農業、輸送、製造、空気・水質の各セクターでみられます。Cleantech企業は以下の業界の一部に従事しています：再生エネルギー、エネルギー効率、廃棄物処理、素材のリサイクル。
環境にやさしい建物	環境にやさしい建物とは、環境にやさしく、リソースを効率的に使用するプロセスを使用して、設計、建設、運営、維持、改装、破壊される建物です。
持続可能な林業	現地の経済、社会、自然の利益の保護を確保する持続的な林業への投資に特化した投資戦略。森林の持続可能な運営は、森林管理協議会 (FSG) や森林認証制度 (PEFC) などの団体によって認証を受けることができます。
持続可能な農業	生産することにより自然環境や地元コミュニティの社会経済状況を保護、改善する安全な農産物の生産。
マイクロファイナンス	生産的な活動を営み、バンキングや関連する金融サービスにこれまでアクセスできなかった低所得の顧客に融資、預金、保険などの金融サービスやその他の基本的なサービスを提供するリテール金融機関への投資。
SME 向け融資	ここで言うSME向け融資とは、バンキングや関連する金融サービスへのアクセスが困難な中小企業へ金融サービスを提供することを指します。

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

<p>社会事業/ コミュニティ開発</p>	<p>社会事業開発は、経済的利益を上げつつ社会または環境にポジティブな結果をもたらすことを目的とする事業の創出および育成と定義されます。</p> <p>コミュニティ開発投資とは、同様にとりわけ低所得者や低所得の地域が恩恵を受けることを目的として行われ、手頃な価格の住宅提供、小規模企業の支援、さらに雇用の創出などがあります。</p>
<p>中低所得者層向け住宅</p>	<p>中低所得者層向け住宅は国によって定義が異なりますが、一般的には平均的な世帯が購入できる住宅として分類されます。これには、非常用シェルターから市場外の賃貸住宅（公団や政府が補助金を支給する住宅）、公的または公的以外の賃貸住宅、購入可能な住宅の取得があります。</p>
<p>教育</p>	<p>教育への投資には、学校、社会事業、教育の進展に関連するその他の業界への投資が含まれます。</p>
<p>世界規模での保健</p>	<p>非伝染性疾患（がん、糖尿病、心疾患）や伝染性疾患（HIV/AIDS、結核、マラリア）など、先進国および新興諸国、発展途上国の両方における疾病負担を緩和することを目的とする医薬品、バイオテクノロジー、ヘルスケアサービス、医療関連の技術やサプライヤーなどのヘルスケア市場や医療制度に特化する投資戦略。これには、世界のヘルスケアサービスや世界的に健康を改善する可能性や利益がある製品やサービスへのアクセス向上も含まれる場合があります。</p>

セクション

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

SG 16	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 一般
-------	----------------	----------	----------

SG 16	指標	
SG 16.1	組織内で運用される資産のうち、特定の PRI 資産クラスモジュールがまだ開発されていない、または資産が最小基準値を下回るために報告する必要がない資産の ESG 問題への対処方法を説明してください。	
	資産クラス	実施しているプロセスおよび達成した成果または結果
	上場株式 - ESGの組み入れ	
	上場株式 - エンゲージメント	
	上場株式 - (委任状による) 議決権行使	
	債券 - SSA	
	債券 - 社債 (金融)	
	債券 - 社債 (非金融)	
	債券 - 証券化商品	
	プライベートエクイティ	
	不動産	
	インフラ	
	コモディティ	
	ヘッジファンド	責任投資原則のヘッジファンド・デューデリジェンス質問に回答したかどうか示してください。 ○ はい ○ いいえ
	森林	
農地		
包括的な金融		
現金		

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

	その他 (1) [00 05から]	
	その他 (2) [00 05から]	

SG 16	説明
SG 16	<p>この指標は、PRI が具体的なモジュールを開発していない資産クラスにおいて、組織がどのように RI を実施しているかを説明するものです。この情報を報告することにより、これらの分野で組織がどのくらい優れているかをステークホルダーに知らせることができます。さらに、PRI が将来のモジュールに採用する可能性がある RI の実務を特定することを支援することになります。</p> <p>この指標はまた、PRI モジュールの対象でありながら、必要な基準値を下回るために報告を選択しない資産クラスについて報告する機会にもなります。例えば、ポートフォリオ内の少額のプライベートエクイティにおける RI 実施を組織的に追跡するリソースが限定されている場合でも、この資産クラスにおける主要な RI 活動をここで説明することができます。</p>
SG 16 ヘッジファンド	<p>責任投資原則のヘッジファンド・デューデリジェンス質問は、投資家の外部運用会社の選定および評価の一助となるツールです。</p> <p>標準化された一連の質問で構成され、投資意思決定プロセスにおいて環境、社会、ガバナンス（ESG）の要素を組み込むためのスタッフ、知識、構造を持つ運用会社の特定を容易にします。このプロセスを促進することで、報告負担が軽減され、同業者の比較が改善され、ヘッジファンド業界における情報とデータの一貫性のクロスチェックを行うことができます。</p> <p>詳細については、PRI のウェブサイトを参照してください。</p>
ロジック	
SG 16	<p>この指標は、[00 05]で組織が組織内で運用する資産があり、組織内で運用する資産（上場株式は[00 10]、その他の資産クラスは[00 11]）の投資決定や積極的な保有の実践に ESG 問題を組み入れていると報告すると適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運用資産（AUM）の10%未満がその資産である場合や[00 12]でその資産クラスのモジュールを自主的に完了しなかった場合 • PRI がその資産クラスの直接モジュールをまだ開発していない場合 <p>この指標に該当する資産クラスは[00 05]および [00 10-12]に基づいて作成されます。</p>

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

SG 17	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 一般
-------	----------------	----------	----------

SG 17	指標	
SG 17.1	組織外で運用される資産のうち、特定の PRI 資産クラスモジュールがまだ開発されていない、または資産が最小基準値を下回るために報告する必要がない資産の ESG 問題への対処方法を説明してください。	
	資産クラス	実施しているプロセスおよび達成した成果または結果
	上場株式 - ESGの組み入れ	
	上場株式 - エンゲージメント	
	上場株式 - (委任状による) 議決権行使	
	債券 - SSA	
	債券 - 社債 (金融)	
	債券 - 社債 (非金融)	
	債券 - 証券化商品	
	プライベートエクイティ	
	不動産	
	インフラ	
	コモディティ	
	ヘッジファンド	責任投資原則のヘッジファンド・デューデリジェンス質問に回答したかどうか示してください。 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
	森林	
	農地	
	包括的な金融	
	現金	
	その他 (1) [00 05から]	

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

	その他 (2) [00 05から]	
--	-------------------	--

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

SG 17	説明
SG 17	この指標は、PRI モジュールの間接投資の対象でありながら、報告を選択しない資産クラスを運用する組織外の運用会社の選択や監視に ESG 問題をどのように組み込んでいるかを報告する機会になります。
SG 17 ヘッジファンド	<p>責任投資原則のヘッジファンド・デューデリジェンス質問は、投資家の外部運用会社の選定および評価の一助となるツールです。</p> <p>標準化された一連の質問で構成され、投資意思決定プロセスにおいて環境、社会、ガバナンス（ESG）の要素を組み込むためのスタッフ、知識、構造を持つ運用会社の特定を容易にします。このプロセスを促進することで、報告負担が軽減され、同業者の比較が改善され、ヘッジファンド業界における情報とデータの一貫性のクロスチェックを行うことができます。</p> <p>詳細については、PRI のウェブサイトを参照してください。</p>

ロジック	
SG 17	<p>この指標は、[00 05]で組織には組織外で運用している資産があり、組織外で運用する資産クラス（上場株式[00 11]、その他の資産クラス[00 12]）の投資決定や積極的な保有の実践にESG問題を取り入れていると報告する場合に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運用資産（AUM）の10%未満がその資産である場合、または[00 13]でその資産クラスを自主的に完了しなかった場合 • 特定のPRI資産クラスモジュールがまだ開発されていない場合 <p>この指標に該当する資産クラスは[00 05]および [00 11-12]から転載されます。</p>

コミュニケーション

SG 19	指標
SG 19.1	<p>組織が積極的に資産クラス固有の情報を開示するかどうかを示してください。クライアントや受益者や一般への開示頻度を選択し、公開情報を掲載する URL を示してください。</p>
	債権
	<p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者または一般のいずれにも開示していない。</p> <p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者にのみ開示する。</p> <p><input type="radio"/> 我々は一般に開示する</p> <p style="padding-left: 40px;">クライアントや受益者に開示される情報は同じです</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> はい</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> いいえ</p>
	一般開示する場合とその掲載 URL
	クライアントや受益者への開示
	<p><input type="radio"/> RI の組み込みに関する概要</p> <p><input type="radio"/> RI の組み込み戦略に関する詳細を説明する。</p>
	<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>
	<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>
	<p>URL_____</p> <p>URL_____</p>
	インフラストラクチャー
	<p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者または一般のいずれにも開示していない。</p> <p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者にのみ開示する。</p> <p><input type="radio"/> 我々は一般に開示する</p> <p style="padding-left: 40px;">クライアントや受益者に開示される情報は同じです</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> はい</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> いいえ</p>

一般開示する場合とその掲載URL	クライアントや受益者への開示
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> インフラ投資の選択方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> インフラ投資の監視と管理方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> インフラ投資のESGパフォーマンスに関する情報 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> インフラ投資の選択方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> インフラ投資の監視と管理方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> インフラ投資のESGパフォーマンスに関する情報
<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>	<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>
<p>URL_____</p> <p>URL_____</p>	
上場株式企業へのエンゲージメント	
<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者または一般のいずれにも開示していない。 <input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者にのみ開示する。 <input type="radio"/> 我々は一般に開示する <ul style="list-style-type: none"> クライアントや受益者に開示される情報は同じです <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 	
一般開示する場合とその掲載URL	クライアントや受益者への開示
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 包括的なエンゲージメント戦略の詳細 <input type="checkbox"/> エンゲージメント事例の選択およびエンゲージメントの目的の定義、優先順位および具体的な目標に関する詳細 <input type="checkbox"/> エンゲージメントの数 <input type="checkbox"/> エンゲージメントの種類と問題の内訳 <input type="checkbox"/> エンゲージメントの地域別内訳 <input type="checkbox"/> 目標に対して達成された進捗状況と結果の現状の評価 <input type="checkbox"/> エンゲージメント事例 <input type="checkbox"/> 最初の対話が失敗した後の対応戦略の詳細（決議の提出、声明の発行、 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 包括的なエンゲージメント戦略の詳細 <input type="checkbox"/> エンゲージメント事例の選択およびエンゲージメントの目的の定義、優先順位および具体的な目標に関する詳細 <input type="checkbox"/> エンゲージメントの数 <input type="checkbox"/> エンゲージメントの種類と問題の内訳 <input type="checkbox"/> エンゲージメントの地域別内訳 <input type="checkbox"/> 目標に対して達成された進捗状況と結果の現状の評価 <input type="checkbox"/> エンゲージメント事例 <input type="checkbox"/> 最初の対話が失敗した後の対応戦略の詳細（決議の提出、声明の発行、

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

<p>経営陣に対する投票、売却など)</p> <p><input type="checkbox"/> 提供された情報が外部から保証されているかどうかの詳細</p> <p><input type="checkbox"/> エンゲージメントから達成された成果</p> <p><input type="checkbox"/> その他の情報_____</p>	<p>経営陣に対する投票、売却など)</p> <p><input type="checkbox"/> 提供された情報が外部から保証されているかどうかの詳細</p> <p><input type="checkbox"/> エンゲージメントから達成された成果</p> <p><input type="checkbox"/> その他の情報_____</p>
<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>	<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>
<p>URL_____</p> <p>URL_____</p>	
<p>上場株式企業への株主議決権行使</p>	
<p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者または一般のいずれにも開示していない。</p> <p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者にのみ開示する。</p> <p><input type="radio"/> 我々は一般に開示する</p> <p style="padding-left: 40px;">クライアントや受益者に開示される情報は同じです</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> はい</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> いいえ</p>	
<p><u>一般開示する場合とその掲載URL</u></p>	<p><u>クライアントや受益者への開示</u></p>
<p><input type="checkbox"/> 議決権行使をすべて説明する</p> <p><input type="checkbox"/> 議決権行使の一部について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> 議決権行使の棄権および経営陣に対抗する議決権行使についてのみ説明する</p> <p><input type="checkbox"/> 説明をしない</p>	<p><input type="checkbox"/> 議決権行使をすべて説明する</p> <p><input type="checkbox"/> 議決権行使の一部について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> 議決権行使の棄権および経営陣に対抗する議決権行使についてのみ説明する</p> <p><input type="checkbox"/> 説明をしない</p>
<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>	<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>
<p>URL_____</p> <p>URL_____</p>	

上場株式企業への ESG 対策の実行	
<p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者または一般のいずれにも開示していない。</p> <p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者にのみ開示する。</p> <p><input type="radio"/> 我々は一般に開示する</p> <p style="padding-left: 40px;">クライアントや受益者に開示される情報は同じです</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> はい</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> いいえ</p>	
一般開示する場合とその掲載URL	クライアントや受益者への開示
<p><input type="checkbox"/> ESGの組み込みに関する概要</p> <p><input type="checkbox"/> ESGの組み込み戦略に関する詳細を説明する。</p>	<p><input type="checkbox"/> ESGの組み込みに関する概要</p> <p><input type="checkbox"/> ESGの組み込み戦略に関する詳細を説明する。</p>
<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごともしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>	<p>[DROPDOWN メニューを作成]</p> <p>四半期ごとしくはもっと頻繁</p> <p>半年に一度</p> <p>一年に一度</p> <p>一年以上に一度</p> <p>適時/問い合わせを受けた時</p>
URL_____	
URL_____	
プライベートエクィティ	
<p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者または一般のいずれにも開示していない。</p> <p><input type="radio"/> 当社はクライアントや受益者にのみ開示する。</p> <p><input type="radio"/> 我々は一般に開示する</p> <p style="padding-left: 40px;">クライアントや受益者に開示される情報は同じです</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> はい</p> <p style="padding-left: 80px;"><input type="radio"/> いいえ</p>	
一般開示する場合とその掲載URL	クライアントや受益者への開示
<p><input type="checkbox"/> 投資前の活動に関するESG情報</p> <p><input type="checkbox"/> 投資後のモニタリングおよび投資家活動に関するESG情報</p> <p><input type="checkbox"/> ポートフォリオ内企業のESGパフォーマンスに関する情報</p> <p><input type="checkbox"/> その他、具体的に_____</p>	<p><input type="checkbox"/> 投資前の活動に関するESG情報</p> <p><input type="checkbox"/> 投資後のモニタリングおよび投資家活動に関するESG情報</p> <p><input type="checkbox"/> ポートフォリオ内企業のESGパフォーマンスに関する情報</p> <p><input type="checkbox"/> その他、具体的に_____</p>

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

<p>[DROPDOWN メニューを作成] 四半期ごともしくはもっと頻繁 半年に一度 一年に一度 一年以上に一度 適時/問い合わせを受けた時</p>	<p>[DROPDOWN メニューを作成] 四半期ごともしくはもっと頻繁 半年に一度 一年に一度 一年以上に一度 適時/問い合わせを受けた時</p>
<p>URL____ URL____</p>	
<p>不動産</p>	
<p>○ 当社はクライアントや受益者または一般のいずれにも開示していない。 ○ 当社はクライアントや受益者にのみ開示する。 ○ 我々は一般に開示する クライアントや受益者に開示される情報は同じです ○ はい ○ いいえ</p>	
<p><u>一般開示する場合とその掲載URL</u></p>	<p><u>クライアントや受益者への開示</u></p>
<p><input type="checkbox"/> 不動産投資の選択方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> 不動産投資のモニタリングおよび管理方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> 不動産投資のESGパフォーマンスに関する情報投資前の活動に関するESG情報 <input type="checkbox"/> その他、具体的に_____</p>	<p><input type="checkbox"/> 不動産投資の選択方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> 不動産投資のモニタリングおよび管理方法に関するESG情報 <input type="checkbox"/> 不動産投資のESGパフォーマンスに関する情報投資前の活動に関するESG情報 <input type="checkbox"/> その他、具体的に_____</p>
<p>[DROPDOWN メニューを作成] 四半期ごともしくはもっと頻繁 半年に一度 一年に一度 一年以上に一度 適時/問い合わせを受けた時</p>	<p>[DROPDOWN メニューを作成] 四半期ごともしくはもっと頻繁 半年に一度 一年に一度 一年以上に一度 適時/問い合わせを受けた時</p>
<p>URL____ URL____</p>	
<p>外部運用会社の選定、指名やモニタリング</p>	

	<p>式の情報でもかまいません。年金基金受益者のような特定のグループに向けた情報は、現実には公表されたと同様ですが、大衆への積極的な報告は、ここではコミュニケーションの別の分類として扱われます。</p> <p>上場株式企業への ESG 対策の実行</p> <p>ESGの組み込みに関する概要</p> <p>これには、上場株式へのESGの組み入れ方に関する一般的な議論が含まれます。</p> <p>ESG の組み込み戦略に関する詳細</p> <p>これには、使用される組み込み戦略の種類、ESG が組み込まれるプロセス、関連する方針書、ケーススタディ/影響の例などの詳細情報が含まれます。</p> <p>外部運用会社の選定、指名やモニタリング</p> <p>間接投資家として責任投資をどのように実施しているかについては、さまざまな開示を行うことができます。ここで提示される方法には大きく3通りあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部運用会社の選考、任命、モニタリングにおける責任投資の考え方を、このモジュールでカバーする情報報告のフレームワークです。外部マネージャーと ESG の対処方法に関する PRI レポートやその他の文書を積極的に開示する企業には、この最初の方法を薦めます。 外部運用会社の責任投資実行の詳細：これは、外部運用会社が何をしているかの詳細な情報です。外部運用会社の活動を公表したり、外部運用会社のウェブサイト上で責任投資をどのように実行しているかを記載したページにリンクすることも含まれます。 <p>成果：外部運用会社の活動（インフラ基金から風力や太陽光発電設備に投資した結果、温室効果ガス排出の削減ができたことや、特定の会社の排水管理の変更や、環境、社会、ガバナンスが企業の財務実績に及ぼす影響、外部運用会社が ESG 分析とパフォーマンスまたはリスク軽減の関係をどのように特定しているか等）。</p>
ロジック	
SG 19	<p>[00]モジュールで各資産クラス（「債権」、「インフラ」、上場株式企業へのエンゲージメント、「上場株式企業への株主議決権行使」、「上場株式企業への ESG 対策の実行」、「プライベートエクイティ」、「不動産」、「外部運用会社の選定、指名やモニタリング」）を保有していると回答することにより、この指標ではその資産クラスに関する質問がされます。たとえば、債権 SSA は、[00 05. 1]で債権を保有していると回答し、[00 07. 1]で SSA に回答し、[00 12. 1]を自主的に選んだ場合に、質問に提示されます。</p>
評価	
SG 19	<p>各資産クラスごとのコミュニケーションに関するスコアは各々の資産クラスのモジュールに加点されます。</p> <p>指標のスコア方法</p> <p>債権</p> <p>最大スコア：6★</p> <p>この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されているかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。</p>

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な開示		
否	○	
概要を一年超に一度の頻度で開示	★★	
概要を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、詳細説明を一年超に一度の頻度で開示	★★★	
詳細説明を一年に一度以上の頻度で開示	★★★★★	
クライアントおよび受益者への開示のみ		
否	○	
概要を一年超に一度の頻度で開示	★	
概要を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、詳細説明を一年超に一度の頻度で開示	★★	
詳細説明を一年に一度以上の頻度で開示	★★★	
インフラ		
最大スコア：6★		
この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されているかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な報告とクライアントへの開示		
否	○	
ESG 情報一種類を一年超に一度の頻度で開示	★★	
ESG 情報一種類を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、ESG 情報二種類以上を一年超に一度の頻度で開示	★★★★	
ESG 情報二種類以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★★★	
クライアントへの開示のみ [ジェネラルパートナーもしくは投資運用マネージャーのみ]		

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

否	○	
ESG 情報一種類を一年超に一度の頻度で開示	★	
ESG 情報一種類を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、ESG 情報二種類以上を一年超に一度の頻度で開示	★★	
ESG 情報二種類以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★	
上場株式企業へのエンゲージメント		
<p>最大スコア : 6 ★</p> <p>この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されているかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。</p>		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な開示		
否	○	
情報 4 点未満を一年超に一度の頻度で開示	★★	
情報 4 点を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、情報 4 点以上を一年超に一度の頻度で開示	★★★★	
情報 4 点を以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★★★	
クライアントへの開示のみ		
否	○	
情報 4 点未満を一年超に一度の頻度で開示	★	
情報 4 点を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、情報 4 点以上を一年超に一度の頻度で開示	★★	
情報 4 点を以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★	
上場株式企業への株主議決権行使		
<p>最大スコア : 6 ★</p> <p>この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されてい</p>		

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

<p>るかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。</p>		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な報告		
否	○	
議決権行使の一部・議決権行使の棄権・議決権行使の総括を一年超に一度の頻度で開示	★★	
議決権行使の全部を一年超に一度の頻度で開示もしくは議決権行使の一部・議決権行使の棄権・議決権行使の総括を一年未満に一度の頻度で開示	★★★★	
議決権行使の全部を一年未満に一度の頻度で開示	★★★★★	
クライアントへの開示のみ(アセット・オーナーには適用外)		
否	○	
議決権行使の一部・議決権行使の棄権・議決権行使の総括を一年超に一度の頻度で開示	★	
議決権行使の全部を一年超に一度の頻度で開示もしくは議決権行使の一部・議決権行使の棄権・議決権行使の総括を一年未満に一度の頻度で開示	★★	
議決権行使の全部を一年未満に一度の頻度で開示	★★★	
上場株式企業への ESG 対策の実行		
<p>最大スコア : 6★</p> <p>この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されているかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。</p>		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な報告とクライアントへの開示		
否	○	
概要を一年超に一度の頻度で開示	★★	

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

概要を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、詳細説明を一年超に一度の頻度で開示	★★★★	
詳細説明を一年に一度以上の頻度で開示	★★★★★	
クライアントへの開示のみ		
否	○	
概要を一年超に一度の頻度で開示	★	
概要を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、詳細説明を一年超に一度の頻度で開示	★★	
詳細説明を一年に一度以上の頻度で開示	★★★	
プライベートエクイティ		
最大スコア : 6 ★		
この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されているかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な報告とクライアント・受益者への開示		
否	○	
情報1点未満を一年超に一度の頻度で開示	★★	
情報1点を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、情報2点以上を一年超に一度の頻度で開示	★★★★	
情報2点を以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★★★	
クライアント・受益者への開示のみ		
否	○	
情報1点未満を一年超に一度の頻度で開示	★	
情報1点を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、情報2点以上を一年超に一度の頻度で開示	★★	

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

情報 2 点を以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★	
不動産		
最大スコア : 6 ★ この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されているかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な報告とクライアントへの開示		
否	○	
情報 1 点未満を一年超に一度の頻度で開示	★★	
情報 1 点を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、情報 2 点を以上を一年超に一度の頻度で開示	★★★★	
情報 2 点を以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★★★	
クライアントのみへの開示		
否	○	
情報 1 点未満を一年超に一度の頻度で開示	★	
情報 1 点を一年に一度以上の頻度で開示、もしくは、情報 2 点を以上を一年超に一度の頻度で開示	★★	
情報 2 点を以上を一年に一度以上の頻度で開示	★★★	
外部運用会社の選定、指名やモニタリング (SAM)		
最大スコア : 3 □ この指標の評価は、情報が一般に公開されているか、クライアント/受益者のみに公開されているか、どの情報が公開されているか、およびどのくらいの頻度で公開されているかに基づいています。最大スコアは、情報が一般に公開されている場合にのみ達成できます。		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
公的な報告とクライアント・受益者への開示		

他のモジュールで報告されていない資産クラスの実施

	「積極的に情報を公衆および・または顧客・受益者に開示していない。」	○	
	選択肢を一つ選択	★	
	選択肢を二つ選択	★★	
	選択肢を三つ(以上)選択	★★★	

CM 01	評価		
CM 01	<p>総括モジュールにおける指標CM 01に対する回答は戦略およびガバナンス・モジュールのスコアの一部として評価されます。</p> <p>指標 CM 01 に関する詳細については、総括モジュールについて記載している別文書を参照下さい。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	CM 01.1 において「上記のいずれも該当しない」または「その他」を選択している	○	
	CM 01.1 から一つのオプションを選択している	★★	
	CM 01.1 から二つのオプションを選択している	★★★	

2018年PRI報告フレームワーク 戦略とガバナンス

(気候関連指標のみ)

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

PRI Association

Registered office: 5th floor, 25 Camperdown Street
London, UK, E1 8DZ Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 3714 3220 W: www.unpri.org E: info@unpri.org

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報があります。

トッパー

トッパーには、指標のステータス（必須または自主開示）、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須
報告義務 自主開示
自主開示

必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。

一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は自由です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。

自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ



この指標への回答は、組織がモジュール内の他の指標に該当する場合、他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。

グループ化



これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用します。

コア評価項目



これらの指標は評価の基本を形成し、最終的な評価スコアの大部分を占めます。

追加評価項目



これらの指標はより高度な、または代替の実務を表し、スコアに占める割合は小さくなります。

説明



これらは、自由回答形式の指標で、組織の活動を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が組織に該当することを確認してください。

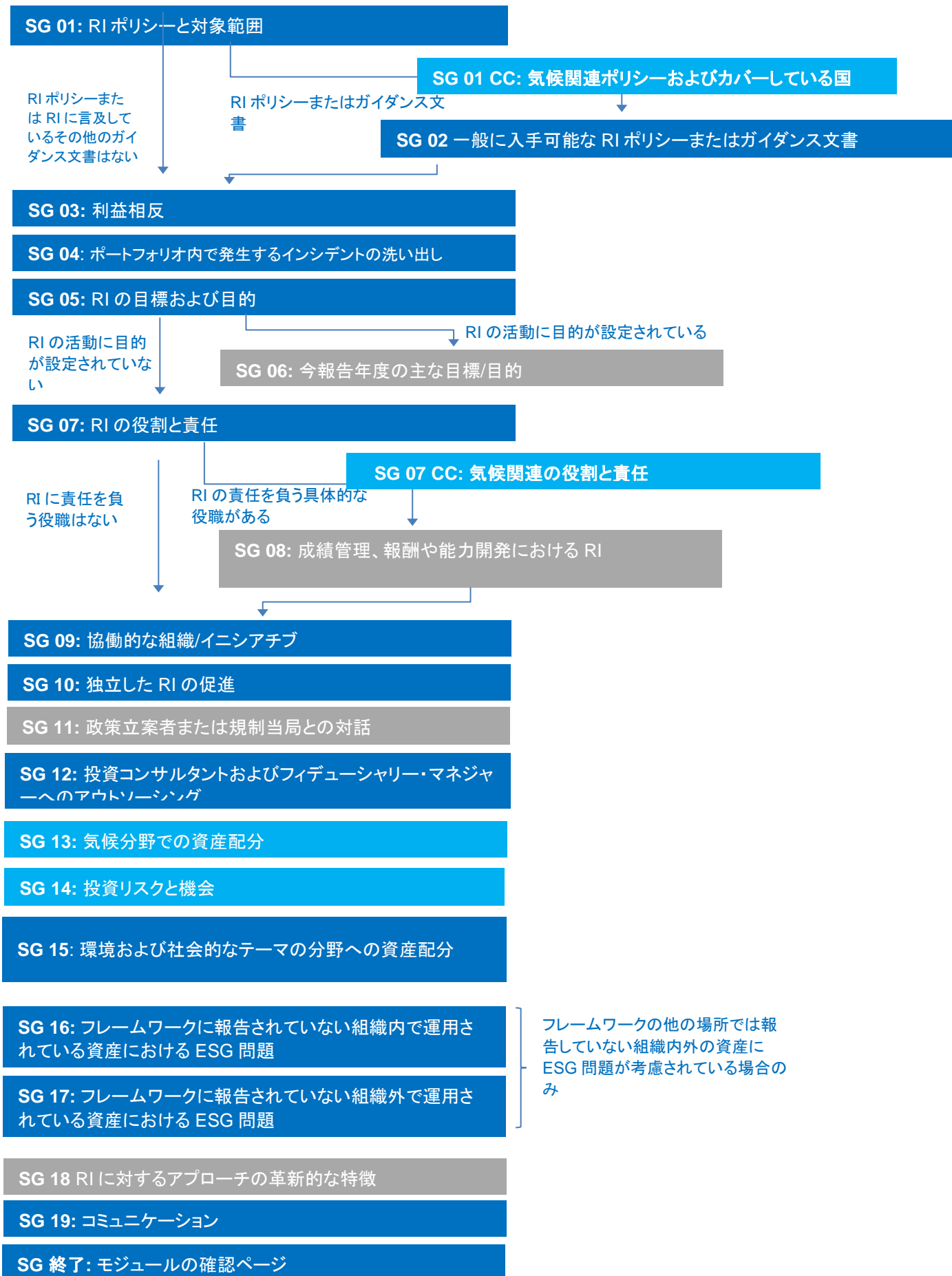
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告する可能性がある事例など、サブ指標を理解する方法の指針となります。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する時、そしてその指標がサブ指標に影響するかどうかを説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は常に適用され、他の指標には影響しません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価アプローチの概要です。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される具体的な用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	Error! Bookmark not defined.
モジュールの経路	4
序文	Error! Bookmark not defined.
気候関連の開示指標	6

モジュールの経路



フレームワークの他の場所では報告していない組織内外の資産に ESG 問題が考慮されている場合のみ

序文

金融安定理事会によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の目的は気候関連の金融リスクに関する一貫した信頼性ある開示のための提言にもとづき、投資家、貸し手、保険会社およびその他の利害関係者に、これらのリスクと機会を管理するために必要な情報を提供することです。

PRI は、投資家が奨励された開示に取り組み、関連活動を実証することができるように、TCFD 提言に基づく新しい気候関連指標を 2018 年報告フレームワークに統合しました。これらの指標は、自主報告・自主開示であり、評価対象にはなりません。TCFD の提言と整合するのを支援するために、組織による回答は、独立した気候透明性報告書の形でアクセスすることができます。

TCFD 提言とPRI報告フレームワークのマッピング

TCFD 提言	関連 PRI 指標
ガバナンス	
a) 気候関連のリスクと機会に対する取締役会の監督について説明してください。	SG 7.1 CC SG 7.1a CC
b) b) 気候関連のリスクと機会の評価と管理における経営陣の役割を説明してください。	SG 7.1 CC SG 7.1b CC
戦略	
a) 組織が短期、中期および長期にわたって特定した気候関連のリスクと機会について説明してください。	SG 13.1 SG 13.1a CC SG 14.1 CC SG 14.2a CC
b) 気候関連のリスクと機会が組織の事業、戦略、財務計画に及ぼす影響を説明してください。	SG 1.3b CC
c) 2° C 以下のシナリオを含むさまざまな気候関連のシナリオを考慮して、組織の戦略の回復力を説明してください。	SG 13.1a CC
リスク管理	
a) 気候関連のリスクを特定し評価するための組織のプロセスを説明してください。	SG 14.7 CC SG 14.9 CC
b) 気候関連のリスクを管理するための組織のプロセスを説明してください。	SG 14.7 CC SG 14.8 CC
c) 気候関連のリスクを特定、評価、管理するプロセスが、組織の全体的なリスク管理にどのように統合されているかを説明してください。	SG 14.7 CC
評価指標と目標	
a) 戦略とリスク管理のプロセスで、気候関連リスクと機会を評価するために組織が使用する指標を開示してください。	SG 14.4a CC
b) スコープ 1、スコープ 2、および該当する場合はスコープ 3、温室効果ガス (GHG) 排出量および関連するリスクを開示してください。	SG 14.4a CC
c) 気候関連のリスクや機会、目標に対するパフォーマンスを管理するために組織が使用する目標を説明してください。	SG 14.4b CC

セクション

気候関連の開示指標

SG 01 CC	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	------------------	----------	----------

	気候関連の開示指標
SG 01.3	<p>投資方針に以下のいずれかが該当するかどうかを挙げてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 貴社の ESG および/または責任投資の定義、およびこれらと投資との関係 <input type="checkbox"/> 貴社の ESG 要因/実質経済効果を考慮に入れた投資目標 <input type="checkbox"/> ESG を組み込むプロセス/アプローチ <input type="checkbox"/> 貴社の投資の期間 <input type="checkbox"/> 組織の ESG 責任のガバナンス構造 <input type="checkbox"/> ESG を取り組むに当たってのアプローチ <input type="checkbox"/> アクティブオーナーシップのアプローチ <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 気候変動と関連する問題 (これを選択すると SG 01.3a CC と SG 01.3b CC が適用されます。) <input type="checkbox"/> 他の RI の検討事項を具体的に(1) _____ <input type="checkbox"/> 他の RI の検討事項を具体的に(2) _____
SG 01.3a CC	<p>低炭素経済への移行によって貴社の製品や投資戦略がどのように影響を受けるかを説明してください。</p> <p><i>500 語以内で自由に記載</i></p>
SG 01.3b CC	<p>気候関連のリスクと機会が投資戦略や製品にどのように反映されているかを説明してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 気候関連のリスクと戦略を当社の投資戦略や製品に反映している。 <i>500 語以内で自由に記載</i> <input type="checkbox"/> 気候関連のリスクと戦略を当社の投資戦略や製品に反映していない。 <i>500 語以内で自由に記載</i>

SG 01 CC	気候関連の開示指標説明
SG 01 CC	この指標は、金融安定理事会によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に沿っています (分野：戦略)
SG 01.3b CC	<p>この指標は、気候関連のリスクと機会が投資戦略や製品にどのように影響するかを説明する機会を与えます。次のものを含めることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候に関連した問題が、投資戦略や製品、および対象期間のインプットとしてどのように役立つか。 <p>アセットオーナー</p> <p>これは、ファンドや投資戦略全体の観点、もしくは様々な資産クラスの個別投資戦略の観点から記述することができます。</p>
ロジック	
SG 01 CC	[SG 01.3].で「気候変動と関連する問題」を報告すると[SG 01.3a CC] と [SG 01.3b CC] が適用されます。

SG 07 CC	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	------------------	----------	----------

SG 07 CC	気候関連の開示指標			
SG 07.1 CC	貴社の組織における役職を示すとともに、これらが気候関連の問題の監視責任および/または実施責任を有するかどうかをそれぞれに挙げてください。			
	貴社の組織における役職	気候関連問題の監視/説明責任	気候関連問題の評価と管理	気候関連の問題に対する責任はない
	<input type="checkbox"/> 取締役または理事 (これを選択すると SG 07.2a CC が適用されます。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 最高経営責任者 (CEO) 最高投資責任者 (CIO) 最高リスク責任者 (CRO) 投資委員会 (これを選択すると SG 07.2b CC が適用されます。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 他の最高級職員または部長を具体的に _____ (これを選択すると SG 07.2b CC が適用されます。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオマネージャー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ESG ポートフォリオマネージャー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 投資アナリスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 専任の責任投資担当者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 組織外の運用会社またはサービスプロバイダー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 投資者関係 (IR)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> その他の役職 (具体的に記入してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他の役職 (具体的に記入してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

SG 07.1a CC	気候関連の問題の監督/説明責任または実施責任がある取締役会レベルの役職については、これらの責任の遂行方法を説明してください。
	500語以内で自由に記載
SG 07.1b CC	気候関連の問題を評価し管理する管理レベルの役職については、その構造とプロセスを詳しく説明してください。
	500語以内で自由に記載

SG 07 CC	気候関連の開示指標
SG 07 CC	この指標は、金融安定理事会によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)の提言に沿っています(分野：ガバナンス)
SG 07.1a CC	この指標は、気候関連の問題に関する監視/説明責任および/または実施責任が取締役によってどのように実行されるかについての詳細を説明する機会を与えます。情報には以下が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> 気候関連の問題が取締役会/委員会に通知されるプロセスおよび頻度。 意思決定の評価と指導の際に気候関連の問題がどのように考慮されるか。 取締役会/委員会がどのように気候関連の目標とその進捗状況をモニタリングし監督するか。
SG 07.1b CC	この指標は、気候関連の問題を評価および管理するために管理者が使用するプロセスおよび構造の詳細を説明する機会を与えます。情報には以下が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> 関連する組織構造を説明する(s) 経営陣が取締役会または、取締役会の委員会に報告するのか。 気候関連の問題が経営陣に通知されるプロセス 経営陣が(特定の役職や管理委員会を通じて)どのようにして気候関連の問題をモニタリングするのか
ロジック	
SG 07 CC	[SG 07.1 CC]で「気候関連の問題の監督もしくは・または実施責任が取締役会/理事にある」と報告すると[SG 07.1a CC]が適用されます。 [SG 07.1 CC]で「気候関連の問題の監督もしくは・または実施責任が最高級職員にある」と報告すると[SG 07.1b CC]が適用されます。

SG 07 CC	気候関連の開示指標の定義
管理職	金融安定理事会によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)によれば、管理職とは、組織が経営幹部または上級管理職として位置付け、一般に取締役会とは別の立場を指します。

SG 13 CC	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
----------	------------------	----------	----------

気候関連の開示指標													
SG 13.1	<p>将来の ESG のトレンドのポートフォリオのリスクを計算するシナリオ分析および/またはモデルの構築の際に考慮するかどうかを説明してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 将来の環境動向の投資効果を表す要因を含むシナリオ分析を実行する。 <input type="checkbox"/> 将来の社会動向の投資効果を表す要因を含むシナリオ分析を実行する。 <input type="checkbox"/> 将来のガバナンス動向の投資効果を表す要因を含むシナリオ分析を実行する。 <input type="checkbox"/> 将来の気候関連のリスクと機会の投資への影響を表す要因を含むシナリオ分析を検討する(これにより SG 13.1a CC が起動されます。) <ul style="list-style-type: none"> このシナリオ分析は、2°C以下のシナリオに基づいていますか？ <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="checkbox"/> その他の要因を含むシナリオ分析を実行する場合は具体的に _____ <input type="checkbox"/> 上記のようなシナリオ分析および/またはモデルの構築をしていない。 												
SG 13.1a CC	<p>さまざまな将来の気候シナリオを考慮して、組織の戦略の回復力を説明してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">影響を受ける戦略</th> <th style="width: 25%;">戦略の変更</th> <th style="width: 25%;">シナリオと時間軸の説明</th> <th style="width: 25%;">分析がどのように使われたか</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	影響を受ける戦略	戦略の変更	シナリオと時間軸の説明	分析がどのように使われたか								
影響を受ける戦略	戦略の変更	シナリオと時間軸の説明	分析がどのように使われたか										

SG 13	説明
SG 13	<p>この指標は、金融安定理事会によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に沿っています (分野：戦略)</p>
SG 13.1	<p>シナリオ分析には、資源不足や技術開発など将来の動向が投資に与える影響をポートフォリオへのリスクとして表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 将来の気候関連のリスクと 2°C以下のシナリオへの機会は、2°C以下のシナリオに対応した低炭素経済への移行に関連し、組織に影響のある場合にはこのシナリオの実現による物理的な気候関連リスクです。 <p>この指標では、気候関連のリスクと機会は、物理的および過渡的なリスクを含む、気候変動の実際のおよび潜在的な影響と、その結果としての機会を指します。付録 1 気候関連の財務開示に関するタスクフォースの提言の実施 をご参照ください。</p> <p>「環境動向」には、例えば 水の保全、生物多様性など「気候関連のリスクと機会」よりも広い範囲の傾向が含まれます。</p>

<p>SG 13.1a CC</p>	<p>該当する欄に、以下の詳細を記入してください。</p> <p>影響を受ける戦略</p> <p>気候関連のリスクと機会の影響を受ける可能性のある戦略を説明してください。</p> <p>戦略の変更</p> <p>気候関連のリスクと機会に対処するために、時間の経過とともに行う戦略の変化を説明してください。</p> <p>シナリオと時間軸の説明</p> <p>気候に関連したシナリオとそれに関連する時間軸を説明してください。</p> <p>分析がどのように使われたか</p> <p>気候関連のシナリオ分析が、組織にどのように伝えられ、戦略の方向を決める上でどのように使われているかを説明する。例えば、特定の資産への投資に関する情報を与えるなど。</p>
<p>ロジック</p>	
<p>SG 13.1</p>	<p>[SG 13.1].で「将来の気候関連要因」がシナリオ分析で考慮されていると報告すると[SG 13.1a CC]が適用されます。</p>

Gateway asset class implementation indicators

SG 14	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
-------	------------------	----------	----------

SG 14 CC	気候関連の開示指標		
SG 14.1 CC	気候に関連した短期、中期および長期のリスクと機会が、貴社の活動に重大な影響を及ぼす可能性があるかどうかを判断するためのプロセスを説明してください。		
	<i>500 語以内で自由に記載</i>		
SG 14.2	<p>短期的、中期的および長期的な動向の結果として生まれる投資リスクおよび機会がありますが、次のうちどれを考慮するかを挙げてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 人口動態の変化 <input type="checkbox"/> 気候変動と関連する問題（これを選択すると SG 14.2a CC が適用されます） <input type="checkbox"/> 資源不足 <input type="checkbox"/> 技術開発 <input type="checkbox"/> その他具体的に(1) _____ <input type="checkbox"/> その他具体的に(2) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも該当しない場合にはその理由を説明して下さい。 _____ 		
SG 14.2a CC	「短」、「中」、「長期」をどのように定義するかを記述し、これらの期間にわたる重要な気候関連の問題を説明して下さい。		
		定義	気候関連の問題の説明
	短期		
	中期		
	長期		

SG 14.4	気候に関連するリスクと機会を管理するために使用するツールを挙げてください。						
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> シナリオ分析 <input type="checkbox"/> 顧客/理事/経営陣/受益者への排出リスクの開示 <input type="checkbox"/> 気候関連の目標（これを選択すると、SG 14. 4a CC と SG 14. 4b CC が適用されます） <input type="checkbox"/> 内部および/または外部のポートフォリオ管理者に、排出リスクを監視するよう奨励する。 <input type="checkbox"/> 排出量リスクのモニタリングと報告は、外部運用者を任命する際に契約に組み込まれる。 <input type="checkbox"/> 加重平均炭素濃度（これを選択するとSG 14. 4a CCが適用されます） <input type="checkbox"/> カーボンフットプリント（スコープ1と2）（これを選択するとSG 14. 4a CCが適用されます） <input type="checkbox"/> ポートフォリオのカーボンフットプリント（これを選択するとSG 14. 4a CCが適用されます） <input type="checkbox"/> 総炭素排出量（これを選択するとSG 14. 4a CCが適用されます） <input type="checkbox"/> 炭素濃度（これを選択するとSG 14. 4a CCが適用されます） <input type="checkbox"/> 炭素関連資産へのエクスポージャー（これを選択するとSG 14. 4a CCが適用されます） <input type="checkbox"/> その他の排出量指標（（これを選択するとSG 14. 4a CCが適用されます） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他具体的に_____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも該当しない場合にはその理由を説明して下さい。 _____ 						
SG 14.4a CC	気候に関連するリスクと機会を評価するために使用されるこれらの重要な指標についての詳細を記入してください。						
	指標の種類	カバレッジ	目的	指標の単位	方法	動向	制限・弱み
	[SG 14.4]で選択した内容を自動転載						

Gateway asset class implementation indicators

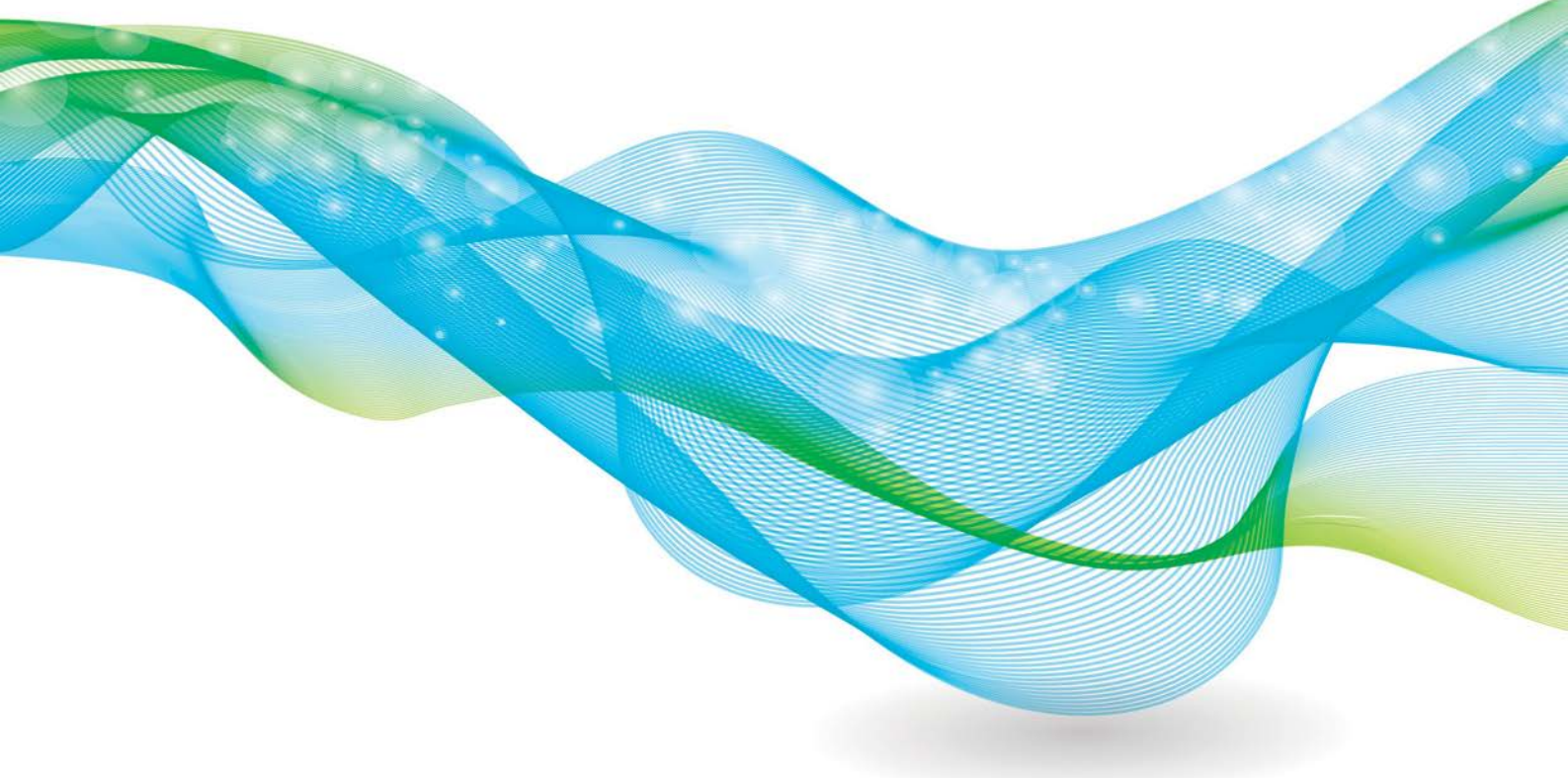
SG 14.4b CC	主要目標についてさらに詳しく記入してください。						
	目標の種類	期間	基準年度	KPI	方法	制限・弱み	添付資料
	(絶対/強度をもとにしたド ロップダウン・ メニューを設定)						
SG 14.7 CC	気候関連のリスクを特定、評価、管理するためのリスク管理プロセスを挙げてください。						
	<input type="checkbox"/> 気候関連リスクのプロセスは、全体のリスク管理に統合されている。(説明してください。) 500 語以内で自由に記載 <input type="checkbox"/> 気候関連リスクのプロセスは、全体のリスク管理に統合されていない。(説明してください。) 500 語以内で自由に記載						
SG 14.8 CC	気候関連のリスクを優先させるためのプロセスを説明してください。						
	500 語以内で自由に記載						
SG 14.9 CC	気候関連のリスクに関するより良い情報開示と実践を促すために、投資先企業とのエンゲージメント活動を行っていますか？						
	<input type="checkbox"/> はい(説明してください。) 500 語以内で自由に記載 <input type="checkbox"/> いいえ、エンゲージメント活動を行っていません。						
SG 14.10 CC	気候関連の開示データをどのように使用するかを説明してください。						
	(200 語以内で)自由に記載						

	説明
SG 14	この指標は、金融安定理事会によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に沿っています(分野：戦略、リスク管理、指標と目標)
SG 14.2a CC	この指標では、組織が短期、中期および長期的に考慮する期間を定義し、それぞれに重要な気候関連問題を詳述することができます。 組織の資産やインフラストラクチャーの耐用年数、および中長期的に頻繁に現れる気候関連の問題を考慮に入れることができます。
SG 14.4	直接管理された不動産ポートフォリオの一部として占有し、報告している建物でない限り、貴社のカーボンフットプリントを測定して削減する活動はここでは取り上げるべきではありません。
SG 14.4a CC	<p>この指標は、気候関連のリスクと機会の測定と管理に使用される主要な指標 詳述することができます。貴社の AUM の大半をカバーし、過去の実績を指標として示してください。最大5つのエントリを示すことができます。</p> <p>該当する欄に、以下の詳細を記入してください。</p> <p><i>目標の種類</i></p> <p>ここで記入する情報は[SG 14.4]の回答に対応するものです。</p> <p><i>カバレッジ</i></p> <p>指標が資産運用残高の大部分、大半またはすべてに適用可能かどうかを記入してください</p> <p><i>目的</i></p> <p>投資判断、モニタリング等に この指標がどのように使われるか説明してください。以下の情報を含めることもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連するパフォーマンス指標が報酬政策に組み込まれているかどうかに関する詳細 <p><i>目標の単位</i></p> <p>例えば炭素1トンあたりの米ドル等、使用される測定単位を記入してください。</p> <p><i>方法</i></p> <p>主要指標の数値を計算または推定するために使用される方法論を説明してください。</p> <p><i>動向</i></p> <p>時間の経過とともに変化があった場合にはその詳細を含め、この指標がどのように推移したかを説明してください。</p> <p><i>制限・弱み</i></p> <p>該当する場合は、特定された指標の弱点または制限を示してください。</p>

<p>SG 14.4b CC</p>	<p>該当する欄に、以下の詳細を記入してください。</p> <p><i>目標</i></p> <p>絶対的な目標は、例えば、排出量を数トンの CO₂e で削減するなど、一定期間にわたる排出削減の総量を考慮します。</p> <p>これに対して、濃度目標では、たとえば、収益の単位あたりの CO₂e の排出量削減トン数等事業活動の測定値と比較して排出量の削減を検討します。</p> <p><i>期間</i></p> <p>目標が適用される期間を指定してください。</p> <p>基準年度</p> <p>進行状況が測定される初期/基準年を示してください。</p> <p><i>KPI</i></p> <p>定義された目標に対する進捗状況を評価するために使用される重要なパフォーマンス指標の概要を説明してください。</p> <p><i>方法</i></p> <p>目標を計算するために使用される方法論について説明してください。目標を計算するに当たる分母を必ず記載してください。以下の情報を含めることもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 予想される規制要件、市場制約、またはその他の目標が、目標のために使用されるかどうか。 <p><i>制限・弱み</i></p> <p>該当する場合は、特定された目標または方法論の弱点または制限を示してください。</p>
<p>SG 14.7 CC</p>	<p>気候関連リスクを特定、評価、管理するための貴社のプロセスが、全体のリスク管理システムにどのように統合されているかを説明してください以下の情報を含めることもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他のリスクとの関係で気候関連リスクの重要性をどのように決定するか。 • 気候変動に関連した既存および新興規制要件を検討するかどうか。 • 特定の気候関連リスクの潜在的な規模と範囲を評価するためのプロセスの説明。 • 使用されたリスク用語の定義または使用されている既存のリスク分類フレームワークへの言及。 • 気候関連のリスクを緩和、移転、受け入れ、および/または制御するための決定が、管理プロセスにおいてどのように行われるか。
<p>SG 14.8 CC</p>	<p>この指標により、気候関連のリスクを優先させるプロセスを記述することができます。これには、組織内で重要性の決定がどのように行われるかの説明が含まれます。</p>
<p>SG 14.9 CC</p>	<p>この指標は、データの可用性を向上させ、気候関連リスクへのアクセスと評価すがしやすいように、気候関連リスクに関するよ開示改善と実践促進のために投資先企業とのエンゲージメント活動を記述する機会を提供します。</p> <p>投資マネジャー</p> <p>各製品または投資戦略に関する重要な気候関連リスクの特定および評価方法に関する説明を掲載することをお勧めします。</p>
<p>ロジック</p>	

Gateway asset class implementation indicators

SG 14	<p>[SG 14.2].で「気候変動関連リスク」と[SG 14.2a CC]が適用されます。</p> <p>[SG 14.4].で気候関連オプションが一つでも報告された場合には[SG 14.4a CC]が適用されます。</p> <p>[SG 14.4].で気候関連目標が報告された場合には[SG 14.4 b CC]が適用されます。</p>
--------------	---



2018年PRI報告フレームワーク 委託 - 運用会社の選定、指名およびモニタリン グ

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報を掲載しています。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は任意です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、またはグループ化に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も任意です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織が他の指標に該当する場合、モジュール内の他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため、同じ属性を持つグループを形成するために使用されます。
コア評価項目		これらの指標は、評価の中核部分を形成するものであり、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替となる実務を表しており、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標で、組織の活動等を説明することができます。

指標項目の下部

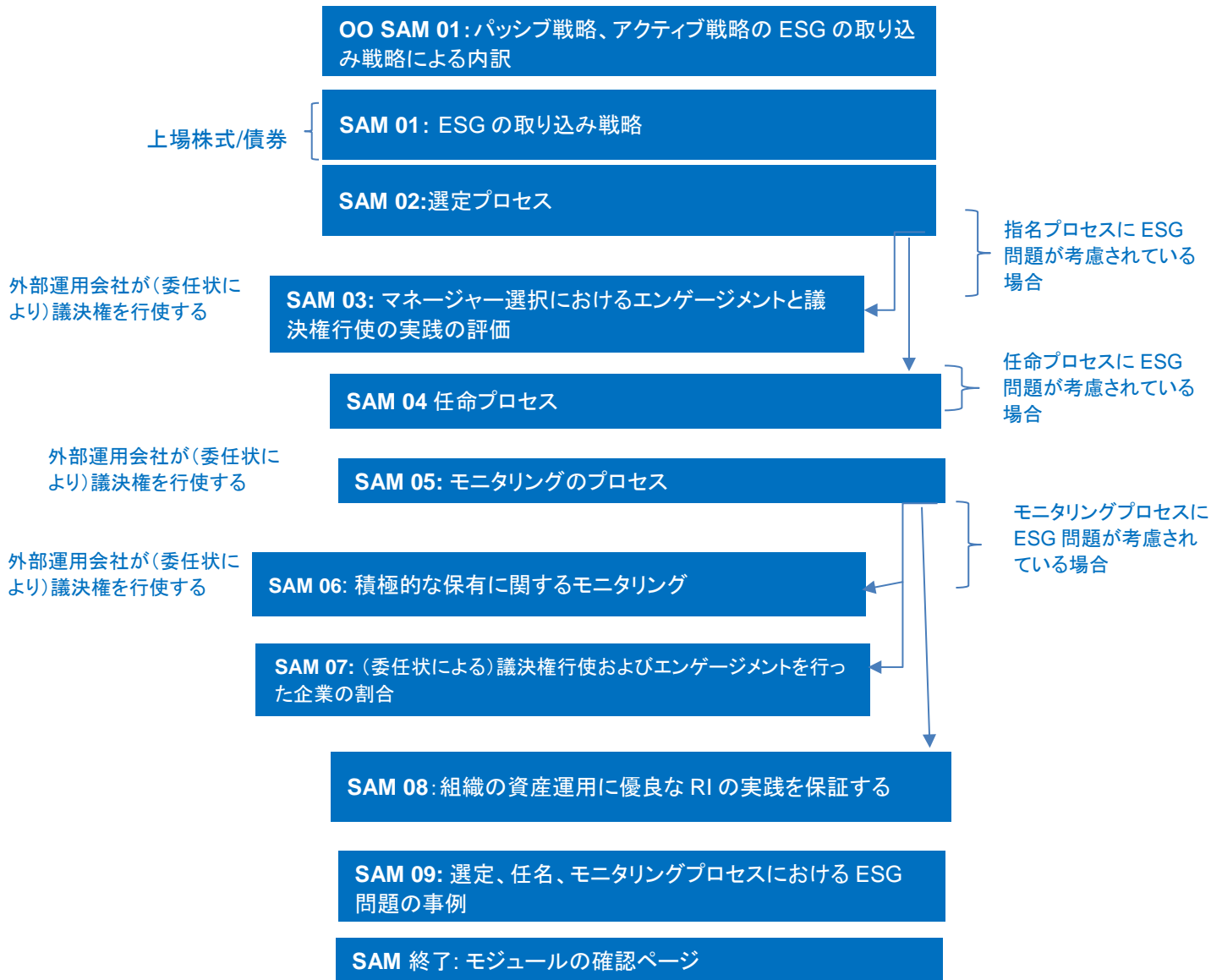
指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを熟読のうえ、指標が組織に該当することを確認してください。

xxx 01	説明
xxx 01.1	報告が可能な項目の事例など、サブ指標を正確に解釈するうえでの指針となるものです。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する場合やその指標がそれ以降の指標に影響を及ぼすかどうかについて説明しています。ロジックボックスがない場合は、指標は必ず適用されますが、他の指標に影響を及ぼすことはありません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価方法の概要を記載しています。
xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される個々の用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
モジュールの経路	4
序文	5
概要	7
選定	10
指名	21
モニタリング	25
成果および結果	34
コミュニケーション	35

モジュールの経路



序文

本モジュールは、一部またはすべての投資業務を外部の投資運用会社に委託している投資家を対象としています。年金基金、保険会社、ソブリンウェルスファンド(政府系ファンド)、各種財団法人および各種基金では、自己運用で投資を行っている場合もあるものの、多くの場合、委託運用で投資を行っています。投資運用会社も投資業務の一部を外部に委託している(例えば、マルチマネジャーまたはファンド・オブ・ファンド形式)場合がありますが、そうした資産についても本モジュールで報告してください。

上場株式を外部で運用していてもエンゲージメントや議決権行使は組織内で行う投資家、あるいは、組織に代わって行う議決権の行使やエンゲージメントの実施について専門サービスプロバイダーに指示している投資家は、これらの積極的な保有活動を「上場株式の積極的な保有 (LEA)」モジュール内で報告してください。このモジュールに含まれるエンゲージメントおよび(委任状による)議決権行使に関する指標は、外部の運用会社がこれらの業務を遂行していると回答する場合(SAM 05)にのみオンラインツール上に表示されます。

外部運用会社の選定、指名およびモニタリングにおいてサポートを行う資産コンサルタント(およびフィデューシャリー・マネジャー、またはそのいずれか)を起用する投資家も、自身または資産コンサルタントの責任投資活動をこのモジュールで報告することができます。

本モジュールでは、主に外部運用会社の選定、指名およびモニタリングを目的に設定している広範なプロセスに焦点を当てています。このモジュールでは、次の三つの経路を設定しています:

- 1つ目は、本報告フレームワークの自己運用モジュールの一つで捕捉されている株式および債券資産クラスであり、具体的には、上場株式(LE)、債券SSA、社債(金融)、社債(非金融)、および証券化債券があります;
- 2つ目は、本報告フレームワークの自己運用モジュールの一つで捕捉されている非上場資産クラスであり、具体的には、未公開株式(PE)、不動産(PR)およびインフラ(INF)があります;
- 3つ目は、現在のところ、その他の自己運用モジュールでは捕捉されていない残りの資産が対象となります。

指標および報告オプションの中には、資産クラス別に分かれているものがあります(例えば、指標SAM 06では、上場株式、債券SSA、社債(金融)、社債(非金融)および証券化債券のそれぞれについて回答を求めています)。上記のそれぞれについて、資産クラス毎に回答を選ぶことができるだけでなく、自由回答形式の指標で資産クラス間における実施状況等に具体的な違いがあれば、それらについても説明することができるようになっています。

**注記 1: また、リテールバンクやファンドオブファンズの投資家は委託運用投資家として分類される場合もありますが、これらの特性は、本モジュールの対象となる組織とはいくつかの領域で異なります。将来的には、こうした投資家を対象とする新しいモジュールを開発することもPRIでは考えています。それまでは、リテールバンクやファンドオブファンズの投資家の方々については、本モジュールを使用して報告いただくとともに、自由回答形式の指標を利用して責任投資をどのように実施しているかを説明いただくようお願いいたします。*

**注記 2: 包括的金融。包括的金融(IFI)を委託運用している投資家には別のモジュールを用意しています。包括的金融投資原則(PIIF)の署名者は、本モジュールに回答していただくこととなりますが、包括的金融資産を保有するその他の投資家については、任意での回答となります。*

改正の概要

SAMモジュールは、2016年度報告サイクル以降に、再作成を行っています。署名機関は2017年度の報告サイクルで新しいバージョンで報告しました。この報告サイクルで得たフィードバックを基に2018年のバージョンでは多少の変更を行っています。このモジュールでは、昨年より大きな変更がなかった指標については事前入力を利用することができます。

変更されたモジュールでは、以下の項目のより正確な把握を目指し、これまで以上に絞った指標となっています：

- 資産所有者(AO)の動き、これには、ESGに関連して留意すべき事項の認識から、運用会社およびマナージメントを通じた影響力の行使、さらには、投資戦略にESG特性を組み入れるといった行動に至る様々な動きを含みます；
- AOと運用会社(IM)間の定性的な会話への依存から、AO-IM間の協働的活動によるESG課題への定量化されたポジティブ影響へのシフト；
- ポートフォリオ・レベルでのESGのポジションとESGがもたらす影響(リターンおよびリスクなど)の間の相互関係性の明確化；
- 資産コンサルタントの役割についての理解の一層の深化およびESGの文脈におけるコンサルタント選定実務に関するデータ捕捉；
- AOがどのようにしてESG組み入れに報いているか、実務の改善に向けどのように働き掛けを行っているかに関する署名者教育

2017 指標	改正の概要
SAM 01	この指標は SAM モジュールから SG 12 に移動されました。
SAM 02	この指標は削除されました。
SAM 03	この指標は SAM モジュールから OO SAM 01 に移動されました。
SAM 04	この指標は SAM 01 に番号が変更され、サブ指標の内容が変更および・もしくは削除されました。
SAM 05	この指標は SAM 02 に番号が変更され、サブ指標の内容が変更および・もしくは削除されました。
SAM 06	この指標は SAM 03 に番号が変更され、サブ指標の内容が変更および・もしくは削除されました。
SAM 07	この指標は SAM 04 に番号が変更され、サブ指標の内容が変更および・もしくは削除されました。
SAM 08	この指標は SAM 05 に番号が変更され、サブ指標の内容が変更および・もしくは削除されました。
SAM 09	この指標は SAM 06 に番号が変更され、サブ指標の内容が変更および・もしくは削除されました。
SAM 10	この指標は SAM 07 に番号が変更され、サブ指標の内容が変更および・もしくは削除されました。
SAM 11	このサブ指標は SAM モジュールから SG 09 に移動され、番号が変更されました。
SAM 12	この指標は SAM 09 に番号が変更されました。
SAM 13	この指標は SAM モジュールから SG 19 に移動されました。

セクション

上場株式(LE)および債券(FI)

概要

SAM 01	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PRI 1
--------	----------------	----------	-------------

SAM 01	指標						
SAM 01.1	以下の ESG 組み入れ戦略のうち、外部運用会社が組織に代わって上場株式および・もしくは債券資産について導入・実施するよう義務付けているものを明示してください。						
		すべての 資産	上場株 式	債券 - SSA	債券 - 社 債(金融)	債券 - 社 債(非金 融)	債券 - 証 券化
	アクティブ投資戦略						
	スクリーニング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	テーマ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	統合(インテグレーション)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれも行っていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	パッシブ投資戦略						
	スクリーニング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	テーマ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	統合(インテグレーション)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれも行っていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	SAM 01.2	補足情報 [任意]					

SAM 01	説明
SAM 01.1	<p>ESG 固有のファンドや商品だけでなく、上場株式および/または債券資産のすべてについて、外部運用会社に義務付けている戦略を報告してください。</p> <p>上場株式や債券に関しては、署名者が、個々の投資戦略の特性を考慮して、ESG 問題に取り組まないことを選択する場合があります。</p> <p>さらに、アクティブおよびパッシブ戦略では、ESG の組み入れを 1 つ以上の戦略で行っている場合があります。これらについては定義セクションに明確な説明を行っています。</p>
ロジック	
SAM 01	<p>[OO SAM 01.1]への回答により[SAM 01.1]の内のどの部分が適用されるかが決まります;指標 SAM 01.1 はアクティブおよびパッシブ投資戦略のセクションから構成されます。</p> <p>例えば、[OO SAM 01.1]への回答で上場株式にはパッシブ投資戦略を報告する場合には、[SAM 01.1]では上場株式のパッシブ投資戦略に関係する部分のみが表示されます。</p>

SAM 01	定義
ESG の組み入れ	
<p>投資分析および意思決定プロセスへの ESG 問題の組み入れは、PRI の原則 1 で取り扱われています。本報告フレームワークの全体にわたって、ESG の組み入れとは、投資の意思決定プロセスにおける ESG 情報の精査・検討および利用を意味します。</p> <p>本報告フレームワークでは、ESG 組み入れを可能にする 4 つの方法に触れています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スクリーニング 2. サステナビリティをテーマとする投資(また、環境および社会をテーマとする投資とも呼ばれています) 3. 統合(インテグレーション) 4. 上記の組み合わせ <p>エンゲージメントのアプローチのみが対象となり、上記のいずれの戦略も行われない資産は、ESG 組み入れには含めないでください。</p> <p>責任投資業界における標準化およびコミュニケーションの改善を目指し、PRI では、その定義を Global Sustainable Investment Alliance の定義と一致させています。これらの定義を便宜上以下に示します。</p>	
投資のスクリーニング	<p>本報告フレームワークにおける三種類のスクリーニングは次のように定義されています:</p> <ol style="list-style-type: none"> a. ネガティブ/排他的スクリーニング: 個々の ESG 基準に基づき、一定のセクター、企業または実務慣行をファンドまたはポートフォリオから除外すること。 b. ポジティブ/ベストインクラス・スクリーニング: 同業他社と比較して、ポジティブ/優れた ESG パフォーマンスを有するとして選び出したセクター、企業またはプロジェクトへ投資すること。 c. 国際規範に基づくスクリーニング: 国際的な規範に基づく実務慣行の最低基準に照らして投資のスクリーニングを行うこと。国際規範に基づくスクリーニングでは、以下のいずれかを含んでいます: <ol style="list-style-type: none"> 1. 責任投資/ESG 問題に関連する国際規範に照らした投資先のパフォーマンスに基づき投資ユニバースを定義すること、または、 2. リサーチ、および時にはエンゲージメントの結果、投資先が国際規範に違反していることが判明した場合には、投資後にポートフォリオから除外すること。こうした規範には、国連グローバル・コンパクト原則、

	世界人権宣言、国際労働機関基準、国際連合腐敗防止条約および OECD 多国籍企業行動指針などがあります。
テーマ/サステナビリティをテーマとする投資	サステナビリティに関連したテーマまたは資産に特化した投資(例:クリーンエネルギー、環境にやさしいテクノロジー、持続可能な農業)。
ESG 問題の統合(インテグレーション)	投資運用会社が環境、社会およびガバナンス要因を従来型の財務分析に体系的かつ明確な形で組み入れること。
これらの定義の詳細については、別途作成されている 主な定義 文書を参照してください。	
<p>投資の意思決定プロセス</p> <p>本報告フレームワークにおいては、投資の意思決定プロセスとは、投資の実行または保持の決定(即ち、証券を買うか、売るか、保有するか)、あるいは非上場のファンドまたはその他の資産への資金拠出の確約につながるリサーチ、分析およびその他のプロセスを意味します。</p> <p>(委任状による)議決権行使の決定およびエンゲージメント活動は、本報告フレームワークにおいては、投資決定には分類されません。これらの決定は積極的な保有に関する PRI の原則 2 に該当するものであり、本フレームワークの上場株式 – 積極的な保有 (LEA) モジュールで取り上げます。</p>	

選定

SAM 02	指標のステータス 必須	目的 コア評価 / 追加評価	原則 PRI 1
--------	----------------	-------------------	-------------

SAM 02	指標						
SAM 02.1	あなたの組織が外部運用会社の選定関連文書の大半カバーしている RI 関連情報にはどのようなものがあるか以下の項目から選んで下さい。						
		すべての資産	資産クラス 1	資産クラス 2	資産クラス 3	資産クラス 4	資産クラス 5
	投資戦略および ESG 目標が当該戦略にどのように関わっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG 組み入れ要件	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG 報告要件	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他 _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	選定関連文書には RI 情報を盛り込んではいない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SAM 02.2	あなたの組織では、組織の投資戦略と運用会社の投資アプローチを一致させる投資運用会社の能力をどのように評価しているのかを説明してください。						
		すべての資産	資産クラス 1	資産クラス 2	資産クラス 3	資産クラス 4	資産クラス 5
	戦略						
	運用会社の投資戦略の対象期間を組織・受益者の要求と対比して評価する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	投資ポリシーの質および ESG 関連文献を評価する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	投資アプローチを評価するとともに、投資プロセスにおいて ESG 目標をどのように導入・実施しているかを評価する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
運用会社の RI に関する組織レベルのアプローチと商品レベルのアプローチを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

選定

使用する ESG 定義を評価する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他、具体的に____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ESG 担当者/監督						
投資チームの ESG に関する専門知識を評価する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ESG 導入・実施についての監督および責任を精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ESG の導入をどのように実行に移しているか/どのようにして万全を図っているかを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
RI の実施を強化するために、運用会社の RI 推進努力と業界との関わりを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他、具体的に____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プロセス/ポートフォリオ組成/投資評価						
使われている ESG データの質を保証するプロセスを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
投資意思決定プロセスにおける ESG データの使用をを精査し、同意する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ESG 分析が投資判断に及ぼす影響を精査のうえ同意する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ESG 目標(リスク削減、リターン追求、現実への影響など)に同意する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
運用会社の ESG リスクフレームワークを精査のうえ同意する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポートフォリオ・レベル(ポートフォリオ組成)での ESG リスクの限界およびその他の ESG 目標を精査のうえ同意する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

選定

	る						
	運用会社が、どのように ESG 重要度を評価しているかを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG インシデントを定義し周知徹底するプロセスを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG 報告の頻度と詳細を精査し同意する						
	その他(具体的に記入してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SAM 02.3	選定プロセスおよびその ESG・RI 要因について記載してください <input type="checkbox"/> RfP、RfI、DDQ 等に対する ESG・RI 要因に関する回答を精査する <input type="checkbox"/> PRI のリミテッドパートナーによる責任投資デューデリジェンス質問書(LP DDQ)に対する回答を精査する <input type="checkbox"/> ESG・RI に関する公表されている情報を精査する <input type="checkbox"/> ESG・RI に関するデータやプロセスの保証プロセスを精査する <input type="checkbox"/> PRI 透明性報告書を精査する <input type="checkbox"/> PRI 評価報告書の提出を要請し議論する <input type="checkbox"/> 候補となる運用会社と ESG・RI に関するテーマについて会合を持つ <input type="checkbox"/> 候補となる運用会社のオフィスの査察 <input type="checkbox"/> その他; 具体的に記入してください _____						
SAM 02.4	外部運用会社を選定する際に、あなたの組織では以下の項目のいずれかを設定もしくは使っていますか:						
		すべての資産	資産クラス 1	資産クラス 2	資産クラス 3	資産クラス 4	資産クラス 5
	ESG のパフォーマンス開発目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG スコア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG ウェイト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実体経済目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他の RI 留意事項 _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SAM 02.5	精査され議論された ESG 情報が選択意思決定プロセスにどのように影響するかを説明してください。 [任意]						

SAM 02	説明
<p>SAM 02</p>	<p>この指標は、機関投資家のための OECD 責任あるビジネス行動勧告と整合しています。</p> <p>この指標では、組織が運用会社を選定する際に使用する主要なプロセス、および講じる措置等に関する情報を求めています（報告年度に運用会社を選定していない、または再指名していない場合であっても回答を記入して下さい）。これらのプロセスがごく一部のケースのみで行われている場合には、あらかじめ設定しているオプションのところでは回答しないでください。そうしたケースについては、この指標の最後にある補足情報欄で説明してください。</p> <p>以下には、組織が運用会社の選定を行う際のプロセスの一部に関するさらに詳細な手引きを記載しています。</p> <p>資産保有者である署名者がどのように外部運用会社の選定、指名およびモニタリングに ESG 課題を組み入れているかを示す事例については、2013 年 2 月に PRI が発行している 期待の一致 (Aligning Expectations): 資産保有者が ESG 要因を運用会社の選定、指名、モニタリングに取り入れるためのガイダンス (Guidance for asset owners on incorporating ESG factors into manager selection, appointment and monitoring) および 投資戦略の策定 - 資産所有者のためのプロセスガイダンス を参照してください。</p> <p>選定文書</p>
<p>SAM 02.1</p>	<p>選定文書には、RFP、RFI、DDQ に加え、その他のアンケート、選定調査、投資およびオペレーショナル・デューデリジェンス・プロセスなどがあります。</p> <p>貴社が選定文書に投資戦略、その構成要素、投資信条または投資原則を含めている場合には、「投資戦略および ESG 目標が当該戦略とどのように関わっているか」を選択してください。また、これには、組織の投資戦略が ESG 目標とどのようにリンクしているかについての説明を含みます。</p>
<p>SAM 02.2</p>	<p>「精査と同意」という言葉を含むオプションは、運用会社候補のアプローチの特定の側面を精査し、このアプローチが組織の信念、戦略、および政策と十分に一致していると結論付けることを指します。</p> <p>運用会社の投資戦略の対象期間を組織・受益者の要求と対比して評価する - これには、対象期間が組織の ESG 目標とどのようにマッチしているか、および投資運用会社のポートフォリオ回転率にどのように反映されているかといった評価が含まれます。</p> <p>投資ポリシーの質を評価する - これは、ESG 関連文献の精査、地域、商品、戦略および資産クラスに関してポリシーがカバーしている範囲および、ポリシーの変更がどのように反映されているかについての理解などを意味します。</p> <p>運用会社の RI に関する組織レベルのアプローチと商品レベルのアプローチを精査する - これには、組織のトップレベル ESG 戦略が、運用会社が商品レベルで ESG を実装する方法と一致することを保証することが含まれます。</p> <p>使用する ESG 定義を評価する - これには、ESG について理解している事項、および ESG の理解のために必要となる事項の範囲に関する説明も含まれます。</p> <p>ESG の導入をどのように実行に移しているか/どのようにして万全を図っているかを精査する - これは、ESG に関する研修を保証することなどを意味します。</p> <p>RI の実施を強化するために、運用会社の RI 推進努力と業界との関わりを精査する - 運用会社は、例えば、クライアント、コンサルタント、その他の利害関係者に RI の教育や研修を提供したりサポートしたりすることができます。RI を促進するためのイベントや会議で一般に講演し、RI 研究などで学界を支援することなどができます。</p> <p>投資判断プロセス（およびプロセスに使われている ESG データ）を精査のうえ同意する - ESG がどのように意思決定に組み込まれているかを理解する、ESG 要因が投資判断に影響を及ぼした事例の提出を求めることなどが挙げられます。また、委員会、個人、アルゴリズムまたは別の当事者など、意思決定を行うのは誰かについて理解することも重要です。</p> <p>投資チームの ESG に関する専門知識を評価する - ESG 専門チームや ESG スペシャリストがいるかどうか、または、ESG 業務が投資チーム全体にわたって組み込まれているかどうかを理解します。別途、ESG チームが設置されている場合には、そのチームの所在地および当該チームがどのように残りの組織と協力して業務を進めているかを精査します。ESG に関する責任が各チームにわたって組み込まれている場合には - 各チームが十分な ESG スキルおよびコンピテンシーを身に付けることができるよう</p>

選定

	<p>万全を図るため、どのような研修および採用を行っているかを理解します。これには、例えば、マネジメント、戦略またはマーケットにより、スキルやコンピテンシーが異なる場合には、それらについての説明も含まれます。</p> <p>ESG 分析が投資判断に及ぼす影響を精査のうえ同意する - 投資プロセスの理解 - 投資運用会社はファンダメンタル分析、またはテーマ分析を使用しているか、また、プロセスが定性的、または定量的要因によって決定されるのか、これにより ESG のマテリアリティをどのように特定しているかが決まります。</p> <p>ESG 目標(リスク削減、リターン追求、現実への影響など)に同意する-組織が優先する ESG 領域の特定や一定期間内で望まれる成果を特定し、どのようにこれが運用会社の投資戦略、投資方針、投資プロセス、および業績レビューと結びついているかについて同意すること。ESG の目標には、ESG のリスク削減、除外するもの、投資意思決定プロセスにおける ESG の考慮事項、その他の統合目標、特に ESG 関連の成果と現実への影響、排出削減などが含まれます。</p> <p>運用会社の ESG リスクフレームワークを精査のうえ同意する - マネージャーが ESG リスクをどのように特定し、測定し、管理するかを理解する</p> <p>ポートフォリオ・レベル(ポートフォリオ組成)での ESG リスクの限界およびその他の ESG 目標を精査のうえ同意する - 投資運用会社が ESG リターンとリスクをどのように見ているかを検証し、追加の ESG 目標があれば、当該 ESG がポートフォリオのリスク-リターン・プロファイルに貢献しているか、どのような貢献をしているかを評価します。</p> <p><i>投資方針: プロセスと実践- 資産所有者のためのガイドはこのリンクをご参照ください。リンク</i></p>
<p>SAM 02.3</p>	<p>候補となる運用会社との会合には、ビデオ・カンファレンス、およびその他のマルチメディアを使った会議を含めることができます。</p> <p>候補となる運用会社のオフィスの査察は、第三者を通じて、ならびに指名段階で行うことも含めることができます。</p> <p>レビュー保証プロセスとは、運用会社が財務報告書またはその他の報告書を精査しているという保証プロセスを指します。このプロセスを精査することにより、理想的には、運用会社が組織に提示するデータと情報に自信が持てるようになります。</p> <p>PRI のリミテッドパートナーによる責任投資デューデリジェンス質問書(LP DDQ)はこのリンクをご参照ください。リンク</p>

ロジック			
<p>SAM 02</p>	<p>この指標は、組織が 以下のように報告する(資産クラス)に適用されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • OO 11.2 において、(組織では、外部運用会社の選定、指名およびモニタリングにおいて、ESG の組み入れおよび積極的な保有(積極的な株主行動等)に取り組んでいる)と選択した場合 • OO 12.1 において、組織が(外部運用会社を通じて RI を導入実施している)と(資産クラス)を選択した場合 		
評価			
<p>SAM 02</p>	<p>最高スコア: 資産クラス毎に ★ 18 個</p> <p>尚、SAM 02.2 の最高スコアは ★ 9 つであり、その内、★ 6 つがコア評価であり、残りの ★ 3 つが追加評価です。</p>		
<p>指標採点方法</p>			
<p>選択された回答</p>	<p>スコア・レベル</p>	<p>詳細</p>	
<p>コア評価</p>			
<p>SAM 02.1</p>			

選定

	「RFP には RI 情報を盛り込んでいない」	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	
コア評価			
SAM 02.2 - 戦略			
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	
コア評価			
SAM 02.2 - ESG 担当者/監督			
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	
追加評価			
SAM 02.2 - プロセス/ポートフォリオ組成/投資評価			
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つまたは二つのオプションを選択	★	
	三つまたは四つのオプションを選択	★★	
	五つ以上のオプションを選択	★★★	
コア評価			
SAM 02.3			
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	「候補となる運用会社との会合」または「候補となる運用会社のオフィスの訪問査察」のいずれかを選択	★★★	

選定

	追加評価		
	SAM 02.4		
	「上記のいずれでもない」	○	
	いずれかのオプションを選択	★★★	

定義	
ESG 目標	これには、行動規範、投資信条、戦略、ポリシー等の遵守; 投資制限; 統合(インテグレーション)実務; エンゲージメント; 議決権行使; 報告などがあります。
投資戦略	投資戦略とは、金融機関の投資決定の指針となる体系的な投資計画のことを言います。これには、資産配分、売買のガイドライン、ESGリスクなどのリスク・ガイドラインを含めることができます。また、これには、人間行動に留意しながら、金融市場がどのように機能するかに関する金融機関の重要な信念として理解されている投資信条を含めることができます。具体的は、投資プロセスに関する信念、組織の理念およびESG理念などがあります。
実体経済目標	投資が、財務収益に加えて環境、社会およびガバナンスに及ぼす影響を含め実体経済にどの程度のプラスまたはマイナスの影響を及ぼすか、を意味します。

SAM 03	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

SAM 03	指標						
SAM 03.1	あなたの組織では、通常、運用会社の大部分を対象として、各運用会社の積極的な保有実務(積極的な株主行動等)をどのように評価しているかを明示してください。						
		すべての 資産	資産 クラス 1	資産 クラス 2	資産 クラス 3	資産 クラス 4	資産 クラス 5
	エンゲージメント						
	運用会社のエンゲージメントポリシーを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	運用会社のエンゲージメント・プロセスを精査する(その事例および結果)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エンゲージメント結果が投資の意思決定プロセスに必ずフィードバックされるよう万全を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	運用会社の選定プロセスにおけるその他のエンゲージメント課題; 具体的に記入してください _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(委任状による)議決権行使						
	運用会社の議決権行使ポリシーを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない
	様々な所有権の枠内における運用会社の議決権行使能力について精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない
	議決された決定内容についてクライアントに報告する運用会社のプロセスを精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない

選定

	議決権行使結果が投資の意思決定プロセスに必ずフィードバックされるよう万全を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない
	行使した議決権の数を投票用紙/年次株主総会、保有銘柄や入手可能な根拠の割合として精査する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない
	組織の選定プロセスにおけるその他の議決権行使に関わる問題; 具体的に記載してください	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SAM 03.2	組織では、運用会社のエンゲージメント・アプローチが効果的かどうかについてどのように評価しているかを説明してください						
	<input type="checkbox"/> 投資判断に及ぼす影響 <input type="checkbox"/> 企業 / 資産レベルへの影響 <input type="checkbox"/> ESG プロファイルまたはポートフォリオに及ぼす影響 <input type="checkbox"/> 企業活動における変化を示す証拠 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない						
SAM 03.3	組織では、運用会社の議決権行使アプローチが効果的/適切であるかどうかをどのように評価しているかを説明してください						
	<input type="checkbox"/> 投資判断に及ぼす影響 <input type="checkbox"/> ESG プロファイルまたはポートフォリオに及ぼす影響 <input type="checkbox"/> 企業活動における変化を示す証拠 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない						
SAM 03.4	補足情報 [任意]						

SAM 03	説明
SAM 03	<p>この指標では、運用会社を選定する過程で、特にエンゲージメントおよび議決権行使実務に絞って、組織が設定している主なプロセスおよび講じる措置に関する情報を求めています。また、組織が運用会社に対していずれかの選択項目について報告を義務付けている場合には、ここでその内容を報告してください。</p> <p>どのような状況においてエンゲージメントを行うのかという運用会社のエンゲージメント・プロセスを精査</p>

選定

	<p>します。事例および成果の提出が必要です。エンゲージメントの成果がどのように投資の意思決定プロセスにフィードバックされているかを精査します。</p> <p>PRI の 投資戦略の策定 - 資産所有者のためのプロセスガイダンス は、資産所有者が運用会社の積極的な所有に関するプロセスを評価するための指導を提供しています。</p>
--	---

ロジック			
SAM 03	[OO 10.1]で、組織に代わってエンゲージメントを実施することもしくは議決権を行使することを外部運用会社に義務付けていると報告している場合に[SAM 03]が適用されます。		
SAM 03.1	<p>この指標のエンゲージメントの部分は、組織概要モジュール OO 10.1 で、上場株式または債券のいずれかについて「運用会社にエンゲージメントを義務付けている」と報告されている場合に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上場株式について上記が該当する場合には、SAM 03.1 の表の上場株式の欄が適用されます。 債券(SSA)について上記が該当する場合には、SAM 03.1 の表の債券(SSA)の欄が適用されます(その他の債券についても同様です)。 <p>この指標の議決権行使の部分は、組織概要モジュール OO 10.1 で、上場株式または債券のいずれかについて「運用会社に(委任状による)議決権行使を義務付けている」と報告されている場合に適用されます。</p>		
SAM 03.2	この指標は、組織概要モジュール OO 10.1 で、上場株式または債券のいずれかについて「運用会社にエンゲージメントを義務付けている」と報告されている場合に適用されます。		
SAM 03.3	この指標は、組織概要モジュール OO 10.1 で、上場株式について「運用会社に(委任状による)議決権行使を義務付けている」と報告されている場合に適用されます。		
評価			
SAM 03	資産クラス毎に最高★12個(債券については最高★9つ)		
スコア・サブ指標	SAM 03.1- あなたの組織では、通常、上場株式や債券の運用会社選定プロセスの大部分において、運用会社の積極的な保有実務をどのように評価しているかを明示してください。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	エンゲージメント		
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	

選定

	委任状による議決権行使(債券-SSA、債券-社債(金融)、債券-社債(非金融)および債券-証券化、には適用されません)		
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	
スコア・サブ指標	SAM 03.2 - 組織では、運用会社のエンゲージメント・アプローチが効果的であるかどうかをどのように評価しているかを説明してください		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	
スコア・サブ指標	SAM 03.3 - 組織では、運用会社の議決権行使アプローチが効果的/適切であるかどうかをどのように評価しているかを説明してください		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	

指名

SAM 04	指標のステータス 必須	目的 コア評価 / 追加評価	原則 PRI 1
--------	----------------	-------------------	-------------

SAM 04	指標				
SAM 04.1	あなたの組織では、ほとんどのケースで、また、商品の仕組みが許す限り、運用会社の選定およびもしくは約定の一環として以下の項目のいずれかを行っているかどうかを明示してください。				
	<input type="checkbox"/> 標準的ベンチマークまたは ESG ベンチマークを設定している <input type="checkbox"/> ESG 目標を明示している <input type="checkbox"/> ESG 目標にリンクしたインセンティブおよびコントロールを設定している <input type="checkbox"/> これら ESG 目標についての報告を義務付けている <input type="checkbox"/> 運用会社に ESG ガイドライン、規制、原則または基準の遵守を義務付けている <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない、組織ではプール型ファンドのみに投資を行っており、そこでは、綿密な選定プロセスを設定している				
SAM 04.2	運用会社の指名において通常盛り込んでいる、ベンチマーク、目標、インセンティブ/コントロールおよび報告要件の事例を資産クラス別に記載してください。				
	資産クラス	ベンチマーク	ESG 目標	インセンティブおよびコントロール	報告要件
	<ul style="list-style-type: none"> すべて SAM 03 から適用 [ドロップダウン] 	<input type="checkbox"/> 標準的ベンチマーク <input type="checkbox"/> ESG ベンチマーク、具体的に記入ください <input type="checkbox"/> ベンチマークは設定していない	<input type="checkbox"/> ESG 関連戦略、具体的に記入ください <input type="checkbox"/> ESG 関連投資制限、具体的に記入ください <input type="checkbox"/> ESG 統合（インテグレーション）、具体的に記入ください <input type="checkbox"/> エンゲージメント、具体的に記入ください <input type="checkbox"/> 議決権行使、具体的に記入ください	<input type="checkbox"/> 手数料ベースのインセンティブ <input type="checkbox"/> 違反の通知と救済 <input type="checkbox"/> 契約解除 <input type="checkbox"/> 契約違反の場合の手数料不払い <input type="checkbox"/> インセンティブおよびコントロールは設定していない	<input type="checkbox"/> 月一回 <input type="checkbox"/> 四半期毎 <input type="checkbox"/> 半年に一回 <input type="checkbox"/> 年一回 <input type="checkbox"/> 不定期/要求に応じて <input type="checkbox"/> ESG 目標についての報告を義務付けてはいない

指名

			<input type="checkbox"/> 責任投資の奨励 <input type="checkbox"/> ESG 特有の改善 <input type="checkbox"/> ESG ガイドライン/規制、原則/基準、具体的に記入してください _____ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入してください _____ <input type="checkbox"/> ESG 目標を明示していない		
	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
SAM 04.3	上記のいずれにも該当しない場合は、任命や約定プロセスの一環として期待を設定する他の仕組みを説明してください。				
SAM 04.4	報告要件のいずれかが満たされない場合に、組織では、以下に記載するどの措置を講じることになるのかを示してください。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 満たされない要件について話し合いを行い、是正のためのプロジェクトプランを設定する。 <input type="checkbox"/> 運用会社を「ウォッチリスト」に加える。 <input type="checkbox"/> 不遵守の理由を追跡し調査する。 <input type="checkbox"/> 手数料を交渉する。 <input type="checkbox"/> 全ての措置を講じても是正されない場合には、運用会社との契約を解除する。 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 要件が満たされない場合でも措置を講じることはない。 				
SAM 04.5	組織が設定している外部運用会社の指名プロセスに関連する追加情報を記載してください。 [任意]				

SAM 04	説明
SAM 04	標準的ベンチマーク - 組織において、MSCI WORLD、MSCI ACWI、MSCI エマージング・マーケット、SP500、FTSE100、DAX、EuroStoxx600、Nikkei225、Topix、Iboxx、およびバークレイズ・コンポジット・ボンド・インデックス、といった主要な指数連動型商品に照らしたベンチマークを設定している場合には、このオプションを選択してください。絶対収益投資家の場合には、ベンチマークは、Libor + 300Bps、5%、8% またはその他のハードルレートとなる場合もあります。複数の指数の組み合わせもこのカテゴリ

指名

	<p>に該当します。</p> <p>ESG ベンチマーク - 組織において、銘柄選定または重み付けにおいて ESG 課題を考慮した指数を使って ESG ベンチマークを設定している場合には、このオプションを選択してください。具体例には、ESG 指数の MSCI レンジ、FTSE/RUSSEL ESG インデックス・レンジ、DOW JONES/Robecco SAM サステイナブル・レンジなどがあります。</p> <p>ESG 目標は通常、個別マニフェストでは投資運用契約書(IMA)、プライベートエクイティ型プールファンドでは GP/LP 契約書、またその他のケースではサイドレターの一部となっています。これにより、追加の ESG 要件について、資産保有者と運用会社間で契約上拘束力を持たせることができます。</p> <p>ESG 目標: 戦略 - これには、行動規範、組織の投資戦略、投資ポリシーならびに投資信条ステートメント、および類似の戦略/ガバナンス文書を遵守するという目標も含まれます。</p> <p>ESG 特有の改善 - 運用会社が RI の方針を策定し、ESG 訓練をすることなどを目的するという目標も含まれます。</p> <p>インセンティブとコントロール: 手数料ベースのインセンティブ - 組織が運用会社の ESG パフォーマンスに基づき、ポジティブ・インセンティブ(手数料の割増)またはネガティブ・インセンティブ(標準的手数料の割引)を設定している場合には、このオプションを選択してください。</p> <p>契約解除 - ESG 目標が達成されない場合には、投資運用会社との契約を解除する、または、プライベートエクイティに係るコミットメントに拘束されない(投資から撤退する)場合には、このオプションを選択してください。</p> <p>違反の通知と救済 - 契約違反/契約違反の発生を伝え、違反を救済する措置を確立します。</p> <p>契約違反の場合の手数料不払い - ESG 目標を達成できない場合、「手数料を支払わない、支払い済みの手数料を回収する、または、運用会社との契約を解除する」場合には、このオプションを選択してください。</p>		
SAM 04.3	<p>この指標は、SAM 04.1 の「上記のいずれでもない」の選択肢のいずれかを報告した場合に適用されます。この指標で、外部マネージャの任命/約定プロセスにおける他の仕組みを説明します。これは、例えば、会話や関係構築を通じて、非公式に期待を設定することも含まれます。</p>		
ロジック			
SAM 04	<p>OO 11.2 で関連する外部資産クラスの「任命」を報告する場合は、[SAM 04]が適用されます。</p> <p>SAM 04.1 で(「上記のいずれも該当しない」を除く)オプションのいずれかを選択すると[SAM 04.2] が適用されます。</p> <p>SAM 04.1 で「上記のいずれも該当しない」のいずれかを選択すると[SAM 04.3] が適用されます。</p>		
評価			
SAM 04	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	コア評価		
	SAM 04.1		
	上記のいずれでもない、組織ではプール型ファンドのみに投資を行っており、そこでは、綿密な選定プロセスを設定している	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つまたは四つのオプションを選択	★★★	

指名

	SAM 04.2		
	事例は記載していない	○	
	事例を記載している	★★★	
	追加評価		
	SAM 04.4		
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つ以上のオプションを選択	★★★	

事例				
資産クラス	ベンチマーク	目的	インセンティブおよびコントロール	報告要件
<ul style="list-style-type: none"> 不動産 	<input checked="" type="checkbox"/> 標準的ベンチマーク、「Liber + 6%」と記入	<input checked="" type="checkbox"/> 統合、「建物のエネルギー効率を5%向上させる」と明示	<input checked="" type="checkbox"/> 手数料ベースのインセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> 年一回
<ul style="list-style-type: none"> 上場株式 	<input checked="" type="checkbox"/> ESG ベンチマーク、「MSCI World ESG」と明示	<input checked="" type="checkbox"/> 議決権行使、「資産保有者が、全てのコーポレートアクションの権利を保持しており、ESG ポリシーに従って、各種議題について議決権を行使している。資産保有者からの指示の代わりに、運用会社が資産保有者の議決権行使ポリシーに従って、議決権を行使することになっている」と明示 <input checked="" type="checkbox"/> エンゲージメント、「資産保有者が、投資ポートフォリオを構成するいかなる会社とも直接エンゲージメントを行う権利を保持しており、運用会社では、意思疎通の促進を図ることが求められている。」と明示	<input checked="" type="checkbox"/> 契約解除	<ul style="list-style-type: none"> 四半期毎

モニタリング

SAM 05	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
--------	----------------	------------	-------------

SAM 05	指標						
SAM 05.1	運用会社のモニタリングを行う際、あなたの組織では、以下に記載している責任投資情報の内、主としてどの種類の情報を取得のうえ精査および評価を行っているかを明示してください						
		すべての資産	資産クラス 1	資産クラス 2	資産クラス 3	資産クラス 4	資産クラス 5
	投資戦略とリンクした ESG 目標（事例を付してください）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG の実施戦略がポートフォリオ/ファンドの投資判断および財務/ESG パフォーマンスにどのように影響したかの証拠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	投資制限への遵守および意見が分かれている投資判断	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG ポートフォリオ特性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	運用会社が、モニター対象期間において、どのように ESG 重要度を評価しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG 関連の出来事があればそれに関する情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実体経済が投資に及ぼす影響に関する評価基準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	PRI 報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	PRI 評価報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
RIの奨励と産業へのエンゲージメントによるRIの実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
投資運用契約におけるその他の一般的な RI	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

モニタリング

	の検討事項; 具体的に記入してください _____						
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない
SAM 05.2	外部運用会社をモニタリングする際に、組織では、遵守状況/進捗度を測定するために、以下の項目のいずれかを設定していますか:						
	ESG スコアもしくは評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG ウェイト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG 実績の最低必要基準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実体経済目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他の RI 留意事項 _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SAM 05.3	組織が設定している外部運用会社のモニタリングプロセスに関連する追加情報を記載してください。 [任意]						

SAM 05

説明

SAM 05	<p>指標[SAM 5.2]は、機関投資家のための OECD 責任あるビジネス行動勧告と整合しています。</p> <p>ESG スコアおよび重み付け(ウェイト)は、定量的なものである必要はありません; これらは、一定の保証要件または最低基準の遵守などでも構いません。ESG ウェイトは例えば運用会社のモニタリングに当た利、使う ESG 実績の最低基準や標準、および何らかの措置を取るきっかけとなる出来事を含むことができます。</p> <p>運用会社が提供する報告にばらつきがあること、およびこうしたばらつきが発生する理由について説明されたい場合は、記載してください。(例えば、そのばらつきは契約上の義務の違いを反映したものか、それとも資産クラスの機能、または行っている投資の種類によるものか?)</p> <p>投資戦略とリンクした ESG 目標 - 行動規範、組織の投資戦略、投資ポリシーや投資信条ステートメント、および類似の戦略/ガバナンス文書を遵守するために設定される目標です。</p> <p>投資制限および意見が分かれている投資判断 - これは、投資運用会社が合意されていない考え方で投資を行ったり、投資をやめたりしていないかをチェックするという意味です。</p> <p>ESG ポートフォリオ特性 - これには、どのような企業がポートフォリオに含まれているか、それらの ESG スコアはどうなっているか、ポートフォリオの ESG 構成が前回の報告期間からどのように変化しているか等の精査などがあります。また、これには、モニタリング対象期間における回転率の事例の精査も含まれます。</p> <p>ESG 関連の出来事があればそれに関する情報 - これには、ESG 問題により、以前購入した株式を売却した事例などが含まれます。</p> <p>実体経済が投資に及ぼす影響に関する評価基準 - これには、例えば、建物のポートフォリオのエネルギー効率などが挙げられます。</p> <p>組織が、外部運用会社に炭素ポートフォリオのモニタリングを行うよう義務付けている場合には、是非、「補足情報」フィールドに記載して下さい。</p>		
ロジック			
SAM 05	OO 11.2 で該当する外部資産クラスの「モニタリング」を報告する場合、[SAM 05]が適用されます。		
評価			
SAM 05	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	SAM 05.1		
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つまたは二つのオプションを選択	★	「PRI 透明性報告書」および「PRI 評価報告書」の両方を選択している場合には、二つで一つのオプションとしてカウントされます。
	三つまたは四つのオプションを選択	★★	
	五つ以上のオプションを選択	★★★	
	SAM 05.2		
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つのオプションを選択	★★★	

SAM 06	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 1
--------	----------------	------------	-------------

SAM 06	指標						
SAM 06.1	運用会社をモニタリングする際、あなたの組織では、会合/電話会議等において、以下に記載している積極的な保有に関する情報の内、主として、どの種類の情報を投資運用会社から取得のうえ精査および評価を行っているかを明示してください						
		すべての資産	資産 クラス 1	資産 クラス 2	資産 クラス 3	資産 クラス 4	資産 クラス 5
	エンゲージメント						
	実施しているエンゲージメント活動に関する報告(メトリック、テーマ、問題、セクターなどを含む要約)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エンゲージメントが ESG に及ぼす影響についての報告(成果、目的達成状況を事例を示してください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	最初の失敗した対話の後に 行われたエスカレーション 戦略に関する情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	最終的に社内で行われた エンゲージメントプログラ ムとの調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エンゲージメント活動の投 資判断への影響に関する 情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	投資運用契約に盛り込ま れているエンゲージメント に関連するその他の RI 留意事項; 具体的に記入 してください _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(委任状による)議決権行使						
	実施した議決権行使に関 する報告(成果および事 例)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しな い	該当しな い	該当しな い	該当しな い
	議決された決定内容の根 拠に関する報告	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しな い	該当しな い	該当しな い	該当しな い
同意された議決権行使方 針の遵守に関する報告	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しな い	該当しな い	該当しな い	該当しな い	

モニタリング

投資運用契約における (委任状による)議決権行使に関するその他のRI の留意事項; 具体的に記入してください_____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない
上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない

SAM 06	説明
	<p>この指標の目的は、運用会社の積極的な所有実務およびプロセスの影響度を測定するために、組織がそれらをどのようにモニタリングしているかを捕捉することにあります。</p> <p>上場株式会社については、これは、運用会社がどのような状況においてエンゲージメントを行うのかを説明する運用会社のエンゲージメント・プロセスの精査、その事例および成果の内容についての報告の要請、エンゲージメントの成果が投資の意思決定プロセスにどのようにフィードバックされているかの精査などを意味する場合があります。</p> <p>エンゲージメント活動のモニタリングは、最初の失敗した対話(すなわち、決議の提出、経営者に対する投票の通知、公開声明の発行、投資/売却の削減または訴訟を検討するなど)の場合、エスカレーション戦略について運用会社と話し合うことを含みます。</p> <p>運用会社 の (委任状による)議決権行使 を精査する際には、同意した議決権ポリシーに従って投票決定が行われたことを監視し、遵守が不十分な状況を評価することを含みます。</p> <p>組織が(LEA モジュールで報告しているように)社内でいくつかのエンゲージメント活動を実施している場合、モニタリングプロセスには 運用会社 の目的とエンゲージメント実施の結果を社内エンゲージメント活動と整合させることが含まれます。</p>
ロジック	
SAM 06	[OO 10.1]で、組織に代わって議決権を行使することを外部運用会社に義務付けていると報告している場合に、[SAM 06]が適用されます。
SAM 06.1	<p>この指標のエンゲージメントに該当する部分は、組織概要モジュール OO 10.1 で、上場株式会社または債券のいずれかについて「運用会社にエンゲージメントを義務付けている」と報告されている場合に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上場株式会社について上記が該当する場合には、SAM 03.1 の表の上場株式の欄が適用されません。 債券(SSA)について上記が該当する場合には、SAM 03.1 の表の債券(SSA)の欄が適用されます(その他の債券についても同様です)。 <p>この指標の議決権行使に該当する部分は、組織概要モジュール OO 10.1 で、上場株式会社または債券のいずれかについて「運用会社に(委任状による)議決権行使を義務付けている」と報告されている場合に適用されます。</p> <p>「実施した議決権行使に関する報告(成果および事例)」を報告すると SAM 07.1 が適用されます。</p>
評価	
SAM 06	資産クラス毎に最高 ★ 6 つ
	指標採点方法

モニタリング

	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	エンゲージメント		
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つのオプションを選択	★★★	
	委任状による議決権行使(債券 -SSA、債券 - 社債(金融)、債券 - 社債(非金融)および債券 - 証券化、には適用されません)		
	「上記のいずれでもない」を選択	○	
	一つのオプションを選択	★	
	二つのオプションを選択	★★	
	三つのオプションを選択	★★★	

モニタリング

SAM 07	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

SAM 07		指標	
SAM 07.1	外部運用会社に(委任状による)議決権行使の裁量を与えている上場株式について、報告年度に委任状により投票したおおよその割合 (+/- 5%) を記載してください。		
	行使した議決権(5%単位)	この割合を計算した根拠を説明してください。	
	<input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> %	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総議決案件数のうち、指示を出すことができた案件数の割合 ○ 総会の合計回数のうち、議決権を行使できた総会の割合 ○ 保有する上場株式の総額のうち、議決権を行使できた割合(金額ベース) 	
	○ この情報を収集していない		
SAM 07.2	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2
	組織の代わりに外部運用会社にエンゲージメントに関して裁量を与えている上場株式について、報告年度にエンゲージメントをしたおおよその割合 (+/-5%) を記載してください。		
	エンゲージメントを行った会社数	<input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>	
	割合(5%単位)	<input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>	
SAM 07.3	補足情報 [任意]		

SAM 07	説明
SAM 07	議決権行使とエンゲージメントの割合を計算する際は、外部運用会社に議決権行使およびエンゲージメントの裁量を与えている保有株式のみを含めてください。
SAM 07.1	<p>[SAM 06]で、「組織に代わって議決権を行使した」もしくは「エンゲージメントの報告をした」と報告した場合には、[SAM 07]が適用されます。</p> <p>[SAM 06.1]で、「実施した議決権行使に関する報告(成果および事例)」と報告した場合には、[SAM 07.1]が適用されます。</p> <p>[SAM 06.1]で、「実施しているエンゲージメント活動に関する報告(メトリック、テーマ、問題、セクターなどを含む要約)」と報告した場合には、[SAM 07.2]が適用されます。</p>

<p>SAM 07.3</p>	<p>報告内容のばらつき</p> <p>投資運用会社が行う報告内容のばらつき、およびそうしたばらつきが発生する理由について説明を求められる場合は、記入してください。</p> <p><i>運用会社が議決権を行使しないことを選択する理由:</i></p> <p>運用会社が議決権を行使しないことを選択する様々な理由について説明を求められる場合、例えば;</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特定の種類の資産またはファンドには議決権を行使しないという戦略的決定 ● 業務上または時間的な制約 ● 株式凍結 ● 利益相反 ● 事務的な不備(例:委任状要件) ● 議決行使に係る手数料 ● 地理的な制約(例:遠隔地の市場) ● 情報が不十分である ● 全体的なコスト効率 		
<p>ロジック</p>			
<p>SAM 07</p>	<p>[SAM 06]で、「組織に代わって議決権を行使した」もしくは「エンゲージメントの報告をした」と報告した場合には、[SAM 07]が適用されます。</p> <p>[SAM 06.1]で、「実施した議決権行使に関する報告(成果および事例)」と報告した場合には、[SAM 07.1]が適用されます。</p> <p>[SAM 06.1]で、「実施しているエンゲージメント活動に関する報告(メトリック、テーマ、問題、セクターなどを含む要約)」と報告した場合には、[SAM 07.2]が適用されます。</p>		
<p>評価</p>			
<p>SAM 07.1</p>	<p>最高スコア: 資産クラス毎に ★ 3 つ</p>		
<p>指標採点方法</p>			
	<p>選択された回答</p>	<p>スコア・レベル</p>	<p>詳細</p>
	<p>「この情報を収集していない」を選択、または、「10%未満」と回答</p>	<p>○</p>	
	<p>10% から 80% と回答</p>	<p>★</p>	
	<p>80% から 95% と回答</p>	<p>★★</p>	
	<p>95%超と回答</p>	<p>★★★</p>	

セクション

成果および結果

SAM 08	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
--------	--------------------------	----------	-------------

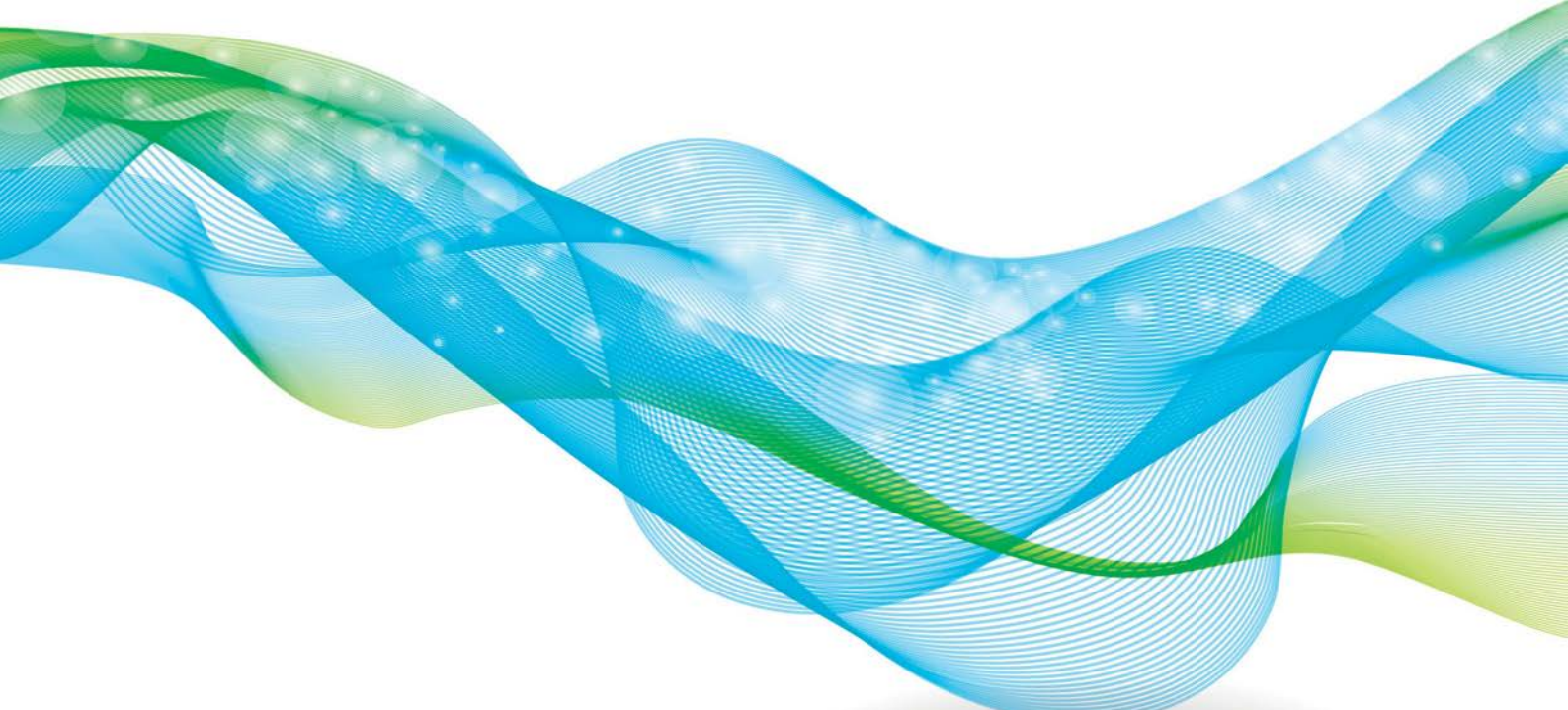
SAM 08	指標	
SAM 08.1	組織では、RIに関するベストプラクティスが保有資産の運用に確実に適用されるようどのようにして万全を図っているその内容を説明してください	
	方策	
	<input type="checkbox"/> 既存の投資運用会社に対し、RIプラクティスの改善を働き掛ける	[フリーテキスト]
	<input type="checkbox"/> より優れたRIプラクティスを実行している投資運用会社に資産を移す	[フリーテキスト]
	<input type="checkbox"/> その他、具体的に記載してください _____	[フリーテキスト]
	<input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない	
SAM 08.2	補足情報 [任意]	

SAM 09	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 1,6
--------	----------------	------------	---------------

SAM 09	指標																														
SAM 09.1	<p>報告年度において、運用会社の選定、指名やモニタリングプロセスの過程で、ESG 問題がどのように対処されているかを示す事例を挙げてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #D9E1F2;"> <th style="width: 15%;">トピックまたは問題</th> <th style="width: 20%;">実行者</th> <th style="width: 20%;">資産クラス</th> <th style="width: 20%;">対象範囲およびプロセス</th> <th style="width: 25%;">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 組織内のスタッフ 投資コンサルタント [ドロップダウン] </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> すべて SAM 03 から適用 [ドロップダウン] </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[同上]</td> <td>[同上]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[同上]</td> <td>[同上]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[同上]</td> <td>[同上]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[同上]</td> <td>[同上]</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 事例を提供することはできない</p>	トピックまたは問題	実行者	資産クラス	対象範囲およびプロセス	結果		<ul style="list-style-type: none"> 組織内のスタッフ 投資コンサルタント [ドロップダウン]	<ul style="list-style-type: none"> すべて SAM 03 から適用 [ドロップダウン]				[同上]	[同上]				[同上]	[同上]				[同上]	[同上]				[同上]	[同上]		
トピックまたは問題	実行者	資産クラス	対象範囲およびプロセス	結果																											
	<ul style="list-style-type: none"> 組織内のスタッフ 投資コンサルタント [ドロップダウン]	<ul style="list-style-type: none"> すべて SAM 03 から適用 [ドロップダウン]																													
	[同上]	[同上]																													
	[同上]	[同上]																													
	[同上]	[同上]																													
	[同上]	[同上]																													
SAM 09.2	<p>補足情報 [任意]</p>																														

SAM 09	説明									
SAM 09.1	<p>投資運用会社の名称や詳細を記載する必要はありません。現行報告年度における事例を挙げていただくことが理想ですが、ESG 問題が運用会社の選定、指名やモニタリングプロセスにどのような影響を及ぼしているかについて偏りのない見解を提示したい場合、または組織のアプローチの具体的な特性に焦点を当てたい場合には、是非、過年度の例を報告してください。</p>									
ロジック										
SAM 09.1	SAM 09.1 の行に表示される資産クラスは、OO SAM 01.1 または OO 11.2 で報告した資産クラスの影響を受けます									
評価										
SAM 09.1	指標採点方法									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">選択された回答</th> <th style="width: 30%;">スコア・レベル</th> <th style="width: 30%;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事例は記載していない</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事例を記載している</td> <td style="text-align: center;">★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	事例は記載していない	○		事例を記載している	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細								
事例は記載していない	○									
事例を記載している	★★★									

事例				
トピックまたは問題	実行者	資産クラス	対象範囲およびプロセス	結果
マイニング	組織内のスタッフ	プライベートエクイティ	プライベートエクイティのマイニングを行う投資の専門家を選択する際のデューデリジェンスにおいて、GPのESGプロセスが保健・安全に対処していないことがわかりました。組織では、この問題に対応するポリシーおよび基準を策定するようGPに要請しました。GPではこの要請を拒絶しました。	従い、組織では、当該ファンドには投資を行わないことを決定しました。
人権	組織内のスタッフ	不動産	ファンドの運用会社では、不動産開発のために移転する必要があるコミュニティの人々の権利に適切に対処するための一定のポリシーを設定していませんでした。組織では、この問題についてしかるべきポリシーを策定するよう運用会社に要請しました。	運用会社はポリシーを策定し、その結果、組織はそのファンドに投資することができました。



2018年PRI報告フレームワーク 自己運用 - 上場株式の組み入れ

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社 [QUICK](#)にご協力いただきました。

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報があります。

トッパー






トッパーには、指標のステータス（必須または自主開示）、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は自由です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織がモジュール内の他の指標に該当する場合、他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用します。
コア評価項目		これらの指標は評価の基本を形成し、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替の実務を表し、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標で、組織の活動を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が組織に該当することを確認してください。

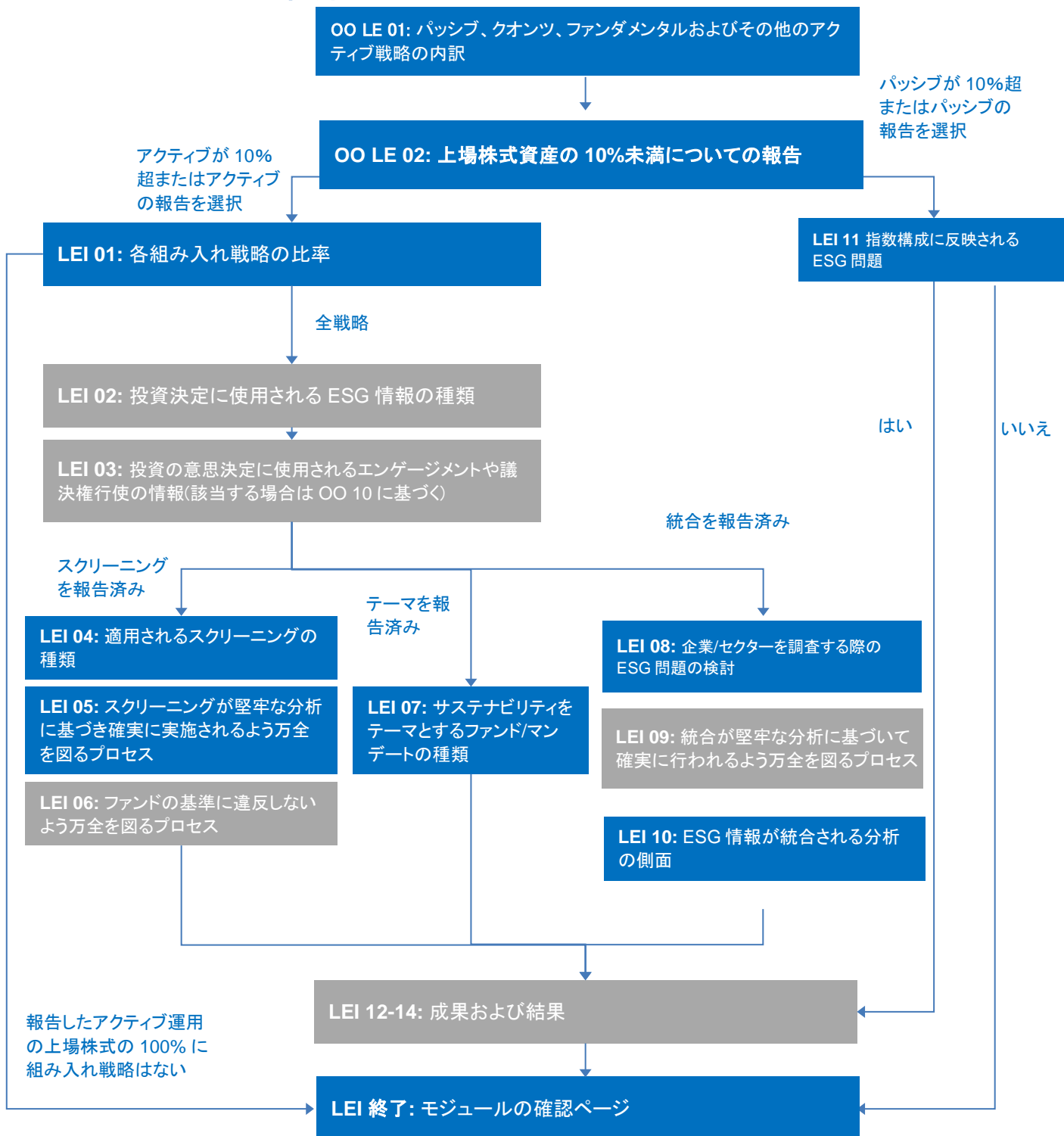
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告する可能性がある事例など、サブ指標を理解する方法の指針となります。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する時、そしてその指標がサブ指標に影響するかどうかを説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は常に適用され、他の指標には影響しません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価アプローチの概要です。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される具体的な用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
モジュールの経路	4
序文	5
アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ	6
A) 実施:スクリーニング	15
B) 実施:テーマ	20
C) 実施: 統合	21
パッシブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ	29
成果および結果	31

モジュールの経路



序文

本モジュールで報告されている情報は、組織内で運用している上場株式保有銘柄に ESG をどのように組み入れるかをステークホルダーが理解できるようにすることを目的としたものです。

このモジュールには、アクティブ運用およびパッシブ運用を区別するセクションがあり、[OO LE 01]の回答によって適用されます。

改正の概要

2017 指標	改正の概要
LEI 01 - LEI 02	これらの指標は LEI モジュールから OO に移動しました。
LEI 03	この指標は LEI 01 に番号変更され、指標の目的が変更されています。
LEI 04 - LEI 06	これらの指標は LEI 02 - LEI 04 に番号変更されています。
LEI 07	この指標は LEI 05 に番号変更され、新しいサブ指標が追加されています。
LEI 08	この指標は LEI 06 に番号変更され、新しい選択肢が追加されています。
LEI 09	この指標は LEI 07 に番号変更されています。
LEI 10	この指標は LEI 08 に番号変更され、選択肢が改正されています。
LEI 11	この指標は LEI 09 に番号変更され、指標の目的が変更され、新しいサブ指標が追加され、選択肢が改正されています。
LEI 12	この指標は LEI 10 に番号変更され、選択肢が改正および・もしくは表現が変更されています。
LEI 13 - LEI 16	これらの指標は LEI 11 - LEI 14 に番号変更されています。
LEI 17	この指標は LEI モジュールから SG19 に移動しました。

セクション

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ

実施プロセス

LEI 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
--------	----------------	------------	-------------

LEI 01	指標	
LEI 01.1	以下を記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 組織でのアクティブ運用上場株式にどのESG組み入れ戦略や組み合わせを使用しているか アクティブ運用している上場株式の戦略または戦略の組み合わせ別内訳 	
	ESG組み入れ戦略 (当てはまるものをすべてお選びください)	アクティブ運用される上場株式に戦略が適用される割合 (推定 +/- 5%)
	<input type="checkbox"/> スクリーニングのみ(他の戦略と組み合わせない)	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> テーマのみ(他の戦略と組み合わせない)	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> 統合のみ(他の戦略と組み合わせない)	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> スクリーニングおよび統合戦略	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> テーマおよび統合戦略	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> スクリーニングおよびテーマ戦略	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> 3つの戦略すべての組み合わせ	<input type="text"/> %
	<input type="checkbox"/> 組み入れ戦略を適用していない	<input type="text"/> %
	アクティブ運用している上場株式の合計	100%
LEI 01.2	組織が実施している ESG 組み入れアプローチ、および、特定の ESG 組み入れ戦略を選択している場合はその理由を説明してください。	
LEI 01.3	ESG組み入れ戦略の組み合わせを使用して資産を運用している場合、ESG戦略の組み合わせをどのように使用しているかを簡単に説明してください。 [任意]	

LEI 01	説明
LEI 01.1	<p>指標[LEI 01.1]は、機関投資家のためのOECD責任あるビジネス行動勧告に整合しています。</p>
LEI 01.1	<p>原則1において、署名者はESG問題を投資分析や意思決定プロセスに組み入れることが義務付けられています。ここで説明している3つの戦略の説明は、以下に記載の定義を参照下さい。この指標の目的は、この原則を実行するための様々なアプローチによってカバーされる上場株式資産の比率を明示いただけるようにすることです。これを行うには多くの方法があります。組織独自のアプローチをできる限り忠実に反映できるようにするため、複数のオプションが提供されています。この指標はまた、個々の戦略についてさらに詳しい指標に進むかどうかを決定します。組織のアプローチに最も近い戦略を選択してください。</p> <p>同一の資産に2つの戦略を採用している場合、適切な組み合わせのオプションを選択してください。例えば、資産の5%についてはスクリーニングのみで、他の資産についてはスクリーニングと統合の組み合わせを採用しているとします。こうした場合には、「スクリーニングのみ」を5%、「スクリーニング + 統合戦略」を残りの95%として報告してください。</p> <p>組み入れに何のアプローチも採用しておらず、「組み入れ戦略を適用していない」という選択肢が上場株式資産の100%を占める場合、本モジュールのアクティブ運用上場株式セクションでこれ以上報告する必要はありません。</p>
LEI 01.2	<p>この指標は、上場株式投資において組織がESG問題をどのように考慮しているかについての概要を示せるようにしたものです。活動、戦略、使用しているプロセスについて説明してください。これ以降の指標では、これらの戦略の対象範囲に関する具体的な情報について質問しており、これらの指標を通じ、各戦略がどのように実施されているかに関する具体的な情報を提供することができます。</p> <p>この指標に含まれる事項の例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用している主なESG戦略およびこれらを使用する動機 ● これらの戦略を実行する責任者は誰か ● あなたの組織のESG組み入れ戦略はそれぞれどのように異なっているか（地域またはセクター別など） ● 戦略をどのように組み合わせで使用しているか（該当する場合）
ロジック	
LEI 01	<p>[OO LE 01.1]の組織概要モジュールで、「アクティブ - 数量的」または「アクティブ - ファンダメンタル」戦略があると報告した場合に、[LEO 01]が適用されます。</p> <p>このOO LE 01.1の数値が10%未満の場合は、OO LE 02.1の「戦略に関するレポート」で「はい」を選択する必要があります。</p> <p>スクリーニングの場合、テーマおよび/または統合戦略がLEI 02からLEI 10で報告され、LEI 12からLEI 15が適用されます。</p> <p>報告された戦略オプションに基づいて、以下のロジックが適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「スクリーニングのみ」を選択する場合:「実施:スクリーニング」セクション[LEI 04 - LEI 06]に誘導されます。 ● 「テーマのみ」を選択する場合:「実施:サステナビリティをテーマとする投資」セクション[LEI 04 -

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ>>実施プロセス

	<p>LEI 06]]に誘導されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「テーマおよび統合」を選択する場合:「実施:サステナビリティをテーマとする投資」セクション[LEI 04 - LEI 06]および「実施:ESG問題の統合」セクション[LEI 08 - LEI 10]に誘導されます。 「スクリーニングおよびテーマ」を選択する場合:「実施スクリーニング」セクション[LEI 04 - LEI 06]および「実施:サステナビリティをテーマとする投資」セクション[LEI 07]に誘導されます。 「3つの戦略すべて」を選択する場合:3つのセクションすべて[LEI 04 - LEI 10]に誘導されます。 アクティブ運用する上場株式の100%に「組み入れ戦略は適用されない」と報告する場合、指標[LEI 02 - LEI 14]は適用されません。
評価	
<p>LEI 01</p>	<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>[03.1]での回答に基づき、すべての組み入れ戦略を合わせた全体が評価されます。</p> <p>総合LEIスコア:</p> <p>総合LEIスコアは、「主要な」組み入れ戦略を基に決定されます。これは、[03]で各組み入れ戦略が適用される資産の比率に基づきます。3つの戦略(スクリーニング、テーマまたは統合)のいずれかまたはその組み合わせによって完全なスコアを達成できます。また、各組み入れ戦略に個別のスコアが評価レポートに記載されます。評価された、該当する指標のすべてが、モジュールのスコアカードに含まれます。</p>

LEI 01	定義
<p>PRIの原則1では、投資分析や意思決定プロセスへのESG問題の組み入れについて述べています。報告フレームワークにおけるESGの組み入れとは、<i>投資の意思決定プロセスにおけるESG情報の考慮および使用</i>を意味します。</p> <p>報告フレームワークはESG組み入れを行う4つの方法に触れています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スクリーニング 2. サステナビリティをテーマとする投資(環境および社会をテーマとする投資) 3. 統合 4. 上記の組み合わせ <p>エンゲージメントのアプローチの対象となり、以上のいずれの戦略にも当てはまらない資産はESG組み入れに含めないでください。</p> <p>責任投資業界の標準化とコミュニケーションを改善するため、PRIは用語の定義をGlobal Sustainable Investment Allianceと一致させています。この定義を以下に示します。</p>	
<p>投資のスクリーニング</p>	<p>報告フレームワークにおける3種類のスクリーニングの定義は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. ネガティブ/除外スクリーニング:特定のESG基準に基づき、特定セクター、企業または実務をファンドまたはポートフォリオから除外する。 b. ポジティブ/業界最高水準スクリーニング: 業界の比較対象と比較し、すぐれたESGパフォーマンスにより選択したセクター、企業またはプロジェクトへ投資する。 c. 標準を基準にしたスクリーニング: 国際的な基準にもとづき、実務慣行の最低基準に照らし、投資をスクリーニングする。標準を基準にしたスクリーニングには、 <ol style="list-style-type: none"> 1. 責任投資/ESG問題に関連する国際基準に照らした投資先の実績に基づいて投資ユニバースを定義する、または、 2. 投資後の調査または、時に、エンゲージメントの結果、投資先がこれら基準に反する投資先であることが判明した場合には、投資後に当該投資先を除外するという二つがあります。これら基準には国連グローバル・コンパクトの原則、世界人権宣言、国際労働機関の基準、国際連合腐敗防止条約、OECD多国籍企業行動指針などがあります。
<p>サステナビリティをテーマとする投資</p>	<p>特にサステナビリティに関連したテーマまたは資産への投資(例:クリーンエネルギー、環境にやさしいテクノロジー、持続可能な農業)。</p>
<p>ESG問題の統合</p>	<p>運用会社が環境、社会、ガバナンス要因を従来の財務分析に体系的かつ明示的に含めること。ESG統合に係る手引きおよびケーススタディについては、PRIのESG統合に関する公表資料を参照下さい。</p>
<p>これらの定義の詳細については、別途主な定義文書を参照下さい。</p>	

LEI 02	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1
--------	------------------	------------	-------------

LEI 02	指標	
LEI 02.1	組織でESG組み入れ戦略に使用しているESG情報およびこの情報の提供者を記載してください。	
	ESG情報の種類	この情報の提供者を選択してください
	<input type="checkbox"/> 未調整のESGの企業データ	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> セルサイド <input type="checkbox"/> 組織内 – 専属のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – アナリストまたはポートフォリオマネージャー
	<input type="checkbox"/> 企業関連の分析または格付	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> セルサイド <input type="checkbox"/> 組織内 – 専属のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – アナリストまたはポートフォリオマネージャー
	<input type="checkbox"/> セクター関連の分析または格付	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> セルサイド <input type="checkbox"/> 組織内 – 専属のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – アナリストまたはポートフォリオマネージャー
	<input type="checkbox"/> 国関連の分析または格付	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> セルサイド <input type="checkbox"/> 組織内 – 専属のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – アナリストまたはポートフォリオマネージャー
	<input type="checkbox"/> スクリーニングされた株式のリスト	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> セルサイド <input type="checkbox"/> 組織内 – 専属のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – アナリストまたはポートフォリオマネージャー
	<input type="checkbox"/> 特定のESG問題の分析または格付	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> セルサイド <input type="checkbox"/> 組織内 – 専属のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – アナリストまたはポートフォリオマネージャー
LEI 02.2	<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	
	使用されているESG情報を簡単に説明してください。ESG組み入れ戦略全般での情報源の違いを明らかにしてください。	

LEI 02.3	ブローカーに対し ESG 調査結果を提供するよう奨励しているかどうかについて記載してください。	
	○している	○していない
LEI 02.4	ブローカーに対しどのように奨励しているかを記載してください。	
LEI 02.5	補足情報 [任意]	

LEI 02	説明
LEI 02.1	<p>この指標の目的は、どのような種類のESG情報が組織の投資決定に影響を与えているかを報告できるようにすること、この情報源に焦点を当てることです。例えば、投資家によっては専門的な調査提供会社から直接入手したESGデータを使用していることもあります。あるいは、第三者から購入した調査を補完するために組織内で調査を行い、自身で補完した調査を投資プロセスに利用している投資家もいます。または、これを両方行っている投資家もいます。(本モジュールの後半の指標では、この調査の質や調査が投資プロセスでどのように使用されるかを説明できます)</p> <p>異なる情報源の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 未調整のESGの企業データ: 分析または集計前に提供する、企業のESGパフォーマンスに関するデータ。 ● 企業関連のESG分析または格付: 企業のESGパフォーマンス、リスクまたは機会に関する情報の分析または集計。これは、格付の比率、または文字などの別の指標として表現される場合もあります。 ● セクター関連のESG分析または格付: 例えば食品や飲料セクターなど、特定の業界セクターに関連するESGパフォーマンス、リスクまたは機会を分析または集計したもの。 ● 国関連のESG分析または格付: 各国のESGに関連した法律、政策、基準、実績、リスクや機会を分析または集計したもの。 ● スクリーニングされた株式のリスト: スクリーニングされたポートフォリオを構築するために取引が許容される分野の株式のリスト。 ● 問題に固有のESG分析または格付: 単一の問題(例:人権)の分析、または気候変動などのトレンドやテーマについて分析したもの。
LEI 02.2	<p>戦略別にESGの情報源を説明してください。投資プロセスに第三者の未調整のESG情報を通常使用するかどうか、または、第三者の調査を補完するためにさらに組織内調査を実施しているかどうか記載してください。</p>
LEI 02.3	<p>第三者のプロバイダー(ブローカーなど)に対する報奨制度の実施はESG問題の促進に影響を与えると考えられています。ESGサービスやその質を金銭的に定量化することにより、ESG問題が注目され、より目的に応じたリソースが可能になります。</p>
LEI 02.4	<p>この指標では、ESG調査を促進する上でどういった措置を実施しているかについても説明いただけます。例えば、以下のような項目が挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ESG問題を特定し、ブローカーや他の投資調査提供会社に調査を提案する ● ブローカーの評価プロセス(ブローカーへの手数料の配分が決定される)にESGの要素を組み入れる ● ESG問題に関するブローカーの調査を購入する予算を設定する

ロジック			
LEI 02	[LEI 02.3]に「している」と回答すると、[LEI 02.4]が適用されます。		
評価			
LEI 02	最大スコア: ★3つ		
	この指標は、投資決定プロセスに使用される ESG 情報の種類に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	なし	○	
	一種類の ESG 情報	★	
二種類の ESG 情報、または 一種類の ESG 情報および、ブローカーに対して ESG 関連の リサーチを奨励	★★		
三種類以上の ESG 情報または 二種類の ESG 情報および、ブローカーに対して ESG 関連の リサーチを奨励	★★★		

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ>>実施プロセス

LEI 03	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1
--------	------------------	------------	-------------

LEI 03	指標			
LEI 03.1	ESG へのエンゲージメントや(委任状による)議決権行使から得られる情報を投資の意思決定に利用できるプロセスが組織にあるかどうかを記載してください。			
	<table border="1"> <tr> <td>エンゲージメント</td> <td> <input type="radio"/> 情報を確実に利用できる体系的なプロセスを設定している <input type="radio"/> この情報をたまに利用している <input type="radio"/> この情報を利用していない </td> </tr> <tr> <td>(委任状による)議決権行使</td> <td> <input type="radio"/> 情報を確実に利用できる体系的なプロセスを設定している <input type="radio"/> この情報をたまに利用している <input type="radio"/> この情報を利用していない </td> </tr> </table>	エンゲージメント	<input type="radio"/> 情報を確実に利用できる体系的なプロセスを設定している <input type="radio"/> この情報をたまに利用している <input type="radio"/> この情報を利用していない	(委任状による)議決権行使
エンゲージメント	<input type="radio"/> 情報を確実に利用できる体系的なプロセスを設定している <input type="radio"/> この情報をたまに利用している <input type="radio"/> この情報を利用していない			
(委任状による)議決権行使	<input type="radio"/> 情報を確実に利用できる体系的なプロセスを設定している <input type="radio"/> この情報をたまに利用している <input type="radio"/> この情報を利用していない			
LEI 03.2	補足情報 [任意]			

LEI 03	説明
LEI 03	指標[LEI 03.1]は、機関投資家のための OECD 責任あるビジネス行動勧告に整合しています。
LEI 03.01	<p>この指標によって貴社は、ESG へのエンゲージメントや議決権行使活動から得られた情報を投資の意思決定に利用する正式なプロセスを組織内に設定しているかどうか、ならびに、エンゲージメントから得られた情報を組織内の運用担当者や組織外の運用会社と共有しているかどうかについて説明可能となります。(即ち、PRI の原則 2 および原則 1 につながるものです)</p> <p>すべての関連するファンドの投資の意思決定者がエンゲージメントや議決権行使に関する情報を利用できるような正式なシステムやプロセスがある場合には、「情報を確実に利用できる体系的なプロセスを設定している」を選択してください。これは、ほとんどの場合、ファンダメンタル株式銘柄選択ファンドに当てはまります。しかし、すべてのエンゲージメントや議決権行使が投資の意思決定に常に影響を及ぼすとは限りません。</p> <p>エンゲージメントや議決権行使から得られた情報の利用が時々という程度であり、利用方法も個人やファンドによって異なっており、全ファンドに画一的なプロセスがない場合には、「この情報をたまに利用している」を選択してください。</p> <p>エンゲージメントとは、ESG 問題に関連して影響力を行使するための投資先とのやりとりを指します。議決権行使とは、企業調査、他の投資家の見解、議決権行使決定、企業の対応および行動など、(委任状による)議決権行使に関するすべての活動を指します。</p>
ロジック	
LEI 03	<p>OO 10.1「上場株式 - エンゲージメント」行で「組織のスタッフ、協働またはサービスプロバイダーを通じて ESG 要因に関して企業へのエンゲージメントを実施している。」を選択すると、[LEI 03.1]の「エンゲージメント」セクションが適用されます。</p> <p>OO 10.1「上場株式 - 議決権行使」行で「(代理人)投票を直接または専用の投票提供者を介して議決権行使する。」を選択すると、[LEI 03.1]の「エンゲージメント」セクションが適用されます。</p>
評価	

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ>>実施プロセス

LEI 03	最大スコア: ★3つ この指標は、投資の意思決定に利用可能となっているエンゲージメントと(委任状による)議決権行使の両方から得られる情報に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	エンゲージメントおよび議決権行使の両方で「この情報を利用していない」	○	
	エンゲージメントまたは議決権行使のいずれかで、「この情報をたまたに利用している」	★	
	エンゲージメントおよび議決権行使の両方で「この情報をたまたに利用している」	★★	
	エンゲージメントまたは議決権行使のいずれかで、「情報を確実に利用できる体系的なプロセスを設定している」	★★★	

実施プロセス A) 実施:スクリーニング

LEI 04	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PRI 1
--------	----------------	----------	-------------

LEI 04	指標		
LEI 04.1	組織内でアクティブ運用している上場株式に適用するスクリーニングの種類を記載し、説明してください。		
	スクリーニングの種類	スクリーニング実行者	説明
	ネガティブ/ 排他的 スクリーニング	<input type="checkbox"/> 商品 <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> セクター <input type="checkbox"/> 国/地域 <input type="checkbox"/> 環境および社会的な実務およびパフォーマンス <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス	
	ポジティブ/業界最高の スクリーニング	<input type="checkbox"/> 商品 <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> セクター <input type="checkbox"/> 国/地域 <input type="checkbox"/> 環境および社会的な実務およびパフォーマンス <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス	
	基準に基づく スクリーニング	<input type="checkbox"/> 国連グローバル・コンパクトの原則 <input type="checkbox"/> ビジネスと人権に関する国連指導原則 <input type="checkbox"/> 国際労働機関の条約 <input type="checkbox"/> 国際連合腐敗防止条約 <input type="checkbox"/> OECD多国籍企業行動指針 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください)	
LEI 04.2	スクリーニング基準の設定方法、基準の見直し頻度、基準の変更を顧客や受益者に通知する方法について説明してください。		

LEI 04	説明
LEI 04	指標[LEI 04]は、機関投資家のための OECD 責任あるビジネス行動勧告に整合しています。
LEI 04.1	<p>説明ボックス:どのESGのスクリーニングがどのファンドに使用されているか(1つのスクリーニングが全ファンドに適用されているか、または複数のスクリーニングが異なるファンドに適用されているか)、他のスクリーニングと併用して使用されているかを説明してください。</p> <p>スクリーニングの基準例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品 – 例: 特殊な武器、タバコ 活動 – 例: 除外されていないセクター内の特定の商品(ウラン鉱山など) セクター – 例: 石油、ガス、炭鉱など 国/地域 – 例: スーダン、イランなど 環境および社会的な実務およびパフォーマンス – 例: 児童労働、環境損害、サステナビリティ報告 コーポレートガバナンス – 例: 過剰な役員報酬、独立性を欠く取締役会
LEI 04.2	スクリーニング基準の設定方法の説明は、組織、顧客/受益者などを指します。

LEI 04	定義
	この戦略の定義については、 主な定義 文書を参照してください。

LEI 05	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
--------	----------------	------------	-------------

LEI 05	指標
LEI 05.1	<p>スクリーニングが徹底した分析に基づいていることを確実にするために、組織が使用しているプロセスを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 総合的なESG調査を実施または入手して企業の活動や商品を決定する <input type="checkbox"/> 組織または調査提供会社により、組織は自身に関するESG調査の見直しを行い、間違いを訂正する機会を与えられている <input type="checkbox"/> 除外/追加する企業を特定するために使用する組織外調査およびデータは、ESG/RI担当者、組織内監査部などの組織内監査の対象となる <input type="checkbox"/> 第三者のESG格付は定期的に更新し、ポートフォリオが確実にファンドの方針を遵守するようにしている <input type="checkbox"/> 企業調査を実施する担当者から独立した別の委員会または代表者からなる組織がスクリーニングの決定の一部またはすべてを見直す <input type="checkbox"/> 実施または提供された組織内調査を定期的に見直している <input type="checkbox"/> 外部調査提供会社の見直し・評価をしている <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
LEI 05.2	<p>ESGスクリーニング戦略の一環で包括的なESG調査の対象となるアクティブ上場株式ポートフォリオの割合を示してください。</p> <p><input type="radio"/> <10% <input type="radio"/> 10-50% <input type="radio"/> 51-90% <input type="radio"/> >90</p>
LEI 05.3	<p>第三者のESG評価がスクリーニング目的で更新される頻度を示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 四半期ごともしくはもっと頻繁 <input type="checkbox"/> 半年に一度 <input type="checkbox"/> 一年に一度 <input type="checkbox"/> 一年以上に一度
LEI 05.4	<p>組織のESGスクリーニングを構築するための組織内リサーチを精査する頻度を示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 四半期ごともしくはもっと頻繁 <input type="checkbox"/> 半年に一度 <input type="checkbox"/> 一年に一度 <input type="checkbox"/> 一年以上に一度
LEI 05.5	補足情報

	[任意]
--	------

LEI 05	説明															
LEI 05	指標[LEI 05]は、機関投資家のための OECD 責任あるビジネス行動勧告に整合しています。															
ロジック																
LEI 05	<p>[LEI 05.1]で「総合的なESG調査を実施または入手して企業の活動や商品を決断する」を選択すると、[LEI 05.2]が適用されます。</p> <p>[LEI 05.1]で「第三者のESG格付は定期的に更新し、ポートフォリオが確実にファンドの方針を遵守するようにしている」を選択すると、[LEI 05.3]が適用されます。</p> <p>[LEI 05.1]で「実施または提供された組織内調査を定期的に見直している」を選択すると、[LEI 05.4]が適用されます。</p>															
評価																
LEI 05.1	<p>最高スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[05.1]への回答に基づいて評価されます。</p>															
	指標採点方法															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">選択された回答</th> <th style="width: 20%;">スコア・レベル</th> <th style="width: 40%;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「上記のいずれでもない」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一つを選択</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二つを選択</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三つ以上を選択</td> <td>★★★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「上記のいずれでもない」	○		一つを選択	★★		二つを選択	★★★		三つ以上を選択	★★★★★	
	選択された回答	スコア・レベル	詳細													
	「上記のいずれでもない」	○														
	一つを選択	★★														
	二つを選択	★★★														
三つ以上を選択	★★★★★															

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ>>実施プロセス

LEI 06	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1
--------	------------------	------------	-------------

LEI 06	指標
LEI 06.1	<p>ファンドの基準に違反がないことを確認するために組織が使用しているプロセスを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 株式がファンドのスクリーニング基準を満たしているか体系的な確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 自動ITシステムにより、運用会社が除外された株式やポジティブなスクリーニング基準を満たさない株式に投資することを防止する。 <input type="checkbox"/> 組織内の監査機能により、ファンド保有銘柄の監査が定期的に行われる。 <input type="checkbox"/> 外部運用RIファンドの定期的な監査・検査 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
LEI 06.2	<p>ファンドのスクリーニング基準に対する違反が判明した場合、これらの違反を是正するために従うプロセスを説明してください。</p>
LEI 06.3	<p>補足情報 [任意]</p>

LEI 06	説明	
LEI 06.2	<p>ファンドのスクリーニング基準に対する違反とは、除外されるべきであった株式が購入されるような事態を指します。</p> <p><i>体系的</i></p> <p>体系的なプロセスとは、プロセスの内、計画された日常的に行われる部分のプロセスを指します。これには、事前に設定した計画に従って実施されるサンプリングや現場検査などを含めます。</p>	
評価		
LEI 06	<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[08.1]への回答に基づいて評価されます。</p>	
指標採点方法		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
「上記のいずれでもない」	○	
一つを選択	★★	
二つを選択	★★★	
三つ以上を選択	★★★★★	

実施プロセス B) 実施: テーマ

LEI 07	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PRI 1
--------	----------------	----------	-------------

LEI 07	指標
LEI 07.1	組織が運用している、サステナビリティをテーマとするファンドやマンデートの種類を記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境をテーマにしたファンド <input type="checkbox"/> 社会をテーマにしたファンド <input type="checkbox"/> テーマの組み合わせ
LEI 07.2	組織でのサステナビリティをテーマとしたファンドのプロセスについて説明してください。 [任意]

LEI 07	説明
LEI 07	テーマ投資とはESGの組み入れの3つのアプローチの1つで、本報告のフレームワークの対象となる上場株式におけるPRI原則1の実行を立証するものです。 資産クラス全体でのテーマ投資に関する自主開示の指標は、「戦略とガバナンス(SG)」モジュールに含まれています。従って、この指標と自主開示指標SG13との間には多少重複があります。しかし、ここでは組織の上場株式のテーマの報告に注目し、SGで提供されていない追加情報のみ提供してください。 統合されたESG分析を使用して、株式または投資先を選択したり(個々の企業のESGや業績を考慮するなど)、ESGスクリーニングを使用して株式を除外する場合、本モジュールの他のセクションで捕捉されますのでここでは報告しないでください。
LEI 07.1	この指標の目的はファンドの主なテーマを補足することです(例: 気候変動ファンドー環境的、ヘルスケアファンドー社会的など)。ファンドのテーマが一つの独占的なものではなく、サステナビリティ要因とトレンドの組み合わせに基づいている場合、「テーマの組み合わせ」を選択してください。
LEI 07.2	この指標では、組織のプロセスについて説明してください。この指標に含まれる事項の例: <ul style="list-style-type: none"> ● これらのテーマの定義方法。 ● セクターまたは地域によるテーマの適用/解釈の違い。 ● 投資プロセスにおいて検討する他の要因、テーマの要素と全体のプロセスとの関連性(例: 投資を検討するにあたりすべての株式が満たすべき最低要件の有無など)。

LEI 07	定義
この戦略の定義については、 主な定義 文書を参照してください。	

実施プロセス C) 実施: 統合

LEI 8	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
-------	----------------	------------	-------------

LEI 8	指標	
LEI 8.1	投資分析の一部として体系的に調査するESG要因と、この分析の影響を受けるアクティブ戦略の上場株式ポートフォリオの割合を記載してください。	
	ESG問題	影響を受ける割合
	○E(環境)	○<10% ○ 10-50% ○ 51-90% ○>90%
	○S(社会)	○<10% ○ 10-50% ○ 51-90% ○>90%
	○コーポレートガバナンス	○<10% ○ 10-50% ○ 51-90% ○>90%
LEI 8.2	補足情報 [任意]	

LEI 8	説明																	
LEI 8	<p>この指標の目的は、例えば、コーポレートガバナンスについては必ず調査するが、環境や社会的要因については特定の場合にのみ調査しているというようなことではなく、どのような場合でも全ての ESG 要因について調査しているかどうかについて、そして、この調査がアクティブ運用の上場株式ポートフォリオに与える影響について説明いただくことにあります。ESG 問題は企業、セクター、市場の全体にわたって、関連性や重要性が異なります。この指標は関連性や重要性に対するあなたの組織の最終判断ではなく、調査プロセスの範囲に関連するものです。</p> <p>パーセンテージはすべて、各要因の影響を受ける上場株式保有総額の割合として表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 体系的なプロセス では、様々なセクター、市場、戦略および問題を対象に、ESG 要因の関連性について検討を行います。通常、これらは、全ての関連スタッフの投資プロセスの、計画された日常的業務の一部になります。 																	
評価																		
LEI 8	<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>この指標では、あなたの組織が体系的に ESG 問題を見直しているかどうかを評価します。</p> <p>指標採点方法</p> <table border="1" data-bbox="367 884 1449 1261"> <thead> <tr> <th data-bbox="367 884 1029 940">選択された回答</th> <th data-bbox="1029 884 1236 940">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1236 884 1449 940">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="367 940 1029 996">3 つの ESG の問題<10%</td> <td data-bbox="1029 940 1236 996">○</td> <td data-bbox="1236 940 1449 996"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="367 996 1029 1052">2 つの ESG の問題 10~50%</td> <td data-bbox="1029 996 1236 1052">★★</td> <td data-bbox="1236 996 1449 1052"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="367 1052 1029 1164">3つのESGの問題10~50% もしくは、 2 つの ESG の問題 51~90%</td> <td data-bbox="1029 1052 1236 1164">★★★</td> <td data-bbox="1236 1052 1449 1164"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="367 1164 1029 1261">1つのESGの問題>90% および 2つのESGの問題51~90%</td> <td data-bbox="1029 1164 1236 1261">★★★★★</td> <td data-bbox="1236 1164 1449 1261"></td> </tr> </tbody> </table>			選択された回答	スコア・レベル	詳細	3 つの ESG の問題<10%	○		2 つの ESG の問題 10~50%	★★		3つのESGの問題10~50% もしくは、 2 つの ESG の問題 51~90%	★★★		1つのESGの問題>90% および 2つのESGの問題51~90%	★★★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細																
3 つの ESG の問題<10%	○																	
2 つの ESG の問題 10~50%	★★																	
3つのESGの問題10~50% もしくは、 2 つの ESG の問題 51~90%	★★★																	
1つのESGの問題>90% および 2つのESGの問題51~90%	★★★★★																	

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ>>実施プロセス

LEI 9	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 1
-------	----------------	------------	-------------

LEI 9	指標
LEI 9.1	<p>ESG統合が徹底した分析に基づいていることを確実にするために、組織が使用しているプロセスを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 総合的なESG調査を実施または入手して企業の活動や商品を決定する <input type="checkbox"/> 組織または調査提供会社により、企業は自身に関するESG調査の見直しを行い、間違いを訂正する機会を与えられている <input type="checkbox"/> ESGに関する第三者格付が定期的に更新されている <input type="checkbox"/> 組織内調査を定期的に見直している <input type="checkbox"/> 責任投資スタッフとファンドマネージャー又は投資チーム内のESG問題特定の構造化かつ定期的な会議 <input type="checkbox"/> ポートフォリオの対ベンチマークでのESGリスクプロファイル <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも行っていない
LEI 9.2	<p>組織の統合戦略の一環で包括的ESG調査の対象になるアクティブ運用上場株式の割合を記載してください。</p> <p>○<10% ○ 10-50% ○ 51-90% ○>90%</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ESG情報は一元化したデータベースまたはツールで保管され、関連するスタッフ全員がアクセスできる <input type="checkbox"/> ESG情報や分析は、投資スタッフが作成する企業調査レポートまたは業界/セクター分析すべての基準である <input type="checkbox"/> ESG情報や調査が投資決定にどのように組み入れられたかを捕捉する体系的な記録が保管されている <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも行っていない
LEI 9.3	<p>ESG 統合戦略に使われる第三者の ESG 評価が更新される頻度を示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 四半期ごともしくはもっと頻繁 <input type="checkbox"/> 半年に一度 <input type="checkbox"/> 一年に一度 <input type="checkbox"/> 一年以上に一度
LEI 9.4	<p>ESG 統合戦略に使われる組織内調査を見直す頻度を示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 四半期ごともしくはもっと頻繁 <input type="checkbox"/> 半年に一度

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ>>実施プロセス

	<input type="checkbox"/> 一年に一度 <input type="checkbox"/> 一年以上に一度
LEI 9.5	<p>ポートフォリオ・マネージャーがどのようにして ESG 情報を保有し、使っているのか説明してください。</p> <input type="checkbox"/> ESG情報は一元化したデータベースまたはツールで保管され、関連するスタッフ全員がアクセスできる <input type="checkbox"/> ESG情報や分析は、投資スタッフが作成する企業調査レポートまたは業界/セクター分析すべての基準である <input type="checkbox"/> ESG情報や調査が投資決定にどのように組み入れられたかを捕捉する体系的な記録が保管されている <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ 上記のいずれも行っていない
	<p>LEI 9.6</p> <p>補足情報 [任意]</p>

LEI 9	説明		
LEI 9	この指標の目的は、組織の ESG 情報の質および管理を説明することです。この指標では、社内で作成された ESG 情報と、調査提供会社が提供した ESG 情報を区別しません。投資プロセスの構築に関する手引きおよび事例については、 PRI の ESG 統合に関する公開資料 の第 4 章をご参照ください。		
LEI 9.1	サブ指標では、ESG 統合プロセスに使用した調査の質を説明できます。一部の投資家では、スクリーニングと統合戦略の両方の調査の情報源が同じであることがあります。この場合、この回答は LEI 07 と同じになります。「その他」カテゴリでは、(マクロ)経済の要因や業界/セクター分析などに言及してもよいでしょう。		
LEI 9.2	このサブ指標は、ESG 情報が組織の投資決定に確実に貢献していることをどのように確認しているかに焦点を当てます。指標のオプションで取り上げられていない追加的措置があれば説明してください。 体系的 という用語は、全ての関連スタッフの投資プロセスの、計画された日常業務の部分の意味すると解釈してください。		
ロジック			
LEI 9	指標間 [LEI 09.1]で「総合的なESG調査を実施または入手して企業の活動や商品を決断する」を選択すると、[LEI 09.2]が適用されます。 [LEI 09.1]で「ポートフォリオの保有資産がファンド方針を遵守していることを確保するためにESGに関する第三者格付が定期的に更新されている」を選択すると、[LEI 09.3]が適用されます。 [LEI 09.1]で「活動および商品について組織内調査を定期的に見直している」を選択すると、[LEI 09.4]が適用されます。		
評価			
LEI 9.1	最大スコア: ★3つ この指標は、コア評価であり、[09.1]への回答に基づいて評価します。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「上記のいずれも行っていない」	○	
	一つ選択	★★	
	二つ選択	★★★	
三つ以上選択	★★★★★		

アクティブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ>>実施プロセス

LEI 10	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 コア評価	原則 PRI 1
--------	--------------------------	------------	-------------

LEI 10	指標																
LEI 10.1	投資分析のどの側面に重要なESG情報を統合しているかを記載してください。																
	<table border="1"> <tr> <td>投資分析</td> <td>アクティブ運用する上場株式の内投資分析をする割合</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 経済分析</td> <td>○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 業界分析</td> <td>○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 経営の質</td> <td>○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 企業戦略の分析</td> <td>○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ポートフォリオの加重</td> <td>○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 適正価値/ファンダメンタル分析</td> <td>○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</td> <td>○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%</td> </tr> </table>	投資分析	アクティブ運用する上場株式の内投資分析をする割合	<input type="checkbox"/> 経済分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%	<input type="checkbox"/> 業界分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%	<input type="checkbox"/> 経営の質	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%	<input type="checkbox"/> 企業戦略の分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%	<input type="checkbox"/> ポートフォリオの加重	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%	<input type="checkbox"/> 適正価値/ファンダメンタル分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%	<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%
投資分析	アクティブ運用する上場株式の内投資分析をする割合																
<input type="checkbox"/> 経済分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%																
<input type="checkbox"/> 業界分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%																
<input type="checkbox"/> 経営の質	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%																
<input type="checkbox"/> 企業戦略の分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%																
<input type="checkbox"/> ポートフォリオの加重	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%																
<input type="checkbox"/> 適正価値/ファンダメンタル分析	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%																
<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	○<10% ○ 11-50% ○ 51-90% ○>90%																
LEI 10.2	ESG情報を適正価値/ファンダメンタル分析やポートフォリオの構築へと統合するプロセスについて、組織でのプロセスの一部となっている手法を選択してください。																
	<input type="checkbox"/> 企業業績予想(売上高、運営費、収益、キャッシュフロー)の修正 <input type="checkbox"/> バリュエーションツール(割引率、終価)の修正 <input type="checkbox"/> 適正価値予測へのその他の修正(具体的に記入してください) _____																
LEI 10.3	ESG情報をポートフォリオの加重にどう統合しているかを説明してください。																
LEI 10.4	利益予想/バリュエーションツールの修正に使用した手法を説明してください。																
LEI 10.5	補足情報 [任意]																

LEI 10	説明
LEI 10	<p>指標[LEI 10]は、機関投資家のための OECD 責任あるビジネス行動勧告に整合しています。</p> <p>この指標の目的は、組織内で ESG 情報を投資分析と意思決定にどのようにそしてどの程度使っているのかを説明することです。手引きおよび事例については、PRI の ESG 統合に関する公開資料の第 2 章をご参照ください。</p> <p>この指標では、ポートフォリオの加重は、ESG 統合によるポートフォリオ構築の変化、つまり ESG リスクによる特定のセクターの過小評価または過重な加重を指します。ポートフォリオの加重は、スク</p>

	リーニングと混同してはなりません。スクリーニングは、指標[LEI 05]、[LEI 06]、[LEI 07]で報告する必要があります。
--	---

ロジック			
LEI 10	指標内:		
	[LEI 10.1]で「適正価値/ファンダメンタル分析」を報告している場合、[LEI 10.2]が適用されます。		
	[LEI 10.1]で「ポートフォリオの構築」を報告している場合、[LEI 10.3]が適用されます。		
	[LEI 10.1]で「適正価値/ファンダメンタル分析」を報告している場合、[LEI 10.4]が適用されます。		
評価			
LEI 10	最大スコア: ★3つ		
	この指標は、[10.1]および[10.2]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	回答が選択されなかった、または<10%	○	
	二つのオプションが51%超である	★★	
少なくとも三つのオプションが11%超であり、その内一つは「ポートフォリオの構築」および・または「適正価値分析」である	★★★		
少なくとも三つのオプションが51%超であり、その内一つは「ポートフォリオの構築」および・または「適正価値分析」である	★★★★★		

LEI 10	定義
経済分析	この分析には、政治的、財政的、金融的、市場的、および ESG の各要因がどのように経済に影響を及ぼすのかについての評価が含まれます。経済に影響を及ぼし得る要因としては、気候変動、水不足、腐敗、政府の政策、インフレ、金利、失業者数などがあります。
業界分析	この分析には、政治的、規制上の、市場のおよび ESG の各要因が業界にどのような影響を及ぼすのかについての評価が含まれます。業界に影響を及ぼし得る要因としては、リソースの利用可能性、サイバーセキュリティ、サプライチェーン基準、需給、グローバル・国内・地域内の各規制などがあります。
経営の質	この分析には、企業のコーポレートガバナンスおよびその事業運営が環境および社会に及ぼす影響についての評価が含まれます。例えば、二酸化炭素排出量、ダイバーシティ、企業文化、役員報酬などの管理があります。
企業戦略の分析	この分析には、政治的、規制上の、市場のおよび ESG 要因が企業の競争力およびパフォーマンスにどのような影響を及ぼすのかについての評価が含まれます。これには、企業の商品・サービスおよび投資のリスクと機会についての見直し、および、各市場における競争力について理解が含まれます。
適正価値/ ファンダメンタル 分析	経済、業界、個別企業特有および ESG 要因を分析および定量化し、その結果を予想財務諸表およびバリュエーション・モデルに織り込むこと。

セクション

パッシブ運用している上場株式におけるESGの組み入れ

LEI 11	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
--------	--------------------------	----------	-------------

LEI 11	指標	
LEI 11.1	指数の組成において、ESG問題を組み入れているパッシブ上場株式ファンドを運用しているかどうかを記載してください。	
	○ 運用している	○ 運用していない
LEI 11.2	指数の組成において、ESG問題を組み入れているパッシブ上場株式ファンドすべての比率を記載してください。	
	指数組成におけるESG組み入れ(パッシブ上場株式ファンド合計に対する比率)	
	○10%未満 ○ 10~50% ○ 51~90% ○90%超	
LEI 11.3	指数/ファンド名を明記し、ESGの手法を簡単に説明し、以下のうちどのESG組み入れ戦略を適用しているかを示してください。	
	指数/ファンド名、ESGの手法の簡潔な説明	ESG組み入れ戦略 (当てはまるものをすべてお選びください)
		<input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> テーマ <input type="checkbox"/> ESG問題の統合 <input type="checkbox"/> その他
		[同上]
		[同上]
		[同上]
LEI 11.4	補足情報	
	[任意]	

LEI 11	説明
LEI 11	指標[LEI 11.1]は、機関投資家のためのOECD責任あるビジネス行動勧告に整合しています。
LEI 11.3	パッシブ運用、アクティブ運用の定義については、本書の序文または 主な定義 文書を参照してください。パッシブ運用をしているファンドへのESGの組み入れの定義については、 主な定義 文書を参照してください。
ロジック	
LEI 11	この指標は、[OO LE 01.1]で上場株式のパッシブ戦略を報告した場合に適用されます。[OO LE 01.1]における回答と関連する上場株式投資についての情報のみを報告することが求められています。 この指標内で、[LEI 11.1]で「運用している」と回答すると、[LEI 11.2]および[LEI 11.3]が適用されます。 [LEI 11.1]で「運用している」と回答すると、指標[LEI 12-14]が適用されます。

セクション

成果および結果

LEI 12	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
--------	------------------	----------	-------------

LEI 12	指標	
LEI 12.1	組織のESG組み入れ戦略がポートフォリオや投資ユニバースの構成にどのような影響を与えているかを記載してください。	
	スクリーニング	
	最初の投資ユニバースの削減またはその他の効果について説明してください	削減率を明記してください (+/- 5%)
		<input type="text"/> %
	テーマ	
	投資ユニバースの変更またはその他の効果について説明してください	
	ESG問題の統合	
	ESG統合後の効果を記載してください。	
	<input type="checkbox"/> 投資ユニバースの削減または優先 <input type="checkbox"/> セクターレベルでのオーバーウェイト/アンダーウェイト <input type="checkbox"/> 株式レベルでのオーバーウェイト/アンダーウェイト <input type="checkbox"/> 購入 / 売却の決定 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれにも取り組んでいない	
ESG問題を組み入れた指標(パッシブ運用ファンド)		
組成またはその他の効果に対する影響を説明してください		
LEI 12.2	補足情報 [任意]	

LEI 12	説明
LEI 12	指標[LEI 12]は、機関投資家のためのOECD責任あるビジネス行動勧告に整合しています。
LEI 12.1	ESG組み入れのアプローチがポートフォリオの設計や構築に影響しているかどうかについて説明が求められています(例: 特定のセクターや地域に言及するなど)。 個別の投資見解、決定およびパフォーマンスに影響した特定のESG問題についての詳細情報をLEI 14で提供することができます。
ロジック	
LEI 12.1	[LEI 12.1]は、 (1)[LEI 11.1]に「はい」と報告したか、 (2)[LEI 03]のアクティブ運用している上場株式の一部に、スクリーニング、テーマ別または統合戦略が適用されていると報告した場合には、[LEI 12.1]が適用されます。 [LEI 11.1]への回答により、関連する積極的な ESG 組み入れ戦略の(スクリーニング、テーマ別または統合戦略)フィールドが適用されます。[LEI 11.1]への回答により、「ESG 要因組み入れ指数(パッシブ運用ファンド向け)」フィールドが適用されます。

LEI 13	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1
--------	------------------	------------	-------------

LEI 13	指標		
LEI 13.1	上場株式への責任投資アプローチがポートフォリオ(財務業績やESGパフォーマンス)に及ぼす影響を測定しているかどうかを記載してください。		
	<input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがファンドの評判に影響を与えているかどうかを測定している <input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがファンドの財務業績(リターン)に影響を与えているかどうかを測定している <input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがファンドの財務業績(リスク)に影響を与えているかどうかを測定している <input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがESGパフォーマンスに影響を与えているかどうかを測定している <input type="checkbox"/> 上記のいずれにも取り組んでいない		
	以下への影響を説明してください:	どの戦略を分析しましたか？	影響を説明してください
	a) ファンドの評判	<input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> テーマ <input type="checkbox"/> 指数の構築 (パッシブファンド)	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった
	b) ファンドの財務業績: リターン	<input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> テーマ <input type="checkbox"/> 指数の構築 (パッシブファンド)	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった
	c) ファンドの財務業績: リスク	<input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> テーマ <input type="checkbox"/> 指数の構築 (パッシブファンド)	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった
	d) ファンドのESGパフォーマンス	<input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> テーマ <input type="checkbox"/> 指数の構築 (パッシブファンド)	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった
LEI 13.2	こうした結果を決定する方法について説明してください。		

LEI 13	説明
LEI 13	この指標の目的は、ESG問題の考慮および管理が財務業績、ESGパフォーマンスや評価に及ぼす好影響・悪影響を測定しているかどうかを把握することです。ESGアプローチがファンドのESGパフォーマンスおよび財務業績に及ぼす影響度の測定に関する手引きおよびケーススタディについては、 PRIのESG統合に関する公表資料 の第4章をご参照ください。
LEI 13.2	ESG問題が財務リターンやリスク、かつ/またはESGパフォーマンスに及ぼす影響をどのように測定しているかについて説明してください。二酸化炭素関連のベンチマーク比較を行っている場合には、是非その内容を報告して下さい。尚、これらの業績・実績を評価する際に使用しているESG要因(例:温室効果ガス排出量、水の消費量)および財務指標を明示するとともに、これらの指標を使用する実務上の理由などがあれば是非コメントをお寄せください。

ロジック			
LEI 13	<p>[LEI 01]で報告されたアクティブなESG組み込み戦略に応じて、「どの戦略が分析されましたか?」、「スクリーニング」、「テーマ」、または「統合」オプションが適用されます。</p> <p>「パッシブ運用に関するESGファクターの組み込み指標」オプションが適用されるかどうかは、[LEI 11.1]への回答によります。</p> <p>[LEI 11.1]に「はい」と回答した場合、または[LEI 01]のアクティブ運用している上場株式の一部に、スクリーニング、テーマまたは統合戦略が適用されると報告する場合に、[LEI 13.1]が適用されます。</p> <p>[LEI 13.1]のいずれかの質問に「。。。を測定している」と回答する場合に、[LEI 13.2]が適用されます。</p>		
評価			
LEI 13	<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[15.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「上記のいずれにも取り組んでいない」	○	
	財務/リスク/ESG パフォーマンスの中から一つ選択	★★	
	財務/リスク/ESG パフォーマンスの中から二つ選択	★★★	
	財務/リスク/ESG パフォーマンスの中から三つ選択	★★★★	

LEI 13	定義
LEI 13	<p>アクティブおよびパッシブ運用ファンドのスクリーニング、テーマ、統合戦略の定義は、主な定義文書をご覧ください。</p> <p><i>ESGパフォーマンス</i></p> <p>ESGリスクへのエクスポージャーに基づくポートフォリオの業績を意味します。絶対値で見ると、これは、過年度のポートフォリオにおけるESGリスクの水準と比較した1年間のポートフォリオにおけるESGリスクの水準です。相対的に見れば、これは、ポートフォリオのベンチマークまたは別の適切なベンチマークにおけるESGリスクと比較した、ポートフォリオにおけるESGリスクの水準です。</p>

LEI 14	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
--------	------------------	----------	-------------

LEI 14	指標		
LEI 14.1	組織の投資見解や報告年度のパフォーマンスに影響を与えたESG問題の例を挙げてください。		
	ESG問題および説明	適用したESG組み入れ戦略	投資決定やパフォーマンスへの影響
		<ul style="list-style-type: none"> スクリーニング テーマ 統合 ESG組み入れ戦略の組み合わせ ESG問題を組み入れた指数 [ドロップダウン] 	
		[同上]	
		[同上]	
		[同上]	
		[同上]	
LEI 14.2	補足情報 [任意]		

LEI 14	説明
LEI 14	<p>少なくとも3つ、最大で5つの例を挙げるのが推奨されています。</p> <p>これらの例はできる限り、ESG問題がどのように組み入れられたかを明確に説明するものにしてください。</p> <p>組織により、異なるESG問題、異なるセクターが例の中心になり、異なる投資決定が行われたかもしれません(例: 除外、購入、売却、保有、オーバーウェイト、アンダーウェイト)</p> <p>ESG問題および説明 – 企業名を開示することは求められていません。一般的な総称(例えば、英国の銀行、中国の小売業者など)を言及することで十分です。代わりに、気候変動および排出量に関する組織の方針が投資判断やパフォーマンスにどのような影響を及ぼす可能性があるかについて説明いただいても結構です。</p> <p>投資見解やパフォーマンスへの影響</p> <p>これには、影響を受けたポートフォリオ内の保有銘柄の数、セクターが含まれます。</p>
ロジック	
LEI 14.1	<p>[LEI 01]で報告されたアクティブなESG組み込み戦略に応じて、「どの戦略が分析されましたか?」、「スクリーニング」、「テーマ」、または「統合」オプションが適用されます。</p> <p>「パッシブ運用に関するESGファクターの組み込み指標」オプションが適用されるかどうかは、[LEI 11.1]への回答によります。</p> <p>[LEI 11.1]に「はい」と回答した場合、または[LEI 01]のアクティブ運用している上場株式の一部に、スクリ</p>

成果および結果

	ーニング、テーマまたは統合戦略が適用されると報告する場合に、[LEI 14.1]が適用されます。
--	--



2018年PRI報告フレームワーク 自己運用 - 上場株式の積極的な保有

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社[QUICK](#)にご協力いただきました。

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が貴社に関連するかを特定するうえで役立つ情報があります。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は自由です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、貴社がモジュール内の他の指標に該当する場合、他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用します。
コア評価項目		これらの指標は評価の基本を形成し、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替の実務を表し、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標で、貴社の活動を説明することができます。

指標の下部

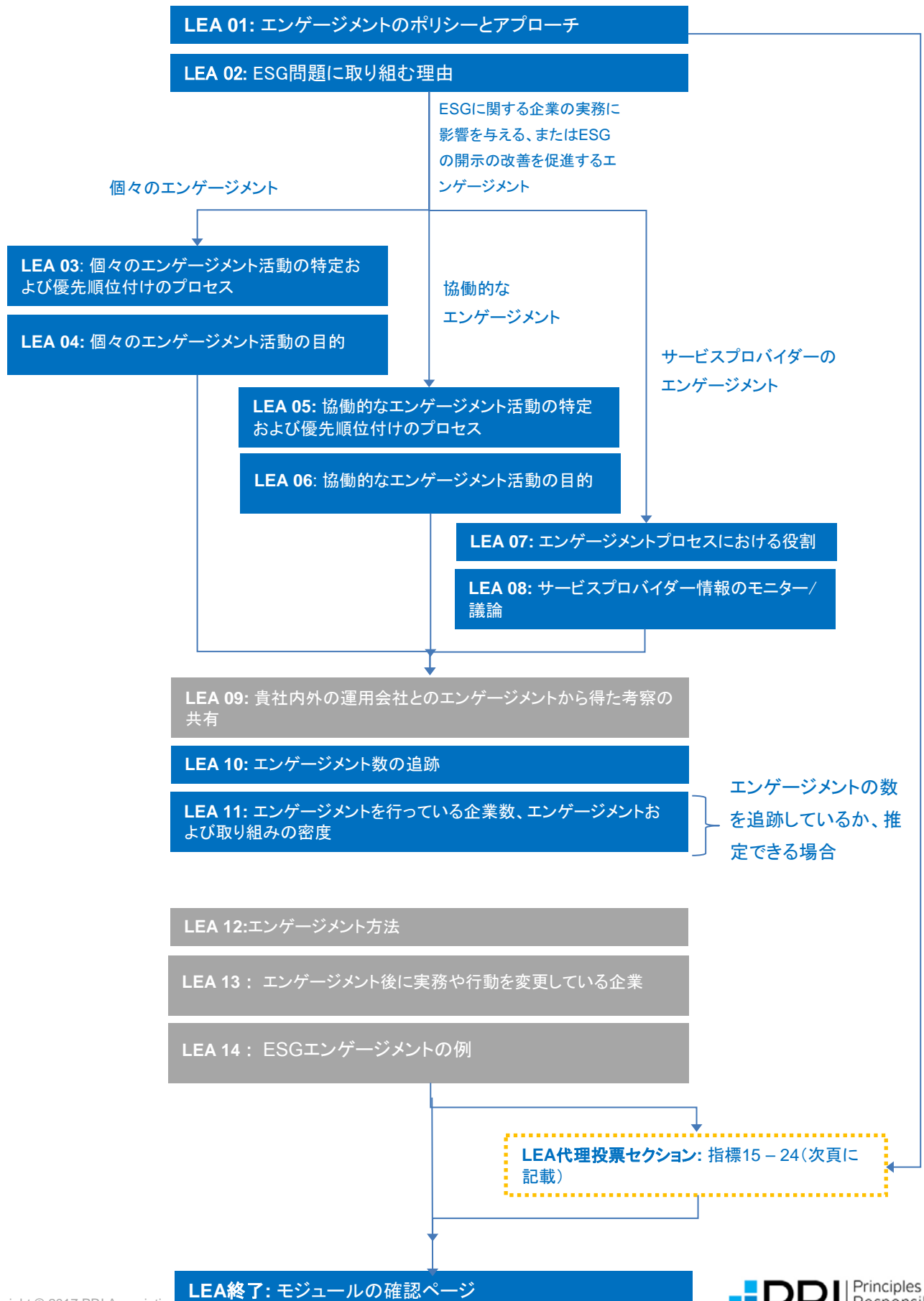
指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が貴社に該当することを確認してください。

xxx 01	説明
xxx 01.1	報告する可能性がある事例など、サブ指標を理解する方法の指針となります。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する時、そしてその指標がサブ指標に影響するかどうかを説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は常に適用され、他の指標には影響しません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価アプローチの概要です。
定義	
xxx 01	指標で使用される具体的な用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
モジュールの経路	4
序文	6
エンゲージメント	8
概要	8
プロセス	16
プロセス	20
プロセス	24
プロセス	27
成果および結果	31
(委任状による)議決権行使および株主決議	41
概要	41
プロセス	44
成果および結果	54

モジュールの経路



LEA エンゲージメントセクション: 指標 01 - 14
(前頁に記載)

LEA 15: 議決権行使のポリシーとアプローチ

LEA 16: (代理)投票決定の通常のアプローチ

貴社のために投票を決定するサービスプロバイダーを
雇用している場合(貴社が投票決定を検討し、決定する
事前定義されたシナリオを除く)

LEA 17: 投票の推奨を検討する比率

LEA 18: 投票の確認

LEA 19 証券貸借プログラム

LEA 20: 経営陣に対する棄権/投票の理由を企業に通知

LEA 21: (代理)投票の比率

LEA 22: 賛成/反対/棄権票の比率

LEA 23: 株主決議

LEA 24: (代理)投票活動の例

LEA終了: モジュールの確認ページ

序文

本モジュールで報告される情報により、貴社のステークホルダーは貴社が上場株式に関連する以下の活動をどのように実行しているかを理解することができます: (a) 貴社自身のエンゲージメント活動(貴社内のスタッフが協働で、および個人で実施するエンゲージメントの両方)、またはサービスプロバイダーが貴社のために実施するあらゆるエンゲージメント活動、および(b) 貴社が決定する、またはサービスプロバイダーが貴社のために決定する(委任状による)議決権行使および株主決議。

本モジュールでは貴社外の運用会社が貴社のために実行するエンゲージメントや(委任状による)議決権行使は対象としていません。これらの活動は、貴社外の運用会社についてのモジュール: *委託 - 運用会社の選定、指名、モニタリング*で取り上げています。

注意:本モジュールは2つの異なるセクションから構成されています。

改正の概要

2017 指標	改正 の概要
LEA 01	この指標はサブ指標2つの順序が入れ替わり、新しいオプションが追加されています。
LEA 02	この指標は新しいサブ・オプションが追加されています。
LEA 03	この指標は新しい選択オプションが追加されています。
LEA 04	この指標はサブ指標が削除され、かつ・もしくは番号が変更され、選択オプションが変更されています。
LEA 05	この指標は選択オプションが変更されています。
LEA 06	この指標はサブ指標が削除され、かつ・もしくは番号が変更され、選択オプションが変更されています。
LEA 07	この指標は選択オプションが変更されています。
LEA 08	この指標は選択オプションが変更され、サブ指標の文章を修正しています。
LEA 09	この指標は指標ステータスが必須に変更されました。
LEA 12	この指標は選択オプションの文章を修正し、かつ・もしくは削除されています。
LEA 13	この指標は削除されています。
LEA 14	この指標は LEA 13 に番号が変更され、選択オプションが変更されています。
LEA 15	この指標は LEA 14 に番号が変更され、指標目的が追加評価に変更され、選択オプションが変更されています。
LEA 16	この指標は LEA モジュールから SG19 に移動されています。
LEA 17	この指標は LEA 15 に番号が変更され、指標目的がコア評価に変更され、選択オプションが変更され、サブ指標の一つが LEA 16 に移動されています。

LEA 18	この指標は LEA 16 に番号が変更されています。
LEA 19	この指標は LEA 17 に番号が変更され、選択オプションが変更されています。
LEA 20	この指標は LEA 18 に番号が変更されています。
LEA 21	この指標は LEA 19 に番号が変更され、新しいサブ指標が追加され、選択オプションの変更、文章の修正、かつ・もしくは削除されています。
LEA 22	この指標は LEA 20 に番号が変更され、新しい選択オプションが追加されています。
LEA 23	この指標は LEA 21 に番号が変更され、選択オプションが削除されています。
LEA 24	この指標は LEA 22 に番号が変更されています。
LEA 25	この指標は LEA 23 に番号が変更され、新しいサブ指標が追加され、
LEA 26	この指標は LEA 24 に番号が変更され、選択オプションが変更されています。
LEA 27	この指標は LEA モジュールから SG19 に移動されています。

セクション

エンゲージメント

概要

LEA 01	指標のステータス 必須	目的 評価	原則 PRI 2
---------------	----------------	----------	-------------

LEA 01	指標
LEA 01.1	貴社に正式なエンゲージメントポリシーがあるかどうか示してください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> ○ ある ○ ない </div>
LEA 01.2	エンゲージメントポリシーのファイルの添付、もしくは URL を記載してください。
LEA 01.3	エンゲージメントポリシーがカバーしている内容を示してください。 <input type="checkbox"/> 利益相反 <input type="checkbox"/> インサイダー情報 <input type="checkbox"/> 各国のステュワードシップ・コード要件との整合 <input type="checkbox"/> デューデリジェンスとモニタリングプロセス <input type="checkbox"/> エンゲージメントの優先順位 <input type="checkbox"/> エンゲージメント活動の透明性 <input type="checkbox"/> 環境要因 <input type="checkbox"/> 社会的要因 <input type="checkbox"/> ガバナンス要因 <input type="checkbox"/> その他（具体的に説明してください） _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
LEA 01.4	エンゲージメントポリシーの URL を記載してください。 [任意]
	エンゲージメントに対する貴社のアプローチの概要を説明してください。

LEA 01.4

LEA 01	説明
LEA 01	<p>この指標は、ICGNのグローバルステewardシップ原則に整合しています。</p> <p>指標[LEA 01.2]と[LEA 01.4]は、機関投資家のためのOECD責任あるビジネス行動の提言と整合しています。</p>
LEA 01.1	<p>このポリシーは、組織の全体的な責任投資政策の構成要素でも、別個のものでもかまいません。</p>
LEA 01.4	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エンゲージメントポリシーの見直しの頻度と責任投資のための組織のガバナンス体制における社内保証のレベル(例:取締役/理事会など) ● エンゲージメント活動が投資意思決定から情報を受け取り、投資意思決定を支えるものであるかどうかを含み、貴社がエンゲージメント活動を実施する目的。 ● 利益相反を回避し、識別し、管理するための組織のアプローチ。最終的な利益相反を伝達するプロセス、およびクライアントまたは受益者に対抗するための救済策を含みます。 ● エンゲージメントすべき事例を特定するために投資先企業によるESGの実践と実績をモニタリングするプロセス。 ● エンゲージメントは、貴社が現在ポートフォリオとして保有している企業と行っているのか、それとも、保有していない企業とも行っているのか。 ● 貴社のエンゲージメントは、ESG問題が予防的な方法で確実に管理されるような積極的なものであるか、それとも、すでに発生した可能性がある問題に対処する受け身的なものであるか。 ● 誰がエンゲージメントを行っているのか(例:貴社内のエンゲージメント専門チーム、ポートフォリオ・マネージャー、もしくは両方か等)、および組織がエンゲージメント活動(人事、時間、トレーニングなど)に適した能力と経験をどのように確保しているか。 ● 相手先企業の誰とエンゲージメントを行うのか(例:取締役会メンバー、会長、CEO、CSR/IRマネージャー)。 ● 貴社では、一般的に、特定のESG問題、例えば、排出量、気候変動またはその他の社会的およびガバナンス上の問題について各企業と対話を行っているかどうか。 ● エンゲージメントが失敗した場合の組織のアプローチ(例:公的声明、過体重/低体重、提出書類の解決、売却、訴訟) ● 貴社がエンゲージメントの会合や対話を追跡し、クライアント/受益者と一般に透明性を伝えるコミットメント
ロジック	
LEA 01	<p>[LOO 01~LEA 14]は、[OO 10.1]で「組織のスタッフ、協働またはサービスプロバイダーを通じてESG要因に関して企業へのエンゲージメントを実施している。」を選択した場合に適用されます。[LEA 01.2]、[LEA 01.3]、[LEA 01.4]は、[LEA 01.1]で「はい」と報告した場合には[LEA 01.2]、[LEA</p>

エンゲージメント>>概要

	01.3]、[LEA 01.4] が適用されます。		
評価			
LEA 01	最高スコア: ★ 3つ		
	この指標は、[01.1]および[01.2]への回答にもとづいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択した回答	スコア・レベル	詳細
	「ない」と回答	○	
	LEA 01.1において「ある」と回答かつ LEA 01.3において「上記のいずれでもない」と回答	★	
LEA 01.1において「ある」と回答かつ LEA 01.3において二つ以下を選択	★★		
LEA 01.1において「ある」と回答かつ LEA 01.3において三つ以上を選択	★★★		

LEA 02	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 1,2,3
--------	----------------	--------------	-----------------

LEA 02	指標								
LEA 02.1	<p>エンゲージメントの方法および対話を行う理由を明示して下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>エンゲージメントの種類</th> <th>対話を行う理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独/貴社内のスタッフのエンゲージメント</td> <td> <input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 社内スタッフを通じて関与していない 社内スタッフを通じてエンゲージメントに関与しない理由を明記してください。(最大200語) </td> </tr> <tr> <td>協働的なエンゲージメント</td> <td> <input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 協働的なエンゲージメントを通じて関与していない 協働的なエンゲージメントを通じて関与しない理由を明記してください。(最大200語) </td> </tr> <tr> <td>サービスプロバイダーのエンゲージメント</td> <td> <input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> サービスプロバイダーを通じて関与していない サービスプロバイダーを通じて関与しない理由を明記してください。(最大200語) </td> </tr> </tbody> </table>	エンゲージメントの種類	対話を行う理由	単独/貴社内のスタッフのエンゲージメント	<input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 社内スタッフを通じて関与していない 社内スタッフを通じてエンゲージメントに関与しない理由を明記してください。(最大200語)	協働的なエンゲージメント	<input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 協働的なエンゲージメントを通じて関与していない 協働的なエンゲージメントを通じて関与しない理由を明記してください。(最大200語)	サービスプロバイダーのエンゲージメント	<input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> サービスプロバイダーを通じて関与していない サービスプロバイダーを通じて関与しない理由を明記してください。(最大200語)
エンゲージメントの種類	対話を行う理由								
単独/貴社内のスタッフのエンゲージメント	<input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 社内スタッフを通じて関与していない 社内スタッフを通じてエンゲージメントに関与しない理由を明記してください。(最大200語)								
協働的なエンゲージメント	<input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> 協働的なエンゲージメントを通じて関与していない 協働的なエンゲージメントを通じて関与しない理由を明記してください。(最大200語)								
サービスプロバイダーのエンゲージメント	<input type="checkbox"/> ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要を特定する)ため <input type="checkbox"/> ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> サービスプロバイダーを通じて関与していない サービスプロバイダーを通じて関与しない理由を明記してください。(最大200語)								
LEA 02.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>								

LEA 02	説明
LEA 02	この指標への回答により、本モジュールの後半でどのセクションおよび指標が表示されるかが決定されます。
LEA 02.1	<p>「ESG問題に関して、企業の実務に影響を及ぼす(もしくは影響を及ぼす必要性を特定する)」</p> <p>「ESGの情報開示の改善/増加を奨励する」</p> <p>ESG関連の情報開示や透明性の改善を求めるエンゲージメントです。これらは、原則2および原則3に関連するやりとりです。</p> <p>貴社が何か別のことをしている場合、または既存の選択肢に当てはまらない場合にのみ、「その他」を選択してください。「その他」のみを選択すると、貴社のアプローチを説明できますが、エンゲージメントセクションの残りの部分を報告できなくなります。</p> <p>貴社が個人、団体および/またはサービスプロバイダを通じて関与していない理由を説明してください。これには、運用会社や社内の職務、国が協力して法制化を行っている、適切なパートナーを特定することの難しさ、現在存在する機会に関する情報欠如、協働エンゲージメントやサービスプロバイダーに係わるものが不利であるという内部評価などが含まれます。</p> <p>PRIの原則5をはじめ、いくつかの自主行動規範およびガイドライン(現行のステュワードシップコード、ICGNステュワードシップ原則、OECD機関投資家のための責任あるビジネス行動の提言を含む)も、投資家が投資先企業と協力することを奨励しています。協働エンゲージメントにより、各投資家は、情報、時間、リソースを共有しながら、投資先企業に対する懸念事項について統一的な声を伝えることができます。</p>
ロジック	
LEA 02	<p>[LEA 02.1]の回答によって、上場株式の積極的な保有(LEA)モジュールのエンゲージメントセクションに適用される指標を決定します。</p> <p>「企業の実務に影響を及ぼす」や「ESGの情報開示の改善/増加を奨励する」を選択すると、エンゲージメントに関するすべての指標が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指標[LEA 03 - LEA 04]では、単独/貴社内のスタッフのエンゲージメントが対象になります。 ● 指標[LEA 05 - LEA 06]では協働的なエンゲージメントが対象になります。 ● 指標[LEA 07 - LEA 08]ではサービスプロバイダーのエンゲージメントが対象になります。 <p>さらに、エンゲージメントが上記の理由で、貴社のスタッフ、サービスプロバイダー、協働によって実施されていると報告される場合、指標[LEA 09], [LEA 10]および[LEA 12 - 15]が適用されます。</p> <p>「その他」のみを報告する企業は、エンゲージメントセクションの残りの部分[LEA 03 - LEA 15]を報告しません。</p>
評価	
LEA 02	「その他」のみを報告する組織は、上場株式の積極的な保有モジュールのエンゲージメントセクションを報告することができず、エンゲージメントのスコアがゼロになります。

エンゲージメント>>概要

上場株式の積極的な保有のスコアの合計は、貴社のエンゲージメントの「主な」方法（貴社内のスタッフが直接、他の投資家との協働や商業的なサービスプロバイダーを通じて）に基づいて決定されます。「主な」方法は LEA 11.1 から 11.3 の回答、エンゲージメントの数、エンゲージメントがどの程度総合的だったか、組織の関与レベルによって決定されます。すべての報告および評価された指標は、モジュールのスコアカードに含まれます。PRI では、エンゲージメントについて、特定のエンゲージメント方法を奨励してはいません。署名者は、エンゲージメント方法のいずれか一つまたはその組み合わせを使ってエンゲージメントを行っていただければ、最高スコアを得ることができます。

LEA 02	定義
<p>エンゲージメントの実行者による分割</p>	
<p>エンゲージメントには様々な設定があります。投資家は自身の名前を使って企業と直接関与したり、他の投資家との協働(独自でもしくは投資家ネットワークや会員組織を通して)で、あるいは商業的なサービスプロバイダー経由など、様々な設定でエンゲージメントを実行していますが、これらの違いは常に明確であるとは限りません。エンゲージメントの分類方法を決定する時は、以下の定義を使用し、プロフェッショナルとして最善の判断をしてください。各カテゴリのプロセス指標(貴社内はLEA 03-04、協働はLEA 05-06、サービスプロバイダーはLEA 07-08)を検討し、どの指標が貴社の事業モデルに最も適合するかを決定してください。</p> <p>さらに情報が必要な場合は、報告評価チームにご連絡ください。</p>	
<p>単独/貴社内のスタッフのエンゲージメント</p>	<p>個人/貴社内スタッフのエンゲージメントを定義する特性は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 貴社内のスタッフのみで実行され、他の投資家、投資家ネットワークまたはサービスプロバイダーが一切関与しない、または一切支援していない ● 貴社の名前の下で実施され(貴社が関与している企業は貴社を単独に特定できる)、貴社は他の組織のために行動していない <p>カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)の署名者であることはエンゲージメントであるとはみなされませんが、戦略とガバナンスSG08で責任投資を支援する方法の一部として報告してください。ただし、CDPの情報開示の請求後に貴社自身の名前で炭素排出量、水資源または森林フットプリントの開示に関して企業に関与する場合やCDPのカーボンアクションイニシアチブや「Aiming for Aイニシアチブ」に参加している場合、それらのエンゲージメントを単独/貴社内スタッフのエンゲージメントとして報告してください。</p>
<p>協働的なエンゲージメント</p>	<p>協働的なエンゲージメントとは、投資家が他の投資家と共同で実施するエンゲージメントです。以下はその例です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公式の投資家ネットワークやその他の会員組織の関与がない状況で協力する投資家のグループ。 ● 公式の投資家ネットワークやその他の会員組織から支援を受けて協力する投資家のグループ。ある程度の支援を受けるが、エンゲージメント活動の大半に責任を負うのは協働の各メンバーである。 ● 正式な投資家ネットワークで実施される協働的なエンゲージメント(すなわち、PRIが調整し促進する連合)。 <p>カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)の署名者であることはエンゲージメントであるとはみなされませんが、戦略とガバナンスSG08で責任投資を支援する方法の一部として報告してください。ただし、投資家グループと協働してCDPの情報開示の請求後に炭素排出量、水資源または森林フットプリントの開示に関して企業に関与する場合は、それらのエンゲージメントを協働的なエンゲージメントとして報告してください。</p>

<p>サービスプロバイダーのエンゲージメント</p>	<p>サービスプロバイダーのエンゲージメントには、以下を経由して実施されるエンゲージメントが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 顧客の原資産を運用することなく、独立してエンゲージメントサービスを提供する商業的な団体。• 会員のためにエンゲージメントを実施し、会員を代表する明示的なマンデートを保有する投資家の組織。 <p>これらには、完全に外部に委託したり、サービスプロバイダーが用意したエンゲージメントでも投資家自身のスタッフがエンゲージメント活動の一部に関与する場合があります。</p>
----------------------------	---

プロセス 貴社内で行うエンゲージメントのプロセス

LEA 03	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

LEA 03	指標	
LEA 03.1	貴社内のスタッフが実行するエンゲージメント活動を特定し、優先順位を決定する正式なプロセスが貴社にあるかどうか示してください。	
	<table border="1"> <tr> <td>○ ある</td> <td>○ ない</td> </tr> </table>	○ ある
○ ある	○ ない	
LEA 03.2	貴社内のスタッフが実行するエンゲージメントを特定し、優先順位を決定する際に使用する基準を説明してください。	
	<input type="checkbox"/> 対象企業の所在地/市場 <input type="checkbox"/> ESG要因のマテリアリティ <input type="checkbox"/> グローバルポートフォリオに対する体系的リスク <input type="checkbox"/> エクスポージャー(保有銘柄) <input type="checkbox"/> すでに発生しているESG影響への対応 <input type="checkbox"/> ダイベストメントのプレッシャーに対する対応策として <input type="checkbox"/> 顧客/受益者との協議のため <input type="checkbox"/> ステークホルダー(NGO、労働組合等)との協議のため <input type="checkbox"/> 議決権に係る意思決定のフォローアップとして <input type="checkbox"/> 顧客の要請 <input type="checkbox"/> その他(具体的に説明してください) _____	
LEA 03.3	補足情報 [任意]	

LEA 03	説明
--------	----

エンゲージメント>>プロセス

LEA 03	<p>指標[LEA 03.1]と[LEA 03.2]は、機関投資家向けの OECD 責任ある業務遂行の提言と整合していません。</p> <p>指標[LEA 03.1]は、ICGN グローバルスチュワードシップ原則と整合しています。</p>		
LEA 03.2	<p>LAE 05 において、協働的エンゲージメントについてどのように優先順位を付けているかを報告することができます。</p>		
ロジック			
LEA 03	<p>貴社内のスタッフが実行するエンゲージメントがあり、[02.1]でこれらのエンゲージメントが「企業の実務に影響を及ぼすため」、または「ESGの情報開示の改善/増加を奨励するため」と[LEA 02.1]で報告している場合に[LEA 03.1]が適用されます。</p> <p>[LEA 03.1]で「ある」と報告すると、[LEA 03.2]が適用されます。</p>		
評価			
LEA 03	<p>最高スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[03.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「ない」	○	
「ある」	★★★		

LEA 04	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

LEA 04	指標
LEA 04.1	<p>貴社内のスタッフが実行する貴社のエンゲージメント活動に具体的な目的を定義しているかどうかを記載してください。</p> <p><input type="radio"/> はい、すべてのエンゲージメント活動に目的を定義している</p> <p><input type="radio"/> はい、大半のエンゲージメント活動に目的を定義している</p> <p><input type="radio"/> はい、一部のエンゲージメント活動のみに目的を定義している</p> <p><input type="radio"/> 貴社内のスタッフが実施するエンゲージメント活動について具体的な目標を定義していない</p>
LEA 04.2	<p>貴社内のスタッフが実行する貴社のエンゲージメントを受けた企業の行動をエンゲージメント中および後で監視しているかどうかを記載してください。</p> <p><input type="radio"/> はい、すべての場合に監視している</p> <p><input type="radio"/> はい、大半の場合に監視している</p> <p><input type="radio"/> はい、一部の場合のみ監視している</p> <p><input type="radio"/> 貴社内のスタッフが実施するエンゲージメント活動後に各企業が講じる対策について監視は行っていない</p>
LEA 04.3	<p>貴社内のスタッフが行うエンゲージメント活動の進捗を監視のうえ評価するために以下のいずれかを実施しているかどうか示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 目的達成のタイムラインを定義している</p> <p><input type="checkbox"/> 定義している目的に対する進捗状況を追跡、監視している</p> <p><input type="checkbox"/> 本来の目的が達成されなかった場合の行動を追跡および・または監視している</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じ再度見直し、継続的に目的を見直している</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="radio"/> 社内スタッフによるエンゲージメント活動の進捗状況を監視および評価していない</p>
LEA 04.4	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

LEA 04	説明		
LEA 04	指標[LEA 04.3]と[LEA 04.4]は、機関投資家向けの OECD 責任ある業務遂行の提言と整合していません。		
LEA 04.1	この指標を通じて、どの程度まで、貴社のエンゲージメント活動について目標を明確に設定しているかを実証することができます。		
LEA 04.4	採用しているアプローチによっては、これには以下に関する話し合いを含めることができるでしょう： <ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントの目的を設定しているかどうか、また、どのように設定しているか 企業の行動の監視方法を含め、エンゲージメント活動の進捗を追跡しているかどうか、また、どのように追跡しているか（例：マイルストーン、中間目標） エンゲージメントのプログラムまたは活動をエスカレートまたは終了する決定を行っているかどうか、また、その決定方法（例：第三者研究、社内調査、またはその両方を通じて）、情報がどのくらい定期的に更新されるか エンゲージメントプログラムまたは活動をエスカレートし、または終了する決定が行われたかどうか、そしてどのように決定されたか エンゲージメント活動を通じて収集された情報を、ESG チームおよび部門外のポートフォリオマネージャおよびアナリストに提供するかどうか エンゲージメントから学んだことを理解し、将来のエンゲージメントプログラムに組み込んでいるかどうか、また、どのように組み込んでいるか 記録された情報が正確であることを確かめるための監査手続がある場合には、その内容特定の協働エンゲージメントの進捗状況をどのように監視し、評価したかの例を提示することもできます。 		
ロジック			
LEA 04	この指標は、貴社内のスタッフが実行するエンゲージメントがあり、[LEA 02.1]でこれらのエンゲージメントが「企業の実務に影響を及ぼすため」、または「ESG の情報開示の改善/増加を奨励するため」と報告している場合に、[LEA 04.1]が適用されます。		
評価			
LEA 04	最大スコア: ★ 3つ この指標は、具体的な目的を設定しているかどうか[04.1]およびそれらの活動を監視しているかどうか[04.2]に対する回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	LEA 04.1 または 04.2 の回答のいずれかが「設定していない」	○	
	LEA 04.1 および 04.2 の回答が「はい、一部のみに」	★	
	LEA 04.1 または 04.2 の回答のいずれかが「はい、大半/全て」	★★	

	LEA 04.1 および 04.2 の回答が「はい、全て」	★★★	
--	-------------------------------	-----	--

プロセス 協働によって実施されたエンゲージメントのプロセス

LEA 05	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	-----------------------	-------------------	--------------------

LEA 05	指標		
LEA 05.1	協働的なエンゲージメントを特定し優先順位を決定する正式なプロセスが貴社にあるかどうか示してください。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">○ ある</td> <td style="text-align: center; width: 50%;">○ ない</td> </tr> </table>	○ ある	○ ない
○ ある	○ ない		
LEA 05.2	協働的エンゲージメントを特定し、優先順位を決定する際に使用する基準を説明してください。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 他の投資家から学べる可能性 <input type="checkbox"/> 協働的であるということに付加価値を付けられるかどうか <input type="checkbox"/> 協働ターゲットとなる企業の地理/市場 <input type="checkbox"/> 協働で取り組むESG要因のマテリアリティ <input type="checkbox"/> グローバルポートフォリオに対する体系的リスク <input type="checkbox"/> 協働ターゲットとなる企業へのエクスポージャー(保有銘柄) <input type="checkbox"/> すでに協働しているESG影響に対応するため <input type="checkbox"/> ダイベストメントのプレッシャーに対応するため <input type="checkbox"/> 議決権の結果のフォローアップ <input type="checkbox"/> クライアント/受益者との協議 <input type="checkbox"/> 他のステークホルダー(NGO、労働組合など)との協議 <input type="checkbox"/> その他(具体的に説明してください) _____ 		
LEA 05.3	補足情報 [任意]		

LEA 05	説明
LEA 05	指標[LEA 05]は、機関投資家向けのOECD責任ある業務遂行の提言と整合しています。

LEA 05.2	個人の貴社内スタッフと協働的なエンゲージメントの両方を実行している投資家は、両方のカテゴリのエンゲージメントに優先順位をつけていることがあります。この場合、LEA 03およびLEA 05の両指標で貴社のプロセスを報告してください。		
	優先順位の設定に関する補足情報の例: <ul style="list-style-type: none"> ● 貴社が協働によってエンゲージメントを行うことの利点 ● 特定の協働的なエンゲージメントに貴社が参加した理由、そこで担っている役割(例:主導的または補助的、計画や文書の草案への貢献) 		
ロジック			
LEA 05	[LEA 02.1]で「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESG の情報開示の改善/追加を奨励する」ことを目的とする協働的なエンゲージメントに参加していると回答する場合に、[LEA 05.1]が適用されます。		
評価			
LEA 05	最高スコア: ★ 3つ この指標は、[05.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択した回答	スコア・レベル	詳細
	「ない」	○	
	「ある」	★★★	

LEA 06	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

LEA 06	指標
LEA 06.1	<p>貴社が関与する協働的なエンゲージメントに目的が定義されているかどうか示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> すべての協働的なエンゲージメント活動に目的を定義している <input type="radio"/> 大半の協働的なエンゲージメント活動に目的を定義している <input type="radio"/> 一部の協働的なエンゲージメント活動に目的を定義している <input type="radio"/> 協働で行うエンゲージメント活動について特定の目的を定義していない
LEA 06.2	<p>貴社の協働的なエンゲージメントを受けた企業の行動をエンゲージメント中および後で監視しているかどうかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> すべての場合に監視している <input type="radio"/> 大半の場合に監視している <input type="radio"/> 一部の場合に監視している <input type="radio"/> 協働で行ったエンゲージメント活動の後に対象となった企業の対応について監視していない
LEA 06.3	<p>貴社の協働エンゲージメント活動の進捗を監視し、評価するために以下のいずれかを実施しているかどうか示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 目的達成のタイムラインを定義している <input type="checkbox"/> 定義している目的に対する進捗状況を追跡、監視している <input type="checkbox"/> 本来の目的が達成されなかった場合の行動を追跡および・または監視している <input type="checkbox"/> 必要に応じて継続的に目標をチェックして改正している <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="radio"/> 協働エンゲージメント活動の進捗状況を監視および評価していない
LEA 06.4	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

LEA 06	説明
--------	----

LEA 06.4	<p>採用しているアプローチにより、これには以下の事項が含まれる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働的なエンゲージメントの目的が定義されているかどうか、またはどのように定義されているか 企業の行動の監視方法を含め(例えば、第三者研究、社内研究、またはその両方を通じて)、協働的なエンゲージメント活動の進捗を追跡しているかどうか、またはどのように追跡しているか(例: マイルストーン、中間目標) 協働的なエンゲージメントのプログラムまたは活動を終了またはエスカレートする決定が行われているかどうか、またはその方法 協働的なエンゲージメントプログラムから得た考察を投資の意思決定に組み入れているかどうか、またはどのように組み入れているか 協働的なエンゲージメントから学んだことを理解し、将来のエンゲージメントプログラムに組み込んでいるかどうか、またはどのように組み込んでいるか <p>特定の協働的なエンゲージメントの進捗を監視し、評価する方法の例を提供することができます。</p>																		
ロジック																			
LEA 06	[LEA 02.1]で「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESGの情報開示を奨励する」ことを目的とする協働的なエンゲージメントに参加していると回答する場合に、[LEA 06.1]が適用されます。																		
評価																			
LEA 06	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、貴社の協働的なエンゲージメントには定義された目的があるかどうか[06.1]およびそれらの活動を監視しているかどうか[06.2]に基づいて評価されます。</p> <table border="1" data-bbox="376 1227 1449 1736"> <thead> <tr> <th colspan="3" data-bbox="376 1227 1449 1283">指標採点方法</th> </tr> <tr> <th data-bbox="376 1283 823 1346">選択された回答</th> <th data-bbox="823 1283 1070 1346">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1070 1283 1449 1346">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="376 1346 823 1435">LEA 06.1 または 06.2 のいずれかで「していない」</td> <td data-bbox="823 1346 1070 1435">○</td> <td data-bbox="1070 1346 1449 1435"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1435 823 1525">LEA 06.1 および 06.2 で「一部について、している」</td> <td data-bbox="823 1435 1070 1525">★</td> <td data-bbox="1070 1435 1449 1525"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1525 823 1648">LEA 06.1 また 06.2 のいずれかで「そのほとんど、または全てについて、している」</td> <td data-bbox="823 1525 1070 1648">★★</td> <td data-bbox="1070 1525 1449 1648"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1648 823 1736">LEA 06.1 および LEA 06.2 で「全てについて、している」</td> <td data-bbox="823 1648 1070 1736">★★★</td> <td data-bbox="1070 1648 1449 1736"></td> </tr> </tbody> </table>	指標採点方法			選択された回答	スコア・レベル	詳細	LEA 06.1 または 06.2 のいずれかで「していない」	○		LEA 06.1 および 06.2 で「一部について、している」	★		LEA 06.1 また 06.2 のいずれかで「そのほとんど、または全てについて、している」	★★		LEA 06.1 および LEA 06.2 で「全てについて、している」	★★★	
指標採点方法																			
選択された回答	スコア・レベル	詳細																	
LEA 06.1 または 06.2 のいずれかで「していない」	○																		
LEA 06.1 および 06.2 で「一部について、している」	★																		
LEA 06.1 また 06.2 のいずれかで「そのほとんど、または全てについて、している」	★★																		
LEA 06.1 および LEA 06.2 で「全てについて、している」	★★★																		

プロセス サービスプロバイダーと共同で、または、サービスプロバイダーが貴社のために実施するエンゲージメントのプロセス

LEA 07	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2,4
--------	----------------	------------	---------------

LEA 07	指標
LEA 07.1	サービスプロバイダーが貴社のために実施するエンゲージメントのプロセスにおいて、貴社が一定の役割を担っているかどうかを明示してください。
	<input type="radio"/> 役割を担っている <input type="radio"/> 役割を担っていない
LEA 07.2	サービスプロバイダーがあなたの貴社のために実施するエンゲージメントにおいて、貴社がどのような役割を担っているのか明示してください。
	<input type="checkbox"/> エンゲージメントのトピック(またはESG問題)について議論する <input type="checkbox"/> エンゲージメントの理由について議論する <input type="checkbox"/> エンゲージメントの目的について議論する <input type="checkbox"/> エンゲージメントを行う企業を選択する <input type="checkbox"/> 企業とのやりとりの頻度/密度について議論する <input type="checkbox"/> エンゲージメント活動の次のステップについて議論する <input type="checkbox"/> サービスプロバイダーと共同であるエンゲージメントに直接参加する <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="radio"/> サービスプロバイダーが行っているエンゲージメントには何の役割も果たしていません。
LEA 07.3	補足情報 [任意]

LEA 07	説明		
LEA 07	<p>指標[LEA 07.1]は、ICGNグローバルステewardシップ原則と整合しています。</p> <p>指標[LEA 07.2]は、機関投資家のためのOECD責任あるビジネス行動の提言と整合しています。</p> <p>この指標は、貴社の内外で運用される資産に関連し、サービスプロバイダーが実施するエンゲージメントに関連するものです。貴社外の運用会社が実行するエンゲージメントは、<i>委託－運用会社の選定、指名、モニタリング (SAM)</i> モジュールの対象となります。</p>		
LEA 07.3	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エンゲージメント/積極的な保有の目的の設定における貴社の役割 ● サービスプロバイダーの活動を監視/監督する方法 ● サービスプロバイダーと共同で実施するエンゲージメント(例:企業とのミーティングへの参加) 		
ロジック			
LEA 07	<p>この指標は、[LEA 02.1]で「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESG の情報開示を奨励する」ことを目的とするサービスプロバイダーのエンゲージメントがあると回答した場合に、[LEA 07.1]が適用されます。</p> <p>[LEA 07.1]に「役割を果たしている」と回答すると、[LEA 07.2]が適用されます。</p>		
評価			
LEA 07	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[07.1]および[07.2]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「役割を担っていない」	○	
	「担っている」かつ1つのオプションを選択	★	
	「担っている」かつ2-3つのオプションを選択	★★	
	「担っている」かつ3つより多いオプションを選択	★★★	

LEA 08	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2,6
--------	----------------	------------	---------------

LEA 08	指標
LEA 08.1	<p>貴社に代わりサービスプロバイダーが行ったエンゲージメント活動の成果を監視し、精査しますか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい、定期的にします</p> <p><input type="checkbox"/> はい、アドホックベースでします</p> <p><input type="checkbox"/> 監視も精査もしません</p>
LEA 08.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

LEA 08	説明												
ロジック													
LEA 08	<p>指標[LEA 08.01]は、機関投資家向けのOECD責任ある業務遂行の提言と整合しています。</p> <p>[LEA 02.1]で「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESGの優れた情報開示を奨励する」ことを目的とするサービスプロバイダーのエンゲージメントがあると回答する場合に、[LEA 08.1]が適用されます。</p>												
評価													
LEA 08	<p>最高スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[08.1]への回答に基づいて評価されます。</p>												
指標採点方法													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監視も精査もしません</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>はい、アドホックベースでします</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>はい、定期的にします</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	監視も精査もしません	○		はい、アドホックベースでします	★		はい、定期的にします	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細											
監視も精査もしません	○												
はい、アドホックベースでします	★												
はい、定期的にします	★★★												

プロセス エンゲージメントを行っている3つのグループすべてに対する一般的なプロセス

LEA 09	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 1,2
--------	----------------	------------	---------------

LEA 09	指標
LEA 09.1	<p>エンゲージメントから得た考察を、貴社内での運用担当者や貴社外の運用会社と共有しているかどうかを記載してください。</p> <p>単独/貴社内でのスタッフのエンゲージメント</p> <p>○ 体系的に共有している ○ 適宜共有している ○ 共有していない</p> <p>協働的なエンゲージメント</p> <p>○ 体系的に共有している ○ 適宜共有している ○ 共有していない</p> <p>サービスプロバイダーのエンゲージメント</p> <p>○ 体系的に共有している ○ 適宜共有している ○ 共有していない</p>
LEA 09.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

LEA 09	説明
LEA 09.1	<p>この指標は、エンゲージメントから派生した情報を貴社内での運用担当者や貴社外の運用会社と共有する正式なプロセスがある(原則1および原則2に関連している)かどうかを説明できるようにするためのものです。</p> <p>この指標はLEI 05と同一です。これは、原則1と原則2との関連性に焦点を当てるため、また上場株式の組み入れおよび積極的な保有の両方の観点からこの関連性に報奨を与えるため、LEI(上場株式の組み入れ)およびLEA(上場株式の積極的保有)の両モジュールで取り上げられています。</p> <p>正式なシステムやプロセスがある場合は、「体系的に共有している」と報告してください。例えば、ミーティングや、投資担当者と共有するITシステムにエンゲージメントの結果を記録することが挙げられます。</p> <p>情報を共有することがあっても正式なプロセスに従っていない場合は、「適宜共有している」と報告してください。</p>
LEA 09.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投資の意思決定者に伝達する情報をどのように決定しているか; ● 伝達した情報を投資の意思決定者がどのように使用することを期待しているか ● 伝達した情報の投資の意思決定者による使用をどのように監視するか ● エンゲージメントを通じて収集したESGデータが内部格付けツール/プラットフォームに入力されているか ● 外部の運用会社とのコミュニケーションが貴社と異なるか
ロジック	

LEA 09	この指標は、[LEA 02.1]で個人/貴社内のスタッフ、協働的、サービスプロバイダーによるエンゲージメントの方法の組み合わせにより、「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESG の情報開示を奨励する」と報告している場合に、[LEA 09.1]が適用されます。		
評価			
LEA 09	最高スコア: エンゲージメント実施グループ毎に ★ 3つ この指標は、[09.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「共有していない」	○	
	「適宜共有している」	★★	
	「体系的に共有している」	★★★	

LEA 10	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 2
--------	----------------	--------------	-------------

LEA 10	指標								
LEA 10.1	<p>貴社がエンゲージメントの数を追跡しているかどうかを記載してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>エンゲージメントの種類</th> <th>エンゲージメントの追跡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独/貴社内スタッフのエンゲージメント</td> <td> <input type="radio"/> エンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> エンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない </td> </tr> <tr> <td>協働的なエンゲージメント</td> <td> <input type="radio"/> 協働的なエンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> 協働的なエンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない </td> </tr> <tr> <td>サービスプロバイダーのエンゲージメント</td> <td> <input type="radio"/> サービスプロバイダーのエンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> サービスプロバイダーのエンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない </td> </tr> </tbody> </table>	エンゲージメントの種類	エンゲージメントの追跡	単独/貴社内スタッフのエンゲージメント	<input type="radio"/> エンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> エンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない	協働的なエンゲージメント	<input type="radio"/> 協働的なエンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> 協働的なエンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない	サービスプロバイダーのエンゲージメント	<input type="radio"/> サービスプロバイダーのエンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> サービスプロバイダーのエンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない
エンゲージメントの種類	エンゲージメントの追跡								
単独/貴社内スタッフのエンゲージメント	<input type="radio"/> エンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> エンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない								
協働的なエンゲージメント	<input type="radio"/> 協働的なエンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> 協働的なエンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない								
サービスプロバイダーのエンゲージメント	<input type="radio"/> サービスプロバイダーのエンゲージメントの数を完全に追跡している <input type="radio"/> サービスプロバイダーのエンゲージメントの数を一部追跡している <input type="radio"/> 追跡していない								
LEA 10.2	<p>補足情報 [任意]</p>								

LEA 10	説明
LEA 10	<p>指標[LEA 10.1]および[LEA 10.2]は、機関投資家向けのOECD責任ある業務遂行の提言と整合しています。</p>
LEA 10.1	<p>この指標の目的は、貴社やサービスプロバイダーが実施するエンゲージメントの件数をどのようにして追跡しているかを報告できるようにすることです。</p> <p>エンゲージメントを追跡していてもそれが一部だけである場合があります(例:専属のESGチームが実行したエンゲージメントを記録していても主力のポートフォリオマネージャーが実行したエンゲージメントは記録していない場合)。その場合は、「貴社のエンゲージメントの数を一部追跡している」を選択してください。</p>
LEA 10.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントの進捗を追跡するために実施されているシステム 収集する情報の詳細 追跡システムの更新頻度およびこの情報の提供先:および/または 記録された情報の正確性を保証する監査手続き
ロジック	

LEA 10	<p>[LEA 02.1]で個人/貴社内のスタッフ、協働的、サービスプロバイダーによるエンゲージメントの方法の組み合わせにより、「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESGの情報開示を奨励する」と報告している場合に、[LEA 10.1]が適用されます。</p> <p>[02.1]で報告したエンゲージメントの方法に関連する情報だけを報告することが求められています。</p> <p>貴社がエンゲージメントを追跡していない、一部の情報を提供できない、または信頼できる推定数を提供できない場合、エンゲージメントの数に関する情報を要求する指標[LEA 11]は表示されません。ただし、その場合でも、このセクションの[LEA 13]でエンゲージメントの例を提供することができます。</p> <p>[LEA 10.1]で(独自・社内、協働、もしくはサービスプロバイダーによる)エンゲージメントの数を追っていると報告している場合に、[LEA 11]が適用されます。</p>
---------------	---

成果および結果

LEA 11	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	--------------------------	------------	-------------

LEA 11	指標		
LEA 11.1	報告年度に貴社がエンゲージメントを行った上場株式ポートフォリオの数を明示してください。		
	エンゲージメント を行った企業の 数	割合 (5%刻み)	この割合の計算基準を明記してくだ さい
	単独/貴社内のスタッフの エンゲージメント	<input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社の保有企業の総数に対する割合 ○ 貴社による上場企業保有株式の総額に対する割合
	協働的なエンゲージメント	<input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社の保有企業の総数に対する割合 ○ 貴社による上場企業保有株式の総額に対する割合
	サービスプロバイダーの エンゲージメント	<input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社の保有企業の総数に対する割合 ○ 貴社による上場企業保有株式の総額に対する割合
LEA 11.2	ESG 問題に関連して報告年度中に企業と複数かつ現実的で詳細にわたる議論ややりとりを行ったエンゲージメントの割合を記載してください。		
		総合的なエンゲージメントの割合(%)	
	単独/貴社内のスタッフのエンゲージメント	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ なし	
	協働的なエンゲージメント	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ なし	
	サービスプロバイダーのエンゲージメント	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ なし	
LEA 11.3	報告年度中に協働的なエンゲージメントの中で、貴社が主導したエンゲージメントの割合を記載してください。		
		主導的役割を果たした割合(%)	
	協働的なエンゲージメント	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ なし	
LEA 11.4	報告年度のサービスプロバイダーのエンゲージメントの中で、貴社がある程度関与した割合を記載してください。		
		ある程度関与した割合(%)	

	サービスプロバイダーのエンゲージメント	○ 50%超 ○ 10~50% ○ 10%未満 ○ なし
LEA 11.5	補足情報 [任意]	
LEA 11	説明	
LEA 11	指標[LEA 11.1]は、ICGNグローバルステewardシップ原則と整合しています。	
LEA 11.1	<p>このサブ指標は、エンゲージメントの数と包括度を報告するためのものです。報告年度に、貴社が企業と交流していないエンゲージメント活動は含めないでください。</p> <p>エンゲージメントを行った企業の数</p> <p>報告年度に、貴社がエンゲージメントを行った問題の件数にかかわらず、貴社がエンゲージメントを行った企業の総数を記載してください。</p> <p>エンゲージメント(5%刻み)</p> <p>いずれかを記録してください。</p> <p>エンゲージメントを行っている企業の割合(貴社が保有している企業総数に対して);または貴社による上場企業保有株式からのエンゲージメントで扱われた資産の割合</p> <p>二重カウントの防止</p> <p>必ず、提示されている定義にもとづき、各エンゲージメントを3つのカテゴリの中の1つのみに記載して下さい。各企業と行うエンゲージメントの同じ事案を2つ以上のカテゴリで二重カウントしないで下さい。同一の企業と同一の問題についてエンゲージメントを実施する目的で複数のサービスプロバイダーと契約を行う場合は、貴社のためにエンゲージメントを行う企業数を二重カウントしないでください(推定数が+/-5%重複するのは構いません)。</p> <p>以下の項目については、エンゲージメントとしてここには含めないでください:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報収集を目的として企業に送付した標準的な質問(例:製品、ESGポリシーや実績に関する質問、スクリーニングを目的とした質問)。 ● やりとりや協議を伴わない企業のプレゼンテーション、年次株主総会、その他のミーティングへの出席。 ● 業界のベストプラクティスを定義する政策または団体に影響を及ぼすことを意図したやりとり。これらはOAモジュールの対象となります。 ● 温室効果ガス排出量、水資源、森林に関するCDPの情報開示要請。これらはエンゲージメントとして把握しませんが、OAで報告します。カーボンアクションやAiming for AといったCDPエンゲージメントプログラムによる貴社のエンゲージメントが含まれます。 ● 投資家が企業に対するエンゲージメントについて発行するプレスリリースや発表。 	
LEA 11.2	<p>総合的なエンゲージメントで特定のESG問題に関連して報告期間中に企業と複数かつ現実的で詳細にわたる議論ややりとり(手紙、会議または電話)を報告してください。</p> <p>1つの問題について、ある企業と総合的なエンゲージメントを行いながら、同じ企業に対して、別の問題で基本的なエンゲージメントを行っている場合、このエンゲージメントは総合的なエンゲージメントとしてカ</p>	

エンゲージメント>>成果および結果

	ウントします。基本的なレベルで2つの問題について企業と関与している場合は、総合的ではなく、基本的とカウントしてください。					
LEA 11.4	サービスプロバイダとのエンゲージメントには、次のものが含まれます。 - 特定の企業と取り組む ESG 問題の定義と達成すべき目標 - 特定企業への合同手紙 - 特定の企業とのミーティングとフォローアップ					
ロジック						
LEA 11	[LEA 10.1]で単独/貴社内のスタッフ、協働的、サービスプロバイダーによるエンゲージメントの方法の組み合わせにより、完全、一部、または推定したデータを提供できると報告している場合に、[LEA 11]が適用されます。					
評価						
LEA 11	<p>最大スコア: ★ 9つ</p> <p>この指標は、[LEA 11.1~11.4]への回答に基づいて評価されます。誰がエンゲージメントを実施したかにかかわらず、最高のスコアを得ることが可能です。</p> <p>評価は、実施したエンゲージメントの数 [LEA 11.1]、実施したエンゲージメントがどの程度包括的だったか [LEA 11.2]、署名者の関与のレベル [LEA 11.3 および LEA 11.4]を考慮して行います。単独/貴社内のスタッフによるエンゲージメントには「50%超」の関与を使うことに留意してください。</p>					
指標採点方法						
乗数表						
		なし	10%未満	10-50%	50%超	
包括的 (LEA 11.2)		-	× 1	× 1.5	× 2	
主導的役割 / 高い関与 (LEA 11.3 および もしくは LEA 11.4)		-	× 1	× 1.5	× 2	
次に、計算された数値を以下の評価を使って星の数に変換します						
AUM 規模 (単位: USD)	100 億超	50 - 99.9 億	10 - 49.9 億	1 - 9.9 億	0 - 1 億	スコア
スコア	30未満	20未満	10未満	4未満	2未満	●
	30超	20超	10超	4超	2超	1★
	90超	60超	40超	10超	4超	2★
	150超	100超	70超	20超	6超	3★
	210超	140超	100超	30超	8超	4★
	270超	180超	130超	40超	10超	5★
	330超	220超	160超	50超	12超	6★
	390超	260超	190超	60超	14超	7★
	450超	300超	220超	70超	16超	8★

エンゲージメント>>成果および結果

		510超	340超	250超	80超	18超	9★
--	--	------	------	------	-----	-----	----

LEA 11	定義
LEA 11	エンゲージメント、エンゲージメントの実施者、密度および取り組みの定義については、「 主な定義 」文書を参照してください。

LEA 12	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	------------------	------------	-------------

LEA 12	指標	
LEA 12.1	貴社のエンゲージメントが以下のどの項目を含むか明示してください。	
	<input type="checkbox"/> 企業に送る書簡やメール	<input type="radio"/> たいていの場合 <input type="radio"/> ほぼいつも <input type="radio"/> 常に
	<input type="checkbox"/> 適切なチームとの会議や電話	<input type="radio"/> たいていの場合 <input type="radio"/> ほぼいつも <input type="radio"/> 常に
	<input type="checkbox"/> 現場訪問	<input type="radio"/> たいていの場合 <input type="radio"/> ほぼいつも <input type="radio"/> 常に
	<input type="checkbox"/> 説明会への参画	<input type="radio"/> たいていの場合 <input type="radio"/> ほぼいつも <input type="radio"/> 常に
	<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	<input type="radio"/> たいていの場合 <input type="radio"/> ほぼいつも <input type="radio"/> 常に
LEA 12.2	補足情報 [任意]	

LEA 12	説明	
LEA 12.1	この指標は、貴社のエンゲージメントの一部として実施している活動およびその頻度を報告するためのものです。	
LEA 12.2	この指標に含まれる事項の例: <ul style="list-style-type: none"> • どの対応を行うのか決定する方法(すなわち保有している資産もしくは問題の深刻さ・重要性の度合いに応じて) • 別の対応を引き起こすエスカレーション・プロセスを設定しているかどうか • 上記の対応に基づき、良いエンゲージメントの事例 	
評価		
最大スコア: ★ 3つ		
この指標は、[12.1]への回答に基づいて評価されます。		
指標採点方法		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
一切関与していないもしくは「企業に送る書簡やメール」のみを選択	○	
1つまたは2つ以下の種類 (「企業に送る書簡やメール」を除く)	★	
3つの種類 このうち1つは「現場訪問」もしくは「説明会への参画」を含む(「企業に送る書簡やメール」を除く)	★★	
4つ以上の種類 「現場訪問」および「説明会への参画」を含む(「企業に送る書簡やメール」を除く)	★★★	

LEA 13	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2
--------	------------------	----------	-------------

LEA 13	指標		
LEA 13.1	報告年度に貴社や貴社のサービスプロバイダーのエンゲージメント活動を受けて、企業が実務を変更した、または実務を変更するように正式に約束した事案件数を追跡しているかどうか明示してください。		
	<input type="radio"/> している	<input type="radio"/> していない	
LEA 13.2	報告年度に貴社や貴社のサービスプロバイダーのエンゲージメント活動を受けて、実務を変更した、または実務を変更するように正式に約束した企業の数に記載してください。		
	エンゲージメント活動	企業数	ポートフォリオ全体に占める%
	単独/貴社内のスタッフのエンゲージメント	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	協働エンゲージメント	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	サービスプロバイダーによるエンゲージメント	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> この情報は追跡していません		
LEA 13.3	補足情報 [任意]		

LEA 13	説明
LEA 13	企業の実務や行動、変化に影響を及ぼす要素は数多くあります。多くの場合、エンゲージメントは貢献する一つの要因にすぎません。この指標の意図は、貴社のエンゲージメントが特定される変化の唯一の理由であることを証明することではありません。こうした変化が一部もしくは全面的に貴社のエンゲージメントによるものであると考えられる場合は、この指標を使って説明して下さい。
ロジック	
LEA 13	<p>[02.1]で単独/貴社内のスタッフ、協働的、サービスプロバイダーによるエンゲージメントの方法の組み合わせにより、「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESGの情報開示を奨励する」と報告している場合に、[LEA 13.1]が適用されます。</p> <p>[02.1]で報告したエンゲージメントの方法に関連する情報だけを報告することが求められています。[LEA 13.1]に「ある」と回答すると、[LEA 13.2]が適用されます。</p>

LEA 14	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	------------------	------------	-------------

LEA 14	指標					
LEA 14.1	報告年度に貴社または貴社のサービスプロバイダーが実行したエンゲージメントの事例を挙げてください。					
	ESG要因	ESG問題	実行者	目標	対象範囲 およびプロセス	結果
	ドロップダウン を挿入 • 環境 • 社会 • ガバナンス • 複数		ドロップダウン: • 単独/貴社内 • 協働的 • サービスプロバイダー			
			[同上]			
			[同上]			
			[同上]			
			[同上]			
LEA 14.2	補足情報 [任意]					

LEA 14	説明
LEA 14	指標[LEA 14.1]は、機関投資家のためのOECD責任あるビジネス行動の提言と整合しています。
LEA 14.1	<p>事例の件数</p> <p>少なくとも、3つの事例を挙げて下さい。可能な限り、貴社のエンゲージメント活動の全体像を示し、貴社がエンゲージメントを行ったテーマを対象とした事例を挙げて下さい。あるテーマに絞った事例や、特定の企業とのエンゲージメントでも構いません。組織の優先ESG問題に関する継続的な取り組みと同様に、肯定的な結論を締結し達成した取り組みの例を提示することもできます。</p> <p>ESG問題</p> <p>環境、社会、もしくはガバナンスのエンゲージメントかを記載してください。</p> <p>ESG問題</p> <p>簡潔にESG問題の分野を特定してください。</p> <p>実行者</p> <p>貴社が直接、協働を通じて貴社が、またはサービスプロバイダーなど、エンゲージメントを主導したのは誰かを明確にしてください。</p> <p>目標</p> <p>エンゲージメントの目標や動機を明らかにしてください。</p>

エンゲージメント>>成果および結果

<p>対象範囲およびプロセス</p> <p>問題についてエンゲージメントを行った企業の数、ポートフォリオまたは総運用資産(AUM)に占める割合、エンゲージメントへのアプローチ(例:書類、直接面会によるミーティング)など、およびエンゲージメント戦略(すなわちプライベートな対話、委任状による議決権行使と結びつけたか等)を説明することができます。</p> <p>結果</p> <p>エンゲージメントの結果、企業の実務が変化した場合はその事実と、こうした変化を達成するにあたりエンゲージメント活動が果たした役割を説明してください。または、行動の変化をESG問題の変化や投資に関する意思決定および業績への影響と関連付けても構いません。貴社は貴社内のエンゲージメント追跡モニタリングシステムを使用して、目的の進捗度を説明することもできます。</p>		
ロジック		
LEA 14	この指標は、[LEA 02.1]で単独/貴社内のスタッフ、協働的、サービスプロバイダーによるエンゲージメントの方法の組み合わせにより、「企業の実務に影響を及ぼす」、または「ESGの情報開示を奨励する」と報告している場合に、[LEA 14.1]が適用されます。	
評価		
指標採点方法		
選択した回答	スコア・レベル	詳細
事例を挙げた	○	
事例を挙げなかった	★★★	

例					
ESG要因	ESG問題	実行者	目的	対象範囲およびプロセス	結果
ドロップダウンメニューから、E,S,Gの内、もつとも該当するものを選択	無認証のインドネシアの木材を紙の製造に使用しており、企業の評判に重大なリスクをもたらしている	当社内のスタッフ	認証を受けた森林のみから原材料を調達することを確約する企業のコミットメント	15社とエンゲージメントを行った。このリスクの可能性にさらされているのはポートフォリオに含まれる企業数の18%にあたる。 取締役を含め、全社と何度もミーティングを実施した。	接触した企業のうち7社は購買実務の変更に同意し、2社はこの問題に関して新しいポリシー声明を出した。このエンゲージメントの結果、当社からの保有持分を増やした企業もある。

エンゲージメント>>成果および結果

	コーポレート ガバナンス	当社内の スタッフ	会長および CEOの役割の 分離	<p>現在会長 /CEO職が兼 任されている 米国上場企 業6社と会談 した。</p> <p>会長/CEOが 兼任されてい るのは組織 が保有する 米国企業の x%にあたる。</p>	これらの企業から、自分 たちの組織が行った提案 に対する正式な回答を待 っている。
--	-----------------	--------------	------------------------	---	--

セクション

(委任状による) 議決権行使および株主決議

概要

LEA 15	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1,2,3
--------	----------------	------------	-----------------

LEA 15	指標
LEA 15.1	<p>貴社において正式な議決権行使ポリシーを設定しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> はい、議決権行使ポリシーを設定しています <input type="radio"/> いいえ、議決権行使ポリシーを設定していません</p>
LEA 15.2	<p>議決権行使ポリシーの対象範囲を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 利益相反 <input type="checkbox"/> シェアブロッキング <input type="checkbox"/> セキュリティーズレンディング <input type="checkbox"/> 議決権行使活動の優先順位 <input type="checkbox"/> 意思決定プロセス <input type="checkbox"/> 環境要因 <input type="checkbox"/> 社会的要因 <input type="checkbox"/> ガバナンス要因 <input type="checkbox"/> 決議の提案/共同提案 <input type="checkbox"/> 臨時株主総会の開催 <input type="checkbox"/> 地域固有の議決権行使慣行 <input type="checkbox"/> 議決権行使活動の透明性 <input type="checkbox"/> 議決権行使前/後の企業との対話 <input type="checkbox"/> その他(具体的に説明してください) _____
LEA 15.3	<p>議決権行使ポリシーを添付するか記載された URL を提示してください。</p> <p>[任意]</p>

LEA 15.4	(委任状による)議決権行使に対する貴社のアプローチの概要を説明してください。 [任意]

LEA 15	説明
LEA 15	この指標は、ICGNのグローバルステewardシップ原則に整合しています。
LEA 15.1	このポリシーは、全社的な責任投資ポリシーの一部を構成するものでも、別の文書でもどちらでも構いません。
LEA 15.5	<p>これには、以下の事項を含めることができます:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利益相反を回避、識別、管理するための貴社のアプローチ ● 貴社の株式貸借に対するアプローチと、株式がリコールされて投票される場合には、貴社が株式を貸さない理由 ● 議決権行使活動の範囲 ● 議決権行使活動の目的 ● 議決権代理人の使用を含む貴社の議決決定を通知するプロセス ● 貴社および他の投資家によるESG決議へのアプローチ ● 議決権行使活動が貴社のエンゲージメントや投資活動とどのように関連しているか ● 貴社の議決権行使アプローチが市場により異なる場合、どのように異なるか(例: 特定の市場では議決権を行使しない場合) ● 貴社が投票しないことを選択する特定の状況(すなわち、保有株数が一定の基準を下回っている場合) ● 特定のコーポレートガバナンスのガイドラインや枠組みに特別な注意を払っているか ● 現地の規制要件またはその他要件が議決権行使に対する貴社のアプローチに影響を及ぼすかどうか、また、どのような影響を及ぼすか ● 委任状によって投票するか、年次株主総会に出席して直接投票するか(またはその両方) ● 貴社が議決権行使記録を追跡し、顧客/受益者および一般に透明性を示すことを約束すること
ロジック	
LEA 15	<p>[OO 10.1]で「私たちは(代理人)投票を直接または専用の投票提供者を介して議決権行使する。」と回答すると、[LEA 15]から[LEA 24]までが適用されます。</p> <p>[LEA 15.2]、[LEA 15.3]および[LEA 15.4]および[15.5]は、[LEA 15.1]に「はい」と答える場合に適用されます。</p>
LEA 15	評価
指標の特性	
指標のタイプ	コア評価
獲得可能スコア	最高スコア: ★ 3 つ
サブ指標	LEA 15.1 - 貴社において正式な議決権行使ポリシーを設定しているかどうかを明示してください。

エンゲージメント>>成果および結果

LEA 15.2 -議決権行使ポリシーの対象範囲を記載してください。		
指標採点方法		
選択した回答	スコア・レベル	詳細
「いいえ」	○	
LEA 15.1で「はい」かつ LEA 15.2において1つを選択	★	
LEA 15.1で「はい」かつ LEA 15.2において2つを選択	★★	
LEA 15.1で「はい」かつ LEA 15.2において3つ以上を選択	★★★	

プロセス

LEA 16	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PRI 2
--------	-----------------------	-----------------	--------------------

LEA 16	指標										
LEA 16.1	<p>(委任状による)議決権行使を通常どのように決定しているかを明示して下さい。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 50%;">アプローチ</th> <th style="width: 50%;">以下に基づいて行う</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 独自の調査チームまたは議決権行使チームを使っており、サービスプロバイダーを使用することなく、議決権に関する決定を行っている</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ </td> </tr> <tr> <td>○ 議決権行使に関する提案を行ったり、貴社の議決権行使に関する決定事項を知らせる際に利用する調査を提供するサービスプロバイダーを起用している</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ </td> </tr> <tr> <td>○ 貴社に代わって議決権行使に関する決定を行うサービスプロバイダーを起用している、但し、貴社自身が投票決定を検討のうえ、決定する所定のシナリオがある場合を除く。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ </td> </tr> <tr> <td>○ 貴社に代わって議決権行使に関する決定を行うサービスプロバイダーを起用している</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ </td> </tr> </tbody> </table>	アプローチ	以下に基づいて行う	○ 独自の調査チームまたは議決権行使チームを使っており、サービスプロバイダーを使用することなく、議決権に関する決定を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ 	○ 議決権行使に関する提案を行ったり、貴社の議決権行使に関する決定事項を知らせる際に利用する調査を提供するサービスプロバイダーを起用している	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ 	○ 貴社に代わって議決権行使に関する決定を行うサービスプロバイダーを起用している、但し、貴社自身が投票決定を検討のうえ、決定する所定のシナリオがある場合を除く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ 	○ 貴社に代わって議決権行使に関する決定を行うサービスプロバイダーを起用している	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____
アプローチ	以下に基づいて行う										
○ 独自の調査チームまたは議決権行使チームを使っており、サービスプロバイダーを使用することなく、議決権に関する決定を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ 										
○ 議決権行使に関する提案を行ったり、貴社の議決権行使に関する決定事項を知らせる際に利用する調査を提供するサービスプロバイダーを起用している	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ 										
○ 貴社に代わって議決権行使に関する決定を行うサービスプロバイダーを起用している、但し、貴社自身が投票決定を検討のうえ、決定する所定のシナリオがある場合を除く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ 										
○ 貴社に代わって議決権行使に関する決定を行うサービスプロバイダーを起用している	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴社が承認したサービスプロバイダーの議決権行使ポリシー ○ 独自の議決権行使ポリシー ○ 顧客による要請またはポリシー ○ その他(説明してください) _____ 										
LEA 16.2	<p>合意された議決権ポリシーがどのように遵守されているかを概観し、ポリシーの例外が適用された場合(該当する場合)のアプローチの詳細を示して下さい。</p>										
LEA 16.3	<p>補足情報</p>										

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

	[任意]

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

LEA 16	説明
LEA 16	この指標は、ICGNのグローバルステewardシップ原則に整合しています。
LEA 16.1	<p>「独自の議決権行使ポリシー」と合わせて最後の2つの回答を選択する場合、「決定」という言葉は、サービスプロバイダーが貴社の議決権行使ポリシーや枠組みを実行していることを意味します。</p> <p>「その他」を選択する場合、これは割り当てられたピアグループに影響します。議決権行使に関する決定の一部が貴社内で策定したポリシーに基づき、一部がサービスプロバイダーまたは顧客のポリシーに基づいている場合、大半の事例で最も重要な要因を記載してください。</p>
LEA 16.2	<p>ここには、以下の項目を含めることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴社が同意した議決権のポリシーに従わなかった場合の例。 ・選択したサービスプロバイダーが、同意した議決権ポリシーに従って議決を行ったかどうかを監視する方法。
LEA 16.3	<p>ここには、以下の項目を含めることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内部で最終的な議決を行うことに関与している者(すなわち、ESG/代理人議決権行使専用チームおよび/またはポートフォリオマネージャ) • サービスプロバイダーの推奨事項をレビューするために使用される基準 • 2人以上の意思決定者がいる場合 (例:コーポレートガバナンスに関する事項はすべてサービスプロバイダーに委任しているが、環境および社会に関する事項はすべて貴社内で決定している)。 • 共同で意思決定が行われる可能性のある場合。

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

LEA 17	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

LEA 17	指標
LEA 17.1	<p>報告年度において貴社のサービスプロバイダーが行った議決権行使に関する提言の中で、貴社が検討したものの割合およびその理由を記載してください。</p> <p>貴社が検討した議決権行使の推奨の割合</p> <p><input type="radio"/> >40%, <input type="radio"/> 20-40%, <input type="radio"/> 5-20%, <input type="radio"/> <5%</p> <p>検討した理由</p> <p><input type="checkbox"/> 特定のESG問題</p> <p><input type="checkbox"/> 大量持ち分のための議決権行使</p> <p><input type="checkbox"/> 経営陣に対する反対票や棄権</p> <p><input type="checkbox"/> 利益相反</p> <p><input type="checkbox"/> M&A、事業売却などの会社行為</p> <p><input type="checkbox"/> 貴社が積極的にエンゲージメントを行っている企業に対する議決権行使</p> <p><input type="checkbox"/> 顧客の要請</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じて実施するサービスプロバイダーの監督・監視</p> <p><input type="checkbox"/> 株主決議</p> <p><input type="checkbox"/> シェアブロック対象証券</p> <p><input type="checkbox"/> その他(説明してください)。_____</p>
LEA 17.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

LEA 17	説明
LEA 17	この指標は、ICGN のグローバルスチュワードシップ原則に整合しています。
LEA 17	この指標の目的は、サービスプロバイダーの提言を検討するような状況において、貴社の関与度や関与の内容について説明できるようにすることです。
ロジック	
LEA 17	この指標は、[LEA 16.1]で「貴社に代わって議決権行使に関する決定を行うサービスプロバイダーを雇用している(貴社が投票決定を検討し、決定する事前定義されたシナリオを除く)」を選択した場合に適用されます。
評価	

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

LEA 17.1	最高スコア: ★ 3つ		
	指標採点方法		
	選択した回答	選択した回答	詳細
	<5%	○	
	5-20%	★	
	20-40%	★★	
	>40%	★★★	

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

LEA 18	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2
--------	------------------	----------	-------------

LEA 18	指標
LEA 18.1	議決権行使に係る証跡の改善や議決権行使の結果を確認するためのプロジェクトにどのように関与しているのかを記載して下さい。
LEA 18.2	補足情報 [任意]

LEA 18	説明
LEA 18	この指標は、ICGN のグローバルステewardシップ原則に整合しています。
LEA 18	これには以下を含めることができます: <ul style="list-style-type: none"> • 特定の持分に係る議決権行使を貴社が確認する試みの事例。 • 会社により議決権が集計されたことの確認として受領する情報の詳細。 • 受領する情報をどのように検討しているか、および、この情報の整合性を確認するために取る対応策の詳細。 • 受領する情報に反応して取った行動に関する説明。 • 貴社が直面している障害や課題についてのコメント。

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

LEA 19	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	------------------	------------	-------------

LEA 19	指標
LEA 19.1	<p>貴社では、セキュリティーズレンディングを設定していますか？</p> <p style="text-align: center;"> <input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない </p>
LEA 19.2	<p>貴社がセキュリティーズレンディングをしていない理由を説明してください。 (最大 500 語)</p>
LEA 19.3	<p>貴社のセキュリティーズレンディングにおいて議決はどのように対処されるかを記載してください。</p> <p> <input type="radio"/> 全ての証券を回収して、すべての議案に投票する <input type="radio"/> 一部の証券を体系的に回収して、該当する議案に(特定の基準に沿って)投票する <input type="radio"/> 一部の証券を回収して、その時々状況に応じて、議案に投票する <input type="radio"/> 当社は、有価証券貸付代理人に、証券を議決権行使目的で回収する決定する権限を与える <input type="radio"/> 議決権行使を目的として証券を回収しない <input type="radio"/> その他(具体的に記入してください) _____ </p>
LEA 19.4	<p>補足情報 [任意]</p>

LEA 19	説明						
LEA 19	この指標[LEA 19.1]は、ICGNのグローバルステewardシップ原則に整合しています。						
LEA 19.3	特定の基準に従って株式を回収する場合、対処するESG問題を含めてその基準について説明してください。適宜株式を回収する場合は、どのような状況で回収するかについて説明してください。						
ロジック							
LEA 19	[LEA 19.2]および[LEA 19.3]は、[LEA 19.1]に「いいえ」と報告した場合に適用されます。 [21.1]に「していない」と回答すると、[21.3]が適用されます。						
評価							
LEA 19	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>[19.1]および[19.3]に対する回答に基づいて、この指標の評価が行われます。</p>						
指標採点方法							
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LEA 19.1で「していない」</td> <td>N/A</td> <td>この指標では評価の対象外となります</td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	LEA 19.1で「していない」	N/A	この指標では評価の対象外となります
選択された回答	スコア・レベル	詳細					
LEA 19.1で「していない」	N/A	この指標では評価の対象外となります					

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

	LEA 19.1で「している」かつLEA 19.3で「議決権行使を目的として証券を回収しない」	○	
	LEA 19.1で「している」かつLEA 19.3で「一部の証券を回収して、その時々状況に応じて、議案に投票する」 または LEA 19.1で「している」かつLEA 19.3で「議決権行使を目的にいつ/どの証券を回収するかは、証券貸借機関に任せている」	★	
	LEA 19.1で「している」かつLEA 19.3で「一部の証券を体系的に回収して、該当する議案に投票する(すなわち、LEA 19.3に定める所定の基準に従って)」	★★	
	LEA 19.1で「している」かつLEA 19.3で「全ての証券を回収して、すべての議案に投票する」	★★★	

LEA 19	定義
セキュリティーズレンディング	現金や政府発行有価証券で構成される担保の代わりに、証券の受益所有者(通常は年金ファンドやミューチュアルファンドといった大手機関投資家)が、ヘッジファンドなどの借り手に証券を貸し付けることに同意する取引を言います。

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

LEA 20	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

LEA 20	指標
LEA 20.1	<p>貴社または貴社に代わって行動するサービスプロバイダーは、議決権の行使に先立って、当該企業に対し懸念等を表明しているかどうか明示してください。</p> <p><input type="radio"/> はい、ほとんどの場合、している</p> <p><input type="radio"/> 以下の場合に、時にしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特定の市場における議決 <input type="checkbox"/> 一定のESG問題に関連する議決 <input type="checkbox"/> 重要な保有持分と見なされる企業の議決 <input type="checkbox"/> エンゲージメントを行っている企業に対する議決 <input type="checkbox"/> 顧客からの要請がある場合 <input type="checkbox"/> その他(説明してください) _____ <p><input type="radio"/> 貴社または貴社の代理人であるサービスプロバイダーのいずれも、議決権の行使に先立って、当該企業に対し懸念等を表明することはしていない</p>
LEA 20.2	<p>貴社や貴社に代わって行動するサービスプロバイダーは、議決を棄権したり、経営陣の提案に反対票を投じる場合に、当該企業にその理由を伝えているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> はい、ほとんどの場合、伝えている</p> <p><input type="radio"/> 以下の場合に、時に伝えている:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特定の市場における議決 <input type="checkbox"/> 一定のESG問題に関連する議決 <input type="checkbox"/> 大量保有持分と見なされる企業の議決 <input type="checkbox"/> エンゲージメントを行っている企業に対する議決 <input type="checkbox"/> 顧客からの要請がある場合 <input type="checkbox"/> 企業からの要請がある場合 <input type="checkbox"/> その他(説明してください) _____ <p><input type="radio"/> その理由を伝えてはいない</p> <p><input type="radio"/> 貴社やサービスプロバイダーは棄権したり、経営陣の提案に反対票を投じたりしないため該当しない</p>
LEA 20.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>プロセス

LEA 20	説明		
LEA 20	この指標[LEA 20.1]は、ICGNのグローバルステewardシップ原則に整合しています。		
LEA 20.3	これには以下を含めることができます: <ul style="list-style-type: none"> 議決が行われる前後に企業に議決権行使に係る決定を通知しているかどうか どのような基準に従って、各企業に議決権行使に係る決定を通知しているか 		
評価			
LEA 20	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[20.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「貴社やサービスプロバイダーは棄権したり、経営陣の提案に反対票を投じたりしないため該当しない」	N/A	
	その理由を伝えてはいない	○	
	「時に伝えている」かつ1つのボックスにチェックマーク	★	
	「時に伝えている」かつ2つ以上のボックスにチェックマーク	★★	
	「はい、ほとんどの場合、伝えている」	★★★	

LEA 20	定義
大量保有持分	大量保有持分と見なされる株式は、貴社のポリシーに基づき決定されますが、通常は、企業の発行済株式数の1%超を保有する場合に大量保有持分と見なされます。

成果および結果

LEA 21	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	-----------------------	-------------------	--------------------

LEA 21	指標						
LEA 21.1	<p>貴社やサービスプロバイダーが(代理)投票の指示を発行するマンドートを有している上場株式について、報告年度中に行った投票の割合を記載してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 50%;">1%単位の投票率</th> <th style="width: 50%;">この投票率の計算基準を明記してください</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> % </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 指示を発行できる投票アイテム件数の合計に占める割合 <input type="radio"/> 投票可能であった株主総会の合計数に占める割合 <input type="radio"/> 投票可能であった上場企業の保有株式の総額に占める割合 </td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> この情報を追跡または収集していない </td> <td></td> </tr> </table>	1%単位の投票率	この投票率の計算基準を明記してください	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> %	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 指示を発行できる投票アイテム件数の合計に占める割合 <input type="radio"/> 投票可能であった株主総会の合計数に占める割合 <input type="radio"/> 投票可能であった上場企業の保有株式の総額に占める割合 	<input type="checkbox"/> この情報を追跡または収集していない	
1%単位の投票率	この投票率の計算基準を明記してください						
<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> %	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 指示を発行できる投票アイテム件数の合計に占める割合 <input type="radio"/> 投票可能であった株主総会の合計数に占める割合 <input type="radio"/> 投票可能であった上場企業の保有株式の総額に占める割合 						
<input type="checkbox"/> この情報を追跡または収集していない							
LEA 21.2	<p>一定の株式保有分について議決権を行使しない理由を説明して下さい:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 株式がブロックされていた <input type="checkbox"/> 期限内に通知、投票用紙、または資料が届かなかった <input type="checkbox"/> 締め切りに間に合わなかった <input type="checkbox"/> 地理的な制約 (国内以外の市場) <input type="checkbox"/> 費用 <input type="checkbox"/> 利益相反 <input type="checkbox"/> 持ち分比率が少なすぎると見なしたため <input type="checkbox"/> 管理上の障害 (例えば、委任状要件、株主割当増資のため非適格) <input type="checkbox"/> 顧客からの要請により <input type="checkbox"/> その他; 説明してください _____ 						
LEA 21.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>						

LEA 21	説明		
LEA 21.1	<p>運用会社の場合</p> <p>投票率を計算する際は、議決に関する顧客のマンデートがある保有株式のみを含めてください。マンデートがない場合には、その株式保有分を含めないでください。</p> <p>資産保有者の場合</p> <p>投票率を計算する際は、貴社またはサービスプロバイダーが投票のマンデートを保有する保有株式のみを含めてください。保有株式の全部または一部について貴社に代わって投票するマンデートを運用会社に付与している場合、マンデートがない場合には、その保有株式の割合を含めないでください。</p>		
ロジック			
LEA 21	[LEA 21.1]で投票率が0%超であると報告すると、[LEA 21.2]が適用されます。		
評価			
LEA 21	<p>最大スコア: ★ 3 つ</p> <p>この指標は、[21.1]で報告した割合に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「この情報を記録していない」または30%未満	○	
	30-80%	★	
	80-95%	★★	
	95%超	★★★	

LEA 22	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

LEA 22	指標	
LEA 22.1	あなたの貴社では、貴社や貴社に代わって行動するサービスプロバイダーが出した議決権行使に係る指示を追跡しているかどうか明示してください。	
	○ はい、この情報を追跡している	○ いいえ、この情報を追跡していない
LEA 22.2	貴社または貴社の代理である第3者機関が出した議決権行使に係る指示について投票の割合を記載してください。	
	議決権行使に係る指示の対象	投票の内訳(%)
	経営陣の提案に対する賛成票	<input type="text"/> %
	経営陣の提案に対する反対票	<input type="text"/> %
	棄権	<input type="text"/> %
	合計	100%
LEA 22.3	経営陣の提案に反対票を投じたことに関連して貴社が取る措置について記載して下さい。	
LEA 22.4	補足情報 [任意]	

LEA 22	説明
LEA 22	この指標[LEA 22.1]は、ICGNのグローバルステewardシップ原則に整合しています。
LEA 22.3	これには以下を含めることができます： <ul style="list-style-type: none"> 経営陣に反対投票をすることが貴社のエンゲージメントプログラムに含まれていること。 議決権行使の前後に関係企業とどのようにコミュニケーションをとるか。 企業の反応とESGの内部評価への最終的な変化を監視する方法 議決権行使について内部的にどのようにコミュニケーションをとるか(つまり、ポートフォリオマネージャに)
ロジック	
LEA 22	[LEA 22.1]で[はい、私たちはこの情報を追跡します]と報告すると、[LEA 22.2]および[LEA 22.3]が適用されます。
評価	
LEA 22	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[24.1]で報告した割合に基づいて評価されます。
	指標採点方法

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>コミュニケーション

	選択した回答	スコア・レベル	詳細
	いいえ、「この情報を追跡していない」	○	
	はい、「この情報を追跡している」	★★★	

LEA 22	定義
棄権	議決権行使制度によっては、株主には決議に「賛成」するかその支持を「保留」する選択しか与えられていない場合があります(例:取締役の選任)。この指標の目的としては、提案に反対する結果をもたらす「保留」は、「議案に反対」に含めてください。

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>コミュニケーション

LEA 23	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2
--------	------------------	----------	-------------

LEA 23	指標	
LEA 23.1	貴社が直接またはサービスプロバイダーを経由して報告年度に ESG 関連の株主決議を提出または共同提出したかどうかを明示してください。	<input type="radio"/> 提出した <input type="radio"/> 提出していない
LEA 23.2	貴社が行ったまたは共同で行った ESG 関連株主決議の数を記載してください。	合計 <input type="text"/>
LEA 23.3	以下の結果をもたらした、これらの ESG 関連株主決議の数の割合を記載してください。	
	議案に採用された	<input type="text"/> %
	企業側での変更または企業との交渉により撤回された	<input type="text"/> %
	別の理由で撤回された	<input type="text"/> %
	企業側により拒絶された/受け入れられなかった	<input type="text"/> %
	合計	100%
LEA 23.4	貴社が提出または共同提出した ESG の株式決議で議案に採用された（撤回されなかった）ものに対する賛成票の割合を選択してください。	
	50%超	<input type="text"/>
	20~50%	<input type="text"/>
	20%未満	<input type="text"/>
LEA 23.5	貴社が提出または共同提出した ESG 関連の株主決議で、結果が達成されたものについて説明してください。	
LEA 23.6	貴社が他の投資家によって提出された ESG 株主決議を審査するかどうかについて説明してください。	
LEA 23.7	補足情報 [任意]	

LEA 23	説明
LEA 23	この指標は、貴社が提出または共同提出した ESG 関連の株主決議の数および性質の両方および、決議の提出に関連するエンゲージメントの結果を捕捉することを目的としたものです。
LEA 23.5	<p>ESG 関連の株主決議の説明には以下が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 貴社のエンゲージメントプログラムとの関係を含め、これらの決議を提出した理由。 • 決議の提出に必要な支援を得るために行ったプロセス。 • 決議の主題 • 決議を提出した市場 • 一部の決議が撤回された理由 • 企業の経営陣が、あなたの貴社が提出した懸念事項に対応するためにアプローチを変えたかどうか、あるいはその他の結果。
	<p>これには以下を含めることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 貴社または貴社のサービスプロバイダーが ESG 株主の決議を支持する際に検討する基準。 • 提出された ESG 決議の全部または一部を社内で精査するかどうか。 • 精査プロセス貴社のサービスプロバイダーに全面的に外部委託するかどうか、
ロジック	
LEA 23	<p>指標内</p> <p>[LEA 23.1]で「提出した」を選択すると、[LEA 23.2]が適用されます。</p> <p>[LEA 23.2]で 0 以上の ESG 関連の株主決議を報告すると、[LEA 23.3、LEA 23.4、LEA 23.5]が適用されます。</p>

(委任状による) 議決権行使および株主決議>>コミュニケーション

LEA 24	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2
--------	------------------	----------	-------------

LEA 24.1	指標					
LEA 24.1	報告年度に貴社またはサービスプロバイダーが実行した(委任状による)議決権行使の例を提供してください。					
	ESG要因	ESG問題	意思決定者	目的	対象範囲およびプロセス	結果
	ドロップダウンメニューを挿入 <ul style="list-style-type: none"> 環境 社会 ガバナンス 		ドロップダウン: <ul style="list-style-type: none"> 貴社内のスタッフ 協働 サービスプロバイダー 			
			[同上]			
			[同上]			
			[同上]			
			[同上]			
LEA 24.2	補足情報 [任意]					

具体例					
ESG要因	ESG問題	意思決定者	目的	対象範囲およびプロセス	結果
ドロップダウンメニューから、E,S,Gの内、もっとも該当するものを選択	役員報酬	貴社内のスタッフ	役員報酬が株主の利益と一致していることを確認する。	小型株ファンド(計約25社)で保有されるAIMの上場企業に注目し、8社の報酬体系に反対票を投じる決定をした。	これらの議決の後、2社は報酬体系が投資家に支持されていることをどのように確認できるかについて貴社に説明し(本レポートのエンゲージメントセクションを参照)、翌年の株主総会までに変更することを約束した。

LEA 24	説明
LEA 24	<p><i>例の数</i></p> <p>提供する例の数は議決活動の内容により異なります。少なくとも例を3件、最高10件まで挙げるのが推奨されています。可能な限り、これらの例は貴社の議決活動のおおまかな全体像を示すようにして選んでください。</p> <p><i>ESG要因</i></p> <p>E,S,もしくはGのエンゲージメントなのかを特定してください。</p> <p><i>ESG問題</i></p> <p>ESGの問題の分野を簡潔に記載してください。</p> <p><i>意思決定者</i></p> <p>議決の決定は貴社内(すなわち、専用のESG /委任状による議決権行使チームまたはポートフォリオマネージャー)で行われたか、サービスプロバイダーが行ったかを選択してください</p> <p><i>目的</i></p> <p>期待した議決結果およびこのように投票した動機を説明してください。</p> <p><i>対象範囲およびプロセス</i></p> <p>例えば、議決の前または後に企業に貴社の決議を伝えたかどうか、どのように決定されたか、貴社のエンゲージメントプログラムとの関係、議決のトピックが当てはまる企業の数、AUMベースの保有額などがあります。</p> <p><i>結果</i></p> <p>議決の決定の結果、企業の実務に変更があればそれを説明してください。</p>

2018年PRI報告フレームワーク 自己運用 – 債券

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社[QUICK](#)にご協力いただきました。

PRI Association

Registered office: 5th floor, 25 Camperdown Street
London, UK, E1 8DZ Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 3714 3220 W: www.unpri.org E: info@unpri.org

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報があります。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は自由です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織がモジュール内の他の指標に該当する場合、他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用します。
コア評価項目		これらの指標は評価の基本を形成し、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替の実務を表し、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標で、組織の活動を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が組織に該当することを確認してください。

xxx 01	説明
xxx 01.1	報告する可能性がある事例など、サブ指標を理解する方法の指針となります。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する時、そしてその指標がサブ指標に影響するかどうかを説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は常に適用され、他の指標には影響しません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価アプローチの概要です。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で 사용되는具体的な用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
目次	4
背景	8
アクティブ運用している債券におけるESGの組み入れ	9
実施プロセス	17
A) 実施:スクリーニング	17
B) 実施:テーマ	24
C) 実施:ESG問題の統合	28
パッシブ運用債券	33
アクティブ運用債券 - エンゲージメント	34
成果および結果	40

モジュールの経路

パッシブ戦略の報告

OO FI 01: パッシブ、アクティブ戦略の内訳

OO FI 02: 10%未満資産の報告オプション

OO FI 03: 市場と信用の質の内訳

FI 01: 適用されている組み入れ戦略

FI 02: ESG問題と発行体に関する調査

FI 03: 分析の堅牢性を確保するプロセス

アクティブ戦略の
報告

スクリーニング戦略の報告

FI 04: 適用されているスクリーニングのタイプ

FI 05: ネガティブスクリーニング - 概要と合理性

FI 06: スクリーニング基準の事例

FI 07: ファンド基準違反に対するプロセス

テーマ戦略の報告

FI 08: テーマ投資 - 概要

FI 09: テーマ投資 - テーマ債券プロセス

FI 10: テーマ投資 - インパクト評価

統合戦略の報告

FI 11: 統合の概要

FI 12: 統合 - 投資プロセスにおけるESG 情報

FI 13: 統合 - E/S/G問題の検討

FI 14: パッシブファンドへのESG組み入れ

FI 15: エンゲージメントの概要と対象範囲

FI 16: エンゲージメント方法

FI 17: エンゲージメント方針の開示

FI 18: 財務/ESG実績

FI 19: 例: ESG組み入れまたはエンゲージメント

序文

本モジュールで報告されている情報は、組織内で運用している債券銘柄に RI をどのように適用するかをステークホルダーが理解できるようにすることを目的としたものです。RI は、投資決定、エンゲージメントおよび開示への ESG 要因の組み入れを示します。

運用資産 (AUM) の 10%以上を債券に自己運用する全ての PRI 署名者は、本モジュールへの報告が必須となります。ここには、現金は含まれず、外部の運用会社を利用しない自社による自己運用での投資のみが含まれます。

自社の債券投資において、RI アプローチの適用に何らかの制限がかかる場合は、自由書式の関連指標にその旨説明する必要があります。例えば、行政機関が外国通貨建ての債券または外国から発行された債券への投資に制限を加えている場合などがあります。

この報告モジュールの目的は、債券を、ソブリン/超国家的/機関 (SSA)、社債 (金融)、社債 (非金融) および証券化商品の 4 つのカテゴリに分類することです。

詳細は以下、説明します。さらなる分類が必要な場合は、[PRI までお問い合わせ下さい](#)。

債券の分類

報告クラス	タイプ	発行体	詳細
債券	SSA	超国家的組織	超国家的組織が発行する債務証券(多国間開発銀行や国際労働組合が発行している債券など)。
		ソブリン/政府債	政府が発行する債務証券(あらゆる通貨建ての国債など)。
		政府機関	政府機関が発行する債務証券(政府が完全所有する機関の債券など)。
		地方債	都道府県などの地方自治体が発行する債務証券。
	社債(金融)	金融サービス会社	銀行や保険会社を含む金融サービス会社が発行する債務証券。(御社が銀行部門も営んでいる場合、これには預金や融資などの貸出ポートフォリオ内の資産は含まれません。)
	社債(非金融)	会社	公開または非公開の非金融会社が発行する債務証券。 公募債(シニア債または劣後債)、私募債または民間融資、プロジェクトファイナンス、インフラ債を含みます。
	証券化商品	銀行、SPV	資産プールの裏付けがあり、特別目的事業体が発行する債務証券。 資産担保証券、不動産担保証券、プロジェクトファイナンス、インフラ債、債務担保証券またはローン担保証券、およびカバードボンドを含みます。

背景

前回の債券モジュールは、署名者が自己運用債券投資に関連した責任投資活動を報告するための任意のパイロットモジュールでした。そこから得られた回答とフィードバックを検討し、署名者との協議も重ねた結果、署名者による債券資産報告で使用される、より詳細で包括的な指標セットを提供するこの新しいモジュールが策定されました。

改正の概要

債券モジュールは 2016 年度版から大幅な変更はありません。データの質や評価を改善するために、若干の修正が行われています。また、ガイダンスは全体にわたり更新されています。

2017 年度指標	改正の概要
FI 01 - FI 03	これらの指標は、FI モジュールから OO に移動しました。
FI 04 - FI 10	これらの指標は、FI 01 - FI 07 に変更されました。
FI 11	この指標は、FI 08 に変更され、サブ指標が変更または削除されました。
FI 12 - FI 18	これらの指標は、FI 09 - FI 15 に変更されました。
FI 19	この指標は、FI 16 に変更され、選択肢が修正または削除されました。
FI 20 - FI 22	これらの指標は、FI 17- FI 19 に変更されました。

アクティブ運用している債券におけるESGの組み入れ

実施プロセス

FI 01	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 1
-------	----------------	--------------	-------------

FI 01	指標																																																						
FI 01.1	以下を記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 組織でアクティブ運用する債券投資について、どのESG組み入れ戦略や組み合わせを使用しているか 各戦略が適用されるアクティブ運用債券投資合計の割合 (+/- 5%) 																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ESG組み入れ戦略 (当てはまるものをすべてお選びください)</th> <th colspan="4">この戦略が適用されるアクティブ債券の割合 (推定 +/- 5%)</th> </tr> <tr> <th>SSA</th> <th>社債(金融)</th> <th>社債(非金融)</th> <th>証券化商品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> スクリーニングのみ</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> テーマのみ</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統合のみ</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> スクリーニング + 統合戦略</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> テーマ + 統合戦略</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> スクリーニング + テーマ戦略</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3つの戦略すべての組み合わせ</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 組み入れ戦略を適用していない</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> <td><input type="text"/> %</td> </tr> <tr> <td>アクティブ運用される債券の合計</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	ESG組み入れ戦略 (当てはまるものをすべてお選びください)	この戦略が適用されるアクティブ債券の割合 (推定 +/- 5%)				SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品	<input type="checkbox"/> スクリーニングのみ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> テーマのみ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> 統合のみ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> スクリーニング + 統合戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> テーマ + 統合戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> スクリーニング + テーマ戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> 3つの戦略すべての組み合わせ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="checkbox"/> 組み入れ戦略を適用していない	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	アクティブ運用される債券の合計	100%	100%	100%	100%
	ESG組み入れ戦略 (当てはまるものをすべてお選びください)		この戦略が適用されるアクティブ債券の割合 (推定 +/- 5%)																																																				
		SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品																																																		
	<input type="checkbox"/> スクリーニングのみ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																		
	<input type="checkbox"/> テーマのみ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																		
	<input type="checkbox"/> 統合のみ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																		
	<input type="checkbox"/> スクリーニング + 統合戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																		
	<input type="checkbox"/> テーマ + 統合戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																		
	<input type="checkbox"/> スクリーニング + テーマ戦略	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																		
<input type="checkbox"/> 3つの戦略すべての組み合わせ	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																			
<input type="checkbox"/> 組み入れ戦略を適用していない	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %																																																			
アクティブ運用される債券の合計	100%	100%	100%	100%																																																			
FI 01.2	特定のESG組み入れ戦略を選択している理由と、使用する戦略の組み合わせを説明してください。																																																						
FI 01.3	補足情報 [任意]																																																						

FI 01	説明
FI 01.1	<p>この指標は、債券への投資において組織がESG問題をどう考慮しているかについての概要を示せるようにしたものです。活動、戦略、使用されるプロセスについて説明してください。以後の指標では、これらの戦略の対象範囲や戦略の実施方法について具体的な情報を提供できます。</p> <p>この指標に含まれる事項の例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用している主なESG戦略(使用する理由を含む) • これらの戦略を実行する責任者 • 組織のESG戦略の特徴(地域またはセクターなど) <p>同一の資産に2つの戦略を採用している場合、適切な組み合わせのオプションを選択してください。例えば、資産の5%についてはスクリーニングのみで、他の資産についてはスクリーニングと統合の組み合わせを採用しているとします。こうした場合には、「スクリーニングのみ」を5%、「スクリーニング + 統合戦略」を残りの95%として報告してください。</p> <p>組み入れアプローチを一切採用しておらず、「組み入れ戦略を適用していない」という選択肢が上場株式資産の100%を占める場合、本モジュールのアクティブ運用上場株式セクションでこれ以上報告する必要はありません。</p>
FI 01.2	<p>特定のRI戦略を特定の資産グループまたはすべての債券投資に対して選択している理由を説明できます。ここには、組織内外の特定要因の説明を含めることができます。</p> <p>ESG組み入れアプローチが発行体のタイプによってどのように変わるのか説明できます。この回答に含まれる事項の例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 発行体タイプによって異なるESGデータの情報源と分析 • 発行タイプによって異なるエンゲージメントアプローチ • 発行体タイプによって異なるESG分析レベル
ロジック	
FI 01	<p>[FI 01] は、「アクティブ」戦略が「組織概要」モジュール [OO FI 01] において報告された場合のみ適用されます。</p> <p>[FI 01.1] は、記載されている戦略を選択したか否かにより、次の指標をトリガします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「スクリーニングのみ」は、「実施：スクリーニング」セクション [FI 04 - FI 07] をトリガします。 • 「テーマのみ」は、「実施：サステナビリティをテーマとする投資」セクション [FI 08 - FI 10] をトリガします。 • 「統合のみ」は、「実施：ESG問題の統合」セクション [FI 11 - FI 13] をトリガします。 • 「スクリーニング + 統合」は、[FI 04 - FI 07] および [FI 11 - FI 13] をトリガします。 • 「テーマ + 統合」は、[FI 08 - FI 10] および [FI 11 - FI 13] をトリガします。 • 「スクリーニング + テーマ」は、[FI 04 - FI 07] および [FI 08 - FI 10] をトリガします。 • 「3つの戦略すべて」は、[FI 04 - FI 13] をトリガします。 • 加えて、上記の選択肢のいずれも [FI 02] および [FI 03] をトリガします。 • アクティブ運用上場株式の100%に対して「組み入れ戦略を適用していない」と報告する場合、指標 [FI 04 - FI 13] は適用されません。

PRIの原則1では、投資分析や意思決定プロセスへのESG問題の組み入れについて述べています。報告フレームワークでは、ESGの組み入れとは、投資の意思決定プロセスにおけるESG情報の考慮および使用を意味します。

報告フレームワークはESG組み入れを行う4つの方法に触れています。

1. スクリーニング
2. サステナビリティをテーマとする投資（環境および社会をテーマとする投資）
3. 統合
4. 上記の組み合わせ

エンゲージメントのアプローチのみの対象となり、以上のいずれの戦略にも当てはまらない資産はESG組み入れに含めないでください。

RI業界の標準化とコミュニケーションを改善するため、PRIは用語の定義を[Global Sustainable Investment Alliance](#)と一致させています。この定義を以下に示します。

投資のスクリーニング	<p>報告フレームワークのスクリーニングには次の3種類の定義があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. ネガティブ/排他的スクリーニング: 特定のESG基準に基づき、特定セクター、企業または実務をファンドまたはポートフォリオから除外する。 b. ポジティブ/業界最高のスクリーニング: 業界の比較対象と比較し、すぐれたESG実績により選択したセクター、企業またはプロジェクトへ投資する。 c. 基準に基づくスクリーニング: 国際的な基準を基に、実務慣行の最低基準に照らし、投資をスクリーニングする。基準に基づくスクリーニングには、以下のいずれかが含まれます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. RI/ESG問題に関連した国際的基準に対する投資先の業績に基づいて投資ユニバースを定義する、または、 2. 調査およびエンゲージメントの後に投資先がこれらの基準を満たしていないことが判明した場合、その投資先を投資後のポートフォリオから除外する。このような基準には、国連グローバル・コンパクトの原則、世界人権宣言、国際労働機関基準、国際連合腐敗防止条約、OECD多国籍企業行動指針などが含まれます。
サステナビリティをテーマとする投資	特にサステナビリティに関連したテーマまたは資産への投資（例：クリーンエネルギー、環境にやさしいテクノロジー、持続可能な農業）。
ESG問題の統合	運用会社が環境、社会、ガバナンス要因を従来の財務分析に体系的かつ明確に含めること。
これらの定義の詳細については、別の 主な定義 文書を参照してください。	

FI 02	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 コア評価	原則 PRI 1
-------	--------------------------	------------	-------------

FI 02	指標				
FI 02.1	発行体に対する分析の一部として体系的に調査する ESG 要因を明示してください。				
		SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	環境データ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	社会的データ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ガバナンスデータ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 02.2	入ってくるESG情報のフォーマットと主な情報源を明示してください。				
	ESG情報の種類		この情報の提供者を説明してください		
	<input type="checkbox"/> 未調整のESGの企業データ	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> 売り側 <input type="checkbox"/> 組織内 – 専門のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – FIAアナリスト、PMまたはリスクチーム <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください)			
	<input type="checkbox"/> ESG要因固有分析	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> 売り側 <input type="checkbox"/> 組織内 – 専門のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – FIAアナリスト、PMまたはリスクチーム <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください)			
	<input type="checkbox"/> 発行体レベルESG分析	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> 売り側 <input type="checkbox"/> 組織内 – 専門のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – FIAアナリスト、PMまたはリスクチーム <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください)			
	<input type="checkbox"/> セクターレベルESG分析	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> 売り側 <input type="checkbox"/> 組織内 – 専門のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – FIAアナリスト、PMまたはリスクチーム <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください)			
	<input type="checkbox"/> 国レベルESG分析	<input type="checkbox"/> ESG調査提供会社 <input type="checkbox"/> 売り側 <input type="checkbox"/> 組織内 – 専門のESGアナリストまたはチーム <input type="checkbox"/> 組織内 – FIAアナリスト、PMまたはリスクチーム <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください)			
FI 02.3	使用されているESG情報を簡単に説明してください。ESG組み入れ戦略全体における情報源の違いを明らかにしてください。				
FI 02.4	補足情報				
	[任意]				

FI 02	説明
FI 02.2	<p>この指標は、どのような種類のESG情報が組織の投資決定に影響を与えているかを報告できるようにすることを目的とし、この情報源に焦点を当てる機会にもなります。例えば、投資家によっては専門的な調査提供会社から直接入手したESGデータを使用していることもあります。あるいは、第三者から購入した調査を補完するために組織内で調査を行い(専門のESGチームまたはアナリスト、ポートフォリオマネージャー)、この補完した調査を投資プロセスに利用している投資家もいます。または、これを両方行っている投資家もいます。本モジュールの後半の指標では、この調査の質や調査が投資プロセスでどのように使用されるかを説明できます。</p> <p>異なる情報源の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 未調整のESGの企業データ: 発行体のESG実績に関するデータで、発表した形式のまま、分析や集計がなされていないもの。 ESG要因に固有のESG分析または格付: 単一の要因(例: 人権)の分析、または気候変動などのトレンドやテーマについて分析したもの。 発行体および発行レベルESG分析: 発行体および発行についてのESG実績、リスクまたは機会に関する情報を分析または集計したもの。格付や文字といった測定基準で表現されることがある。 発行体レベルESG分析。セクターレベルESG分析または格付: 食品・飲料セクターなど、特定の業界セクターに関連したESG実績、リスクまたは機会を分析または集計したもの。 国関連のESG分析または格付: 各国のESGに関連した法律、政策、基準、実績、リスクまたは機会を分析または集計したもの。
FI 02.3	<p>戦略別にESGの情報源を説明してください。投資プロセスに第三者のESG情報を通常使用するかどうか、または、第三者が提供した調査を補完するためにさらに組織内調査を通常実施しているかどうかも記載してください。</p>
FI 02.4	<p>このセクションでは、調査を促進する上でどういった行動を取っているかについても説明できます。例えば、以下の場合について説明できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織がESG問題を特定し、調査プロバイダーに提案する ESG問題に関する調査に支払う予算を設定する
ロジック	
FI 02	<p>[FI 02] は、[FI 01.1]で債券投資に関連してESG組み入れ戦略(スクリーニング、テーマまたは統合)を報告した場合、適用されます。</p>

評価			
FI 02	最大スコア: ★6つ		
	この指標は、[05.1および05.2]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	FI 02.1		
	FI 01において「組み入れ戦略を適用してない」と回答.	○	
	一つの種類のESG データ	★	
	二つの種類のESG データ	★★	
	三つの種類のESGデータ	★★★	
	FI 02.2		
	FI 01において「組み入れ戦略を適用してない」と回答.	○	
	一つの種類のESG情報	★	
	二つの種類のESG情報	★★	
	三つ以上の種類のESG情報	★★★	

FI 03	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 1
-------	----------------	------------	-------------

FI 03	指標
FI 03.1	<p>組織のESG調査プロセスの堅牢性を確保する方法を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 組織または調査提供会社により、発行体は自身に関するESG調査の見直しを行い、間違いを訂正する機会を与えられている <input type="checkbox"/> 発行体情報やESG格付けを定期的に更新して、ESG調査の正確性を確保している <input type="checkbox"/> 組織内でESG調査の監査が体系的に行われている <input type="checkbox"/> ESG分析について他の調査提供会社と品質の比較を行っている <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
FI 03.2	<p>ESG情報または分析を投資チーム内で共有する方法を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ESG情報は一元化したデータベースで保管され、関連する投資スタッフ全員によってアクセス可能になっている <input type="checkbox"/> ESG情報は、全発行体の概要、「切り取りページ」、「ダッシュボード」などの文書の標準事項になっている <input type="checkbox"/> 投資スタッフは、投資委員会で、発行体のESG情報を標準事項として議論することになっている <input type="checkbox"/> ESG情報や調査が投資決定にどのように組み入れられたかの記録が取られる <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
FI 03.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

FI 03		説明	
FI 03.1	この指標は、組織のESG分析プロセスで使用されるデータの質を保証する方法を説明するためのものです。この指標では、組織で作成されたESG情報と、調査提供会社が提供したESG情報を区別しません。		
FI 03.2	この指標の目的は、ESG情報がどのように債券チームによって使用されるかを説明できるようにすることです。		
FI 03.3	ここでは、重大なESGリスクと機会、ESG問題を調査するための投資ユニバースに適用するフレームワーク、未調整データを格付けに組み込む方法、または特定発行体についての選択肢の一部としてESG分析をどのように加重するかを説明できます。		
ロジック			
FI 03	[FI 03] は、[FI 01.1]で債券投資に関連してESG組み入れ戦略(スクリーニング、テーマまたは統合)を報告した場合、適用されます。		
評価			
FI 03	最大スコア: ★6つ この指標は、[06.1および06.2]への回答に基づいて評価されます。		
指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	FI 01 で「組み入れ戦略を適用してない」 または FI 03.1 および FI 03.2 で「上記のいずれでもない」	○	
	FI 03.1またはFI 03.2で一つ選択	★	
	FI 03.1およびFI 03.2でそれぞれ一つ選択、または FI 03.1またはFI 03.2で二つ選択	★★	
	FI 03.1およびFI 03.2でそれぞれ三つ選択	★★★	

FI 04	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 1
-------	----------------	--------------	-------------

FI 04	指標				
FI 04.1	実施するスクリーニングの種類を記載してください。				
		SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	ネガティブ/ 排他的スクリーニング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ポジティブ/ 業界最高のスクリーニング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	基準に基づく スクリーニング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 04.2	組織内でアクティブ運用している債券に適用するスクリーニングのアプローチを記載してください。				
FI 04.3	補足情報 [任意]				

FI 04	説明
FI 04.1	この指標は、スクリーニング方法の適用条件の詳細を説明するためのものです。
FI 04.2	スクリーニング基準の設定方法、基準が見直される頻度、基準の変更を顧客や受益者に通知する方法について詳しく説明してください。
ロジック	
FI 04	[FI 04] は、[FI 01.1] で債券投資に関する ESG 組み入れ戦略の一部としてスクリーニングを報告した場合、適用されます。 [FI 04.1] は、ゲートウェイ指標です。

FI 04	定義
ネガティブ/ 排他的スクリーニング	特定のESG基準に基づき、特定セクター、発行体または実務をファンドまたはポートフォリオから除外する。この除外は、国際的な基準を満たしていないことに基づいて実施される。
ポジティブ/ 業界最高のスクリーニング	業界の比較対象と比較し、すぐれたESG実績により選択したセクター、発行体またはプロジェクトへ投資する。
基準に基づくスクリーニング	国際的な基準を基に、実務慣行の最低基準に照らし、投資をスクリーニングする。

FI 05	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PRI 1
-------	----------------	----------	-------------

FI 05	指標			
FI 05.1	ネガティブスクリーニングを実行する理由を明示してください。			
	SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	<input type="checkbox"/> 法律上の理由	<input type="checkbox"/> 法律上の理由	<input type="checkbox"/> 法律上の理由	<input type="checkbox"/> 法律上の理由
	<input type="checkbox"/> 法律以外の理由	<input type="checkbox"/> 法律以外の理由	<input type="checkbox"/> 法律以外の理由	<input type="checkbox"/> 法律以外の理由
FI 05.2	投資ユニバースから発行体についてESGベースのネガティブスクリーニングを行うアプローチについて説明してください。			
FI 05.3	補足情報 [任意]			

FI 05	説明
FI 05.1	この指標は、投資家がネガティブスクリーニングを実施する理由を示します。
FI 05.2	<p>ネガティブスクリーニング・アプローチ、発行体の除外条件、この条件を適用する場合の決定方法、およびこの条件を選択する動機について説明できます。ネガティブスクリーニングの条件例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品 - 例: 特定の武器、タバコ、ポルノ関連商品 セクター - 例: 炭鉱 国/地域 環境および社会的な実務およびパフォーマンス - 例: 児童労働、環境損害、サステナビリティ報告 山頂除去採鉱など、セクター内で禁止はされていないが異論のある業務 コーポレートガバナンス基準に対する不準拠
ロジック	
FI 05	[FI 05] は、組織が[FI 04.1]で債券に関連してネガティブ/除外ESGスクリーニングを適用する場合、適用されます。

FI 06	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1
-------	------------------	------------	-------------

FI 06	指標			
FI 06.1	スクリーニング条件に含まれているESG要因の例を挙げてください。			
	種類	ESG要因	スクリーニング	スクリーニングの説明
	<ul style="list-style-type: none"> SSA 社債(金融) 社債(非金融) 証券化商品 	<ul style="list-style-type: none"> E(環境) 社会的 ガバナンス 	<ul style="list-style-type: none"> ネガティブ/除外 ポジティブ/業界最高 基準に基づく 	
	[同上]	[同上]	[同上]	
	[同上]	[同上]	[同上]	
FI 06.2	補足情報			
	[任意]			

FI 06		説明	
FI 06.1		<p>少なくとも3つ、最大で5つの例を挙げることが推奨されています。</p> <p>これらの例はできる限り、ESG問題がネガティブスクリーニング条件としてどのように使用されるかを明確に説明するものにしてください。</p> <p>組織により、異なるESG問題、異なるセクターが例の中心になり、異なる投資決定が行われるかもしれません(例:除外、購入、売却、保有、オーバーウェイト、アンダーウェイト)。</p>	
ロジック			
FI 06		[FI 06] は、組織が[FI 01.1]で債券に関連してESGスクリーニングを適用すると報告した場合、適用されます。	
評価			
FI 06		<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[09.1]への回答に基づいて評価されます。</p>	
指標採点方法			
選択された回答		スコア・レベル	詳細
事例ーなし		○	
ESG要因において一つ選択		★	与えられた全ての事例を対象にESG要因の件数をカウントします。
ESG要因において二つ選択		★★	与えられた全ての事例を対象にESG要因の件数をカウントします。
ESG要因において三つ選択		★★★	与えられた全ての事例を対象にESG要因の件数をカウントします。

FI 07	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
-------	----------------	------------	-------------

FI 07	指標
FI 07.1	債券投資においてファンドスクリーニングの基準に違反がないことを確認するために組織が使用しているシステムを記載してください。
	<p>ネガティブ/排他的スクリーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発行体がスクリーニング基準を満たしているか確認を行う。 <input type="checkbox"/> スクリーニング基準で使用するデータを、少なくとも2年ごとに必ず更新する。 <input type="checkbox"/> 自動ITシステムが、スクリーニング基準を満たさない除外対象の発行体や債券へのポートフォリオマネージャーによる投資を防止する。 <input type="checkbox"/> 組織内の監査機能またはコンプライアンスチェック機能により、ファンド保有銘柄の監査が定期的に行われる。 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
	<p>ポジティブ/業界最高のスクリーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発行体がスクリーニング基準を満たしているか確認を行う。 <input type="checkbox"/> スクリーニング基準で使用するデータを、少なくとも2年ごとに必ず更新する。 <input type="checkbox"/> 自動ITシステムが、スクリーニング基準を満たさない除外対象の発行体や債券へのポートフォリオマネージャーによる投資を防止する。 <input type="checkbox"/> 組織内の監査機能またはコンプライアンスチェック機能により、ファンド保有銘柄の監査が定期的に行われる。 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
	<p>基準に基づくスクリーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発行体がスクリーニング基準を満たしているか確認を行う。 <input type="checkbox"/> スクリーニング基準で使用するデータを、少なくとも2年ごとに必ず更新する。 <input type="checkbox"/> 自動ITシステムが、スクリーニング基準を満たさない除外対象の発行体や債券へのポートフォリオマネージャーによる投資を防止する。 <input type="checkbox"/> 組織内の監査機能またはコンプライアンスチェック機能により、ファンド保有銘柄の監査が定期的に行われる。 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
FI 07.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

FI 07		説明	
FI 07.1	<p>ファンドのスクリーニング基準に対する違反とは、除外されるべきであった債券が購入される、またはファンドに残っていることを指します。</p> <p>「体系的」という用語の補足説明については、別の文書の「報告フレームワーク: 概要とガイダンス」を参照してください。</p>		
FI 07.2	<p>スクリーニング基準の確認方法、違反を発生させないためのプロセスについてさらに詳しく説明できます。このようなプロセスがない場合は、この指標を使用してその理由を示すことができます。</p>		
ロジック			
FI 07	<p>[FI 07]は、[04.1]で組織が債券に関連して ESG スクリーニングを適用すると報告した場合、適用されません。</p> <p>ポジティブ、ネガティブまたは基準ベースのスクリーニングのセクションは、[FI 04.1]での回答に基づいて適用されます。</p>		
評価			
FI 7	<p>最高スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[10.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「上記のいずれでもない」	○	
	一つを選択	★	
	二つを選択	★★	
三つ以上を選択	★★★		

FI 08	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
-------	--------------------------	----------	-------------

FI 08	指標								
FI 08.1	テーマ投資の割合を示してください。								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/> グリーン債</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">□ %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 社会貢献債</td> <td style="text-align: center;">□ %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> サステナビリティ債(グリーンと社会貢献の組み合わせ)</td> <td style="text-align: center;">□ %</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他 _____</td> <td style="text-align: center;">□ %</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> グリーン債	□ %	<input type="checkbox"/> 社会貢献債	□ %	<input type="checkbox"/> サステナビリティ債(グリーンと社会貢献の組み合わせ)	□ %	<input type="checkbox"/> その他 _____	□ %
<input type="checkbox"/> グリーン債	□ %								
<input type="checkbox"/> 社会貢献債	□ %								
<input type="checkbox"/> サステナビリティ債(グリーンと社会貢献の組み合わせ)	□ %								
<input type="checkbox"/> その他 _____	□ %								
FI 08.2	テーマ債券投資に対する組織のアプローチについて説明してください。								
FI 08.3	補足情報 [任意]								

FI 08	説明
FI 08.1	<p>国際資本市場協会 (International Capital Markets Association: ICMA) は、グリーン債を「(前略) 気候変動、天然資源の枯渇、生物多様性の喪失、大気・水質・土壌汚染など、環境問題の主要な領域に対応することを目的として、(中略) 新規もしくは既存の適格なグリーンプロジェクトの一部もしくは全額の資金調達または資金補充にのみ収益を充当するあらゆる種類の債券」と定義しています。</p> <p>ICMA は、社会貢献債を「(前略) 特定の社会問題への対処もしくはその軽減を促進するため、または、有益な社会的結果 (特に、目標母集団を対象とするが、これに限定されるものではない) の達成を図るため、(中略) 新規もしくは既存の適格な社会貢献プロジェクトの一部もしくは全額の資金調達または資金補充にのみ収益を充当するあらゆる種類の債券」と定義しています。</p> <p>ICMA は、サステナビリティ債を「(前略) グリーンプロジェクトと社会貢献プロジェクトの両方を組み合わせたプロジェクトの資金調達または資金補充にのみ収益を充当するあらゆる種類の債券」と定義しています。</p> <p>気候ボンドイニシアチブ (Climate Bonds Initiative: CBI) は、気候債を「気候問題の対処に必要なプロジェクトの資金調達 (または資金補充) に用いられる (債券)」と定義しています。これらは、ウインドファーム (風力発電地帯)、太陽光発電所および水力発電所から、鉄道輸送および海水位上昇の脅威に晒されている都市における防潮堤の建設にまで及びます。実際には、これらの債券のごく一部のみが発行体によって「グリーン債」または「気候債」と呼ばれています。</p>
FI 08.3	<p>この指標は、組織のテーマ投資に対するアプローチ全般を説明する機会を与えるものです。これには、以下の検討項目が含まれることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投資における以下の特定の ESG テーマに対する動機 ● これらのテーマに対する定義または範囲 ● これらのテーマの適用がセクターごと、または地理的地域ごとに異なるか ● ESG 影響、財務的影響またはその両方に投資するか <p>投資プロセスにおいて考慮するその他の要因、テーマ要素が全体的なプロセスにどのように関係するか (例: 投資に関して考慮すべき、すべての発行体が満たさなくてはならない最低要件)</p>
ロジック	
FI 08	[FI 08] は、組織が [FI 01.1] でテーマ投資を報告したと報告した場合、適用されます。

FI 09	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
-------	----------------	------------	-------------

FI 09	指標
FI 09.1	<p>グリーン債原則に従ったテーマ債券の発行に関連する透明性や開示を奨励しているかどうか示してください。社会貢献債原則またはサステナビリティ債ガイドライン。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> テーマ債券の収益を、環境または社会的に貢献するプロジェクトにのみ配分するように義務付けている <input type="checkbox"/> 発行体(または第三者の保険者)が、テーマ債券収益の配分先であるプロジェクトの適格性を判断するプロセスを実証するよう義務付けている <input type="checkbox"/> 発行体が、全ファンドが配分されるまで、テーマ債券収益を適格プロジェクトに配分するための体系的で透明性の高いプロセスを実証するよう義務付けている <input type="checkbox"/> 収益の配分先であるプロジェクトについて、少なくとも1年に1回は発行体による報告(当該プロジェクトの説明を含む)を義務付けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
FI 09.2	発行体が提供文書の記載に従って、債券収益を配分していないときに取るべき対応策を説明してください。
FI 09.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

FI 09	説明															
ロジック																
FI 09	[FI 09] は、組織が [FI 01.1] でテーマ投資を報告した場合、適用されます。															
評価																
FI 09	<p>最高スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[09.1]への回答に基づいて評価されます。</p> <p>指標採点方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「上記のいずれでもない」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一つを選択</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二つを選択</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三つ以上を選択</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「上記のいずれでもない」	○		一つを選択	★		二つを選択	★★		三つ以上を選択	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細														
「上記のいずれでもない」	○															
一つを選択	★															
二つを選択	★★															
三つ以上を選択	★★★															

FI 10	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 1
-------	-----------------------	------------	--------------------

FI 10	指標
	組織のテーマ投資の環境的または社会的影響を評価する方法を示してください。
FI 10.1	<input type="checkbox"/> テーマ投資による特定の環境的または社会的影響について、少なくとも1年に1回、発行体による報告を義務付けている <input type="checkbox"/> 組織の投資についての環境的または社会的影響に対して独立した監査を実施する <input type="checkbox"/> 環境的または社会的影響を評価できる独自のシステムがある <input type="checkbox"/> 二酸化炭素排出量や人権といった特定の ESG 要因に対する、テーマ債券投資の影響を測定する <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載してください) ----- <input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない
FI 10.2	補足情報 [任意]

FI 10	説明															
ロジック																
FI 10	[FI 10] は、組織が [FI 01.1] でテーマ投資を報告した場合、適用されます。															
評価																
FI 10	最大スコア: ★3つ この指標は、[10.1]への回答に基づいて評価されます。															
指標採点方法																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「上記のいずれでもない」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一つを選択</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二つを選択</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三つ以上を選択</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「上記のいずれでもない」	○		一つを選択	★		二つを選択	★★		三つ以上を選択	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細														
「上記のいずれでもない」	○															
一つを選択	★															
二つを選択	★★															
三つ以上を選択	★★★															

FI 11	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PRI 1
-------	----------------	----------	-------------

FI 11	指標	
FI 11.1	ESGを従来の財務分析に統合するアプローチを説明してください。	
FI 11.2	投資する債券の各種類に対してESG統合アプローチをどのように調整するのか説明してください。	
	SSA	
	社債(金融)	
	社債(非金融)	
FI 11.3	証券化商品	
	補足情報 [任意]	

FI 11	説明
FI 11.1	<p>この指標は、ESG要因を統合する動機、各種債券に対するアプローチの調整方法(広範囲)、投資専門家とRI/ESGスタッフとの連携方法、このアプローチの有効期間、適用される債券資産合計の割合などを説明する機会を提供するものです。</p> <p>PRI報告フレームワークの目的上、ESG統合には、ネガティブ、ポジティブまたは基準ベースのスクリーニング、テーマ投資エンゲージメントまたは広義のESG組み込みに分類されるエンゲージメントは含まれません。</p>
FI 11.2	発行体のタイプ別に見た、ESG要因、その他要素の調査プロセス、基準、加重の差異を説明できます。

FI 12	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
-------	----------------	------------	-------------

FI 12	指標				
FI 12.1	ESG情報が、通常、投資プロセスの一部としてどのように使用されるのか記載してください。				
		SSA	社債 (金融)	社債 (非金融)	証券化商品
	ESG分析をファンダメンタル分析に組み込んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG分析を証券ウェイト判断に組み込んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG分析をポートフォリオ構築判断に組み込んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG分析は組織内の信用格付けまたは評価の標準要素になっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	発行体のESG分析が、投資委員会の標準議題になっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	組織内の調査レポートまたは同様文書で定期的にESG分析が取り上げられる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG分析は、進行中のポートフォリオ監視の標準項目に入っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESG分析は、すべての組織内の発行体概要または同様文書に含まれる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他(具体的に記載してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
FI 12.2	補足情報 [任意]				

FI 12		説明	
FI 12.1	すべての債券資産における組織の債券決定にESG分析を組み込むために取られているアプローチを記載してください。「その他」を示した場合は、PRIにおけるESG統合の定義「環境、社会、ガバナンス要因を従来の財務分析に体系的かつ明確に含めること」の範囲に収まる説明を行ってください。		
ロジック			
FI 12	[FI 12] は、[FI 01.1]で債券投資に関連してESG統合戦略を報告した場合、適用されます。		
評価			
FI 12	最大スコア: ★3つ この指標は、[12.1]への回答に基づいて評価されます。		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	一つを選択	○	
	二つを選択	★	
	三つを選択	★★	
	四つを選択	★★★	

FI 13	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 1
-------	----------------	------------	-------------

FI 13	指標				
FI 13.1	組織の統合プロセスでESG問題をどのように検討するか示してください。				
		SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	E(環境)	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない
	S(社会)	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない
	G(ガバナンス)	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない	<input type="radio"/> 体系的 <input type="radio"/> 適宜 <input type="radio"/> 全くない
FI 13.2	組織の統合プロセスでE/S/G要因を検討する方法を詳しく説明してください。				
	発行体	説明			
	SSA				
	社債(金融)				
	社債(非金融)				
	証券化商品				
FI 13.3	補足情報 [任意]				

FI 13	説明		
FI 13.1	<p>この指標は、さまざまなタイプのESG要因の分析を調査および統合するかどうかを示すためのものです。</p> <p>ESG要因は企業、セクター、市場によって関連性や重要性が異なります。この指標は関連性や重要性に対する組織の最終判断ではなく、調査および統合プロセスの範囲に関連するものです。</p> <p>体系的なプロセスでは、異なるセクター、市場、戦略、問題のESG要因の関連性を検討します。適宜見直しとは、通常その場限りのものであり一部の運用会社が適用している場合もありますが、適用していない運用会社もあつたり、あるいは一部の地域、市場またはチームのみに適用されたりしています。</p> <p>「体系的」と「適宜」という用語の補足説明については、別の報告フレームワークの概要とガイダンス文書を参照してください。</p>		
FI 13.2	<p>この指標は、[15.1]で示した、さまざまなタイプの発行体に対する意思決定へのESG分析の組み込みについて、その補足情報と事例を示すためのものです。</p>		
ロジック			
FI 13.1	<p>[FI 13] は、[FI 01.1]で組織が債券投資に関連してESG統合戦略を適用すると報告した場合、適用されます。</p>		
評価			
FI 13	<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[13.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	三つのオプション全てで「全くない」	○	
	一つまたは二つの ESG 問題を適宜検討	★	
	三つのESG問題を適宜検討、または一つまたは二つの ESG 問題を体系的に検討	★★	
	三つのESG問題を体系的に検討	★★★	

セクション

パッシブ運用債券

FI 14	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1
-------	------------------	----------	-------------

FI 14	指標
FI 14	パッシブ運用されている債券資産に対する組織の RI アプローチを説明してください。

FI 14	説明
FI 14.1	パッシブ運用投資に対するESG問題の検討方法についての詳細を示すことが推奨されています。
ロジック	
FI 14	[FI 14] は、「組織概要」モジュール[OO FI 01]でパッシブ債券投資を保有していると報告した場合、適用されます。

セクション

アクティブ運用債券 – エンゲージメント

FI 15	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 コア評価	原則 PRI 2
-------	--------------------------	------------	-------------

FI 15	指標				
FI 15.1	組織の債券資産に対するエンゲージメントを行っているかどうかを示してください。株主の範囲内で実行しているエンゲージメントは除外してください。				
	資産の割合	SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	50%超	○	○	○	○
	26~50%	○	○	○	○
	5~25%	○	○	○	○
	0%超5%未満	○	○	○	○
	エンゲージメントは行って いない	○	○	○	○
FI 15.2	エンゲージメントを実施する動機を示してください。				
		SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	考察をESGに取り入れる ため(開示の促進)	○	○	○	○
	変化をもたらすため(ESG リスクや機会を管理するよ う発行体に依頼)	○	○	○	○
	その他(具体的に記載して ください) _____	○	○	○	○
上記のいずれでもない	○	○	○		
FI 15.3	補足情報 [任意]				

FI 15		説明	
FI 15.1	この指標は、運用する債券投資のアクティブな財産管理範囲を実証する機会になります。		
FI 15.2	エンゲージメントとは、ESG問題についての投資家と現在の投資先または投資先候補（企業、政府、地方自治体など）の間のやりとりを指します。エンゲージメントはESGの実務に対して影響する（または影響する必要を特定する）、あるいはESGに関する情報開示を改善するために行われます。情報収集のためのやりとりは、エンゲージメントに含まれません。		
ロジック			
FI 15.2	[FI 15] は、「債券 -エンゲージメント」行の下にある「組織概要」モジュール [OO 10.1] で、「スタッフ、協働またはサービスプロバイダーにより、ESG問題について企業とのエンゲージメントを行っている」と報告した場合、適用されます。		
評価			
FI 15	最大スコア: ★3つ		
	この指標は、[18.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選定された回答	スコア・レベル	詳細
	「エンゲージメントは行っていない」、または「0%超 5%未満」	○	
	「5-25%」	★	
	「26-50%」	★★	
「50%超」	★★★		

FI 16	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1、2
-------	--------------------------	------------	---------------

FI 16	指標				
FI 16.1	債券投資家として、または債券投資家と上場株式投資家の両方として、発行体に対して通常実施しているエンゲージメントの方法を示してください。(債券保有者と株主の両方であっても、上場株式投資家としてのみ実施しているエンゲージメントは含めないでください。)				
	エンゲージメントのタイプ	SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	個人/社員によるエンゲージメント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	協働エンゲージメント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	サービスプロバイダーによるエンゲージメント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 16.2	発行体とのエンゲージメントの優先順位付け方法を示してください。				
		SSA	社債(金融)	社債(非金融)	証券化商品
	ESG 要因の潜在的な重要性に基づく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	グローバルポートフォリオに対する体系的リスク(例 低炭素への転換)に基づく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エクスポージャー(保有高)に基づく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他(具体的に説明してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 16.3	発行体とのエンゲージメントを実施するタイミングを示してください。				
	投資前に実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	投資後に実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他(具体的に説明してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 16.4	発行体とのエンゲージメントを実施する方法を示してください。				
	ESG 関連投資の前に体系的エンゲージメントを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	特定の ESG リスクや機会を事前に予想する形でエンゲージメントを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	発行体に対して既に影響が出ている ESG 問題に対応する形でエンゲージメントを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	投資と ESG のアナリストが一緒に体系的な ESG 関連エンゲージメントを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他(具体的に説明してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 16.5	組織がどのようなエンゲージメントを実施するのか示してください。				
	個々の発行体とのエンゲージメントを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	セクター及び業界内でエンゲージメントを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	特定のESGテーマ(人権など)についてのエンゲージメントを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他(具体的に説明してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 16.6	組織内でエンゲージメントの結果を共有する方法を記載してください。				
	エンゲージメントの結果を利用できるようにする体系的プロセスがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エンゲージメントの結果は適宜利用可能にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他(具体的に説明してください) _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	この情報は利用可能としない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エンゲージメントの結果を組織内で共有していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 16.7	補足情報 [任意]				

FI 16	説明
FI 16.1	発行体との事前のエンゲージメントには、信用の質に影響すると予想される汚職等の特定のESG関連リスクに対する発行体の管理に影響を与えるという試みが含まれます。反応型のエンゲージメントは通常、規制の変更、経営陣の変更、訴訟、災害など特定の事象に反応して実施されます。
FI 16.2	この指標は、エンゲージメントの優先順位付けの方法を説明できるようにするためのものです。

<p>FI 16.5</p>	<p>大まかに言って、ESG 要因は、様々なレベルでその債券のパフォーマンスに影響を与えることがあります。</p> <p>FI 16.5 の選択肢 1: 発行体/企業レベル(信用格付け機関は財務リスクプロファイルと呼んでいます)</p> <p>これらは市場全体ではなく、特定の債券銘柄またはその発行体に影響を与えるリスクです。通常、発行体のガバナンス、発行体の規制遵守、発行体のバランスシートの健全性、法人レベルでのブランドの評判といった要因に関係しています。例えば、自動車メーカー、フォルクスワーゲンの社債の利回りは、2015 年の排ガススキャンダルの影響で上昇し、長期にわたって高止まりしました。</p> <p>FI 16.5 の選択肢 2: 業界/地理的レベル(信用格付け機関はビジネスリスクプロファイルと呼んでいます)</p> <p>これらのリスクは、当該発行体が属する業界または地域全体に影響を与える、広範囲の問題から生じます。規制要因、当該企業が関わっている事業活動に関連する技術的な変更、または当該企業の調達元もしくは販売先である市場に関係していることもあります。例えば、公益事業は相対的に、財務よりも気候変動リスクにさらされています。</p> <p>FI 16.5 の選択肢 5: テーマレベルエンゲージメント</p> <p>これは、業種を超えた、1つの問題に対するテーマエンゲージメントを指します。</p>															
ロジック																
<p>FI 16</p>	<p>[FI 16]は、「債券 –エンゲージメント」行の下にある「組織概要」モジュール [OO 10.1] で、「スタッフ、協働またはサービスプロバイダーにより、ESG 問題について企業とのエンゲージメントを行っている」と報告した場合、適用されます。</p>															
評価																
<p>FI 16</p>	<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[16.1]への回答に基づいて評価されます。</p> <p>指標採点方法</p> <table border="1" data-bbox="368 1111 1449 1482"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 1111 746 1160">選択された回答</th> <th data-bbox="746 1111 1070 1160">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1070 1111 1449 1160">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1160 746 1245">FI 16.1において「エンゲージメントは行っていない」</td> <td data-bbox="746 1160 1070 1245">○</td> <td data-bbox="1070 1160 1449 1245">「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1245 746 1330">FI16.2, 16.3, 16.4または16.5において一つを選択</td> <td data-bbox="746 1245 1070 1330">★</td> <td data-bbox="1070 1245 1449 1330">「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1330 746 1415">FI16.2, 16.3, 16.4または16.5において二つを選択</td> <td data-bbox="746 1330 1070 1415">★★</td> <td data-bbox="1070 1330 1449 1415">「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1415 746 1482">FI16.2, 16.3, 16.4または16.5から少なくとも三つを選択</td> <td data-bbox="746 1415 1070 1482">★★★</td> <td data-bbox="1070 1415 1449 1482">「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。</td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	FI 16.1において「エンゲージメントは行っていない」	○	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。	FI16.2, 16.3, 16.4または16.5において一つを選択	★	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。	FI16.2, 16.3, 16.4または16.5において二つを選択	★★	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。	FI16.2, 16.3, 16.4または16.5から少なくとも三つを選択	★★★	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。
選択された回答	スコア・レベル	詳細														
FI 16.1において「エンゲージメントは行っていない」	○	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。														
FI16.2, 16.3, 16.4または16.5において一つを選択	★	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。														
FI16.2, 16.3, 16.4または16.5において二つを選択	★★	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。														
FI16.2, 16.3, 16.4または16.5から少なくとも三つを選択	★★★	「その他」は、選択肢の一つとしてカウントしません。														

FI 17	指標のステータス	目的	原則
	報告義務 自主開示	追加評価	PRI 1、2

FI 17	指標		
FI 17.1	組織の公開ポリシー文書に、債券エンゲージメントが、他の資産クラスに関連するエンゲージメントと分離して明示的に言及されているかどうか示してください。		
	○ はい	○ いいえ	
FI 17.2	債券エンゲージメントポリシー文書のURLを記載してください。		
	[任意]		
FI 17.3	補足情報		
	[任意]		

FI 17	説明		
ロジック			
FI 17	[FI 17] は、「債券 –エンゲージメント」行の下にある「組織概要」モジュール [OO 10.1] で、「スタッフ、協働またはサービスプロバイダーにより、ESG問題について企業とのエンゲージメントを行っている」と報告した場合、適用されます。		
評価			
FI 17	最大スコア: ★3つ		
	この指標は、[17.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「いいえ」	○	FI – SSAについては対象外
「はい」	★★★	FI – SSAについては対象外	

セクション

成果および結果

FI 18	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 追加評価	原則 一般
-------	--------------------------	------------	----------

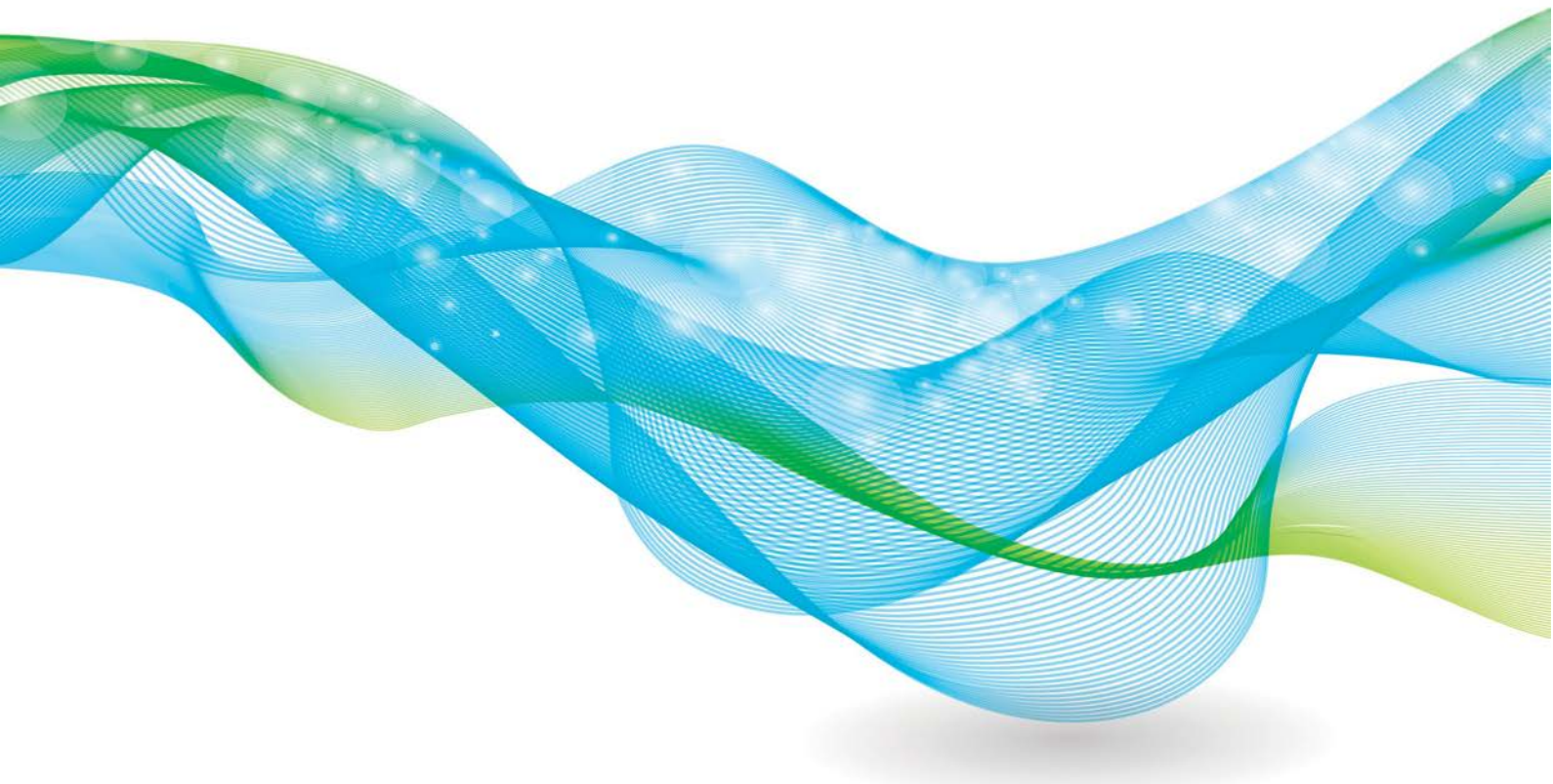
FI 18	指標				
FI 18.1	債券におけるESG分析の組み入れが投資結果やESG実績に与えている影響を組織が測定するのかどうかを明示してください。				
		SSA	社債 (金融)	社債 (非金融)	証券化商品
	ESGの組み入れがファンドの評判に影響しているかどうかを測定している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESGの組み入れが財務リターンに影響しているかどうかを測定している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESGの組み入れがリスクに影響しているかどうかを測定している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ESGの組み入れがファンドのESG実績に影響しているかどうかを測定している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	上記のいずれでもない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FI 18.2	その方法を説明してください。 [任意]				
FI 18.3	補足情報 [任意]				

FI 18		説明	
FI 18.2	この指標の目的は、ESG問題の考慮および管理が評判、リターン、リスクまたはESG実績に与えるプラスおよびマイナスの影響を測定しているかどうかを捕捉することです。この指標で、ESG組み入れがポートフォリオの設計や構築にどのように影響しているか示すことができます(例: 特定のセクター、地域、除外、ポジティブスクリーニング関連、ESGの分析/統合/エンゲージメントの結果)。		
FI 18.4	財務リターン、リスクや ESG 実績に ESG 問題が与える影響をどのように測定しているか説明してください。		
ロジック			
FI 18.1	[FI 18]は、[FI 01.1] でアクティブ運用している債券の一部にスクリーニング、テーマまたは統合戦略が適用されていると報告した場合、適用されます。[OO FI 01] で債券投資がパッシブ運用されると報告した場合にも適用されます。		
評価			
FI 18	最大スコア: ★ 3つ		
	この指標は、[18.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「上記のいずれでもない」	○	
	一つを選択	★	
二つを選択	★★		
三つ以上を選択	★★★		

FI 19	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1、2
-------	------------------	----------	---------------

FI 19	指標			
FI 19.1	ESG分析の組み入れや発行体のエンゲージメントが、報告年度中に組織の債券投資結果に与えている影響例を示してください。			
	債券のタイプ	ESG問題および説明	適用したRI戦略	投資決定やパフォーマンスへの影響
	<ul style="list-style-type: none"> SSA 社債(金融) 社債(非金融) 証券化商品 (ドロップダウン) 		<ul style="list-style-type: none"> スクリーニング テーマ 統合 エンゲージメント パッシブ運用ファンドにおけるESG組み入れ (ドロップダウン) 	
			[同上]	
			[同上]	
FI 19.2	補足情報			
	[任意]			

FI 19	説明
FI 19	<p>少なくとも3つ、最大で5つの例を挙げることが推奨されています。RI戦略が投資決定や投資結果に影響している各ケースを明確に示す事例を挙げてください。</p> <p>組織により、異なるESG問題、異なるセクターが例の中心になり、異なる投資決定が行われるかもしれません(例:除外、購入、売却、保有、オーバーウェイト、アンダーウェイト)。さらに次のような詳細も含めることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ESG問題および説明 – 企業名を公表することは求められていませんが、その代わりに英国の銀行、中国の小売業者などの形で言及することは可能です。 投資見解または業績への影響 - これには、影響を受けたポートフォリオ内の保有銘柄の数、セクターが含まれます。 組織の戦略がファンドのリスクまたはボラティリティを軽減している、またはファンドのESG実績全体を押し上げていると考えている場合は、これを示すことができます。
ロジック	
FI 19	<p>[FI 19] は、[FI 01.1] でアクティブ運用している債券の一部にスクリーニング、テーマまたは統合戦略が適用されていると報告した場合、適用されます。これは、[OO FI 01] で債券投資がパッシブ運用されると報告した場合にも適用されます。</p> <p>「どの戦略を分析しましたか？」のフィールドの選択肢は、アクティブ戦略(ESG組み入れ戦略のスクリーニング、テーマ、統合または組み合わせ)に関する[FI 01.1] での回答に応じて、適用されます。</p>



2018年PRI報告フレームワーク 自己運用 - プライベートエクイティ

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社[QUICK](#)にご協力いただきました。

PRI Association

Registered office: 5th floor, 25 Camperdown Street
London, UK, E1 8DZ Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 3714 3220 W: www.unpri.org E: info@unpri.org

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報があります。

トッパー

トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス






必須
報告義務 自主開示
自主開示

必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。

一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は自由です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。

自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織がモジュール内の他の指標に該当する場合、他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用します。
コア評価項目		これらの指標は評価の基本を形成し、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替の実務を表し、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標で、組織の活動を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が組織に該当することを確認してください。

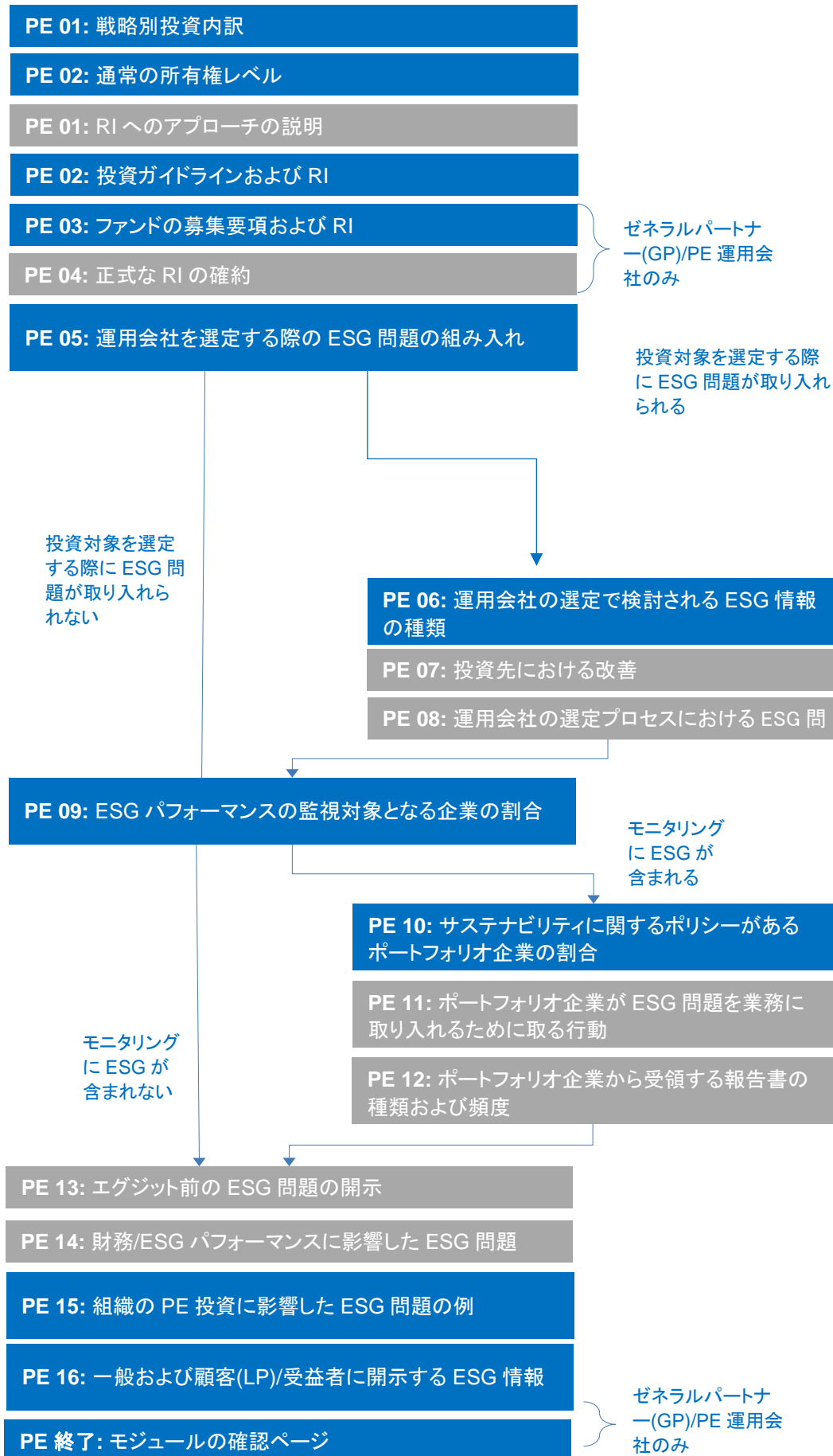
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告する可能性がある事例など、サブ指標を理解する方法の指針となります。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する時、そしてその指標がサブ指標に影響するかどうかを説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は常に適用され、他の指標には影響しません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価アプローチの概要です。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される具体的な用語の定義を説明しています。

目次

モジュールの経路	4
序文	5
概要	7
プライベートエクイティファンドの資金調達	10
投資前(投資対象の選定)	16
投資後(モニタリング)	24
成果および結果	34
コミュニケーション	38

モジュールの経路



序文

本モジュールでは、単独で、または共同投資プログラムを通してポートフォリオ企業への直接投資家として活動するゼネラルパートナー(GP)、プライベートエクイティ(PE)のファンドマネージャーやリミテッドパートナー(LP)からの情報を求めています。GPを選択したり、ファンドオブファンズを通じて行う委託プライベートエクイティ投資については本モジュールではなく、委託 - 運用会社の選定、指名、モニタリング(SAM)モジュールで報告してください。

上場企業への投資は通常、上場株式 - 積極的な保有モジュールおよび上場株式 - 組み入れモジュールで報告しますが、プライベートエクイティの投資家が上場株式の保有の大部分の支配の獲得を目的とした戦略がある場合には、本モジュールで報告することがあります。大部分の支配とは通常、取締役のほか、委任状による議決権の行使や株主のエンゲージメント以上の影響力を及ぼす役職の選出または指名において、投資家としての影響力を持つ所有比率の保有によって実現されます。これに該当する場合、組織のアプローチおよび上場企業と非上場企業の内訳を説明できます。

本モジュールでは、私募債への投資についても報告しないでください。私募RI実施は、自己運用 - 債券(FI)モジュールの社債(非金融)で報告することができます。また、不動産およびインフラ投資については本モジュールではなく、専用の自己運用 - 不動産および自己運用 - インフラモジュールで報告してください。

本モジュールの一部の指標は、一部または全部が以下とも重複しています。

- The PRI [Limited Partners' Responsible Investment Due Diligence Questionnaire \(LP RI DDQ\)](#);
- [プライベートエクイティのESG開示フレームワーク](#);
- Institutional Limited Partners Association (ILPA) の報告ツール [デューデリジェンス調査票](#)、および [PE原則2.0出版物](#)における透明性の推奨

PRIの直接PEモジュールでは、個々のファンドレベルではなく、組織レベルおよびプライベートエクイティ投資全体に関する情報を要求しています。

本モジュールは主に以下の2つのセクションから構成されています。

- 投資前のプロセス。新規のプライベートエクイティに対し、組織が設定している初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資決定プロセス。
- 投資後のプロセス。プライベートエクイティ投資のモニタリングおよび実施プロセスにおけるESG問題の考慮。

プライベートエクイティ	定義
ゼネラルパートナー/ マネージャー	ゼネラルパートナー(GP)とは通常、プライベートエクイティの企業内の専門職およびリミテッドパートナーシップにおけるその専門的な役職を指します。ゼネラルパートナー/マネージャーは初期スクリーニング、デューデリジェンス、分析を実施し、将来の投資案件への助言、ファンドの運用、販売促進、管理を行います。GPと言う用語はファンドのマネージャーまたは投資アドバイザーを指す場合もあります。
リミテッドパートナー/ 顧客	リミテッドパートナー(LP)/顧客とは、機関投資家、ソブリンファンドおよび寄付基金、ファミリーオフィス、富裕層の個人などを指します。こうした組織は通常ファンドの投資家として活動し、リミテッドパートナーシップのリミテッドパートナーと呼ばれます。

改正の概要

報告フレームワークは、2017年度からそれほど大きく変更されていません。データの質や評価を改善するために一部で細かい修正が行われています。本ガイダンスも全体的に明確になっています。

2017年度指標	改正の概要
PE 01 - PE 02	これらの指標は、PEモジュールからOOに移動しました。
PE 03	この指標はPE 01に変更されました。
PE 04	この指標はPE 02に変更され、サブ指標および選択肢が書き換えられました。
PE 05	この指標はPE 03に変更され、サブ指標は書き換えられ、選択肢が追加されました。
PE 06	この指標はPE 04に変更され、選択肢が修正されました。
PE 07 - PE 08	これらの指標はPE 05 - PE 06に変更されました。
PE 09	この指標はPE 07に変更され、サブ指標が書き換えられ、選択肢が追加または修正されました。
PE 10	この指標はPE 08に変更され、サブ指標が書き換えられ、選択肢が追加または修正されました。
PE 11 - PE 13	これらの指標はPE 09 - PE 11に変更されました。
PE 14	この指標はPE 12に変更され、サブ指標が書き換えられました。
PE 15 - PE 17	これらの指標はPE 13 - PE 15に変更されました。
PE 18	この指標はPEモジュールからSG 19に移動しました。
PE 19	この指標はPE 16に変更されました。
PE 01 - PE 02	これらの指標はPEモジュールからOOに移動しました。

概要

セクション

概要

PE 01	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1-6
-------	------------------	----------	---------------

PE 01	指標
PE 01.1	プライベートエクイティの責任投資に対する組織のアプローチの概要を説明してください。

PE 01	説明
PE 01	この指標で報告される情報により、組織のプライベートエクイティ投資の背景やプライベートエクイティの責任投資に対するアプローチが明らかになります。プライベートエクイティへの直接投資をここで説明してください。組織に代わって他の運用会社が運用するプライベートエクイティファンドへの投資は、 <i>委託-運用会社の選定、指名、モニタリング(SAM)</i> モジュールで捕捉します。
PE 01.1	これには、プライベートエクイティ・ポートフォリオの特性(保有のレベル、セクターや企業の種類、地理的分散など)によって、組織がプライベートエクイティ投資や、責任投資の実施に影響を与える方法はどのような影響を受けるかを説明することなどが含まれます。

概要

PE 02	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
-------	----------------	------------	-------------

PE 02	指標
PE 02.1	<p>組織の投資活動が、責任投資ポリシーを指針としているか、責任投資ガイドラインに従っているかを示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 投資活動は責任投資ポリシーを指針としている。 ○ 投資活動は責任投資ポリシーを指針としていない。 ○ 責任投資ポリシーがない。
PE 02.2	<p>投資活動におけるESG問題に対するスタッフおよびポートフォリオ企業のアプローチへの期待について、どのように組織がその概要をまとめているか説明してください。</p> <p>[任意]</p>

PE 02	説明
PE 02	<p><i>投資ガイドライン</i></p> <p>プライベートエクイティ投資のガイドラインで責任投資について言及しているか、あるいは専用の責任投資ガイドライン/ポリシーがあるかを指します。</p> <p><i>戦略およびガバナンスモジュールには、組織の責任投資ポリシーが含まれており、この指標は、責任投資がどのように実施されているか、ESG問題がプライベートエクイティの事前投資および事後投資においてどのように考慮されているかについて、その詳細に焦点を当てています。</i></p> <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標のコンテンツはILPAデューデリジェンス調査票 (リンク) の10.3.1の回答と重複しています。企業のESG関連ポリシーはどのようなもので、ESG要因が投資信念にどのように影響を与えていますか？また、プライベートエクイティのESG開示フレームワーク (リンク) の目的 1 (GPはLPのESG関連のポリシーや投資理念と合っているかを評価する)とも重複しています。</p>
PE 02.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織の投資ガイドラインの対象 ● ガイドラインが対象とするESG問題の範囲 ● ガイドラインは投資ユニバースの全セクターやサブセットのセクターのESG問題を定義しているか ● ガイドラインは確立された国際的な原則、規範、基準に基づいているか ● ガイドラインは組織内スタッフの投資前(投資の選択)や投資後(投資のモニタリング)のESG関連の責務を定義しているか ● ガイドラインは組織内スタッフの誰に適用されるのか

概要

	<ul style="list-style-type: none"> 組織やポートフォリオ企業が、特定のポートフォリオ企業に関連するESG問題についてステークホルダーと関与すべき時はいつか 組織のガイドラインを実施する際の主要な例外、または変更があるかどうか <p>その他の標準/イニシアティブへの言及</p> <p>この指標のコンテンツは、プライベートエクイティのESG開示フレームワーク(リンク)の目的 3(ポートフォリオ企業がESG関連リスクを管理し、ESG関連の機会を追求するようにGPが影響を与え支援しているかどうか、またどのようにそれを行っているかを理解する)と重複しています。</p>									
ロジック										
PE 02	[PE 02.2] は、[PE 02.1]で「投資ガイドラインで責任投資を言及している」と報告された場合、適用されません。									
評価										
PE 02	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は[02.1]への回答に基づいて評価されます。</p> <p>指標採点方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「投資ガイドラインを策定していない」または「投資ガイドラインでは責任投資の実施に言及していない」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「投資ガイドラインでは責任投資の実施に言及している」</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「投資ガイドラインを策定していない」または「投資ガイドラインでは責任投資の実施に言及していない」	○		「投資ガイドラインでは責任投資の実施に言及している」	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細								
「投資ガイドラインを策定していない」または「投資ガイドラインでは責任投資の実施に言及していない」	○									
「投資ガイドラインでは責任投資の実施に言及している」	★★★									

セクション

プライベートエクイティファンドの資金調達

PE 03	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1、4、6
-------	----------------	------------	-----------------

PE 03	指標								
PE 03.1	<p>最新のファンド募集要項(PPMまたは同様の文書)において、責任投資に触れているかを示してください。</p> <p><input type="radio"/> 触れている</p> <p><input type="radio"/> 触れていない</p> <p><input type="radio"/> 組織は資金調達をしないため、該当しない</p>								
PE 03.2	<p>最新のファンド募集要項(PPMまたは同様の文書)において、次の責任投資にどのように触れているかを示してください。</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ESG 報告へのアプローチ</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント		<input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ		<input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ		<input type="checkbox"/> ESG 報告へのアプローチ	
<input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント									
<input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ									
<input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ									
<input type="checkbox"/> ESG 報告へのアプローチ									
PE 03.3	<p>ファンド募集要項(PPMまたは同様の文書)において、組織がプライベートエクイティの責任投資にどのように触れているかを説明してください。</p> <p>[任意]</p>								
PE 03.4	<p>組織が資金を調達しない理由を説明してください。</p>								

PE 03	説明
PE 03	<p>この指標は、直接投資家/ゼネラルパートナー(GP)と間接投資家である顧客/リミテッドパートナーの関係がある資金調達プロセスを対象とします。特定のファンドについて GP が発行したファンド募集要項、私募覚書(PPM)または同様の文書は、受取人(LP)に対し、組織の責任投資に対するアプローチや ESG 問題の管理に関する概要を伝えるものです。</p> <p>この指標は、ゼネラルパートナー(GP)や PE ファンドの運用会社のみ適用されます。共同投資を行う資産保有者(AO)/リミテッドパートナー(LP)には適用されません。</p> <p>この指標が組織に該当しても、組織は資金を調達しない場合、「組織は資金を調達しないため、該当しない」を選択してください。</p> <p>組織が資金を調達していても、報告年度に積極的に資金を調達していなかった場合は、通常のアプローチを最も表しているオプションを選択してください。一般原則として、これは組織が次の資金調達でおそらくと思われるアプローチか、または最新の資金調達に含まれているアプローチです。</p> <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標の内容は、以下のプライベートエクイティのESG開示のフレームワーク(リンク)と重複しています:</p> <p>目的 1 - GPIはLPのESGに関連するポリシーや投資理念に合っているかを評価する。</p> <p>目的 2 - ESGに関連する価値の原動力を特定し、ESGに関連する重大なリスクを管理し、将来発展する可能性がある分野を特定するGPのポリシー、プロセス、システムを評価する。</p> <p>目的 3 - ポートフォリオ企業がESG関連リスクを管理し、ESG関連の機会を追求するようにGPが影響を与え支援しているかどうか、またどのようにそれを行っているかを理解する。</p> <p>目的 5 - GPおよびポートフォリオ企業における重大なインシデントを管理し開示するアプローチを評価する。</p>
PE 03.3	<p>以下のような組織の通常のファンドの募集要項や PPM の内容に含まれている事項を挙げることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポリシー(例: 責任投資への言及および投資の全段階における ESG 問題の考慮) • 投資前(例: デューデリジェンスなどのプロセスやこれらにおける ESG 問題の考慮) • 投資後(例: ポートフォリオ企業の ESG 実施プログラム、ESG 問題を考慮した監査などのモニタリングプロセスを経た、取引を終了するまでの達成度の追跡や機会の特定) <p>最近発行されたファンド募集要項や PPM がある場合は報告してください。必ずしも報告年度でなくてもかまいません。</p>
ロジック	
PE 03	<p>[PE 04] は、[PE 03.1] で「組織は資金調達をしないため、該当しない」と報告した場合には適用されません。</p> <p>[PE 03.2] および [PE 03.3]は、[PE 03.1] で「触れている」と報告した場合、適用されます。</p> <p>[PE 03.4] は、[PE 03.1] で「触れていない」と報告した場合、適用されます。</p>
評価	
PE 03	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標の評価は、[03.2]への回答に基づいて行います。資産保有者やリミテッドパートナーはこの指標では評価の対象にはなりません。</p> <p>「組織は資金を調達しないため、該当しない」と報告する場合には、この指標はスコアの対象とはなりません。</p>
指標採点方法	

プライベートエクイティファンドの資金調達

	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	ファンド募集要項または PPM では、上記のいずれにも触れていない	○	
	投資前または投資後にポリシーから一つ選択	★	
	投資前または投資後にポリシーから二つ選択	★★	
	投資前または投資後にポリシーから三つ選択	★★★	

PE 03	定義
ファンド募集要項または私募覚書 (PPM)	<p>ファンド募集要項または私募覚書 (PPM) では、潜在的な投資家が企業やその投資戦略に関する広範な情報や投資案件の仮募集条件の概要を知ることができます。これらの種類の文書は、「目論見書」としても知られています。プライベートエクイティ企業がファンドの提供を通じて資金を調達したい場合、潜在的なリミテッドパートナーや投資家に対してファンド募集要項または PPM を発行します。</p>

PE 04	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 4
-------	------------------	------------	-------------

PE 04	指標
PE 04.1	<p>直近のファンドのリミテッドパートナーシップ契約(LPA)において、または、顧客から求められた際に補足文書を通して、組織が責任投資を正式に確約したかについて示してください。</p> <p>○ 確約した</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> LPAにおいて(標準手続きとして、原案に組み入れられている) <input type="checkbox"/> LPAにおいて(顧客からの求めに応じた) <input type="checkbox"/> 補足文書において <input type="checkbox"/> その他 <p style="padding-left: 40px;">具体的に説明してください。</p> <p>○ 確約していない</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ファンド条件で RI を正式に確約していない <input type="checkbox"/> ファンド条件で RI を正式に確約することを顧客から求められなかった
PE 04.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

PE 04	説明
PE 04	<p>この指標は、ゼネラルパートナー(GP)やPEファンドの運用会社のみ適用されます。共同投資を行う資産保有者(AO)/リミテッドパートナー(LP)には適用されません。</p> <p>GPが責任投資のこの側面にどのように取り組む可能性があるかについては、ファンド条件への責任投資要件の組み入れに関するPRIガイダンス(2017)を参照してください。</p> <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標はLP RI DDQの1.4と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p> <p>この指標のコンテンツはILPAデューデリジェンス調査票(リンク)の10.3.4の回答と重複しています。LPはどのようにファンドをモニターし、必要に応じてファンドが合意したESG関連のポリシーや実務、そして以下のプライベートエクイティのESG開示フレームワーク(リンク)の目的を常に遵守して業務を行っていることを確認していますか？</p> <p>目的 4 - LPが必要な場合にGPが合意しファンド情報に記載されるESG関連ポリシーや実務を常に遵守していることを確認するため、GPがLPを支援する方法を評価する。</p> <p>目的 8 - GP およびポートフォリオ企業のインシデント、インシデント報告への対応が関連する運用条件、ファンドのポリシー、インシデントの開示に関して LP が表明している目的と一致しているかどうかを判断する。</p>
PE 04.1	<p>ファンド組成契約、リミテッドパートナーシップ契約(LPA)</p> <p>投資家/LPが責任投資の実施やESG問題の考慮に対する正式な確約を要求し、それがファンド組成契約、LPA、補足文書に含まれることがあります。また、そのような確約が投資戦略、ガイドライン、マンデ</p>

	<p>ート中に、専用の段落を設けて、あるいは文書全体に統合される形で含まれる場合もあります。後者のアプローチではファンド組成契約、LPA、補足文書を別途作成する必要がなくなります。</p> <p>投資家/LPから最近要請されて署名したファンド組成契約、LPA、補足文書があれば報告してください。必ずしも報告年度でなくてもかまいません。</p> <p>正式な確約には、実施に関して様々な水準があることに注意してください。責任投資ポリシーに言及されていても、ESG 問題が業務プロセスで実施されるわけではありません。</p>												
<p>PE 04.2</p>	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織の責任投資のコミットメントの詳細 ● 任投資およびESG問題に関するGPおよびLPのポリシーへの採用および協力 ● GP/運用会社自身の提案、またはLPの意向のいずれかによる、特定分野への投資の除外 ● 投資の前後の両方の段階(エグジットを含む)で責任投資に対するアプローチやESG問題の考慮を実施するためのプロセス ● 具体的なESG問題(気候変動、報酬、その対処法(必要に応じて))のリスト ● ESG問題に関連するポートフォリオ企業の取り組み ● ファンドの運用期間中、ESG問題がどのように報告されるか ● ポートフォリオ企業におけるインシデントの可能性をいつ、どのように投資家に伝えるか <p>包括的アプローチモジュールで説明されている他のメカニズムによってプライベートエクイティの責任投資に正式に確約している場合、その報告された情報をこの指標に含めてください。</p>												
<p>ロジック</p>													
<p>PE 04</p>	<p>本セクション(指標[05]および[06])は、ファンドの資金調達や販売促進に関連する責任投資およびESGの組み入れに関するものです。従って、ゼネラルパートナー(GP)やPE運用会社のみにも適用されます。共同投資を行う資産保有者(AO)/リミテッドパートナー(LP)には適用されません。</p>												
<p>評価</p>													
<p>PE 04</p>	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標の評価は、[04.1]への回答に基づいて行われます。顧客が責任投資に対する確約を求めてこない組織はこの指標では評価の対象とはならず、そのPEモジュール・スコアの分母から除外されます。</p> <p>資産保有者やリミテッドパートナーはこの指標では評価の対象とはなりません。</p>												
<p>指標採点方法</p>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="363 1668 1090 1729">選択された回答</th> <th data-bbox="1090 1668 1318 1729">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1318 1668 1449 1729">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 1729 1090 1821">顧客がプライベートエクイティにおいて責任投資に対するコミットメントを求めている</td> <td data-bbox="1090 1729 1318 1821">対象外</td> <td data-bbox="1318 1729 1449 1821"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1821 1090 1928">LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式にコミットメントしていない</td> <td data-bbox="1090 1821 1318 1928">○</td> <td data-bbox="1318 1821 1449 1928"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1928 1090 2033">一部のケースで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている</td> <td data-bbox="1090 1928 1318 2033">★</td> <td data-bbox="1318 1928 1449 2033"></td> </tr> </tbody> </table>		選択された回答	スコア・レベル	詳細	顧客がプライベートエクイティにおいて責任投資に対するコミットメントを求めている	対象外		LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式にコミットメントしていない	○		一部のケースで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている	★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細											
顧客がプライベートエクイティにおいて責任投資に対するコミットメントを求めている	対象外												
LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式にコミットメントしていない	○												
一部のケースで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている	★												

プライベートエクイティファンドの資金調達

	ほとんどのケースで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている	★★	
	LPAまたは補足文書の中で、常に責任投資を正式にコミットメントしている	★★★	

セクション

投資前(投資対象の選定)

PE 05	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 1
-------	----------------	--------------	-------------

PE 05	指標
PE 05.1	デューデリジェンスで組織がプライベートエクイティ投資先を選定する際、通常 ESG 問題を組み入れているかどうかを記載してください。
	○ はい
PE 05.2	ESG問題をプライベートエクイティ投資の選定に組み入れる際のアプローチを説明してください。
PE 05.3	補足情報
	[任意]

PE 05	説明
PE 05	このゲートウェイ指標により、組織が投資先を選定する際にESG問題を組み入れているかどうかを報告できます。組織のプロセスの詳細は以降の指標で捕捉します。
	<i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i>
	PRIでは Limited Partners' Responsible Investment Due Diligence Questionnaire (LP RI DDQ) を公開しました。これに記されている「developed questioning」は、GPがLPの期待する詳細レベルについて考えるための指針となるものです。
	この指標はLP RI DDQの2.2と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。
	この指標および本セクション後続のサブ指標のコンテンツはILPA デューデリジェンス調査票(リンク)、10.3.2の回答と重複しています。企業はどのようにしてESG関連の重大なリスクを特定し、管理し、また、価値を創造するためにESG要因を使用していますか？プライベートエクイティのESG開示フレームワーク(リンク)の目的2(ESG関連の価値の原動力を特定し、重大なESG関連リスクを管理し、将来開発すべき分野を特定するため、GPのポリシー、プロセス、システムを評価する)と整合していますか？

投資後(モニタリング)

PE 05.2	<p>投資決定に至るまでの様々な段階における組織のアプローチを説明してください。</p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投資前段階におけるESG問題の組み入れは顧客のマネジメントによって決定されるかどうか、決定される場合はどのようにされるか ● 長短期的に、ESG問題が投資前プロセスにどのように組み入れられているか ● 下方リスクを査定し、価値を創出する機会を評価するために、どのようにESG問題を使用しているか ● セクターや地域によるESG問題の考慮の度合いの違い ● 投資戦略間、または多彩なバリエーションがある投資戦略内におけるESG問題へのアプローチの違い <p><u>範囲</u></p> <p>この指標は、投資前の意思決定プロセスの全段階(初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資決定)を対象とします。</p>
ロジック	
PE 05	<p>[PE 05.1] で「はい」と報告した場合、[PE 06]、[PE 07] および [PE 08] は適用されます([PE 05.1] で「いいえ」と報告した場合には、トリガされません)。</p> <p>[PE 05.2] で「はい」と報告した場合、適用されます。</p>
評価	
PE 05	<p>この指標は評価の対象ではありませんが、「組み入れていない」と回答すると、投資前セクション全体のスコアがゼロになります。</p>

PE 05	定義
ESGの組み入れ	主な定義 文書を参照してください。

投資後(モニタリング)

PE 06	指標のステータス 必須	目的 コア 評価	原則 PRI 1、 3
-------	----------------	----------------	-------------------

PE 06	指標
PE 06.1	<p>プライベートエクイティの投資選択プロセスにおいて組織が通常どのような種類の ESG 情報を考慮するかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象企業の未調整データ</p> <p><input type="checkbox"/> 他の企業に対するベンチマーク</p> <p><input type="checkbox"/> セクターレベルデータ/ベンチマーク</p> <p><input type="checkbox"/> 国レベルデータ/ベンチマーク</p> <p><input type="checkbox"/> 報告基準、業界規範、認証</p> <p><input type="checkbox"/> 国際的イニシアティブ、宣言または基準</p> <p><input type="checkbox"/> ステークホルダーへの関与(例:顧客およびサプライヤー)</p> <p><input type="checkbox"/> 組織外のリソースからの助言</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> この情報を追跡していない</p>
PE 06.2	<p>投資委員会または類似の委員会において、この情報がどのように報告・検討・文書にまとめられているかを記載して下さい。</p>

PE 06	説明
PE 06.2	<p>これには、以下の事項を含めることができます:</p> <ul style="list-style-type: none"> 頻繁に情報を求めている ESG 問題の情報源 組織内で使用する情報源と、組織外のアドバイザーが使用する情報源の間に違いがあるかどうか 投資選択プロセスで考慮する ESG 情報の記録を保持しているかどうか <p>この指標は LP RI DDQ の 2.2 & 24 と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p>
ロジック	
PE 06	[PE 06] は、[PE 05.1] で「はい」と報告した場合、適用されます。
評価	
PE 06	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は[08.1]への回答に基づいて評価されます。</p>

投資後(モニタリング)

指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「この情報を追跡していない」または一つを選択	○	
	二つを選択	★	「その他」を選択している場合には、含めて下さい
	3つから4つを選択	★★	「その他」を選択している場合には、含めて下さい
	4つより多くを選択	★★★	「その他」を選択している場合には、含めて下さい

投資後(モニタリング)

PE 07	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1、2
-------	------------------	------------	---------------

PE 07	指標
PE 07.1	<p>ディールストラクチャリングの際、ディール文書または投資後アクションプランに ESG 関連考慮事項を統合するためのプロセスは何ですか。</p> <p><input type="radio"/> 促している</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 正式に / 投資後アクションプランまたは価値向上プランを通じて <input type="checkbox"/> 口頭により/対話を通じて <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <p><input type="radio"/> ESG 関連考慮事項に関し、ポートフォリオ企業に対する期待を設定していない</p>
PE 07.2	これらの改善の種類を説明し、報告年度において事例がある場合には、その事例を提供してください。
PE 07.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

PE 07	説明
PE 07	<p>この指標では、プライベートエクイティの投資家が例えば書面(この文書は必ずしも法的拘束力を持つ契約の形式である必要はありません)により、企業の運営能力やESG問題の管理の継続的な改善を正式に奨励しているかどうかを捕捉することを目的としています。取引構造化プロセスでこれに関する検討が起こることがよくあります。取得時に、投資家は特定のESG問題に戦略的なアプローチをとり、一定期間内に(100日計画の一部としてなど)企業が価値を高める活動を実施することを提案する場合があります。</p> <p>この指標は継続的な改善の奨励に重点を置いているため、投資機会においてESG問題が十分に管理されているかどうかにかかわらず、関連性があるとみなされています。</p> <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標はLP RI DDQの2.5と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p> <p>この指標のコンテンツは、プライベートエクイティのESG開示フレームワーク(リンク)の目的3(ポートフォリオ企業がESG関連リスクを管理し、ESG関連の機会を追求するようにGPが影響を与え支援しているかどうか、またどのようにそれを行っているかを理解する)と重複しています。</p>
ロジック	
PE 07	<p>[PE 07] は、[PE 05.1]で「はい」と報告した場合、適用されます。</p> <p>[PE 07.2] は、[PE 07.1]で「促している」と報告した場合、適用されます。</p>

投資後(モニタリング)

評価			
PE 07	最大スコア: ★ 3つ		
	この指標は、[09.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「いいえ」	○	
	「はい- その他」	★	
	「はい- 口頭により/対話を通じて」	★★	
「はい - 書面にて」	★★★		

投資後(モニタリング)

PE 08	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1
-------	------------------	------------	-------------

PE 08	指標
PE 08.1	<p>報告年度において、ESG 問題がプライベートエクイティ投資の選択プロセスにどのような影響を及ぼしたかを明示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題はリスクの特定に役立った</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は価値を創造する機会を特定するのに役立った</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題によって投資案件を中止することになった</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は考慮の対象となったが、投資選択プロセスに影響を及ぼすことはなかった</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> この潜在的な影響については追跡していない</p>
PE 08.2	<p>報告年度において、ESG 問題がプライベートエクイティ投資に係るディール・ストラクチャリング・プロセスにどのような影響を及ぼしたかを明示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は提示価格や支払い価格の面で、投資に影響を及ぼした</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は投資後アクションプラン / 100日プランに含められた</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は株主 / 購入契約の条件または融資のコバナンツに影響を及ぼした</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は考慮の対象となったが、ディール・ストラクチャリング・プロセスに影響を及ぼすことはなかった</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> この潜在的な影響については追跡していない</p>
PE 08.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

PE 08	説明
PE 08.2	<p>この指標はLP RI DDQの2.3と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p> <p>ここでは個別案件の詳細や個々の特性を報告するのではなく、様々な投資選択プロセスにおける影響の測定、分析、結論を一般化することが推奨されています。指標[PE19]では具体的な例を提供できません。</p> <p>「ESG 問題は考慮の対象となったが、投資選択/ディール・ストラクチャリング・プロセスに影響を及ぼすことはなかった」とは、ESG 問題が特定されなかった場合、または、投資先選定において ESG 問題を考慮したが、重大と見なされる水準を下回ると判断されたことから、投資には影響を及ぼさなかった場合などを指します。</p>

投資後(モニタリング)

評価			
PE 08	最大スコア: ★ 3つ		
	この指標の評価は[08.1] および [08.2] に対する回答に基づいています。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	PE 08.1 および PE 08.2 において「この潜在的な影響については追跡していない」	○	
	PE 08.1 <u>または</u> PE 08.2 のいずれかで一つ選択	★	「その他」を選択している場合には、それを含めて下さい
	PE 08.1 <u>および</u> PE 08.2 で少なくとも一つ選択	★★	
	PE 08.1 <u>および</u> PE 08.2 で少なくとも三つ以上選択	★★★	

セクション

投資後(モニタリング)

PE 09	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ/コア評価	原則 PRI 2
-------	----------------	-------------------	-------------

PE 09	指標	
PE 09.1	組織がポートフォリオ構成企業の投資モニタリングに ESG 問題を組み入れているかどうかを明示してください。	
	<input type="radio"/> 組み入れている	<input type="radio"/> 組み入っていない
PE 09.2	報告年度のポートフォリオ構成企業の中で、投資のモニタリングにESGパフォーマンスを組み入れた割合を記載してください。	
	<input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の90%超 <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の51～90% <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の10～50% <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の10%未満 (ポートフォリオ構成企業の合計数に占める割合)	
PE 09.3	組織が通常目標(KPIなど)を設定し、モニタリングしているESG問題を記載し、問題別に例を挙げてください。	
	ESG 問題	問題別に例を3つまで挙げてください
	<input type="checkbox"/> E (環境)	
	<input type="checkbox"/> S (社会)	
<input type="checkbox"/> G (ガバナンス)		
<input type="checkbox"/> 目標を設定したり、モニタリングしていない		
PE 09.4	補足情報 [任意]	

PE 09	説明
PE 09	<p>この指標は、ESGパフォーマンスのモニタリングに対する組織のアプローチを捕捉することを目的としています。実施されるモニタリング活動の種類は、取締役会や経営陣の個人的な関与からポートフォリオ企業の報告書に記載されるESG情報の検討まで多岐にわたります。報告にはポートフォリオ企業すべてを含みます。</p> <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標はLP RI DDQの3.2と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p> <p>この指標および本セクション後続のサブ指標のコンテンツはILPAデューデリジェンス調査票(リンク)、10.3.2の回答と重複しています。企業はどのようにして重大なESG関連リスクを特定および管理し、ESG要因を使用して価値を創造していますか？以下のプライベートエクイティのESG開示フレームワーク(リンク)に整合していますか？</p> <p>目的 3 - ポートフォリオ企業がESG関連リスクを管理し、ESG関連の機会を追求するようにGPが影響を与え支援しているかどうか、またどのようにそれを行っているかを理解する。</p> <p>目的 6 - GPIはGPの運用ポリシー、プロセスおよび合意済みのESG管理に関するファンド条件を一貫して遵守する方法で行動しているかを評価する。</p> <p>目的 7 - ファンド内のポートフォリオ企業に影響を与える可能性があるESG関連の好ましい動向及び好ましくない動向を理解する。</p>
PE 09.2	<p><i>取締役就任中ESGパフォーマンスをモニタリングする</i></p> <p>ポートフォリオ企業の取締役になり、ESG問題を考慮する場合、経営陣との話し合いや報告書の要求はモニタリングとみなされます。取締役であって、ESG問題を推進していない、報告書を検討していない、議論に参加していない場合は、モニタリングとして報告しないでください。ポートフォリオ企業の合計数に基づいて割合を決定してください。</p>
PE 09.3	<p>ESG問題は、セクター、ポートフォリオ企業、市場などによって異なります。この指標では、ポートフォリオ企業に関連するどのE(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)問題についての目標を設定しモニタリングしているかについての情報を求めます。例えば、環境の目標には水資源の質およびCO2排出量などがあります。</p> <p>ESGの各問題につき報告開示義務がある例は1つだけです(右側の欄)。ESGの各問題の残りの行は自主的な報告開示です。</p>
PE 09.4	<p><i>投資モニタリング活動</i></p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ESG問題をどのようにして継続的にモニタリングしているか、ESG問題に対する組織のアプローチは、投資後のエグジット前に関連するリスクや機会が発生すると予想される場合に異なるかどうか • セクター、地域、PE戦略によってどのようにアプローチが異なるか • 経営陣および取締役会とのコミュニケーションの頻度および種類 • 企業が期待されるESGパフォーマンスを上げない場合、エグジットは選択肢として可能かどうか

投資後(モニタリング)

ロジック			
PE 09	[PE 09.1] で「組み入れている」と報告した場合、[PE 10 - PE 12] の指標が適用されます。[PE 09.1] で「組み入っていない」と報告した場合には、これらの指標は適用されません。		
	[PE 09.2] および [PE 09.3] は、[PE 09.1] で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。		
評価			
PE 09	最大スコア: ★3つ		
	この指標は、[09.2]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	0% または 10%未満	○	
	ポートフォリオ構成企業の10-50%	★	
	ポートフォリオ構成企業の51-90%	★★	
ポートフォリオ構成企業の90%超	★★★		

投資後(モニタリング)

PE 10	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
-------	----------------	------------	-------------

PE 10	指標
PE 10.1	組織が ESG/サステナビリティに関連するポリシー(または同様のガイドライン)を有するポートフォリオ構成企業の割合を追跡しているかどうかを記載してください。
	<input type="radio"/> 追跡している <input type="radio"/> 追跡していない
PE 10.2	ESG/サステナビリティポリシー(または同様のガイドライン)を有するポートフォリオ構成企業の割合を記載してください。
	<input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の90%超 <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の51~90% <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の10~50% <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の10%未満 <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の0% (ポートフォリオ構成企業の合計数に占める割合)
PE 10.3	補足情報 [任意]

PE 10	説明
PE 10.1	<p>組織がすべてのポートフォリオ企業のESG/サステナビリティ関連ポリシーのサブセットを追跡している場合でも、「はい」と報告してください。</p> <p>この指標はLP RI DDQの3.2と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p>
PE 10.2	<p>ポートフォリオ企業の合計数に基づいて割合を決定してください。</p> <p>ESG/サステナビリティポリシーとは、戦略、目標、運営、報告実務におけるESG問題に対するポートフォリオ企業のアプローチ方法に関する独立した、または他のポリシーに統合された全体的な声明を指します。そのようなポリシーでは通常、ESG問題を対象とし、ポートフォリオ企業の対応姿勢や方法の概要を示しています。</p> <p>適切なESG/サステナビリティポリシー、業務、目標をすでに有し、ESG問題を統合するために必要な行動がとられていると組織が考えるポートフォリオ企業を含めてください。こうした行動は、個々のポートフォリオ企業がESGパフォーマンスを管理し改善する必要性によって、実施の重要度が異なる場合があります。</p>

投資後(モニタリング)

PE 10.3	ポートフォリオ資産/企業は異なる発展段階にあることが多く、ESG問題をポリシーや業務に組み入れる進捗度も多様です。例えば、一部の企業ではESGパフォーマンスが乏しいために(この分野の改善によって成長機会をもたらす、価値を増大する可能性があるという前提で)買収された可能性さえあります。こうした差異が報告された情報にどのような影響を与えるかに焦点を当ててもよいでしょう。		
ロジック			
PE 10	[PE 10] は、[PE 09.1] で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。 [PE 10.2] は、[PE 10.1] で「追跡している」と報告した場合、適用されます。		
評価			
PE 10	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[10.2]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	0% または 10%未満	○	
	ポートフォリオ構成企業の10-50%	★	
	ポートフォリオ構成企業の51-90%	★★	
	ポートフォリオ構成企業の90%超	★★★	

投資後(モニタリング)

PE 11	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
-------	------------------	------------	-------------

PE 11	指標	
PE 11.1	ポートフォリオ構成企業が ESG 問題を業務に組み入れるため実施している対策の種類およびこれらの活動を実施しているポートフォリオ企業の割合を記載してください。	
	ポートフォリオ企業が実施している活動の種類	実施しているポートフォリオ企業の割合
	<input type="checkbox"/> ESG問題の責任を取締役会/経営陣に割り当てる	<input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の90%超 <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の51~90% <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の10~50% <input type="radio"/> ポートフォリオ構成企業の10%未満 <input type="radio"/> この情報を追跡していない (ポートフォリオ構成企業の合計数に占める割合)
	<input type="checkbox"/> 取締役会の構成員が ESG 関連の専門知識を有するよう万全を図る	[同上]
	<input type="checkbox"/> リスク管理プロセスにおいて ESG 問題を検討する	[同上]
	<input type="checkbox"/> 業務に該当する ESG 問題のパフォーマンス目標を明確に設定する	[同上]
	<input type="checkbox"/> ESG 問題を通じて付加価値を高めるまたはリスクを低減させ得る外部関係者またはステークホルダーを特定し協働する	[同上]
	PE_13.1_F <input type="checkbox"/> 環境/社会管理システム (ESMS) または類似のシステムを開発し導入する	[同上]
	<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	[同上]
	<input type="checkbox"/> 上記のいずれも行っていない	
PE 11.2	ポートフォリオ構成企業のリソーシングと ESG 問題の管理に組織がどのように貢献しているかを説明してください。	

投資後(モニタリング)

PE 11	説明		
PE 11.1	ポートフォリオ構成企業の合計数に基づいて割合を決定してください。		
PE 11.2	<p>実施される活動の種類には、取締役会や経営陣との個人的な関与から、いくつかのポートフォリオ構成企業が参加するワークショップの形態でベストマネジメントプラクティスを共有することまで多岐にわたります。これには、組織による保有活動や影響の結果(追跡している場合)、ポートフォリオ構成企業においてESGのリスクや機会が一般的にどのように組み入れられているかについての説明が含まれます。</p> <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標はLP RI DDQの3.3および3.5と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p> <p>この指標のコンテンツはILPAデューデリジェンス調査票(リンク)の10.3.3の回答と重複しています。ポートフォリオ構成企業によるESG関連のリスクおよび機会の管理において、企業はどのように貢献していますか？</p> <p>ポートフォリオ構成資産/企業は異なる発展段階にあることが多く、ESG問題をポリシーや業務に組み入れる進捗度も多様です。例えば、一部の企業ではESGパフォーマンスが乏しいために(この分野の改善によって成長機会をもたらす、潜在的に価値を増大するという前提で)買収された可能性さえあります。こうした差異が報告された情報にどのような影響を与えるかに焦点を当ててもよいでしょう。</p>		
ロジック			
PE 11	[PE 11] は、[PE 09.1] で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。		
評価			
PE 11	最大スコア: ★ 3つ		
	この指標は、[13.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択した回答	スコア・レベル	詳細
	ポートフォリオ構成企業は「上記のいずれも行っていない」	○	
	一つの対策かつ 0%超で実施	★	
	二つ以上の対策かつ 10%超で実施	★★	
三つの対策または 50%超で実施	★★★		
PE 11	定義		
環境/ 社会管理 システム	E&Sの課題およびリスクの検討・管理を行うための管理システム(公式および非公式両方)の一つであり、各種手続き、経営陣のコミットメント、役割と責任の明示およびその後の指導から構成されています。		

投資後(モニタリング)

PE 12	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2,3
-------	------------------	----------	---------------

PE 12	指標										
PE 12.1	ポートフォリオ企業に請求するESG問題に関する報告書の種類および頻度、報告書を受領する頻度を記載してください。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>報告書の種類</th> <th>標準的な報告頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドロップダウンリスト <input type="checkbox"/> 経営陣による情報開示、財務情報およびESGデータが統合されている包括的なポートフォリオ構成企業の報告書など</td> <td> <input type="radio"/> 四半期毎またはそれ以上 <input type="radio"/> 半年毎 <input type="radio"/> 毎年 <input type="radio"/> 年1回以下 <input type="radio"/> 不定期/要求に応じて(具体的に記入してください) _____ </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ESG問題を対象とする目標やKPIIに焦点を当てた独立した報告書</td> <td>[同上]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</td> <td>[同上]</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> ESG問題に関する報告書を請求していない/ポートフォリオ構成企業が提供していない</td> </tr> </tbody> </table>	報告書の種類	標準的な報告頻度	ドロップダウンリスト <input type="checkbox"/> 経営陣による情報開示、財務情報およびESGデータが統合されている包括的なポートフォリオ構成企業の報告書など	<input type="radio"/> 四半期毎またはそれ以上 <input type="radio"/> 半年毎 <input type="radio"/> 毎年 <input type="radio"/> 年1回以下 <input type="radio"/> 不定期/要求に応じて(具体的に記入してください) _____	<input type="checkbox"/> ESG問題を対象とする目標やKPIIに焦点を当てた独立した報告書	[同上]	<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	[同上]	<input type="checkbox"/> ESG問題に関する報告書を請求していない/ポートフォリオ構成企業が提供していない	
	報告書の種類	標準的な報告頻度									
	ドロップダウンリスト <input type="checkbox"/> 経営陣による情報開示、財務情報およびESGデータが統合されている包括的なポートフォリオ構成企業の報告書など	<input type="radio"/> 四半期毎またはそれ以上 <input type="radio"/> 半年毎 <input type="radio"/> 毎年 <input type="radio"/> 年1回以下 <input type="radio"/> 不定期/要求に応じて(具体的に記入してください) _____									
	<input type="checkbox"/> ESG問題を対象とする目標やKPIIに焦点を当てた独立した報告書	[同上]									
<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	[同上]										
<input type="checkbox"/> ESG問題に関する報告書を請求していない/ポートフォリオ構成企業が提供していない											
PE 12.2	ポートフォリオ企業に対し、どの程度の報告を要求しているか説明してください。また、ESG報告が対象としている資産の割合を示してください。 [任意]										

PE 12	説明
PE 12	<p>この指標は、組織がポートフォリオ構成企業に対し、ESGの取り組みを測定し、この情報を報告することをどの程度求めているかについての情報を求めています。ESG関連の行動や結果は、ポートフォリオ構成企業の報告サイクルや投資家の意向によって様々な指標で測定できます。</p> <p>この指標はLP RI DDQの3.2と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p>
PE 12.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 組織がポートフォリオ構成企業に要求するESG情報の性質。 • 他よりも頻繁に要求されるESG情報があるかどうか。 • 情報の形式は組織内または組織外の基準、指標、テンプレートに基づいているかどうか。ポートフォリオ構成企業のための組織外のテンプレートやガイダンスには、国際金融公社(IFC)、Global Reporting Initiative(GRI)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)などがあります。 • ポートフォリオ構成企業に対し、重要情報を1つの報告書に統合するように要求することにより、組織の最大の利益が確保されると考えているかどうか、あるいは別々の報告を受け取る方が望ましいか
ロジック	
PE 12	[PE 12] は、[PE 09.1] で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。

投資後(モニタリング)

PE 13	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
-------	------------------	------------	-------------

PE 13	指標
PE 13.1	<p>報告年度に、プライベートエクイティ投資をエグジットする前に、組織がESG問題に関する情報を潜在的な買い手に開示したかどうかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ESG問題をエグジット前の情報に含めた ○ ESG問題をエグジット前の情報に含めなかった ○ 該当なし。報告年度にエグジットがなかった
PE 13.2	<p>開示以外に、エグジット時に組織がESG問題をどのように考慮しているかを説明してください。</p>

PE 13	説明									
PE 13	<p>この指標は、ポートフォリオ企業を保有している間のESGパフォーマンスが、関連が高いと思われることに基づいて潜在的な買い手に開示されているかどうかを捕捉することを目的としています。報告年度における進行中、および最終決定したエグジットの数による比率を決定してください。</p> <p>この指標はLP RI DDQの3.6と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p>									
PE 13.2	<p>エグジット時に買い手への情報開示以外に、ESG問題をどのように考慮するかなどを含めることができます。以下はその具体例です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 潜在的な買い手のデューデリジェンス(例: ESGの実績、ポリシーや管理、ESG問題、法務、マネーロンダリング問題を対象とする国際的な基準や規範の遵守) ● 潜在的な買い手の意図、潜在的な買い手との利害の一致(例: 買い手がポートフォリオ企業のESG戦略を変更するかどうか) ● エグジット時に発生する可能性がある利益相反の分析 ● 社員、地域コミュニティ、地域環境に対するエグジットの影響の評価 ● デール・ストラクチャーの透明性および評判リスク(例: エグジットがメディアに注目される) <p>また、エグジット時のESGの考慮はマンドートによって決定されているかどうか、組織内または組織外の誰がエグジット時のESG問題に関与するのかについて説明してください。</p>									
評価										
PE 13	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[13.1]への回答に基づいて評価されます。</p>									
指標採点方法										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「該当なし。報告年度にエグジットがなかった」</td> <td>該当なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「ESG問題をエグジットの情報に含めなかった」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「該当なし。報告年度にエグジットがなかった」	該当なし		「ESG問題をエグジットの情報に含めなかった」	○	
選択された回答	スコア・レベル	詳細								
「該当なし。報告年度にエグジットがなかった」	該当なし									
「ESG問題をエグジットの情報に含めなかった」	○									

投資後(モニタリング)

	「ESG問題をエグジット前の情報に含めた」	★★★	
--	-----------------------	-----	--

PE 13	定義
エグジット	ファンドが行った投資の現金化。これは通常、ポートフォリオ構成企業の売却または新規株式公開(IPO)の形態をとります。

セクション

成果および結果

PE 14	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1,2
-------	------------------	------------	---------------

PE 14	指標
PE 14.1	<p>プライベートエクイティ投資における責任投資へのアプローチが業績や ESG パフォーマンスに及ぼす影響を測定しているかどうかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチが投資対象の財務業績に影響を及ぼしているかどうかを測定している</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチが投資対象のESGパフォーマンスに影響を及ぼしているかどうかを測定している</p> <p><input type="checkbox"/> 上記のいずれも測定していない</p>
	以下への影響を説明してください:
	<p>a) 投資対象の財務業績</p> <p><input type="radio"/> プラスの影響</p> <p><input type="radio"/> マイナスの影響</p> <p><input type="radio"/> 影響はなかった</p>
	<p>b) 投資対象の ESG パフォーマンス</p> <p><input type="radio"/> プラスの影響</p> <p><input type="radio"/> マイナスの影響</p> <p><input type="radio"/> 影響はなかった</p>
PE 14.2	<p>こうした結果を決定する方法について説明してください。</p>

PE 14	説明																	
PE 14	<p>この指標の目的は、ESG問題の考慮および管理が業績およびESGパフォーマンスの両方に与える好影響、悪影響を捕捉することです。影響は投資前の活動(例:最善の企業の選択)または投資後の影響のいずれかから生じます。</p> <p><i>財務業績</i></p> <p>営業費用の減少、純営業利益(NOI)の増加、資本化などが含まれます。財務リスクの削減もこのカテゴリに含まれることに注意してください。</p> <p><i>ESGパフォーマンス</i></p> <p>これは、ファンドまたは個々の投資対象の期間全体を通じてESGのリスクや機会がもたらす実績を追跡することに関連しています。</p> <p>具体例としては、水資源やエネルギー効率の改善、廃棄物の削減、公衆安全に関する事故の減少などが含まれます。尚、ESGリスクの削減もこのカテゴリに含まれますのでご留意下さい。</p> <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標はLP RI DDQの3.7と重複しています。ガイダンスとケーススタディについての文書を参照してください。</p> <p>この指標のコンテンツは、プライベートエクイティのESG開示フレームワーク(リンク)の目的 7(ファンドのポートフォリオ企業にプラスまたはマイナスの影響を与えた可能性があるESG関連の動向を理解する)と重複しています。</p>																	
PE 14.2	<p>財務リターン、リスク、ESGパフォーマンスにESG問題が与える影響をどのように測定しているかを説明してください。二酸化炭素関連のベンチマーク比較を行っている場合は、それを報告することを強く推奨します。</p> <p>ESG問題(例:温室効果ガス排出量、水の消費量)および実績を評価するために使用する財務的手段を明らかにし、これらの手段をプロセスに使用する際の実務的な問題について説明することが奨励されています。</p>																	
ロジック																		
PE 14	<p>指標[14.2]は、ESG問題がファンドの業績、ESGパフォーマンスまたはリスク/ボラティリティに影響するかどうかを測定している、と回答する場合に適用されます。関連する行のみが適用されます。</p>																	
評価																		
PE 14	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[14.1]への回答に基づいて評価されます。</p> <table border="1" data-bbox="368 1485 1436 1841"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 1485 890 1545">指標採点方法</th> <th data-bbox="895 1485 1145 1545">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1150 1485 1436 1545">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1552 890 1608">選択された回答</td> <td data-bbox="895 1552 1145 1608"></td> <td data-bbox="1150 1552 1436 1608"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1615 890 1671">「上記のいずれも測定していない」</td> <td data-bbox="895 1615 1145 1671">○</td> <td data-bbox="1150 1615 1436 1671"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1677 890 1760">「財務業績またはESGパフォーマンスのいずれかを測定している」</td> <td data-bbox="895 1677 1145 1760">★★</td> <td data-bbox="1150 1677 1436 1760"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1767 890 1841">「財務業績およびESGパフォーマンスの両方を測定している」</td> <td data-bbox="895 1767 1145 1841">★★★</td> <td data-bbox="1150 1767 1436 1841"></td> </tr> </tbody> </table>			指標採点方法	スコア・レベル	詳細	選択された回答			「上記のいずれも測定していない」	○		「財務業績またはESGパフォーマンスのいずれかを測定している」	★★		「財務業績およびESGパフォーマンスの両方を測定している」	★★★	
指標採点方法	スコア・レベル	詳細																
選択された回答																		
「上記のいずれも測定していない」	○																	
「財務業績またはESGパフォーマンスのいずれかを測定している」	★★																	
「財務業績およびESGパフォーマンスの両方を測定している」	★★★																	

PE 15	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1、2
-------	--------------------------	----------	---------------

PE 15	指標				
PE 15.1	報告年度中に潜在的および既存のプライベートエクイティ投資において特定した ESG 問題の事例を挙げてください。				
	投資段階	ESG 問題	セクター	投資への影響(またはその可能性)	投資に影響するために実施する活動およびその反応
	ドロップダウンリスト: [初回スクリーニング、デューデリジェンス、投資判断、投資モニタリング、イグジット前]				
PE 15.2	ESG 要因の重大性をどのように定義し評価しているのか記載して下さい。				

PE 15	説明
PE 15.1	<p><i>ESG 問題</i></p> <p>ESG リスクまたは機会のいずれかを報告してください。</p> <p><i>投資への影響(またはその潜在的な可能性)</i></p> <p>以下について報告して下さい。</p> <p>財務、評判または ESG に関連した(潜在的な)影響</p> <p><i>投資に影響するために実施する活動およびその反応</i></p> <p>投資先(ポートフォリオ構成企業)が適切な行動を取るために、組織はどのように直接または間接的な影響を試みたかを簡単に説明してください。関与した人、行動の理由および目的の概要を説明できます。行動は当然ながら、組織の保有活動によって、また保有の持分、持ち株比率などが投資に影響を与える能力によって、ESG問題がどのように対応されているかによって異なります。組織が提案した活動に対し投資がどのように反応したか、また特定されたESG問題に対応するためにポリシーや業務がどのように使用されたかについて(該当する場合)説明してください。</p>

成果および結果

	<p>提供できる事例の数は、組織の投資プロセスやモニタリング活動にESG問題をどのように組み入れているかによって異なります。可能な限り、これらの例はESG問題をどのように組み入れているかを示す最も具体的な例を中心に回答してください。企業名を公表する必要はありません。</p>
--	---

事例			
ESG問題	セクター	投資への影響(またはその可能性)	投資に影響するために実施する活動およびその反応
E (環境)	製造業	地下水の汚染が確認されたことで、将来の業績や環境リスクが高まる	行動計画が策定され、軽減策が開始されている

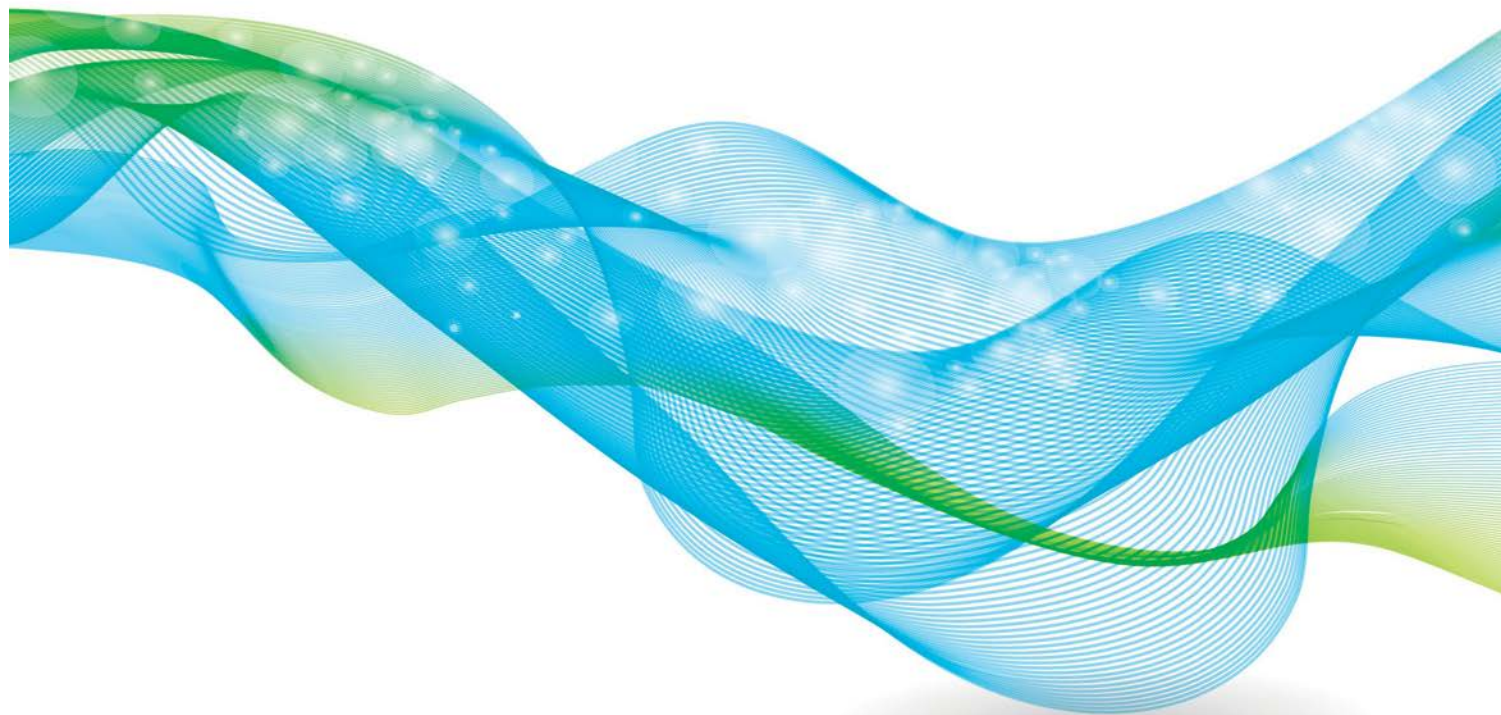
セクション

コミュニケーション

PE 16	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 PRI 6
-------	--------------------------	----------	-------------

PE 16	指標
PE 16.1	プライベートエクイティ投資におけるESGのインシデントを投資家である顧客(LP)に開示する際の組織のアプローチについて説明してください。

PE 16	説明
<p>PE 16.1</p>	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インシデントが発生した場合に従うポリシーと手順、および投資家への通知方法 ● 投資家に直ちに開示するのが適当であるか、あるいはできるだけ速やかに開示するのが適切であるかの決め手となるインシデントまたは出来事の種類の ● 投資家が重大なインシデントまたは出来事に巻き込まれた場合、投資家が取得と思われる情報開示の種類 ● 投資家がESG問題を投資の専門家やポートフォリオ企業の経営陣と協議するきっかけとなる特定の状況があるか ● ポートフォリオ企業がESGのインシデントをどう報告してくるか ● インシデントとその対処に必要な行動をどう評価しているか ● そのインシデントと行動をLPにどう伝えるか。インシデントの発生時、その管理中、および解決後にLPが取得と思われる情報開示の種類について説明してください(ただし、守秘義務の関連事項を考慮してください)。 <p><i>その他の標準/イニシアティブへの言及</i></p> <p>この指標のコンテンツはILPAデューデリジェンス調査票(リンク)の10.3.5の回答と重複しています。GPおよびポートフォリオ企業におけるESG関連の重大なインシデントの管理及び開示に対する企業のアプローチはどのようなものですか？また以下のプライベートエクイティのESG開示フレームワーク(リンク)の目的を達成していますか？</p> <p>目的 5 - GPおよびポートフォリオ企業における重大なインシデントに対するGPのアプローチを評価する。</p> <p>目的 8 - GPおよびポートフォリオ企業のインシデント、インシデント報告への対応が関連する運用条件、ファンドのポリシー、インシデントの開示に関してLPが表明している目的と一致しているかどうかを判断する。</p>
ロジック	
<p>PE 16</p>	<p>指標[16]は特に投資家である顧客へのコミュニケーションとインシデントの報告に関連しています。従って、ゼネラルパートナー(GP)や PE 運用会社のみにも適用されます。共同投資を行う資産保有者(AO)/リミテッドパートナー(LP)には適用されません。</p>



2018年PRI報告フレームワーク 自己運用 - 不動産

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社[QUICK](#)にご協力いただきました。

PRI Association

Registered office: 5th floor, 25 Camperdown Street
London, UK, E1 8DZ Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 3714 3220 W: www.unpri.org E: info@unpri.org

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報を掲載しています。

トップバーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI 原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	-----------------------	-------------------	--------------------

指標のステータス






必須
報告義務 自主開示
自主開示

必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。

一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は任意です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、またはグループ化に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。

自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も自由です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織が他の指標に該当する場合、モジュール内の他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用されます。
コア評価項目		これらの指標は評価の中核部分を形成するものであり、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替となる実務を表しており、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標であり、組織の活動等を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを熟読うえ、指標が組織に該当することを確認してください。

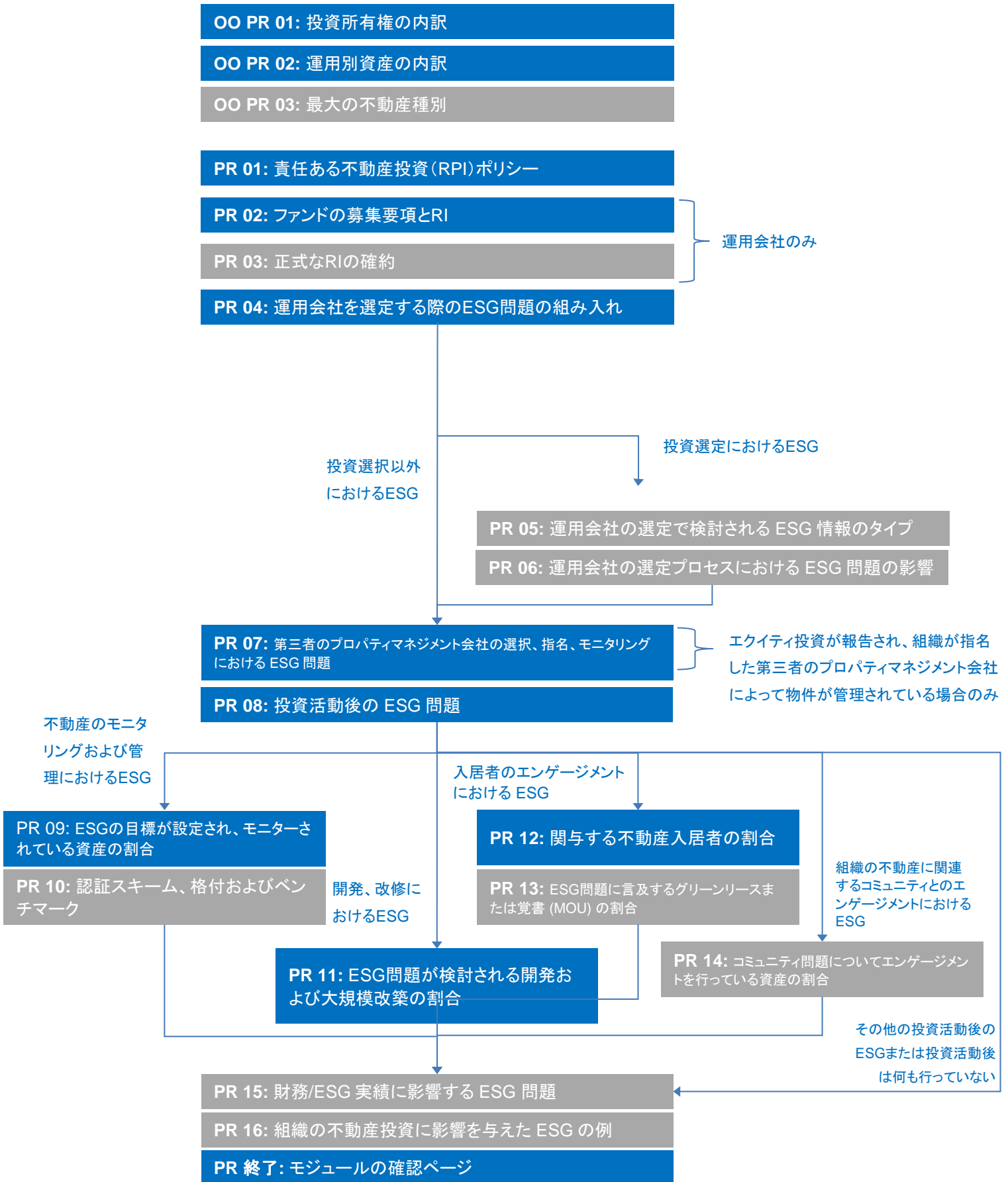
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告が可能な項目の事例など、サブ指標を正確に解釈するうえでの指針となるものです。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する場合やその指標がそれ以降の指標に影響を及ぼすかどうかについて説明しています。ロジックボックスがない場合は、指標は必ず適用されますが、他の指標に影響を及ぼすことはありません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価方法の概要を記載しています。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される個々の用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
序文	5
改正の概要	6
概要	7
不動産ファンドの資金調達	9
投資前(投資対象の選定)	14
第三者のプロパティマネジメント会社の選定、指名、モニタリング	21
投資後(モニタリングおよび積極的な保有)	25
概要	25
不動産のモニタリングおよび管理	27
不動産の開発および大規模改築	32
入居者とのエンゲージメント	34
コミュニティとのエンゲージメント	38
成果および結果	40

モジュールの経路



序文

本モジュールでは、単独で、または、他の投資家と共同で、非上場株式を通じて不動産に直接投資する投資家からの情報を求めています。投資には、組織が不動産資産そのものに直接投資する場合および原資産となる不動産資産を運用する非上場のプロパティマネジメント会社への投資があり、後者の場合には、組織は当該不動産に関する投資判断やそのモニタリングに深く関与することになります。

本モジュールでは、組織が保有する不動産資産の種類や価格、これらの運用方法に関する情報が求められています。不動産に直接投資する投資家は、このモジュールを使って、不動産の責任投資 (RPI) ポリシー、戦略、プロセスを投資の選定、モニタリング、運用にどのように適用しているかを報告することができます。プロパティマネジメントとは、不動産資産の運営や日常的な管理をいいます。

外部の運用会社を通して非上場の不動産ファンドやファンド・オブ・ファンズに投資している場合は、本モジュールではなく、*委託 - 運用会社の選定、指名、モニタリング* モジュールで報告してください。プロパティマネジメント会社の上場株式に投資している場合は、*自己運用 - 上場株式の組み入れ* および *自己運用 - 上場株式の積極的な保有* モジュールで他の上場株式の投資と同じように報告してください。不動産投資信託 (REITS) への投資はこのモジュールで報告して下さい。

本モジュールでは、不動産投資の選定およびモニタリングのプロセスや活動における ESG 問題に言及しており、用語についても PRI 全般で使用されるものと一致させています。「サステナビリティ(持続可能性)」という用語が不動産関連のイニシアティブ、調査、規範で頻繁に使用されています。不動産投資におけるサステナビリティは、背景や対象分野により、一部または全部が ESG 問題と重複します。

また、本モジュールの指標の中には、一部または全部が GRESB (グローバル不動産サステナビリティベンチマーク) と重複しているものがあります。詳細は、評価への [リンク](#) を参照してください。本モジュールでは、ファンドレベルではなく、組織レベルおよび不動産投資全体に関する情報を要求しています。

本モジュールは主に以下の 2 つのセクションから構成されています。

- 投資前のプロセス、即ち、新規の不動産投資に対し、組織が設定している初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資決定プロセス。
- 投資後のプロセス、即ち、不動産投資のモニタリングおよび実施プロセスにおける ESG 問題の考慮。不動産資産に関連して組織が行う可能性がある活動を以下の 4 つの分野に分けています: プロパティマネジメント、開発および大規模改築、入居者のエンゲージメント、コミュニティのエンゲージメント。

改正の概要

2017 年度指標	改正の概要
PR 01 - PR 03	これらの指標は PR モジュールから OO に移動しました。PR 03 の指標ステータスが変更されました。
PR 04 - PR 19	これらの指標は PR 01 - PR 16 に変更されました。
PR 20	この指標は PR モジュールから SG 19 に移動しました。サブ指標 PR 20.2 は PR 010 に移動しました。

不動産ファンドの資金調達

指標採点方法		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
「策定していない」	○	
「策定している」	★★★	

セクション

不動産ファンドの資金調達

PR 02	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1、4、6
-------	----------------	------------	-----------------

PR 02	指標						
PR 02.1	<p>最も直近のファンドの募集要項(私募覚書(PPM)または同様の文書)が組織の責任投資に触れているかどうかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 触れている <input type="radio"/> 触れていない <input type="radio"/> 組織は資金調達をしないため、該当しない 						
PR 02.2	<p>ファンドの募集要項(私募覚書(PPM)または同様の文書)が組織の責任投資の以下の側面にどの程度触れているかを記載してください。</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント		<input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ		<input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ	
<input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント							
<input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ							
<input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ							
PR 02.3	<p>ファンドの募集要項(PPMまたは同様の文書)において、組織が不動産ファンドの責任投資にどのように触れているかを説明してください。</p> <p>[任意]</p>						
PR 02.4	<p>組織が資金を調達しない理由を説明してください。</p>						
PR 02.5	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>						

不動産ファンドの資金調達

PR 02	説明		
PR 02	<p>この指標は、自己運用投資家と委託投資家である顧客の関係が成立する不動産ファンドの資金調達プロセスを対象とします。特定ファンドについて自己運用投資家が発行したPPMまたは同様の文書は、受取人に対し、組織の責任投資に対するアプローチやESG問題の管理に関する概要を伝えるものです。</p> <p>この指標は、ゼネラルパートナーや直接的なファンド運用会社のみにも適用されます。これは資産保有者には適用されません。</p> <p>この指標が組織に該当しても、組織は資金を調達しない場合、「組織は資金を調達しないため、該当しない」を選択し、指標[06.4]で理由を説明してください。</p> <p>組織が資金を調達していても、報告年度に積極的に資金を調達していなかった場合は、標準的なアプローチとして最適と思われるオプションを選択してください。このアプローチは、一般的に、組織が次の資金調達において取る可能性が高いアプローチまたは直近の資金調達において行われているアプローチになります。</p>		
PR 02.3	<p>以下のような組織の標準的なPPMIに含まれている事項を挙げるすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポリシー(例:責任投資への言及および投資の全段階におけるESG問題の考慮) ● 投資前(例:デューデリジェンスなどのプロセスやこれらにおけるESG問題の考慮) ● 投資後(例:ポートフォリオ構成企業のESG実施プログラム、ESG問題を考慮した監査などのモニタリングプロセスを経て取引を終了するまでの達成度の追跡や機会の特定) <p>最近発行された募集要項やPPMがある場合は報告してください。必ずしも報告年度でなくても構いません。</p>		
ロジック			
PR 02	<p>[PR 02.2] および [PR 02.3] は、[PR 02.1]で「触れている」と報告された場合、適用されます。</p> <p>[PR 02.4] は、[PR 02.1]で「触れていない」と報告された場合、適用されます。</p> <p>[PR 03] は、[PR 02.1]で「組織は資金調達をしないため、該当しない」と報告すると、適用されません。</p>		
評価			
PR 02	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>「組織は資金を調達しないため、該当しない」と報告する場合には、この指標はスコアの一部にはなりません。</p>		
指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「資金調達をしていないため、該当しない」	該当しない	
	「ファンド募集要項またはPPMIは上記のいずれにも触れていない」	●	
	ポリシー、投資前または投資後から一つ選択	★	
	ポリシー、投資前または投資後から二つ選択	★★	
	ポリシー、投資前または投資後から三つ選択	★★★	

不動産ファンドの資金調達

PR 02	定義
ファンド募集要項または 私募覚書(PPM)	ファンド募集要項または私募覚書(PPM)を読めば、潜在的な投資家が企業やその投資戦略に関する広範な情報や投資案件の仮募集条件の概要を知ることができます。これらの種類の文書は、「目論見書」としても知られています。プライベートエクイティ企業がファンドの提供を通じて資金を調達したい場合、潜在的なリミテッドパートナーや投資家に対してファンド募集要項またはPPMを発行します。

不動産ファンドの資金調達

PR 03	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 4
-------	------------------	------------	-------------

PR 03	指標
PR 03.1	<p>顧客が要求した場合、ファンドの組成契約、リミテッドパートナーシップ契約(LPA)、補足文書の中で、組織が不動産の責任投資を正式に確約しているかどうかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で、常に責任投資を正式に確約している ○ 大部分のケースで、ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式に確約している ○ 一部のケースで、ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式に確約している ○ ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式に確約していない ○ 顧客からの要求がないため、ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式に確約していない
PR 03.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

PR 03	説明
PR 03	この指標は、不動産ファンドを自己運用する運用会社のみ適用されます。これは資産保有者には適用されません。
PR 03.1	<p><i>ファンド組成契約、リミテッドパートナーシップ契約(LPA)</i></p> <p>投資家が責任投資の実施やESG問題の考慮に対する正式な確約を要求し、それがファンド組成契約、リミテッドパートナーシップ契約、補足文書に含まれることがあります。また、そのような確約が投資戦略、ガイドライン、マニフェスト中に、専用の段落を設けて、あるいは文書全体に統合される形で含まれる場合もあります。後者のアプローチではファンド組成契約、LPA、補足文書を別途作成する必要がなくなります。</p> <p>投資家やAOから最近要請されて署名したファンド組成契約、LPA、補足文書があれば報告してください。必ずしも報告年度でなくてもかまいません。</p> <p>正式な確約には、実施に関して様々な水準があることに注意してください。責任投資ポリシーに言及されていても、ESG問題が業務プロセスで実施されるわけではありません。</p>
PR 03.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織の責任投資のコミットメントの詳細 ● 責任投資およびESG問題に関するポリシーの採用および自己運用投資家と委託投資家の協力 ● 不動産の自己運用投資家自身の提案、または委託投資家の意向のいずれかによる、特定分

不動産ファンドの資金調達

	<p>野への投資の除外</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資の前後の両方の段階(終了も含む)で責任投資に対するアプローチやESG問題の検討を実施するためのプロセス 具体的なESG問題(気候変動、報酬、その対処法(必要に応じて))のリスト ESG問題に関連するポートフォリオ企業の取り組み ファンドの運用期間中、ESG問題がどのように報告されるか ポートフォリオ企業におけるインシデントの可能性をいつ、どのように投資家に伝えるか <p>包括的アプローチ(OA)モジュールで説明されている他のメカニズムによって不動産の責任投資に正式に確約している場合、その報告された情報をこの指標に含めてください。</p>		
ロジック			
PR 03	[PR 03] は、[PR 02.1]で「組織は資金調達をしないため、該当しない」と報告すると、適用されません。		
評価			
PR 03	最大スコア: ★ 3つ		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	顧客からは、組織に対して不動産に係る責任投資を正式に確約するよう要請を受けていない	該当しない	
	LPA または補足文書の中で責任投資を正式に確約していない	○	
	一部のケースで、LPA または補足文書の中で責任投資を正式に確約している	★	
	大部分のケースで、LPA または補足文書の中で責任投資を正式に確約している	★★	
	必ず、LPA または補足文書の中で責任投資を正式に確約している	★★★	

セクション

投資前(投資対象の選定)

PR 04	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ/コア評価	原則 PRI 1
-------	----------------	-------------------	-------------

PR 04	指標		
PR 04.1	組織が不動産投資先を選択する際、通常 ESG 問題を組み入れているかどうかを記載してください。		
	<input type="radio"/> 組み入れている	<input type="radio"/> 組み入っていない	
PR 04.2	ESG問題を不動産投資の選択に組み入れる際のアプローチを説明してください。		
PR 04.3	貴社の不動産投資選定プロセスにおいて、どのESG問題が主に考慮されているかを記載し、問題毎に事例を3つまで挙げてください。		
	ESG問題	ESGの各問題について、典型的な例を三つまで挙げて下さい	説明 [任意]
	□ 環境	[ドロッパダウン・リスト] 気候変動への適応、汚染、エネルギー効率、エネルギー供給、洪水、温室効果ガス排出量、屋内環境品質、自然災害、回復力・復元力(レジリエンス)、交通手段、節水、廃棄物管理、水供給、等々。 (上記事例に従って、全てのオプションをドロッパダウンに列記して下さい)	
		同上	
		同上	
	□ 社会	[ドロッパダウン・リスト] 建物の安全性および建築資材、健康、安全および安泰、社会経済的、アクセスのしやすさ、低中所得者層向け住宅、居住者満足度、等々。 (上記事例に従って、全てのオプションをドロッパダウンに列記して下さい)	
		同上	
		同上	

投資前(投資対象の選定)

	□ ガバナンス	[ドロッパダウン・リスト] 贈賄および腐敗防止、取締役会の構造、利益相反、ガバナンス体制、規制、株主構造および権利、サプライチェーン・ガバナンス、等々。 (上記事例に従って、全てのオプションをドロッパダウンに列記して下さい)	
		同上	
		同上	
PR 04.4	補足情報 [任意]		

投資前(投資対象の選定)

PR 04	説明
PR 04	<p>このゲートウェイ指標により、組織が投資先を選択する際にESG問題を組み込んでいるかどうかを報告できます。組織のプロセスの詳細は以降の指標で捕捉します。</p> <p>この指標のオプションは、2016年GRESB評価の「環境および社会」セクションのGRESB指標Q15を補足するものです。</p>
PR 04.2	<p>投資決定に至るまでの様々な段階における組織のアプローチを説明してください。</p> <p>これには、以下の項目を含めることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資前段階におけるESG問題の組み入れは顧客のマネジメントによって決定されるかどうか、決定される場合はどのように構造化しているか ESG問題を短期および長期の両方において、どのように投資前プロセスに組み込んでいるか 不動産投資判断に影響を及ぼすまたは起因する可能性のあるリスクおよび機会をどのように評価しているか セクターや地域によるESG問題の考慮の度合いの違い 投資戦略間、または多彩なバリエーションがある投資戦略内におけるESG問題へのアプローチの違い <p>更なる手引きとしては、国連環境計画・金融イニシャティブ(UNEP FI)のSustainable Real Estate Investment: Implementing the Paris Agreement, An Action Frameworkの35頁を参照下さい。</p> <p>対象範囲</p> <p>この指標は、投資前の意思決定プロセスの全段階(初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資決定)を対象とします。</p>

ロジック			
PR 04	<p>[PR 05 - PR 06] は、[PR 04.1] で「組み込んでいる」と報告すると、適用されます。[PR 05 - PR 06] は、[PR 04.1] で「組み込んでいない」と報告すると、適用されません。</p> <p>[PR 04.2] は、[PR 04.1] で「組み込んでいる」と報告すると、適用されます。</p>		
評価			
PR 04	最高スコア: ★ 3つ		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	通常、ESG問題は考慮していない	○	
	通常、E・S・G問題のいずれか一つを検討している。	★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい
	通常、E・S・G問題のいずれか二つを検討している。	★★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい
	通常E・S・G問題全てを検討している。	★★★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい

投資前(投資対象の選定)

PR 05	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1,3
-------	------------------	------------	---------------

PR 05	指標
PR 05.1	<p>不動産の投資選定プロセスにおいて組織が主にどのような種類のESG情報を考慮しているかを明示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象とする不動産資産/企業の未調整のデータ</p> <p><input type="checkbox"/> 鑑定/監査</p> <p><input type="checkbox"/> 同様の不動産資産のベンチマーク/格付</p> <p><input type="checkbox"/> 国レベルのデータ/ベンチマーク</p> <p><input type="checkbox"/> 確立された不動産報告基準、業界規範、認証に適合するデータ</p> <p><input type="checkbox"/> 国際的イニシアティブ、宣言または基準</p> <p><input type="checkbox"/> ステークホルダーとのエンゲージメントからのデータ(例:テナントや地域コミュニティの調査)</p> <p><input type="checkbox"/> 組織外のアドバイザーからの情報</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> この情報を追跡していない</p>
PR 05.2	<p>これらの ESG 情報をどのように投資対象選定プロセスに組み込んでいるかについて簡潔に説明して下さい。</p>

PR 05	説明
PR 05.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> これらの要因が不動産投資のパフォーマンスにどのような影響を及ぼすかおよびそれらが不動産市場のファンダメンタルズにどのような影響をもたらすかの測定; ファンドレベルまたは企業レベルでの不動産毎の持続可能な投資価値を把握し、当該価値の評価においてESGおよび気候リスクに係る留意事項を組み入れるための内部投資モデルの採用; 鑑定士への建物のサステナビリティ特性に関する情報の提供; 鑑定士と連携し、サステナビリティ・データを査定評価基準の一部に組み入れる; 不動産物件が市場において、トップクラスの賃貸料を取れる、空きビルとなる、空きビルのままとなる可能性、および、その価値に影響を及ぼすその他マーケット・ファンダメンタルズへの影響度の検討; RICSルールに従って、建物のサステナビリティ特性がもたらすリスクについて鑑定士の意見を求めること。 <p>更なる手引きとしては、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)の Sustainable Real Estate</p>

投資前(投資対象の選定)

	<p>Investment: Implementing the Paris Agreement. An Action Frameworkの39頁を参照下さい。</p> <p>これには、以下の事項も含めることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> ESG問題に関連して頻繁に利用する情報源 組織内のアドバイザーが利用する情報源と外部のアドバイザーが利用する情報源の間に違いがあるかどうか 組織において、投資対象選定プロセスで検討する ESG 情報の記録類を保持しているかどうか。 		
ロジック			
PR 05	[PR 05] は、[PR 04.1] で「組み入れている」と報告された場合、適用されます。		
評価			
PR 05	最大スコア: ★ 3つ		
指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「この情報を追跡していない」	○	
	1-2 つを選択	★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい
	3-4 つを選択	★★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい
	5 つ以上を選択	★★★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい

投資前(投資対象の選定)

PR 06	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1
-------	-----------------------	-------------------	--------------------

PR 06	指標
PR 06.1	<p>報告年度において、ESG 問題が不動産投資の選択プロセスに影響を及ぼしたかどうかを明示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題はリスクや価値を創造する機会を特定するのに役立った</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題によって投資案件を中止することになった</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は投資を提供する価格や投資に支払う価格に影響した</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は株主契約、購入契約、融資特約の条件に影響した</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は考慮されたが、投資選択プロセスには影響しなかった</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> 該当しない。組織では、報告年度において投資対象の選定を行わなかった</p> <p><input type="checkbox"/> この潜在的な影響については追跡していない</p> <p style="text-align: center;">理由を説明して下さい _____</p>
PR 06.2	<p>報告年度に、ESG 問題が不動産投資の取引構造化プロセスに影響したかどうかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は投資を提供する価格や投資に支払う価格に影響した</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は株主契約、購入契約、融資特約の条件に影響した</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は考慮されたが、取引構造化プロセスには影響しなかった</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> 該当しない。組織では、報告年度において投資対象の選定を行わなかった</p> <p><input type="checkbox"/> この潜在的な影響については追跡していない</p> <p style="text-align: center;">理由を説明して下さい _____</p>
PR 06.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

PR 06	説明
PR 06.3	<p>ここでは、個別案件の詳細や個々の特性を報告するのではなく、様々な不動産投資選定プロセスにおける影響の測定、分析、結論を一般化することが推奨されています。具体的な例については指標[16]で提供することができます。</p> <p>「ESG問題は考慮されたが、投資選定プロセスには影響しなかった」とは、ESG問題が特定されなかった場合、あるいは投資選定にESG問題が考慮されたが、重大と見なされる閾値を下回ると考えられたため、投資に影響を与えなかった場合を指します。</p>

投資前(投資対象の選定)

ロジック			
PR 06	[PR 06] は、[PR 04.1] で「組み入れている」と報告された場合、適用されます。		
評価			
PR 06	最大スコア: ★ 3つ		
指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「該当しない」	該当しない	
	PR 06.1およびPR 06.2において「この潜在的な影響については追跡していない」	●	
	PR 06.1またはPR 06.2のいずれかで一つを選択	★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい
	PR 06.1およびPR 06.2の両方で少なくとも一つを選択	★★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい
	PR 06.1およびPR 06.2の両方で少なくとも三つを選択	★★★	「その他」を選択した場合は、含めて下さい

セクション

第三者のプロパティマネジメント会社の選定、指名、モニタリング

PR 07	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 4
-------	----------------	------------	-------------

PR 07	指標		
PR 07.1	組織が第三者のプロパティマネジメント会社の選定、指名、モニタリングに ESG 問題を含めているかどうかを記載してください。		
	<input type="radio"/> 含めている	<input type="radio"/> 含めていない	
PR 07.2	組織が第三者のプロパティマネジメント会社の選定、指名、モニタリングに ESG 問題をどのように含めているかを記載してください。		
	選定/指名/モニタリング	対策の種類	適用範囲
	<input type="checkbox"/> プロパティマネジメント会社の選定プロセスに ESG 問題が組み入れられている	<input type="checkbox"/> ESGをどのように効果的に組み込んでいるかについての説明を要請する。これには、ガバナンスおよびプロセスについての質問を含む <input type="checkbox"/> マネジメント会社が自身の資産・不動産管理にESGをどのように導入しているかの履歴および具体例の提示を要請する <input type="checkbox"/> ESG基準のさらなる組み入れを通じて不動産物件毎の他物件を凌ぐパフォーマンスを生み出す機会について議論する <input type="checkbox"/> ESG問題に係るステークホルダーとのエンゲージメントについて説明を求める <input type="checkbox"/> その他。説明して下さい。	<input type="radio"/> 75 – 100% <input type="radio"/> 50 – 75% <input type="radio"/> 25 – 50% <input type="radio"/> 0 – 25%
	<input type="checkbox"/> プロパティマネジメント会社を指名する際の契約要件にESG問題が含まれている	<input type="checkbox"/> ESGを組み込むことを求める明確で詳細な要件を盛り込む <input type="checkbox"/> 全ての関連資産および不動産管理段階におけるESGに特化した手続きの設定を要請する。 <input type="checkbox"/> 明確なESG報告 <input type="checkbox"/> 明確なESGパフォーマンス目標 <input type="checkbox"/> その他。説明して下さい。	<input type="radio"/> 75 – 100% <input type="radio"/> 50 – 75% <input type="radio"/> 25 – 50% <input type="radio"/> 0 – 25%

第三者のプロパティマネジメント会社の選定、指名、モニタリング

	<p><input type="checkbox"/> プロパティマネジメント会社のモニタリングにESGに関する責任および実施を含む</p>	<p><input type="checkbox"/> 所定の期間にわたり、定量的な目標および重要な環境/資源目標に対するパフォーマンスをモニタリングする</p> <p><input type="checkbox"/> 関連ベンチマークに対する、定量的な目標および重要な環境/資源目標に対するパフォーマンスをモニタリングする</p> <p><input type="checkbox"/> ポートフォリオ/投資の社会的影響に対処するため、定量的目標および定性的目標に対するパフォーマンスをモニタリングする</p> <p><input type="checkbox"/> その他。説明して下さい。</p>	<p>○ 75 – 100%</p> <p>○ 50 – 75%</p> <p>○ 25 – 50%</p> <p>○ 0 – 25%</p>
<p>PR 07.3</p>	<p>あなたの組織における第三者プロパティマネジメント会社の選定・指名・モニタリングの状況およびこれらが不動産投資に係る ESG 問題の管理にどのように役立っているかについて簡潔に説明して下さい。</p> <p>[任意]</p>		

PR 07	説明
PR 07	<p>本セクションは、OOで組織のプロパティマネジメントを、GRESB2016ガイダンスに適合し、第三者のプロパティマネジメント会社に委託していると報告する場合にのみ適用されます。定義については、OOを参照してください。すべての物件を組織内で管理している場合、この指標は適用されません。一部の物件を組織内で管理し、他を外部に委託している場合は、外部に委託している資産についてのみ報告してください。</p>
PR 07.3	<p><i>プロパティマネジメント会社の選定</i></p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> プロパティマネジメント会社の選定プロセスの構成 <p><i>プロパティマネジメント会社の指名</i></p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約に記載されるESGの責任の種類、実施要件、測定 ESG問題に正式に合意した経緯(該当する場合) <p><i>プロパティマネジメント会社のモニタリング</i></p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> プロパティマネジメント会社との通常のやりとり 組織が物件を定期的に訪問しているかどうか 組織とプロパティマネジメント会社のやりとりにESGイニシアティブに関する協議がどの程度含まれているか 組織がプロパティマネジメント会社をモニタリングする際、プロパティマネジメント会社による違いがあるかどうか プロパティマネジメント会社の ESG 問題に基づいたパフォーマンスの評価制度およびインセンティブ制度があるかどうか <p>更なる手引きとしては、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)の Sustainable Real Estate Investment: Implementing the Paris Climate Agreement, An Action Framework の 45 ページを参照下さい。</p>
ロジック	
PR 07	<p>[PR 07] は、[OO PR 02.1] で不動産資産の一部が、「選任した第三者のプロパティマネジメント会社により運用されている」と報告した場合、適用されます。</p> <p>[PR 07.2] は、[PR 07.1]で「含めている」と報告した場合、適用されます。</p>
評価	
PR 07	<p>最大スコア: ★ 9つ</p> <p>この指標は管理を外部に委託する組織の評価のみを目的としています。管理を外部に委託していない組織にはこの指標は該当せず、分母から除外されます。</p>
指標採点方法	

第三者のプロパティマネジメント会社の選定、指名、モニタリング

選択された回答	スコア・レベル	詳細
PR 07.2 a – 選定		
選定プロセスでは、ESG問題を考慮していない	○	
「少数のプロパティマネジメント会社について考慮している」	★	
「大多数のプロパティマネジメント会社について考慮している」	★★	
「全ての第三者プロパティマネジメント会社について考慮している」	★★★	
PR 07.2 b - 指名の際の契約上の要件		
契約上の要件においてESG問題は考慮していない	○	
「少数のプロパティマネジメント会社について考慮している」	★	
「大多数のプロパティマネジメント会社について考慮している」	★★	
「全ての第三者プロパティマネジメント会社について考慮している」	★★★	
PR 07.2 c - モニタリング		
選択された回答	スコア・レベル	詳細
モニタリングプロセスにおいてESG問題は考慮していない	○	
「少数のプロパティマネジメント会社について考慮している」	★	
「大多数のプロパティマネジメント会社について考慮している」	★★	
「全ての第三者プロパティマネジメント会社について考慮している」	★★★	

セクション

投資後（モニタリングおよび積極的な保有）

概要

PR 08	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 2
-------	----------------	--------------	-------------

PR 08	指標		
PR 08.1	<p>組織の不動産資産に関連する投資後の活動において、組織やプロパティマネジメント会社がESG問題を考慮しているかどうかを記載してください。</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="radio"/> 考慮している</td> <td><input type="radio"/> 考慮していない</td> </tr> </table>	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない
<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない		
PR 08.2	<p>組織の不動産資産に関連する投資後の活動において、組織やプロパティマネジメント会社が以下のESG問題を考慮しているかどうかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 不動産のモニタリングおよび管理にESG問題を考慮している <input type="checkbox"/> 不動産の開発および大規模改築にESG問題を考慮している <input type="checkbox"/> 不動産の入居者とのエンゲージメントにESG問題を考慮している <input type="checkbox"/> 組織の不動産に関連するコミュニティとのエンゲージメントにESG問題を考慮している <input type="checkbox"/> その他の投資後の活動にESG問題を考慮している（具体的に記入してください_____） 		
PR 08.3	<p>組織の不動産資産に関連する投資後の活動において、組織やプロパティマネジメント会社がESG問題をどのように考慮しているかを説明してください。</p>		

PR 08	説明
PR 08	この指標は、不動産を積極的にモニタリングまたは管理するプロセスや活動におけるESG問題の検討に関するものです。
PR 08.2	資産の開発や改築におけるESG問題に対処するポリシーや手続きがあっても、報告年度に開発や大規模改築を実施している不動産資産がなかったためにそれを適用しなかった場合でも、「不動産の開発および大規模改築にESG問題を考慮している」を選択してください。

投資後（モニタリングおよび積極的な保有）

PR 08.3	<p>様々な分野や関連する活動において ESG 問題、例えば、気候変動およびエネルギー効率、をどのように考慮しているかについて、概要を説明することができます。例えば、組織、プロパティマネジメント会社や合弁事業のパートナーが不動産投資のモニタリングや実施においてそれぞれ別々の部分で主要な責任を担っているかどうかを説明することができます。また、組織が少数持分を所有する投資家である場合、パートナーやプロパティマネジメント会社とそのモニタリングおよび管理プロセスや活動において ESG 問題を考慮することに組織がどのように影響を及ぼしているかを説明することができます。</p> <p>ESGに関連して留意すべき事項として以下の項目を含めることも可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境を考慮した立地選定要件； ● 環境を考慮した用地開発要件； ● 持続可能な建設資材； ● 節水要件； ● エネルギー効率要件； ● 現地での再生可能なソースからのエネルギー生成； ● 廃棄物管理プラン； ● 現場での健康および安全管理システム； ● 建設請負業者がサステナビリティ・ガイドラインを遵守すること； および ● レジリエントな建築デザインおよびオリエンテーション。 <p>また、これらの活動の運営プログラム、計画、長短期的な目標を捕捉し、説明する具体的なガイドラインがあるかどうかを説明できます。それぞれのサブセクション[15-20]で実施分野別の詳細を報告することができます。</p>
ロジック	
PR 08	<p>[PR 08.2] および [PR 08.3] は、[PR 08.1]で「考慮している」と報告すると、適用されます。</p> <p>[PR 09 – PR 14] は、[PR 08.1]で「考慮していない」と報告すると、適用されません。</p>
PR 08.2	<p>[PR 09] および [PR 10] は、「不動産のモニタリングおよび管理に ESG 問題を考慮している」を選択した場合、適用されます。</p> <p>[PR 11] は、「不動産の開発および大規模改築に ESG 問題を考慮している」を選択した場合、適用されません。</p> <p>[PR 12] および [PR 13] は、「不動産の入居者とのエンゲージメントに ESG 問題を考慮している」を選択した場合、適用されます。</p> <p>[PR 14] は、「組織の不動産に関連するコミュニティとのエンゲージメントに ESG問題を考慮している」を選択した場合、適用されます。</p>
評価	
PR 08	<p>この指標は評価されませんが、[08.1]で「考慮していない」と回答すると、投資後セクション全体のスコアがゼロになります。</p> <p>[08.2]で「不動産のモニタリングおよび管理」、「不動産の開発および大規模改築」、「不動産の入居者とのエンゲージメント」、「不動産に関連するコミュニティとのエンゲージメント」においてESGを考慮しないと報告する場合、そのサブセクション全体のスコアがゼロになります。</p>

不動産のモニタリングおよび管理

PR 09	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2,3
-------	----------------	------------	---------------

PR 09	指標		
PR 09.1	報告年度において組織またはプロパティマネジメント会社が管理する不動産資産のうち、ESGの目標(KPIなど)を設定し、モニタリングした不動産資産の割合を示してください。		
	<input type="radio"/> 不動産資産の90%超 <input type="radio"/> 不動産資産の51～90% <input type="radio"/> 不動産資産の10～50% <input type="radio"/> 不動産資産の10%未満 (不動産資産の件数ベース)		
PR 09.2	組織やプロパティマネジメント会社では、主として、どのESG問題を対象にどのような目標(KPIなど)を設定のうえ進捗をモニタリングしているのか明示してください		
		目標/KPI	進捗状況
	<input type="checkbox"/> E(環境)		
	<input type="checkbox"/> S(社会)		
	<input type="checkbox"/> G(ガバナンス)		
PR 09.3	補足情報 [任意]		

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)

PR 09	説明
PR 09	<p>この指標は、不動産資産を積極的にモニタリングする際の、ESGパフォーマンスに対する組織やプロパティマネジメント会社のアプローチを捕捉することを目的としています。実施されるモニタリング活動の種類は、取締役会や経営陣の個人的な関与から対象となる不動産資産/企業の報告書に記載されるESG情報の検討まで多岐にわたります。</p> <p>この指標のオプションは、2016年GRESB評価の「目標」セクションのGRESB指標Q29を補足するものです。</p>
PR 09.1	<p>組織またはプロパティマネジメント会社が少なくとも1つのESG問題を対象とする目標を設定し、この目標の達成度をモニタリングしている不動産資産の割合を選択してください。例えば、組織が不動産の40%（物件数）にエネルギー効率の目標を設定し、同じ不動産グループの20%に障害者のアクセス目標を設定している場合は、「10~50%」オプションを選択してください。組織が不動産の40%（物件数）にエネルギー効率の目標を設定し、別の不動産グループの20%に障害者のアクセス目標を設定している場合は、「51~90%」オプションを選択してください。ESG問題を推進していない、報告書を検討していない、議論に参加していない場合は、モニタリングとして報告しないでください。</p> <p>この指標は目標の具体的な水準を求めているわけではありません。組織が設定できるESG目標の水準は、付加価値、リスク削減の可能性、財務成績の目標などいくつかの要因によって左右されます。</p> <p>不動産資産の件数に基づく割合を決定してください。</p>
PR 09.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投資および資産管理手続きを整備するための定性的目標、ならびに、資産取得、管理、運用、計画策定、新たな開発、改修、アップグレード、賃貸および居住者管理における気候リスクにESGを組み入れるツール; ● 所定の期間にわたる、ポートフォリオのエネルギーの節約、炭素強度の改善、水消費量および廃棄物の削減を行うための定量的および重大性目標; ● 一定の期間にわたり、関連ベンチマークに対する、ポートフォリオの環境/資源強度を測定し削減する目標の設定; ● 保有するポートフォリオが社会に及ぼす影響に対応するうえでの定量的および定性的目標、これには、コミュニティとのエンゲージメントおよび地域コミュニティへの貢献などが挙げられます; ● 入居者との賃貸契約にグリーンリース条項を盛り込んでいくうえでの定量的目標の設定; ● クリーン・エネルギーを使用する、エネルギー効率に優れている、最低限の改築要件を達成する、または、資源強度に関して「そのクラス最高」であるといった各種要件を満たす建物投資不動産物件の一定の割合を占めることを目指す目標の設定 ● 目標に対する進捗状況についての定期的な報告 <p>詳細な手引きについては、国連環境計画・金融イニシャティブ(UNEP FI)の Sustainable Real Estate Investment: Implementing the Paris Climate Agreement, An Action Framework の36頁を参照下さい。</p>

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)

PR 09.3	<p>組織やプロパティマネジメント会社が不動産管理におけるESG問題にどのように取り組んでいるかを説明することができます。この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロパティマネジメントに対する組織の一般的なアプローチ、ESG問題の考慮、ステークホルダーにとって適切と思われる特定の実務分野 • 投資戦略が不動産管理にどのような影響を及ぼしているか • 個々の不動産資産にどのようにESG目標を設定し、そのパフォーマンスをモニタリングしているか • 個々のESG問題の追跡・ベンチマーキングを正確に行うことができる信頼度の高い手法をどのように開発しているか • 不動産資産の所在地・地域的範囲および各不動産について地域毎に異なるアプローチをしているかどうか 																		
ロジック																			
PR 09	[PR 09] は、[PR 08.2] で「不動産のモニタリングおよび管理にESG問題を考慮している」と報告した場合、適用されます。																		
評価																			
PR 09	最大スコア: ★ 3つ																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3" data-bbox="368 1111 1449 1178">指標採点方法</th> </tr> <tr> <th data-bbox="368 1178 855 1245">選択された回答</th> <th data-bbox="855 1178 1126 1245">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1126 1178 1449 1245">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1245 855 1312">不動産資産の0%または10%未満</td> <td data-bbox="855 1245 1126 1312">○</td> <td data-bbox="1126 1245 1449 1312"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1312 855 1379">不動産資産の10 – 50%</td> <td data-bbox="855 1312 1126 1379">★</td> <td data-bbox="1126 1312 1449 1379"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1379 855 1447">不動産資産の 50 – 90%</td> <td data-bbox="855 1379 1126 1447">★★</td> <td data-bbox="1126 1379 1449 1447"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1447 855 1500">不動産資産の 90%超</td> <td data-bbox="855 1447 1126 1500">★★★</td> <td data-bbox="1126 1447 1449 1500"></td> </tr> </tbody> </table>		指標採点方法			選択された回答	スコア・レベル	詳細	不動産資産の0%または10%未満	○		不動産資産の10 – 50%	★		不動産資産の 50 – 90%	★★		不動産資産の 90%超	★★★	
指標採点方法																			
選択された回答	スコア・レベル	詳細																	
不動産資産の0%または10%未満	○																		
不動産資産の10 – 50%	★																		
不動産資産の 50 – 90%	★★																		
不動産資産の 90%超	★★★																		

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)

PR 10	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2
-------	------------------	----------	-------------

PR 10	指標								
PR 10.1	<p>不動産資産が認証スキーム、格付、ベンチマークと比較して評価されているかどうかを示して下さい。</p> <p style="text-align: center;"> <input type="radio"/> 評価されている <input type="radio"/> 評価されていない </p>								
PR 10.2	<p>不動産資産を評価する認証スキーム、格付やベンチマークを挙げ、それらを適用する不動産資産の割合を示してください。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">認証スキーム、格付、ベンチマーク</th> <th style="width: 50%;">それらを適用する不動産資産の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____ </td> <td> <input type="radio"/> 不動産資産の 90%以上 <input type="radio"/> 不動産資産の 51~90% <input type="radio"/> 不動産資産の 10~50% <input type="radio"/> 不動産資産の 10%未満 (不動産資産の件数ベース) </td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____ </td> <td>[同上]</td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____ </td> <td>[同上]</td> </tr> </tbody> </table>	認証スキーム、格付、ベンチマーク	それらを適用する不動産資産の割合	<input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____	<input type="radio"/> 不動産資産の 90%以上 <input type="radio"/> 不動産資産の 51~90% <input type="radio"/> 不動産資産の 10~50% <input type="radio"/> 不動産資産の 10%未満 (不動産資産の件数ベース)	<input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____	[同上]	<input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____	[同上]
	認証スキーム、格付、ベンチマーク	それらを適用する不動産資産の割合							
	<input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____	<input type="radio"/> 不動産資産の 90%以上 <input type="radio"/> 不動産資産の 51~90% <input type="radio"/> 不動産資産の 10~50% <input type="radio"/> 不動産資産の 10%未満 (不動産資産の件数ベース)							
	<input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____	[同上]							
<input type="checkbox"/> 具体的に記入してください： _____	[同上]								
PR 10.3	<p>不動産投資の ESG パフォーマンスに関連する情報を開示するため、不動産別報告基準を組織が使用しているか、示してください。</p> <p> <input type="checkbox"/> Global Reporting Initiative (GRI) 建設・不動産部門補足 <input type="checkbox"/> その他の不動産報告基準。具体的に記入してください。_____ <input type="checkbox"/> 不動産別報告基準は使用していない。 </p>								
PR 10.4	<p>補足情報 [任意]</p>								

PR 10	説明
PR 10	<p>不動産の格付および認証スキーム</p> <p>例: Leadership in Energy and Environmental Design (LEED)、Building Research Establishment Environmental Assessment Method (BREEAM)、米国の住宅建設業者協会 (NAHBGreen)、日本の建築環境総合性総合評価システム (CASBEE)、フランスの Haute Qualité Environnementale (HQE)、スイスの Minergie、ドイツの Deutsches Gütesiegel Nachhaltiges Bauen (DGNB)、Green Building Council of Australia の Green Star 格付。</p> <p>公的機関による不動産の格付</p>

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)

	<p>例：オーストラリアの National Australian Built Environment Rating System (NABERS)、米国環境保護庁 (EPA) が策定した Energy Star</p> <p>不動産のベンチマーク</p> <p>例：Greenprint Foundation、Green Rating Alliance、Global Real Estate Sustainability Benchmark (GRESB)、International Sustainability Alliance (ISA) および IPD EcoPAS。</p> <p>この指標のオプションは、2016 年 GRESB 評価の「目標」セクションの GRESB 指標 Q30 を補足するものです。</p> <p>不動産資産の件数に基づいて [13. 2] の各行に割合を決定してください。</p>
PR 10.3	<p>この指標は、ファンドのサブセット、または組織全体にこれらが関係しているか否かにかかわらず、特定の不動産基準を使用している報告の捕捉を目的としています。</p>
PR 10.4	<p>組織の認証スキーム、格付およびベンチマークに関する詳細情報、不動産認証スキーム、格付およびベンチマークに対する組織としてのアプローチについての説明などが考えられます。この指標に含まれる事項の例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一定の基準に照らして評価される不動産投資の割合 ● 格付および認証との間における査定結果の差異（例：シルバー、ゴールド、プラチナまたは EPC レベル A-G） ● 国毎のポートフォリオにおける格付および認証の差異 ● 認証スキーム、格付またはベンチマークを適用する能力を制限するリソースの制約（認証には全ファンドには利用できないリソースや資本を必要とする） ● 既存案件と新規案件では格付の使用が異なるかどうか ● 査定の頻度
ロジック	
PR 10	<p>[PR 10] は、[PR 08.2] で「不動産のモニタリングおよび管理に ESG 問題を考慮している」と報告した場合、適用されます。</p> <p>[PR 10.2] は、[PR 10.1] で「評価されている」と報告すると、適用されます。</p>

不動産の開発および大規模改築

PR 11	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
-------	----------------	------------	-------------

PR 11	指標
PR 11.1	<p>実施中の不動産開発および大規模改築の中で、ESG 問題が考慮されている割合を示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 実施中の開発および大規模改築の90%超 <input type="radio"/> 実施中の開発および大規模改築の51~90% <input type="radio"/> 実施中の開発および大規模改築の10~50% <input type="radio"/> 実施中の開発および大規模改築の10%未満 <input type="radio"/> 該当しない。実施中の不動産資産の開発や大規模改築はない <p>(実施中の不動産の開発および大規模改築の件数ベース)</p>
PR 11.2	<p>組織の不動産の開発および大規模改築において、以下の ESG が通常検討され、モニタリングされているかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 物件選定における環境要件 <input type="checkbox"/> 物件開発における環境要件 <input type="checkbox"/> 持続可能な建築資材 <input type="checkbox"/> 節水要件 <input type="checkbox"/> エネルギー効率要件 <input type="checkbox"/> 現場での再生可能資源によるエネルギー生成 <input type="checkbox"/> 現場での廃棄物処理計画 <input type="checkbox"/> 現場での衛生安全管理システム <input type="checkbox"/> 建設請負業者によるサステナビリティ・ガイドラインの遵守 <input type="checkbox"/> レジリエントな建物設計およびオリエンテーション <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____
PR 11.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

PR 11		説明		
PR 11.1	<p>「実施中の」不動産の開発および大規模改築とは、報告年度に発生している不動産の開発および大規模改築を指します。</p> <p>GRESBの定義に従って、大規模改築は「建物の全床面積の50%を超える部分に影響を及ぼす、または、入居者の50%を超える人々の移転を必要とする建物の変更であり、大規模改築プロジェクトとは、報告期間中のいずれかの時期において改築中である建物をいいます」。</p> <p>実施中の不動産開発および大規模改築の件数に基づいて割合を決定してください。</p>			
PR 11.3	<p>組織がESG問題を不動産の開発および大規模改築にどのように組み入れているかなどが対象になります。例えば、以下を説明できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動産の開発および大規模改築はESGパフォーマンスの向上を目的としているかどうか マネージャー（該当する場合）は不動産のサステナビリティ・パフォーマンスの向上を主導する職務を担っているかどうか 進行中の不動産の開発および大規模改築プロジェクトの背景にある要因（例：投資家である顧客の需要、経済的利益、入居者の需要、将来の規制対策、既存の規制などの遵守） 請負業者向けESG基準が組織にあるかどうか、請負業者がこれらの基準を遵守していることをどのように確認するか 			
ロジック				
PR 11	[PR 11] は、[PR 08.2] で「不動産の開発および大規模改築に ESG 問題を考慮している」と報告した場合、適用されます。			
評価				
PR 11	最大スコア: ★ 6つ			
	指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細	
	PR 11.1			
	該当しない。実施中の不動産資産の開発や大規模改築はない	N/A		
	実施中の開発/大規模改築の0%または10%未満	○		
	実施中の開発/大規模改築の10 – 50%	★		
	実施中の開発/大規模改築の 50 – 90%	★★		
	実施中の開発/大規模改築の90%超	★★★		
	PR 11.2			
	ESG問題を考慮していない	○		
	1–2つのESG問題を考慮している	★		
	3–4つのESG問題を考慮している	★★		
	5つ以上のESG問題を考慮している。	★★★		

入居者とのエンゲージメント

PR 12	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
-------	-----------------------	-------------------	--------------------

PR 12	指標
PR 12.1	<p>報告年度において組織やプロパティマネジメント会社が ESG 問題についてエンゲージメントを行った不動産入居者の割合を明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 入居者の90%超 <input type="radio"/> 入居者の51～90% <input type="radio"/> 入居者の10～50% <input type="radio"/> 入居者の10%未満 <p>（入居者数ベース）</p>
PR 12.2	<p>以下の実務および分野の内、組織やプロパティマネジメント会社にとって入居者とのエンゲージメント活動の一部となっている主なものを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> サステナビリティに関する手引きを入居者に配布する <input type="checkbox"/> サステナビリティに対する認識を高めることを主眼とする入居者向けイベントを開催する <input type="checkbox"/> エネルギーや水資源の効率に関する研修を提供する <input type="checkbox"/> 廃棄物の最小化に関する研修を提供する <input type="checkbox"/> エネルギーや水資源使用、廃棄物の発生に関するフィードバックを提供する <input type="checkbox"/> 廃棄物の発生に関するフィードバックを提供する <input type="checkbox"/> 入居者の満足度調査を実施する <input type="checkbox"/> グリーンリースを提供する <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____
PR 12.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>
PR 12	説明
PR 12.1	<p>入居者とは、住居、オフィス、工業地その他に入居する人物またはグループを指します。本モジュールにおいては、入居者とはテナントを指します。例えば、入居者やテナントには200名の従業員がいる場合もあれば、5人が居住していることもあります。特定の入居者に200名の従業員がいたり、5人の居住者がいるかどうかにかかわらず、入居者につき1件のエンゲージメントとして数えてください。</p> <p>入居者数に基づいて割合を決定してください。</p>

投資後（モニタリングおよび積極的な保有）>>入居者とのエンゲージメント

PR 12.2	この指標のオプションは、2016 年 GRESB 評価の「ステークホルダーエンゲージメント」セクションの GRESB 指標 Q36 を補足するものです。		
PR 12.3	<p>組織またはプロパティマネジメント会社がESG問題に関し、入居者にどのように関与しているかを説明できます。この指標に含まれる事項の例:</p> <p>エンゲージメントの対象となる入居者を選定する方法</p> <p>入居者とコミュニケーションを取る方法</p> <p>組織は、入居者が占有する建物やスペースのサステナビリティ特性を的確に理解するよう、どのような方法で万全を図っているか</p> <p>組織と入居者の間で特定のESG問題に取り組むパートナーシップ契約が結ばれているかどうか</p> <p>不動産の種類(オフィス、小売店舗、工業など)によっては、入居者が運営面の支配権を有していることから、組織が一定の入居者に影響を及ぼしエンゲージメントを行うことが難しくなる場合があります。該当する場合は、この指標への回答でこうした状況を説明してください。透明性を確保するため、PR03でも投資している不動産の種類についての背景を説明する機会があります。</p>		
ロジック			
PR 12	[PR 12] は、[PR 08.2] で「不動産の入居者とのエンゲージメントに ESG 問題を考慮している」と報告した場合、適用されます。		
評価			
PR 12	最大スコア: ★ 3つ		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	入居者とエンゲージメントを行っていない、または、入居者の10%未満	○	
	入居者の10 – 50%	★	
	入居者の 50–90%	★★	
	入居者の90%超	★★★	

投資後（モニタリングおよび積極的な保有）>>入居者とのエンゲージメント

PR 13	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
-------	------------------	------------	-------------

PR 13	指標
PR 13.1	<p>報告年度におけるグリーンリースを使用した賃貸契約の割合、またはESG問題に言及した覚書（MoU）の割合を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 賃貸契約またはMoUの90%超 ○ 賃貸契約またはMoUの51～90% ○ 賃貸契約またはMoUの10～50% ○ 賃貸契約またはMoUの10%未満 ○ 賃貸契約またはMoUの0% ○ 該当しない。報告年度に締結した賃貸契約やMoUはなかった (賃貸契約またはMoUの件数ベース)
PR 13.2	<p>補足情報 [任意]</p>

PR 13	説明																		
PR 13.1	報告年度に締結された賃貸契約やMoUの総件数に基づいて割合を決定してください。																		
PR 13.2	これにはグリーンリースやMoUの事項が含まれます。																		
ロジック																			
PR 13	[PR 13] は、[PR 08.2] で「不動産の入居者とのエンゲージメントにESG問題を考慮している」と報告した場合、適用されます。																		
評価																			
PR 13	最大スコア: ★ 3つ																		
指標採点方法																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当しない。報告年度に締結した賃貸契約やMoUはなかった</td> <td>該当しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃貸契約またはMoUの0%または10%未満</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃貸契約またはMoUの10 – 50%</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃貸契約またはMoUの50 – 90%</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃貸契約または MoU の 90%超</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	該当しない。報告年度に締結した賃貸契約やMoUはなかった	該当しない		賃貸契約またはMoUの0%または10%未満	○		賃貸契約またはMoUの10 – 50%	★		賃貸契約またはMoUの50 – 90%	★★		賃貸契約または MoU の 90%超	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細																	
該当しない。報告年度に締結した賃貸契約やMoUはなかった	該当しない																		
賃貸契約またはMoUの0%または10%未満	○																		
賃貸契約またはMoUの10 – 50%	★																		
賃貸契約またはMoUの50 – 90%	★★																		
賃貸契約または MoU の 90%超	★★★																		

PR 13	定義
グリーンリース	<p>グリーンリースとは、不動産賃貸契約で、その条項または添付文書により、賃貸人、入居者または両者が持続可能な方法で責任を果たすことを規定したものです。両当事者は規定の詳細や持続可能な行動を奨励する手段を交渉しますが、通常は具体的なESG目標（例：エネルギー、水資源の利用および廃棄物処理）の達成に関連しています。グリーンリースの目的には、可能な限り持続可能な素材の使用や、賃貸人と入居者間の環境に関連するデータの共有が含まれることがあります。</p>
覚書(MoU)	<p>MoUでは、賃貸人と入居者が賃貸契約に記載される問題を協議するための正式なメカニズムを提供するもので、必ずしも、法的拘束力を持つ必要はありません。その意味で、MoUは、両当事者が例えば水資源やエネルギー利用の実績などに関してESGを考慮して取り組んでいく出発点の一つとなるものといえます。</p>

コミュニティとのエンゲージメント

PR 14	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
-------	------------------	------------	-------------

PR 14	指標
PR 14.1	<p>報告年度において、組織やプロパティマネジメント会社が ESG 問題についてコミュニティとエンゲージメントを行った不動産資産はどのくらいの割合であるかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 不動産資産の90%超 <input type="radio"/> 不動産資産の51～90% <input type="radio"/> 不動産資産の10～50% <input type="radio"/> 不動産資産の10%未満 <p>(不動産資産の件数ベース)</p>
PR 14.2	<p>組織やプロパティマネジメント会社は以下の分野や活動において、通常はコミュニティとエンゲージメントを行っているかどうかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コミュニティ向けESG教育プログラム <input type="checkbox"/> 公共スペースに関するESG強化プログラム <input type="checkbox"/> ESG問題に焦点を当てた調査およびネットワーキング活動 <input type="checkbox"/> コミュニティにおける雇用の創出 <input type="checkbox"/> 慈善団体や地域団体の支援 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____
PR 14.3	<p>補足情報 [任意]</p>

PR 14	説明
PR 14.1	不動産資産の件数に基づく割合を決定してください。
PR 14.2	この指標のオプションは、2016年GRESB評価の「コミュニティ」セクションのGRESB指標Q42を補足するものです。
PR 14.3	<p>コミュニティとのエンゲージメントには、組織外で多くの場合物件の周辺にいるステークホルダーとの関与が含まれ、一般的には公衆を対象とします。専用のコミュニティエンゲージメント・プログラムがある場合、コミュニティにおけるこれらのプログラムの目的や、一般的に実現を目指す結果を具体的に記入してください。</p> <p>説明には組織やプロパティマネジメント会社が以下をどのように行っているかが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ・エンゲージメント・プログラムの影響の測定およびモニタリング ● 組織のコミュニティとのエンゲージメントが大きな変化をもたらしたかどうか、組織やプロパティマネジメント会社がこれらの変化にどの程度影響したか <p>例えばオフィスなど、不動産の種類によって、コミュニティに影響を与え、関与する能力が限定される場合があります。該当する場合は、この指標への回答でこれを説明してください。透明性のため、OOモジュールは、投資した不動産種別についての状況を提供する機会を与えるものです。</p>

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)>>コミュニティとのエンゲージメント

ロジック			
PR 14	[PR 14] は、[PR 08.2] で「組織の不動産に関連するコミュニティとのエンゲージメントに ESG 問題を考慮している」と報告した場合、適用されます。		
評価			
PR 14	最大スコア: ★ 3 つ		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	コミュニティとエンゲージメントを行っていないまたは不動産資産の 10%未満	○	
	不動産資産の 10 – 50%	★	
	不動産資産の 50 – 90%	★★	
	不動産資産の 90%超	★★★	

セクション

成果および結果

PR 15	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1、2
-------	------------------	------------	---------------

PR 15	指標						
PR 15.1	<p>不動産投資における責任投資へのアプローチが財務業績やESGパフォーマンスにどのような影響を与えているかについて測定しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがファンドの財務業績に影響を与えているかどうかを測定している</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがESGパフォーマンスに影響を与えているかどうかを測定している</p> <p><input type="checkbox"/> 上記のいずれも測定していない</p>						
	<p>以下への影響を説明してください:</p> <table border="1"> <tr> <td>PR 15.2</td> <td>a) ファンドの財務業績</td> <td> <input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった </td> </tr> <tr> <td></td> <td>b) ファンドのESGパフォーマンス</td> <td> <input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった </td> </tr> </table>	PR 15.2	a) ファンドの財務業績	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった		b) ファンドのESGパフォーマンス	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった
PR 15.2	a) ファンドの財務業績	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった					
	b) ファンドのESGパフォーマンス	<input type="radio"/> プラス <input type="radio"/> マイナス <input type="radio"/> 影響はなかった					
PR 15.3	<p>こうした結果をどのように決定できるのかについて説明してください。</p>						

PR 15	説明
PR 15	<p>この指標の目的は、ESG問題の考慮および管理が財務業績およびESGパフォーマンスの両方に及ぼす好影響および悪影響を測定しているかどうかを捕捉することです。これらの影響は、投資前の活動（例：最良物件の選定）または投資後の取り組みなどから生じるものと考えられます。</p> <p>財務業績 営業費用の減少、純営業利益(NOI)の改善、既存テナントの維持、新規テナントの誘致、収益還元価値などが含まれます。尚、財務リスクの軽減もこのカテゴリに含まれます。</p> <p>ESGパフォーマンス これは、ファンドの運用期間にわたって、ESGリスクや改善機会の達成度の追跡に関わるものです。具体例には、節水やエネルギー効率の改善、廃棄物の削減、衛生・安全に関わるインシデントの減少などが挙げられます。尚、ESGリスクの削減もこのカテゴリに含まれます。</p>
PR 15.2	<p>ESG問題が財務リターン、リスクやESGパフォーマンスに及ぼす影響をどのように測定しているかを説明してください。二酸化炭素関連のベンチマーク比較を行っている場合は、それを報告することを強くお勧めします。</p> <p>組織が取り組んでいるESG問題（例：温室効果ガス排出量、水消費量など）およびそのパフォーマンスの評価に使用する財務測定基準を明示するとともに、組織のプロセスでこれらの測定基準を使用する際の実務上の問題があればそれらについても説明することをお勧めします。</p>

成果及び結果

ロジック			
PR 15	[PR 15.2] は、[PR 15.1]で「ESG 問題へのアプローチがファンドの財務業績または ESG パフォーマンスに影響を与えているかどうかを測定している」と報告すると、適用されます。		
評価			
PR 15	最大スコア: ★ 3 つ		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	上記のいずれも測定していない	○	
	財務業績またはESGパフォーマンスのいずれかを測定している	★★	
財務業績およびESGパフォーマンスの両方を測定している	★★★		

PR 16	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1,3
-------	------------------	----------	---------------

PR 16	指標																																
PR 16.1	報告年度の不動産投資に影響を与えたESG問題の例を挙げてください。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ESG問題</th> <th>影響を受けた不動産の種類</th> <th>投資の影響 (またはその可能性)</th> <th>投資に影響するために 実施する活動およびその 反応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	ESG問題	影響を受けた不動産の種類	投資の影響 (またはその可能性)	投資に影響するために 実施する活動およびその 反応																												
ESG問題	影響を受けた不動産の種類	投資の影響 (またはその可能性)	投資に影響するために 実施する活動およびその 反応																														
PR 16.2	補足情報 [任意]																																

PR 16	説明
PR 16.1	<p><i>ESG問題</i></p> <p>主な定義文書に記載されているESG問題の定義を参照してください。</p> <p><i>影響を受けた不動産の種類</i></p> <p>例: 工業用地、小売店舗、オフィス、住居、レジャー/ホテル</p> <p><i>投資物件への影響(またはその可能性)</i></p> <p>財務、評判、ESG/サステナビリティ関連の影響(または潜在的な影響)、ならびに、投資プロセスのどの段階でESG問題が確認されたか(例: 初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資判断またはモニタリングの段階)</p> <p><i>投資物件に影響を及ぼすために実施する活動およびその結果</i></p> <p>ここでは、組織やプロパティマネジメント会社のモニタリング活動および入居者やコミュニティのエンゲージメントの影響について説明することができます。</p> <p>提供いただく事例の数は、ESG問題を組織の投資プロセスにどの程度まで広くかつ深く組み入れているかにより必然的に変わってきます。少なくとも3件、最大で5件の例を挙げることを推奨します。事例を記載する際には、可能な限り、ESG問題をどのように組み入れているかを示すうえで組織が最も重要な例とみなすものを記載するようにして下さい。</p>

成果及び結果

例			
ESG問題	影響を受ける不動産の種類	投資物件に及ぼす影響 (または潜在的影響)	投資物件に影響を及ぼすために行っている活動およびその反響
CO2排出量	個人のテナントが入居する非商業用不動産	財務上の影響、これには、建物の改築費用や将来の建物運営費用などを含む(例:暖房やCO2排出量)	この結果、高度な環境基準に基づいた改築が決定された
洪水リスク	洪水多発地域として指定されている地域にある物件、定期的な物品供給に依存している物件であればさらに深刻度が増す	事業の中断の可能性があることに加えて、将来において保険対象とはならない恐れがあるため入居者にとって望ましいものではないことから需要が低下	洪水リスクの精度、環境関連省庁との連携、物件所在地の将来予測、洪水防止に係る将来計画。物件を引き続き追いかけるか、条件付で行うか、それとも撤退するかを決定した

2018年PRI報告フレームワーク 自己運用 – インフラ

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社...にご協力いただきました。

PRI Association

Registered office: 5th floor, 25 Camperdown Street
London, UK, E1 8DZ Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 3714 3220 W: www.unpri.org E: info@unpri.org



UNEP Finance Initiative
Changing finance, financing change



United Nations Global Compact

An investor initiative in partnership with UNEP Finance Initiative and UN Global Compact

本書を理解するために

PRI報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報を掲載しています。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連するPRIの原則など、各指標に関する重要な情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は任意です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、またはグループ化に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も任意です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織が他の指標に該当する場合、モジュール内の他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用されます。
コア評価項目		これらの指標は評価の中核部分を形成するものであり、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替となる実務を表しており、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標であり、組織の活動等を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを読み、指標が組織に該当することを確認してください。

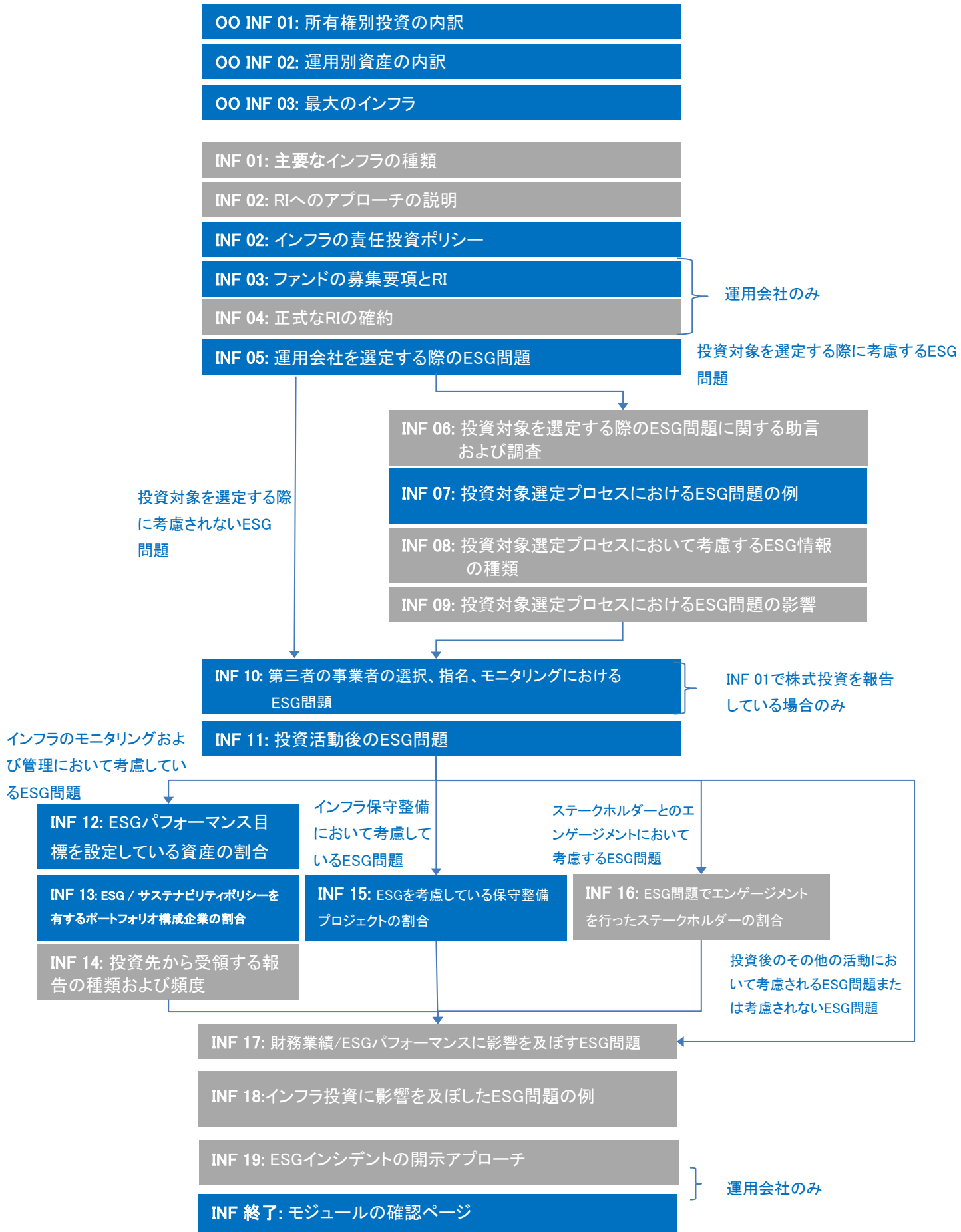
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告が可能な項目の事例など、サブ指標を正確に解釈するうえで指針となるものです。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する場合やその指標がそれ以降の指標に影響を及ぼすかどうかについて説明しています。ロジックボックスがない場合は、指標は必ず適用されますが、他の指標には影響を及ぼすことはありません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価方法の概要を記載しています。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される個々の用語の定義を説明しています。

目次

本書を理解するために	2
序文	5
改正の概要	5
インフラファンドの資金調達	8
投資前(投資対象の選択)	13
第三者のインフラ事業者の選定、指名およびモニタリング	23
投資後(モニタリングおよび積極的な保有)	26
概要	26
インフラのモニタリングおよび運営	28
インフラの保守整備	33
ステークホルダーとのエンゲージメント	35
成果および結果	37

モジュールの経路



序文

本モジュールでは、独立して、または他の投資家と共同で、非上場のエクイティを通じて、インフラストラクチャ(物理的な原資産および運営会社/特別目的会社)に直接投資する投資家からの情報を求めています。

PRIでは、2018年の報告年度において、この資産クラスへの投資に対するアプローチに関する詳細情報を収集しますが、このモジュールへの回答については、すべての署名者が任意で行うことになります。

ゼネラルパートナー/運用会社を選択することにより、あるいはそれらに代わって投資の意思決定も行うファンドオブファンズや非上場のインフラ事業者、開発会社への投資を通じて、非上場のインフラファンドに投資する投資家は、本モジュールではなく、委託 - 運用会社の選定、指名、モニタリングモジュールで報告してください。

インフラの事業者および開発会社の上場株式に投資している場合は、自己運用 - 上場株式の組み入れおよび自己運用 - 上場株式の積極的な保有モジュールで、他の上場株式の投資と同じように報告してください。

このモジュールは、インフラ投資対象の選定およびモニタリングにおけるESG問題を取り扱います。時に、「サステナビリティ」という用語が他のイニシアティブ、基準、規範その他によってインフラに関連して使用されています。インフラ投資におけるサステナビリティは、文脈や対象分野にもよりますが、一部または全部がESG問題と重複します。

本モジュールは主に以下の2つのセクションから構成されています。

- 投資前のプロセス。新規のインフラ投資に対し、組織が設定している初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資決定プロセス。
- 投資後のプロセス。インフラ投資のモニタリング、積極的な保有者活動および管理プロセスにおけるESG問題の考慮。インフラ資産に関連して組織が行う可能性がある活動を以下の3つの分野に分けています: インフラのモニタリングおよび運営、保守整備、ステークホルダーとのエンゲージメント。

改正の概要

報告フレームワークは2016年度からそれほど大きく変更されていません。ピアリング指標 [INF 01 - 03] は OO モジュールに移動され、以降の INF 指標は変更されました。

2017年度指標	改正の概要
INF 01 - INF 03	これらの指標はINF モジュールから OOに移動しました。INF 02の指標ステータスが変わりました。
INF 04 - INF 21	これらの指標は INF 01 - INF 18 に変更されました。
INF 22	この指標は INF モジュールから SG 19 に移動しました。
INF 23	この指標は INF 19 に変更されました。

概要

INF 01	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1-6
--------	------------------	----------	---------------

INF 01	指標
INF 01.1	組織が株式持分を所有するインフラにおける組織としての責任投資アプローチについてその概要を簡潔に説明してください。

INF 01	説明
INF 01	この指標により、組織が株式投資を行っているインフラに対する責任投資のアプローチを説明することができます。インフラへの直接投資についてのみ記載してください。組織に代わって他の運用会社が運用するインフラファンドへの投資は、委託 - 運用会社の選定、指名、モニタリングモジュールで捕捉します。
INF 01.1	これには、組織が保有するインフラ・ポートフォリオの特性(所有のレベル、インフラ管理会社の役割、インフラの種類、地理的分散、グリーンフィールドとブラウンフィールドの区別など)によって、組織がインフラ投資事業の運営や責任投資の実施に影響を及ぼす方法はどのような影響を受けるのかの説明を含めることができます。

INF 02	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1-6
--------	----------------	------------	---------------

INF 02	指標
INF 02.1	組織ではインフラの責任投資ポリシーを策定しているかどうかを明示してください。
	<input type="checkbox"/> 策定している <input type="checkbox"/> 策定していない
INF 02.2	ポリシーが一般に入手できる場合、そのURLを提供してください。
INF 02.3	補足情報 [任意]

INF 02	説明									
INF 02.1	ポリシー文書には様々な形式があり、時には原則やガイダンスとして言及されます。ポリシーは独立した文書である場合もあれば、組織の全体的な責任投資ポリシーの一部である場合もあります。									
INF 02.2	包括的アプローチモジュールで既にポリシー文書をリストしている場合でも、インフラポリシーに関する文書があればここにリストしてください。									
INF 02.3	組織内で運用されているインフラ投資を対象とする組織のポリシーについて説明してください。									
ロジック										
INF 02	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[02.1]への回答に基づいて評価されます。									
評価										
INF 02	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[02.1]への回答に基づいて評価されます。									
	指標採点方法									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「策定していない」</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「策定している」</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「策定していない」	◎		「策定している」	★★★	
	選択された回答	スコア・レベル	詳細							
	「策定していない」	◎								
「策定している」	★★★									
「策定していない」	◎									
「策定している」	★★★									

セクション

インフラファンドの資金調達

INF 03	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1,4,6
--------	----------------	------------	-----------------

INF 03	指標						
INF 03.1	<p>最新のファンドの募集要項(私募覚書(PPM)または同様の文書)が組織の責任投資に触れているかどうかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 触れている</p> <p><input type="checkbox"/> 触れていない</p> <p><input type="checkbox"/> 組織は資金調達をしないため、該当しない</p>						
INF 03.2	<p>ファンドの募集要項(私募覚書(PPM)または同様の文書)が組織の責任投資の以下の側面にどの程度触れているかを記載してください。</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント		<input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ		<input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ	
<input type="checkbox"/> 責任投資のポリシーとコミットメント							
<input type="checkbox"/> 投資前のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ							
<input type="checkbox"/> 投資後のプロセスにおけるESG問題へのアプローチ							
INF 03.3	<p>ファンドの募集要項(PPMまたは同様の文書)において、組織はインフラファンドの責任投資についてどのように触れているかを説明してください。</p> <p>[任意]</p>						
INF 03.4	<p>組織が資金を調達しない理由を説明してください。</p>						

INF 03	説明														
INF 03	<p>この指標は、自己運用投資家と委託投資家である顧客の関係が成立しているインフラファンドの資金調達プロセスを対象とします。特定ファンドについて直接投資家が発行したPPMまたは同様の文書は、受取人に対し、組織の責任投資に対するアプローチやESG問題の管理に関する概要を伝えるものです。</p> <p>この指標は、ゼネラルパートナーや直接的なファンド運用会社のみ適用されます。共同投資を行う資産保有者(AO)/リミテッド・パートナー(LP)には適用されません。</p> <p>この指標が組織に該当しても、組織が資金を調達しない場合、「組織は資金を調達しないため、該当しない」を選択してください。</p> <p>組織が資金を調達していても、報告年度に積極的に資金を調達していなかった場合は、通常のアプローチを最も表しているオプションを選択してください。一般原則として、これは組織が次回の資金調達でおそらくとられると思われるアプローチか、または最近の資金調達に含まれているアプローチです。</p>														
INF 03.3	<p>以下のような通常PPMに含まれている事項を挙げるができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポリシー(例:責任投資への言及および投資の全段階におけるESG問題の考慮) • 投資前(例:デューデリジェンスなどのプロセスやこれらにおけるESG問題の考慮) • 投資後(例:エグジットまでのポートフォリオ企業/資産のESG実施プログラム、達成度の追跡、ESG問題を検討する監査などのモニタリングプロセスを経た機会の特定) <p>最近発行されたPPMがある場合は報告してください。必ずしも報告年度でなくてもかまいません。</p>														
ロジック															
INF 03	<p>[INF 03.2] および [INF 03.3] は、[INF 03.1]で「触れている」と報告した場合、適用されます。</p> <p>[INF 03.4] は、[INF 03.1] で「触れていない」と報告した場合、適用されます。</p> <p>[INF 04] は、[INF 03.1]で「組織は資金調達をしないため、該当しない」と報告すると、適用されません。</p>														
評価															
INF 03	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は[03.1]および[03.2]への回答に基づいて評価されます。資産保有者やリミテッドパートナーはこの指標では評価されません。</p> <p>「組織は資金を調達しないため、該当しない」と報告する場合、この指標が組織のスコアの一部を構成することはありません。</p> <table border="1" data-bbox="368 1713 1449 1998"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 1713 941 1765">指標採点方法</th> <th data-bbox="941 1713 1158 1765">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1158 1713 1449 1765">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1765 941 1825">選択された回答</td> <td data-bbox="941 1765 1158 1825"></td> <td data-bbox="1158 1765 1449 1825"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1825 941 1915">ファンドの募集要項またはPPMは上記のいずれにも触れていない</td> <td data-bbox="941 1825 1158 1915">◎</td> <td data-bbox="1158 1825 1449 1915"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1915 941 1998">投資前または投資後にポリシーから一つのセクションを選択</td> <td data-bbox="941 1915 1158 1998">★</td> <td data-bbox="1158 1915 1449 1998"></td> </tr> </tbody> </table>			指標採点方法	スコア・レベル	詳細	選択された回答			ファンドの募集要項またはPPMは上記のいずれにも触れていない	◎		投資前または投資後にポリシーから一つのセクションを選択	★	
指標採点方法	スコア・レベル	詳細													
選択された回答															
ファンドの募集要項またはPPMは上記のいずれにも触れていない	◎														
投資前または投資後にポリシーから一つのセクションを選択	★														

インフラファンドの資金調達

	投資前または投資後にポリシーから二つのセクションを選択	★★	
	投資前または投資後にポリシーから三つのセクション全てを選択	★★★	

INF 03	定義
ファンド募集要項または 私募覚書 (PPM)	<p>ファンド募集要項または私募覚書 (PPM) では、潜在的な投資家が企業やその投資戦略に関する広範な情報や投資案件の仮募集条件の概要を知ることができます。これらの種類の文書は、「目論見書」としても知られています。企業がファンドの提供を通じて資金を調達したい場合、潜在的なリミテッドパートナーや投資家に対してファンド募集要項または PPM を発行します。</p>

インフラファンドの資金調達

INF 04	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 4
--------	------------------	------------	-------------

INF 04	指標
INF 04.1	<p>顧客が要求した場合、組織はファンドの組成契約、リミテッドパートナーシップ契約(LPA)、補足文書の中で、インフラの責任投資を正式に確約しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で、常に責任投資を正式に確約している</p> <p><input type="checkbox"/> ほとんどのケースで、ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式に確約している</p> <p><input type="checkbox"/> 一部のケースでのみ、ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式に確約している</p> <p><input type="checkbox"/> ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式に確約していない</p> <p><input type="checkbox"/> 顧客が要求しないため、ファンド組成契約、LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式に確約していない</p>
INF 04.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

INF 04	説明
INF 04	<p>この指標は、ゼネラルパートナーや直接的なファンド運用会社のみ適用されます。共同投資を行う資産保有者(AO)/リミテッド・パートナー(LP)には適用されません。</p>
INF 04.1	<p><i>ファンド組成契約、リミテッドパートナーシップ契約(LPA)</i></p> <p>投資家が責任投資の実施やESG問題の考慮に対する正式な確約を要求し、それがファンド組成契約、リミテッドパートナーシップ契約、補足文書に含まれることがあります。また、そのような確約が投資戦略、ガイドライン、マニフェスト中に、専用の段落を設けて、あるいは文書全体に統合される形で含まれる場合もあります。後者のアプローチではファンド組成契約、LPA、補足文書を別途作成する必要がなくなります。</p> <p>投資家/LPから最近要請されて署名したファンド組成契約、LPA、補足文書があれば報告してください。必ずしも報告年度でなくてもかまいません。</p> <p>正式な確約には、実施に関して様々な水準があることに注意してください。責任投資ポリシーに言及されていても、ESG問題が業務プロセスで実施されるわけではありません。</p>
INF 04.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 組織の責任投資のコミットメントの詳細 • 責任投資およびESG問題に関するポリシーの採用および自己運用投資家と委託投資家の協力 • インフラの自己運用投資家自身の提案、または委託投資家の意向のいずれかに基づく特定分野への投資の除外 • 投資の前後の両方の段階(エグジットを含む)で責任投資に対するアプローチやESG問題の考慮

インフラファンドの資金調達

	<p>を実施するためのプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的なESG問題(気候変動、報酬、その対処法(必要に応じて))のリスト ESG問題に関連するポートフォリオ企業の取り組み ファンドの運用期間中、ESG問題がどのように報告されるか ポートフォリオ構成企業におけるインシデントの可能性をいつ、どのように投資家に伝えるか <p>包括的アプローチモジュールで説明されている他のメカニズムによってインフラの責任投資に正式に確約している場合、その報告された情報をこの指標に含めてください。</p>																		
ロジック																			
INF 04	<p>本セクション(指標[06]および[07])は、ファンドの資金調達や販売促進に関連する責任投資およびESGの組み入れに関するものです。従って、このセクションは資産運用会社のみ適用されます。共同投資を行う資産保有者/リミテッドパートナーには適用されません。</p> <p>[INF 04] は、[INF 03.1]で「組織は資金調達をしないため、該当しない」と報告すると、適用されません。</p>																		
評価																			
INF 04	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は[04.1]への回答に基づいて評価されます。顧客が責任投資に対する確約を求めてこない組織はこの指標では評価されず、分母から除外されます。</p> <p>資産保有者やリミテッドパートナーはこの指標では評価されません。</p>																		
指標採点方法																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>顧客は、インフラ投資において責任投資を正式にコミットメントするよう要求していない</td> <td>該当しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式にコミットメントしていない</td> <td>□</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一部のケースのみで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほとんどのケースで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LPAまたは補足文書の中で、常に、責任投資を正式にコミットメントしている</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	顧客は、インフラ投資において責任投資を正式にコミットメントするよう要求していない	該当しない		LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式にコミットメントしていない	□		一部のケースのみで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている	★		ほとんどのケースで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている	★★		LPAまたは補足文書の中で、常に、責任投資を正式にコミットメントしている	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細																	
顧客は、インフラ投資において責任投資を正式にコミットメントするよう要求していない	該当しない																		
LPAまたは補足文書の中で、責任投資を正式にコミットメントしていない	□																		
一部のケースのみで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている	★																		
ほとんどのケースで、LPAまたは補足文書の中で責任投資を正式にコミットメントしている	★★																		
LPAまたは補足文書の中で、常に、責任投資を正式にコミットメントしている	★★★																		

セクション

投資前(投資対象の選択)

INF 05	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 1
--------	----------------	--------------	-------------

INF 05	指標
INF 05.1	組織がインフラ投資先を選択する際、通常、ESG問題を組み入れているかどうかを記載してください。
	<input type="checkbox"/> 組み入れている <input type="checkbox"/> 組み入れていない
INF 05.2	ESG問題をインフラ投資の選択に組み入れる際のアプローチを説明してください。

INF 05	説明
INF 05	このゲートウェイ指標により、組織が投資先を選択する際にESG問題を組み入れているかどうかを報告できます。組織のプロセスの詳細は以降の指標で捕捉します。
INF 05.2	<p>投資決定に至るまでの様々な段階における組織のアプローチを説明してください。</p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資前段階におけるESG問題の組み入れは顧客のマネジメントによって決定されるかどうか、決定される場合はどのようにされるか 長短期的に、ESG問題が投資前プロセスにどのように組み入れられているか 下方リスクを査定し、価値を創出する機会を評価するために、どのようにESG問題を使用しているか インフラの種類や地域によるESG問題の考慮の度合いの違い 投資戦略間、または投資戦略内におけるESG問題へのアプローチの違い <p>範囲</p> <p>この指標は、投資前の意思決定プロセスの全段階(初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資決定)を対象とします。</p>

投資前(投資対象の選択)

ロジック	
INF 05	[INF 05.2] は、[INF 05.1]で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。 [INF 06 - INF 09] は、[INF 05.1]で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。
評価	
INF 05	この指標は評価されませんが、「組み入っていない」と回答すると、投資前セクション全体のスコアがゼロになります。

INF 05	定義
ESGの組み入れ	主な定義 文書を参照してください。

投資前(投資対象の選択)

INF 06	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1,4
--------	------------------	----------	---------------

INF 06	指標						
INF 06.1	<p>組織がESG問題をインフラの投資選定プロセスに組み入れる際、組織内や組織外から入手した助言や調査を通常使用しているかどうかを記載してください。</p> <table border="1"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 組織内のスタッフ </td> <td> <input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____ <input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____ <input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____ </td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 組織外のリソース </td> <td> <input type="checkbox"/> 環境関連のアドバイザー <input type="checkbox"/> 社会関連のアドバイザー <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスのアドバイザー <input type="checkbox"/> 規制や法務のアドバイザー <input type="checkbox"/> その他(アドバイザー/職務の種類を記入してください) _____ </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> ESG問題について組織内または組織外の助言は使用しない </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 組織内のスタッフ	<input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____ <input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____ <input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____	<input type="checkbox"/> 組織外のリソース	<input type="checkbox"/> 環境関連のアドバイザー <input type="checkbox"/> 社会関連のアドバイザー <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスのアドバイザー <input type="checkbox"/> 規制や法務のアドバイザー <input type="checkbox"/> その他(アドバイザー/職務の種類を記入してください) _____	<input type="checkbox"/> ESG問題について組織内または組織外の助言は使用しない	
<input type="checkbox"/> 組織内のスタッフ	<input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____ <input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____ <input type="checkbox"/> 具体的な役職を記入してください _____						
<input type="checkbox"/> 組織外のリソース	<input type="checkbox"/> 環境関連のアドバイザー <input type="checkbox"/> 社会関連のアドバイザー <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスのアドバイザー <input type="checkbox"/> 規制や法務のアドバイザー <input type="checkbox"/> その他(アドバイザー/職務の種類を記入してください) _____						
<input type="checkbox"/> ESG問題について組織内または組織外の助言は使用しない							
INF 06.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>						

INF 06	説明
INF 06.1	<p><i>組織内のスタッフ</i></p> <p>組織内のスタッフには、責任投資活動のモニタリングや実施に責任を負う人が含まれます。</p> <p><i>組織外のリソース</i></p> <p>組織外のリソースは、潜在的なリスクや価値を創造する機会を特定するため、ESG問題についての助言、デューデリジェンス、分析を提供します。「具体的に記入してください」という欄に例を挙げてください。</p> <p><i>ESG問題の組み入れ</i></p> <p>ESG問題やそれについての情報を投資前プロセス(初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資決定)に考慮した戦略、プロセス、活動を指します。</p>
INF 06.2	<p>組織内および組織外(該当する場合)のスペシャリスト間の責任の分担、調査プロセスに関与する以下のようなアドバイザーやスペシャリストの種類を報告できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 法務顧問 • エンジニア

投資前(投資対象の選択)

	<ul style="list-style-type: none">取得に関する助言 <p>また、上記の者が所在地、インフラの種類、新規および既存のインフラ案件、地域の規制に基づいた助言を提供しているかどうかも報告できます。</p> <p>助言や調査を提供する個人や組織の名前を開示する必要はありませんが、組織の種類を記載することが望まれます(例: 大学、インフラコンサルタント)。</p>
.ロジック	
.INF 06	[INF 06 – INF 09] は、[INF 05.1]で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。

投資前(投資対象の選択)

INF 07	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 1.3
--------	----------------	------------	---------------

INF 07	指標	
INF 07.1	組織の投資選定プロセスにおいてE / S / G問題の内どの問題が主として考慮されているかを明示するとともに、問題毎に典型的な例を3つまで挙げてください。	
	ESG問題	ESGの各問題について、典型的な例を3つまで挙げてください
	□ E(環境)	
	□ S(社会)	
□ G(ガバナンス)		
INF 07.2	補足情報 [任意]	

INF 07	説明
INF 07.1	<p>ESG問題は、セクター、ポートフォリオ構成企業、市場などによって異なります。さらに、法管轄地域ごとにESG問題に関して異なる法規制が存在します。この指標の目的は、関連するESG問題を投資の選定プロセスにおいて考慮するかどうかを捕捉することです。組織のアプローチや事業を展開している地域を検討し、最も典型的なESG問題であると考えられるものだけをここにリストしてください。</p> <p>ESGの各問題につき報告開示義務がある例は1つだけです(右側の欄)。ESGの各問題の2行目以降は自主的な報告開示です。</p>

投資前(投資対象の選択)

<p>INF 07.1</p>	<p>以下はESG問題の一例です。これらの問題はすべてのケースに関連するわけではなく、関連する可能性のある問題の包括的なリストではありません。</p> <p><i>E(環境)</i></p> <p>景観、騒音、エネルギーの生成・消費および効率(従来型 + 再生可能)、温室効果ガス排出、水消費、廃棄物の発生、室内空気の質、洪水や汚染、土地利用、生態系の多様性/生態学、建築資材、輸送の代替手段。</p> <p><i>S(社会)</i></p> <p>公衆安全、事故率、障害者のアクセス、セキュリティ、資産を管理する労働者の適正賃金、調達ポリシー(または同様のもの)の労働基準、低中所得者向け住居、社会事業のパートナー化、コミュニティ開発。</p> <p><i>G(ガバナンス)</i></p> <p>役員の福利厚生や報酬、賄賂や汚職、株主構造および権利、企業倫理、取締役会の構造および構成員、社外取締役、プロセス(例:環境管理システム)、リスク管理(例:各種規制およびレピュテーションリスク)、告発スキーム、株主との対話、ロビー活動(例:基準および認証)、情報開示(例:パフォーマンスまたはベンチマーク)。このカテゴリには、環境と社会の両方の問題に対する企業戦略の影響と戦略の実施方法を含むことがあります。</p>																	
<p>INF 07.2</p>	<p>所在地、セクターや法管轄地域の種類との関連など、投資選択プロセスにおいて組織が考慮するESG問題に関する情報の詳細を記載してください。</p>																	
<p>ロジック</p>																		
<p>INF 07</p>	<p>[INF 07] は、[INF 05.1]で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。</p>																	
<p>評価</p>																		
<p>INF 07</p>	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[07.1]への回答に基づいて評価されます。</p> <p>指標採点方法</p> <table border="1" data-bbox="367 1429 1441 1812"> <thead> <tr> <th data-bbox="367 1429 849 1496">選択された回答</th> <th data-bbox="849 1429 1123 1496">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1123 1429 1441 1496">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="367 1496 849 1570">いずれのESG問題も考慮していない</td> <td data-bbox="849 1496 1123 1570">□</td> <td data-bbox="1123 1496 1441 1570"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="367 1570 849 1659">E / S / G問題のいずれかについて一つの問題を考慮している</td> <td data-bbox="849 1570 1123 1659">★</td> <td data-bbox="1123 1570 1441 1659"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="367 1659 849 1749">E / S / G問題のいずれかについて二つの問題を考慮している</td> <td data-bbox="849 1659 1123 1749">★★</td> <td data-bbox="1123 1659 1441 1749"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="367 1749 849 1812">E / S / G 問題の全てを考慮している</td> <td data-bbox="849 1749 1123 1812">★★★</td> <td data-bbox="1123 1749 1441 1812"></td> </tr> </tbody> </table>			選択された回答	スコア・レベル	詳細	いずれのESG問題も考慮していない	□		E / S / G問題のいずれかについて一つの問題を考慮している	★		E / S / G問題のいずれかについて二つの問題を考慮している	★★		E / S / G 問題の全てを考慮している	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細																
いずれのESG問題も考慮していない	□																	
E / S / G問題のいずれかについて一つの問題を考慮している	★																	
E / S / G問題のいずれかについて二つの問題を考慮している	★★																	
E / S / G 問題の全てを考慮している	★★★																	

投資前(投資対象の選択)

INF 08	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1 - 3
--------	------------------	------------	-----------------

INF 08	指標
INF 08.1	<p>インフラの投資選定プロセスにおいて組織が主としてどのような種類のESG情報を考慮しているかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 対象とするインフラ資産/企業の未調整のデータ <input type="checkbox"/> 同様のインフラ資産のベンチマーク/格付け <input type="checkbox"/> セクターレベルデータ/ベンチマーク <input type="checkbox"/> 国レベルデータ/ベンチマーク <input type="checkbox"/> 報告基準、インフラセクターの規範、認証 <input type="checkbox"/> 国際的イニシアティブ、宣言または基準 <input type="checkbox"/> ステークホルダーとのエンゲージメント(例: 請負業者およびサプライヤー) <input type="checkbox"/> 組織外のソースからの助言 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない
INF 08.2	<p>補足情報 [任意]</p>

投資前(投資対象の選択)

INF 08	説明		
INF 08.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 頻繁に使用するESG問題の情報源 組織内で使用する情報源と、組織外のアドバイザーが使用する情報源の間に違いがあるかどうか 投資選択プロセスで考慮するESG情報の記録を保持しているかどうか 		
ロジック			
INF 08	[INF 08] は、[INF 05.1]で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。		
評価			
INF 08	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[08.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「この情報を追跡していない」	□	
	1-2つを選択	★	「その他」を選択した場合には含めて下さい
	3-4つを選択	★★	「その他」を選択した場合には含めて下さい
4つより多く選択	★★★	「その他」を選択した場合には含めて下さい	

投資前(投資対象の選択)

INF 09	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1
--------	------------------	------------	-------------

INF 09	指標
INF 09.1	<p>報告年度に、ESG問題がインフラ投資の選定プロセスに影響を及ぼしたかどうかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題はリスクや価値創出機会の洗い出しに役立った</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題によって投資案件を中止することになった</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> この潜在的な影響については追跡していない</p>
INF 09.2	<p>報告年度に、ESG問題がインフラ投資のディールストラクチャリング・プロセスにどう影響したかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は投資を提供する価格や投資に支払う価格に影響を及ぼした</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は株主間契約、購入契約、融資特約の条件に影響を及ぼした</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題は考慮されたが、ディールストラクチャリング・プロセスには影響しなかった</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p><input type="checkbox"/> この潜在的な影響については追跡していない</p>
INF 09.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

INF 09	説明
INF 09.3	<p>ここでは個別案件の詳細や個々の特性を報告するのではなく、様々な投資前プロセスにおける影響の測定、分析、結論を一般化することが推奨されています。具体的な例はINF18で提供することができます。</p> <p>「ESG問題は考慮されたが、投資選定プロセスには影響しなかった」とは、ESG問題が特定されなかった場合、あるいは投資選定にESG問題が考慮されたが、重大と見なされる閾値を下回ると考えられたため、投資に影響を与えなかった場合を指します。</p>
ロジック	
INF 09	[INF 09] は、[INF 05.1]で「組み入れている」と報告した場合、適用されます。
評価	
INF 09	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[09.1]への回答に基づいて評価されます。</p>

投資前(投資対象の選択)

指標採点方法			
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	INF 09.1およびINF 09.2において「この潜在的な影響については追跡していない」.	□	
	INF 09.1またはINF 09.2において一つを選択	★	「その他」を選択した場合には含めて下さい
	INF 09.1およびINF 09.2において少なくとも一つを選択	★★	
	INF 09.1およびINF 09.2において少なくとも3つを選択	★★★	

セクション

第三者のインフラ事業者の選定、指名およびモニタリング

INF 10	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 4
--------	----------------	------------	-------------

INF 10	指標	
INF 10.1	組織が第三者の事業者の選択、指名やモニタリングにおいてESG問題を含めているかどうかを記載してください。	
	<input type="checkbox"/> 含めている	<input type="checkbox"/> 含めていない
INF 10.2	組織が第三者の事業者の選択、指名、モニタリングにESG問題を含めているかどうかを記載してください。	
	<input type="checkbox"/> 第三者の事業者の選択プロセスにESG問題を組み入れている	<input type="checkbox"/> すべての第三者の事業者
		<input type="checkbox"/> 大半の第三者の事業者
		<input type="checkbox"/> 一部の第三者の事業者
	<input type="checkbox"/> 第三者の事業者を指名する際の契約要件にESG問題が含まれている	<input type="checkbox"/> すべての第三者の事業者
		<input type="checkbox"/> 大半の第三者の事業者
<input type="checkbox"/> 一部の第三者の事業者		
<input type="checkbox"/> 第三者の事業者のモニタリングにESGに関する責任および実施を含む	<input type="checkbox"/> すべての第三者の事業者	
	<input type="checkbox"/> 大半の第三者の事業者	
	<input type="checkbox"/> 一部の第三者の事業者	
INF 10.3	組織が設定している第三者の事業者の選定、指名およびモニタリングのプロセス・手法について簡潔に説明してください	
	[任意]	
INF 10.4	第三者の事業者が組織のインフラ投資のESG問題の管理にどのように貢献しているかを説明してください。	
	[任意]	

第三者のインフラ事業者の選定、指名およびモニタリング

INF 10	説明
INF 10	このセクションは、組織がインフラ投資にエクイティの持分を保有し、第三者の事業者、すなわちOOで報告するように、組織が所有権を保有するインフラ資産のために経営と運営のスタッフを自社内に有している組織にインフラの運営を委託している場合にのみ該当します。社内チームや組織のポートフォリオ企業がインフラ資産の運営を管理する場合、この指標は適用されません。一部のインフラ資産を組織内で管理し、他を外部に委託している場合は、外部に運用を委託している資産についてのみ報告してください。
INF 10.2	大半とは第三者の事業者の50%以上、一部とは第三者の事業者の50%未満を指します。第三者の事業者の数に応じて各行の割合を決定してください。
INF 10.3	<p><i>第三者の事業者の選択</i></p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理会社の選択プロセスの構成 <p><i>第三者の事業者の指名</i></p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 契約に記載されるESGの責任の種類、実施要件、測定 • ESG問題に正式に合意した経緯(該当する場合) <p><i>第三者の事業者のモニタリング</i></p> <p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • インフラ資産の運営を管理する組織との通常のやりとり • 組織が現地を定期的に訪問しているかどうか • 組織と第三者の事業者のやりとりにESGイニシアティブに関する協議がどの程度含まれているか • 組織が第三者の事業者をモニタリングする際、インフラ管理会社/事業者による違いがあるかどうか • インフラ管理会社/事業者のESG問題に基づいたパフォーマンスの評価報奨システムがあるかどうか
INF 10.4	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 環境や社会問題の対象範囲などのサービスの種類
ロジック	
INF 10	<p>[INF 10] は、[OO INF 02.1]で、組織が選任した第三者事業者、または所有している企業に、インフラ資産の一部を組織が運用させていると報告した場合、適用されます。</p> <p>[INF 10.2]、[INF 10.3] および [INF 10.4] は、[INF 10.1]で「含めている」と報告した場合、適用されます。</p>

第三者のインフラ事業者の選定、指名およびモニタリング

評価			
INF 10	最大スコア: ★ 9つ		
	この指標は、[10.1]および[10.2]への回答に基づいて評価されます。第三者の事業者を使用しない組織はこの指標では評価されません。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	INF 10.1 - 選定		
	選定プロセスでESG問題を考慮していない	◎	
	「一部の第三者の事業者」	★	
	「大半の第三者の事業者」	★★	
	「すべての第三者の事業者」	★★★	
	INF 10.1 - 指名する際の契約要件		
	契約要件でESG問題を考慮していない	◎	
	「一部の第三者の事業者」	★	
	「大半の第三者の事業者」	★★	
	「すべての第三者の事業者」	★★★	
	INF 10.1 - モニタリング		
	モニタリングプロセスでESG問題を考慮していない	◎	
	「一部の第三者の事業者」	★	
	「大半の第三者の事業者」	★★	
	「すべての第三者の事業者」	★★★	

セクション
投資後(モニタリングおよび積極的な保有)

概要

INF 11	指標のステータス 必須	目的 ゲートウェイ	原則 PRI 2
--------	----------------	--------------	-------------

INF 11	指標
INF 11.1	<p>組織のインフラ資産の投資後の活動に関連して、組織や事業者がESG問題を考慮しているかどうかを明示してください。</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 考慮している <input type="checkbox"/> 考慮していない </p>
INF 11.2	<p>組織のインフラ資産の投資後の以下の活動に関連して、組織や事業者がESG問題をどのように考慮しているかを明示してください。</p> <p> <input type="checkbox"/> インフラのモニタリングおよび管理においてESG問題を考慮している <input type="checkbox"/> インフラの保守整備においてESG問題を考慮している <input type="checkbox"/> 組織のインフラに関連するステークホルダーとのエンゲージメントにESG問題を考慮している <input type="checkbox"/> その他の投資後の活動にESG問題を考慮している(具体的に記入してください_____) </p>
INF 11.3	<p>組織のインフラ投資の投資後の活動において組織や事業者がESG問題をどのように考慮しているかを説明してください。</p> <p>[任意]</p>

INF 11	説明
INF 11	この指標は、インフラを継続的にモニタリングまたは管理するプロセスや活動におけるESG問題の考慮に関するものです。
INF 11.2	<p>インフラ保守整備</p> <p>「インフラ保守整備」と言う用語は、修繕、復旧、改修、アップグレードする業務を指します。</p> <p>組織の資産の保守整備においてESG問題に対処するポリシーや手続きがあっても、報告年度にインフラ資産の保守整備を実施している資産がなかったためにそれを適用しなかった場合でも、「インフラ保守整備にESG問題を考慮している」を選択してください。</p>

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)>>概要

INF 11.3	<p>様々な分野や関連する活動においてESG問題をどのように考慮しているかについて、概要を説明できません。例えば、組織やインフラ事業者、共同投資家がインフラ投資のモニタリングや実施の様々な部分に主な責任を負っているかどうかを説明できます。組織が少数持分を所有する投資家である場合、資産の他の投資家やインフラ事業者がそのモニタリングおよび管理プロセスや活動においてESG問題を考慮することに組織がどのように影響を及ぼしているかを説明することができます。取引構造とファンドのガバナンスにより、コミュニティにエンゲージメントを実行できない場合があります(例:組織が資産保有者である場合など)。</p> <p>また、これらの活動の運営プログラム、計画、長短期的な目標を捕捉し、説明する具体的なガイドラインがあるかどうかも説明できます。</p>
ロジック	
INF 11	<p>[INF 12 - INF 14] は、[INF 11.2] で「インフラのモニタリングおよび管理においてESG問題を考慮している」を選択すると、適用されます。</p> <p>[INF 11.1] で「考慮していない」(投資後活動においてESG問題を考慮していない)と報告すると、[INF 12 - INF 16] は、適用されません。</p>
評価	
INF 11	<p>この指標は評価されませんが、[11.1]で「考慮していない」と回答すると、投資後セクション全体のスコアがゼロになります。</p> <p>[11.2]では、「インフラのモニタリングおよび運営」、「インフラの保守整備」、「ステークホルダーとのエンゲージメント」でESGを考慮しないと報告すると、そのサブセクションのスコアはゼロになります。</p>

INF 11	定義
ステークホルダーとのエンゲージメント	組織、インフラの事業者、共同投資家、その他の様々なステークホルダーと、組織のインフラ資産に関するESG問題を知らせる、協議する、または影響を与える目的で直接やり取りすることを指します。

インフラのモニタリングおよび運営

INF 12	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

INF 12	指標		
INF 12.1	報告年度のインフラ資産の中で、組織や事業者が投資のモニタリングにESG実績を組み入れた割合を記載してください。		
	<input type="checkbox"/> インフラ資産の90%超 <input type="checkbox"/> インフラ資産の51～90% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10～50% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10%未満 (インフラ資産の件数ベース)		
INF 12.2	組織や事業者が通常目標(KPIなど)を設定し、さらにモニタリングしているESG問題を記載し、問題別に例を挙げてください。		
	ESG問題	問題別に目標の具体例を3つまで挙げてください	
	<input type="checkbox"/> E(環境)		
	<input type="checkbox"/> S(社会)		
<input type="checkbox"/> G(ガバナンス)			
	<input type="checkbox"/> 目標を設定したり、モニタリングしていない		
INF 12.3	補足情報 [任意]		

INF 12	説明																				
INF 12	この指標は、インフラ資産を積極的にモニタリングする際の、ESG実績に対するアプローチを捕捉することを目的としています。実施されるモニタリング活動の種類は、取締役会や経営陣の個人的な関与からポートフォリオ企業の報告書に記載されるESG情報の検討まで多岐にわたります。																				
INF 12.1	<p><i>取締役就任中ESG実績をモニタリングする</i></p> <p>企業の取締役であり、ESG問題を考慮する。経営陣との話し合いや報告書の要求はモニタリングとみなされます。取締役であって、ESG問題を推進していない、報告書を検討していない、議論に参加していない場合は、モニタリングとして報告しないでください。</p> <p>インフラ資産の合計件数に基づく割合を決定してください。</p>																				
INF 12.2	<p>ESG問題は、セクター、ポートフォリオ企業、市場などによって異なります。この指標では、ポートフォリオ企業/投資先に関連するどのESG問題について目標を設定しモニタリングしているかについての情報を求めます。例えば、環境の目標には水資源の質およびCO2排出量などがあります。</p> <p>ESGの各問題につき報告義務がある例は1つだけです(右側の欄)。ESGの各問題の2行目以降は自主的な報告・開示となります。</p>																				
INF 12.3	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ESG問題をどのようにして継続的にモニタリングしたか、投資後およびエグジット前に、関連リスクや機会が発生すると予想していた場合には、ESG問題に対する組織のアプローチは異なっていたかどうか インフラセクター、地域および戦略によってアプローチはどのように異なるか 経営陣および取締役会とのコミュニケーションの頻度および種類 企業が期待されるESG実績を上げない場合、エグジットは選択肢として可能かどうか 																				
ロジック																					
INF 12	[INF 12] は、[INF 11.2] で「インフラのモニタリングおよび管理においてESG問題を考慮している」を選択すると、適用されます。																				
評価																					
INF 12	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[12.1]への回答に基づいて評価されます。</p> <p>指標採点方法</p> <table border="1" data-bbox="363 1630 1445 2029"> <thead> <tr> <th data-bbox="363 1630 847 1697">選択された回答</th> <th data-bbox="847 1630 1129 1697">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1129 1630 1445 1697">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 1697 847 1765">INF 12.1</td> <td data-bbox="847 1697 1129 1765"></td> <td data-bbox="1129 1697 1445 1765"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1765 847 1832">インフラ投資の0%または10%未満</td> <td data-bbox="847 1765 1129 1832">□</td> <td data-bbox="1129 1765 1445 1832"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1832 847 1899">インフラ投資の10 – 50%</td> <td data-bbox="847 1832 1129 1899">★</td> <td data-bbox="1129 1832 1445 1899"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1899 847 1966">インフラ投資の50 – 90%</td> <td data-bbox="847 1899 1129 1966">★★</td> <td data-bbox="1129 1899 1445 1966"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1966 847 2029">インフラ投資の90%超</td> <td data-bbox="847 1966 1129 2029">★★★</td> <td data-bbox="1129 1966 1445 2029"></td> </tr> </tbody> </table>			選択された回答	スコア・レベル	詳細	INF 12.1			インフラ投資の0%または10%未満	□		インフラ投資の10 – 50%	★		インフラ投資の50 – 90%	★★		インフラ投資の90%超	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細																			
INF 12.1																					
インフラ投資の0%または10%未満	□																				
インフラ投資の10 – 50%	★																				
インフラ投資の50 – 90%	★★																				
インフラ投資の90%超	★★★																				

INF 13	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

INF 13	指標
INF 13.1	組織がESG/サステナビリティに関連するポリシー(または同様のガイドライン)を有するインフラ投資先の割合を追跡しているかどうかを記載してください。
	<input type="checkbox"/> 追跡している <input type="checkbox"/> 追跡していない
INF 13.2	組織がESG/サステナビリティに関連するポリシー(または同様のガイドライン)を有するインフラ投資先の割合を記載してください。
	<input type="checkbox"/> インフラ投資先の90%超 <input type="checkbox"/> インフラ投資先の51~90% <input type="checkbox"/> インフラ投資先の10~50% <input type="checkbox"/> インフラ投資先の10%未満 <input type="checkbox"/> インフラ投資先の0% (インフラ投資先の件数ベース)
INF 13.3	組織や事業者がインフラ投資先のESG問題の管理にどのように貢献しているかを説明してください。 [任意]

INF 13	説明
INF 13.2	<p>インフラ投資先の件数に基づく割合を決定してください。</p> <p>ESG/サステナビリティポリシーとは、戦略、目標、運営、報告実務などにおけるESG問題にインフラ投資先のアプローチ方法に関する独立した、または統合された全体的な声明を指します。そのようなポリシーでは通常、ESG問題を幅広く対象とし、それに対する組織の対応方法の概要を示しています。インフラ投資先では、他のポリシー(またはガイドライン)に関連するESG問題についてのガイドラインがあることがあります。</p> <p>適切なESG/サステナビリティポリシー、業務、目標をすでに有し、ESG問題を統合するために必要な措置が取られていると組織が考えるインフラ投資先を含めてください。これらの措置は、個々のインフラ投資先がESGパフォーマンスを管理し改善する必要性の度合いによって、実施における重要度のレベルが変わる場合があります。</p>

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)>>インフラのモニタリングおよび運営

INF 13.3	<p>実施される活動の種類は、取締役会や経営陣との個人的な関与から、いくつかのポートフォリオ構成企業/持株会社が参加するワークショップの形態でベストマネジメントプラクティスを共有することまで多岐にわたります。この説明には、組織による所有や影響(追跡している場合)の結果、ポートフォリオ構成資産/企業においてESGのリスクや機会が全般的にどのように統合されているかについての説明が含まれます。</p>		
INF 13.4	<p>ポートフォリオ構成資産/企業は異なる発展段階にあることが多く、ESG問題をポリシーや業務に組み入れる進捗度も多様です。例えば、一部の企業は、ESGパフォーマンスの乏しさ故に(この分野の改善によって成長機会をもたらす、価値を増大する可能性があるという前提で)買収された可能性さえあります。こうした差異が報告された情報にどのような影響を与えるかに焦点を当ててもよいでしょう。</p>		
ロジック			
INF 13	<p>[INF 13] は、[INF 11.2] で「インフラのモニタリングおよび管理においてESG問題を考慮している」を選択すると、適用されます。</p> <p>[INF 13.2] および [INF 13.3] は、[INF 13.1] で「追跡している」と報告した場合、適用されます。</p>		
評価			
INF 13	<p>最大スコア:3 ★</p> <p>この指標は、[13.2]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	インフラ投資先の0%または10%未満	□	
	インフラ投資先の10 - 50%	★	
	インフラ投資先の50 - 90%	★★	
インフラ投資先の90%超	★★★		

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)>>インフラのモニタリングおよび運営

INF 14	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 2,3
--------	------------------	----------	---------------

INF 14	指標										
INF 14.1	<p>インフラ投資先に請求するESG問題に関する報告書の種類および頻度、報告書を受領する頻度を記載してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>報告書の種類</th> <th>報告頻度の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 経営陣による情報開示、財務情報およびESGデータが統合されている包括的なポートフォリオ資産/企業の報告書など </td> <td> <input type="checkbox"/> 四半期毎またはそれ以上 <input type="checkbox"/> 半年毎 <input type="checkbox"/> 毎年 <input type="checkbox"/> 年1回未満 <input type="checkbox"/> 不定期/要求に応じて(具体的に記入してください) _____ </td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> ESG問題を対象とする目標やKPIに焦点を当てた独立した報告書 </td> <td>[同上]</td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____ </td> <td>[同上]</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> ESG問題に関する報告書を請求していない/インフラ投資先が提供していない </td> </tr> </tbody> </table>	報告書の種類	報告頻度の種類	<input type="checkbox"/> 経営陣による情報開示、財務情報およびESGデータが統合されている包括的なポートフォリオ資産/企業の報告書など	<input type="checkbox"/> 四半期毎またはそれ以上 <input type="checkbox"/> 半年毎 <input type="checkbox"/> 毎年 <input type="checkbox"/> 年1回未満 <input type="checkbox"/> 不定期/要求に応じて(具体的に記入してください) _____	<input type="checkbox"/> ESG問題を対象とする目標やKPIに焦点を当てた独立した報告書	[同上]	<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	[同上]	<input type="checkbox"/> ESG問題に関する報告書を請求していない/インフラ投資先が提供していない	
報告書の種類	報告頻度の種類										
<input type="checkbox"/> 経営陣による情報開示、財務情報およびESGデータが統合されている包括的なポートフォリオ資産/企業の報告書など	<input type="checkbox"/> 四半期毎またはそれ以上 <input type="checkbox"/> 半年毎 <input type="checkbox"/> 毎年 <input type="checkbox"/> 年1回未満 <input type="checkbox"/> 不定期/要求に応じて(具体的に記入してください) _____										
<input type="checkbox"/> ESG問題を対象とする目標やKPIに焦点を当てた独立した報告書	[同上]										
<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____	[同上]										
<input type="checkbox"/> ESG問題に関する報告書を請求していない/インフラ投資先が提供していない											
INF 14.2	<p>補足情報 [任意]</p>										

INF 14	説明
INF 14	<p>この指標は、既存のインフラ投資先に対し、ESGの取り組みを測定し、この情報を報告することをどの程度求めているかについての情報を求めています。ESG関連の行動や結果は、投資先の通常の報告サイクルや投資家の意向によって様々な指標で測定できます。</p>
INF 14.2	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 他よりも頻繁に要求されるESG情報があるかどうか 組織が既存のインフラ投資先から要求するESG情報 情報の形式は組織内または組織外の基準、指標、テンプレートに基づいているかどうか。組織外のテンプレートやガイダンスには、国際金融公社(IFC)、Global Reporting Initiative(GRI)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)などがあります。 投資先に対し、重要情報を1つの報告書に統合するように要求することにより、組織の最大の利益が確保されると考えているかどうか、あるいは別々の報告を受け取る方が望ましいか
ロジック	
INF 14	<p>[INF 14] は、[INF 11.2] で「インフラのモニタリングおよび管理においてESG問題を考慮している」を選択すると、適用されます。</p>

インフラの保守整備

INF 15	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

INF 15	指標
INF 15.1	<p>ESG問題が考慮されている実施中のインフラ保守整備プロジェクトの割合を示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 実施中の保守整備プロジェクトの90%超 <input type="checkbox"/> 実施中の保守整備プロジェクトの51～90% <input type="checkbox"/> 実施中の保守整備プロジェクトの10～50% <input type="checkbox"/> 実施中の保守整備プロジェクトの10%未満 <input type="checkbox"/> 該当なし。保守整備プロジェクトが進行しているインフラ資産はない <p>(実施中の保守整備プロジェクトの件数ベース)</p>
INF 15.2	<p>インフラ保守整備プロジェクトにESGを検討するアプローチを説明してください。</p> <p>[任意]</p>

INF 15	説明		
INF 15	「実施中の」インフラ保守整備プロジェクトとは、報告年度に発生している案件を指します。「インフラ保守整備」という用語は、修繕、復旧、改修、アップグレードする業務を指します。		
INF 15.1	実施中の保守整備プロジェクトの件数の割合を決定してください。		
INF 15.2	<p>組織がESG問題をインフラの保守整備プロジェクトにどのように組み入れているかなどが対象になります。</p> <p>例えば、以下を説明できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続中の開発で、環境面の場所の選択要件、持続可能な建材、エネルギー効率要件、開発現場における廃棄物処理計画などの具体的なESGが考慮されており、モニタリングされているかどうか 保守整備活動がESG実績を改善することを目的としているか 事業者(該当する場合)はESG実績の改善を実現する役割を担っているかどうか 実施中の保守整備プロジェクトの背景にある要因(例:投資家である顧客の需要、経済的利益、将来の規制対策、既存の規制などの遵守、その他) 請負業者向けESG基準が組織にあるかどうか、請負業者がこれらの基準を遵守していることをどのように確認するか 		
ロジック			
INF 15	[INF 15] は、[INF 11.2] で「インフラの保守整備においてESG問題を考慮している」を選択すると、適用されます。		
評価			
INF 15	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[15.1]への回答に基づいて評価されます。現在保守整備プロジェクトが進行していない場合には、この指標の評価対象とはなりません。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	該当なし。保守整備プロジェクトが進行しているインフラ資産はない	該当しない	
	実施中の保守整備プロジェクトの0%または10%未満	□	
	実施中の保守整備プロジェクトの10 - 50%	★	
	実施中の保守整備プロジェクトの50 - 90%	★★	
	実施中の保守整備プロジェクトの90%超	★★★	

ステークホルダーとのエンゲージメント

INF 16	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 2
--------	------------------	------------	-------------

INF 16	指標										
INF 16.1	<p>組織や事業者が報告年度にインフラ資産に関連するESG問題についてどのステークホルダーとエンゲージメントを行ったのかおよび行った投資物件がインフラ資産のどのくらいの割合に相当するかを明示してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">エンゲージメントを実行したステークホルダー</th> <th style="width: 50%;">インフラ資産の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 規制当局</td> <td> <input type="checkbox"/> インフラ資産の90%超 <input type="checkbox"/> インフラ資産の51～90% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10～50% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10%未満 (インフラ資産の件数ベース) </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> コミュニティ</td> <td>[同上]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他のステークホルダー(具体的に記入してください) _____</td> <td>[同上]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他のステークホルダー(具体的に記入してください) _____</td> <td>[同上]</td> </tr> </tbody> </table>	エンゲージメントを実行したステークホルダー	インフラ資産の割合	<input type="checkbox"/> 規制当局	<input type="checkbox"/> インフラ資産の90%超 <input type="checkbox"/> インフラ資産の51～90% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10～50% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10%未満 (インフラ資産の件数ベース)	<input type="checkbox"/> コミュニティ	[同上]	<input type="checkbox"/> その他のステークホルダー(具体的に記入してください) _____	[同上]	<input type="checkbox"/> その他のステークホルダー(具体的に記入してください) _____	[同上]
エンゲージメントを実行したステークホルダー	インフラ資産の割合										
<input type="checkbox"/> 規制当局	<input type="checkbox"/> インフラ資産の90%超 <input type="checkbox"/> インフラ資産の51～90% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10～50% <input type="checkbox"/> インフラ資産の10%未満 (インフラ資産の件数ベース)										
<input type="checkbox"/> コミュニティ	[同上]										
<input type="checkbox"/> その他のステークホルダー(具体的に記入してください) _____	[同上]										
<input type="checkbox"/> その他のステークホルダー(具体的に記入してください) _____	[同上]										
INF 16.2	<p>インフラ資産に関連してステークホルダーとエンゲージメントを行うアプローチについて説明してください。</p>										

INF 16	説明
INF 16.1	<p>コミュニティとは、インフラ資産に係るステークホルダーで、通常は一般大衆を含みます。メディアはこのカテゴリには含まれません。オンライン報告ツールの「その他のステークホルダー」2行までを合計することができます。インフラ投資の件数に基づく割合を決定してください。</p>
INF 16.2	<p>組織や事業者がESG問題に関し、ステークホルダーとどのようにエンゲージメントを行っているかを説明することができます。この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織はエンゲージメントの対象となるステークホルダーをどのように選定しているか 組織とステークホルダーとの間のコミュニケーション方法 組織は、ステークホルダーが組織のインフラ投資のサステナビリティ特性を的確に理解するよう、どのような方法で万全を図っているか 組織とステークホルダーの間で特定のESG問題に取り組むパートナーシップ契約が結ばれている

投資後(モニタリングおよび積極的な保有)>>インフラの保守整備

	<p>るかどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーエンゲージメント・プログラムの影響の測定およびモニタリング <p>インフラセクターによっては、組織や第三者の事業者がコミュニティに影響を及ぼしエンゲージメントを行うことが難しくなる場合があります。該当する場合は、この指標への回答でこうした状況を説明してください。透明性を確保するため、INF03でも投資しているインフラセクターの背景を説明する機会があります。</p>															
ロジック																
INF 16	[INF 16] は、[INF 11.2] で「組織のインフラに関連するステークホルダーとのエンゲージメントにESG問題を考慮している」を選択すると、適用されます。															
評価																
INF 16	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[16.1]への回答に基づいて評価されます。</p>															
	指標採点方法															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステークホルダーエンゲージメントを行っていない</td> <td>□</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★	
	選択された回答	スコア・レベル	詳細													
	ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□														
	少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★														
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステークホルダーエンゲージメントを行っていない</td> <td>□</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★		
選択された回答	スコア・レベル	詳細														
ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステークホルダーエンゲージメントを行っていない</td> <td>□</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★		
選択された回答	スコア・レベル	詳細														
ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステークホルダーエンゲージメントを行っていない</td> <td>□</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★		少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★		
選択された回答	スコア・レベル	詳細														
ステークホルダーエンゲージメントを行っていない	□															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10%未満に相当	★															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の10-50%に相当	★★															
少なくとも一つのステークホルダーとエンゲージメントを行っているかつ既存インフラ資産の50%超に相当	★★★															

セクション

成果および結果

INF 17	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PRI 1,2
--------	------------------	------------	---------------

INF 17	指標				
INF 17.1	<p>インフラ投資における責任投資へのアプローチが財務業績やESGパフォーマンスに与える影響を測定しているかどうかを記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがファンドの財務業績に影響を与えているかどうかを測定している</p> <p><input type="checkbox"/> ESG問題へのアプローチがESGパフォーマンスに影響を与えているかどうかを測定している</p> <p><input type="checkbox"/> 上記のいずれにも取り組んでいない</p>				
	<p>以下への影響を説明してください:</p> <table border="1"> <tr> <td>a) ファンドの財務業績</td> <td> <input type="checkbox"/> プラス <input type="checkbox"/> マイナス <input type="checkbox"/> 影響はなかった </td> </tr> <tr> <td>b) ファンドのESGパフォーマンス</td> <td> <input type="checkbox"/> プラス <input type="checkbox"/> マイナス <input type="checkbox"/> 影響はなかった </td> </tr> </table>	a) ファンドの財務業績	<input type="checkbox"/> プラス <input type="checkbox"/> マイナス <input type="checkbox"/> 影響はなかった	b) ファンドのESGパフォーマンス	<input type="checkbox"/> プラス <input type="checkbox"/> マイナス <input type="checkbox"/> 影響はなかった
a) ファンドの財務業績	<input type="checkbox"/> プラス <input type="checkbox"/> マイナス <input type="checkbox"/> 影響はなかった				
b) ファンドのESGパフォーマンス	<input type="checkbox"/> プラス <input type="checkbox"/> マイナス <input type="checkbox"/> 影響はなかった				
INF 17.2	<p>こうした結果を決定する方法について説明してください。</p>				

INF 17	説明
INF 17	<p>この指標の目的は、ESG問題の考慮および管理が財務業績およびESGパフォーマンスの両方に与える好影響・悪影響を捕捉することです。影響は投資前の活動(例:最善の投資の選択)または投資後の影響のいずれかから生じます。</p> <p>財務業績</p> <p>営業費用の減少、純営業利益(NOI)の増加、資本化などが含まれます。財務リスクの削減もこのカテゴリに含まれることに注意してください。</p> <p>ESGパフォーマンス</p> <p>これは、ファンドの期間全体を通じてESGのリスクや機会がもたらすパフォーマンスを追跡することに関連しています。</p> <p>水資源やエネルギー効率の改善、廃棄物の削減、衛生安全に関する事故の減少などが含まれます。ESGリスクの削減もこのカテゴリに含まれることに注意してください。</p>

成果および結果

INF 17.2	<p>財務リターン、リスク、ESGパフォーマンスにESG問題が与える影響をどのように測定しているかを説明してください。二酸化炭素関連のベンチマーク比較を行っている場合は、それを報告することを強くお勧めします。</p> <p>ESG問題(例:温室効果ガス排出量、水消費量など)およびパフォーマンスを評価するために使用する財務測定基準を明らかにし、これらの測定基準をプロセスに使用する際の実務上の問題があればそれらについても説明することをお勧めします。</p>		
ロジック			
INF 17	<p>[INF 17.2] は、[INF 17.1] で「ESG問題へのアプローチがファンドの財務業績に影響を与えているかどうかを測定している」と報告すると、適用されます。</p>		
評価			
INF 17	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[17.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	選択された回答	選択された回答
	上記のいずれも測定していない	<input type="checkbox"/>	
	財務業績またはESGパフォーマンスのいずれかを測定している	★★	
	財務業績およびESGパフォーマンスの両方を測定している	★★★	

成果および結果

INF 18	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PRI 1 – 3
--------	------------------	----------	-----------------

INF 18	指標		
INF 18.1	報告年度のインフラ投資に影響を与えたESG問題の例を挙げてください。		
	ESG問題	影響を受けたインフラの種類	投資の影響 (または将来的な影響)
INF 18.2	補足情報 [任意]		

INF 18	説明
INF 18.1	<p><i>ESG問題</i></p> <p><u>主な定義</u> 文書に記載されているESG問題のインフラの定義を参照してください。インフラのESG問題の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの補助金の変更 炭素税/排出権取引の導入により生じた、コストの増加やエネルギー効率/再生可能なものに対する投資のインセンティブ 労働者の安全 労働条件(ストライキやその他の争議行為) 低炭素強度の発電による、通常をはるかに上回るリターン(例: 排出権取引制度における既存の水力発電) 政策担当者との密接な関係/協力(環境/社会の規制が企業に有利になるよう影響を与えるため) <p><i>影響を受けたインフラの種類</i></p> <p>例: 輸送、エネルギーインフラ、水資源管理</p>

成果および結果

	<p><i>投資の影響(または将来的な影響)</i></p> <ul style="list-style-type: none"> 業績、評判やESG/サステナビリティ関連の影響(およびその可能性) 投資プロセスのどの段階でESG問題が特定されたか(例: 初期スクリーニング、デューデリジェンス、投資の意思決定またはモニタリング) <p><i>投資に影響するために実施する活動およびその結果</i></p> <p>ここでは、組織またはインフラ事業者のモニタリング活動や、ステークホルダーとのエンゲージメントの影響を説明できます。</p> <p>事例の数は必然的にESG問題を組織の投資プロセスに厳密にどのように組み入れているかによって異なります。少なくとも3つ、最大5つ例を挙げることが推奨されています。可能な限り、これらの例はESG問題をどのように組み入れているかを示す最も具体的な例としてください。</p>
--	---

例			
ESG問題	影響を受けたインフラの種類	投資の影響(または将来的な影響)	投資に影響するために実施する活動およびその反応
衛生安全	輸送	重大な衛生安全違反は長期的な評判や業績に影響を与える可能性があるだけでなく、作業員が負傷し、致命的な結果をもたらす場合があります	現行の衛生安全管理システムの改善が実施され、安全に関するアドバイザーが採用され、会社に積極的に関与するようになりました。

コミュニケーション

INF 19	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 PRI 6
--------	--------------------------	----------	-------------

INF 19	指標
INF 19.1	インフラ投資におけるESGのインシデントを投資家である顧客に開示する際の組織のアプローチについて説明してください。

INF 19	説明
INF 19.1	<p>この指標に含まれる事項の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントが発生した場合に従う手順および投資家への通知方法 投資家に直ちに開示するのが適当であるか、あるいはできるだけ速やかに開示するのが適切であるかの決め手となるインシデントまたは出来事の種類 投資家が重大なインシデントまたは出来事に巻き込まれた場合、投資家が取得すると思われる情報開示の種類 投資家がESG問題を投資の専門家やポートフォリオ企業の経営陣と協議するきっかけとなる特定の状況があるか
ロジック	
INF 19	指標 [19] は、投資家顧客に対するコミュニケーションおよびインシデント報告に関係しています。したがって、ゼネラルパートナーや直接的なファンド運用会社のみにも適用されます。共同投資を行う資産保有者 (AO)/リミテッド・パートナー (LP) には適用されません。

2018年PRI報告フレームワーク 自己運用 – 包括的金融

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社QUICKにご協力いただきました。

PRI Association

Registered office: 5th floor, 25 Camperdown Street
London, UK, E1 8DZ Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 3714 3220 W: www.unpri.org E: info@unpri.org



UNEP Finance Initiative
Changing finance, financing change

An investor initiative in partnership with UNEP Finance Initiative and UN Global Compact



United Nations Global Compact

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報を掲載しています。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標についての重要情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	----------------	------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は任意です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、またはグループ化に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も任意です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織が他の指標に該当する場合、モジュール内の他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用されます。
コア評価項目		これらの指標は評価の中核部分を形成するものであり、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または代替となる実務を表しており、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標であり、組織の活動等を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを熟読のうえ、指標が組織に該当することを確認してください。

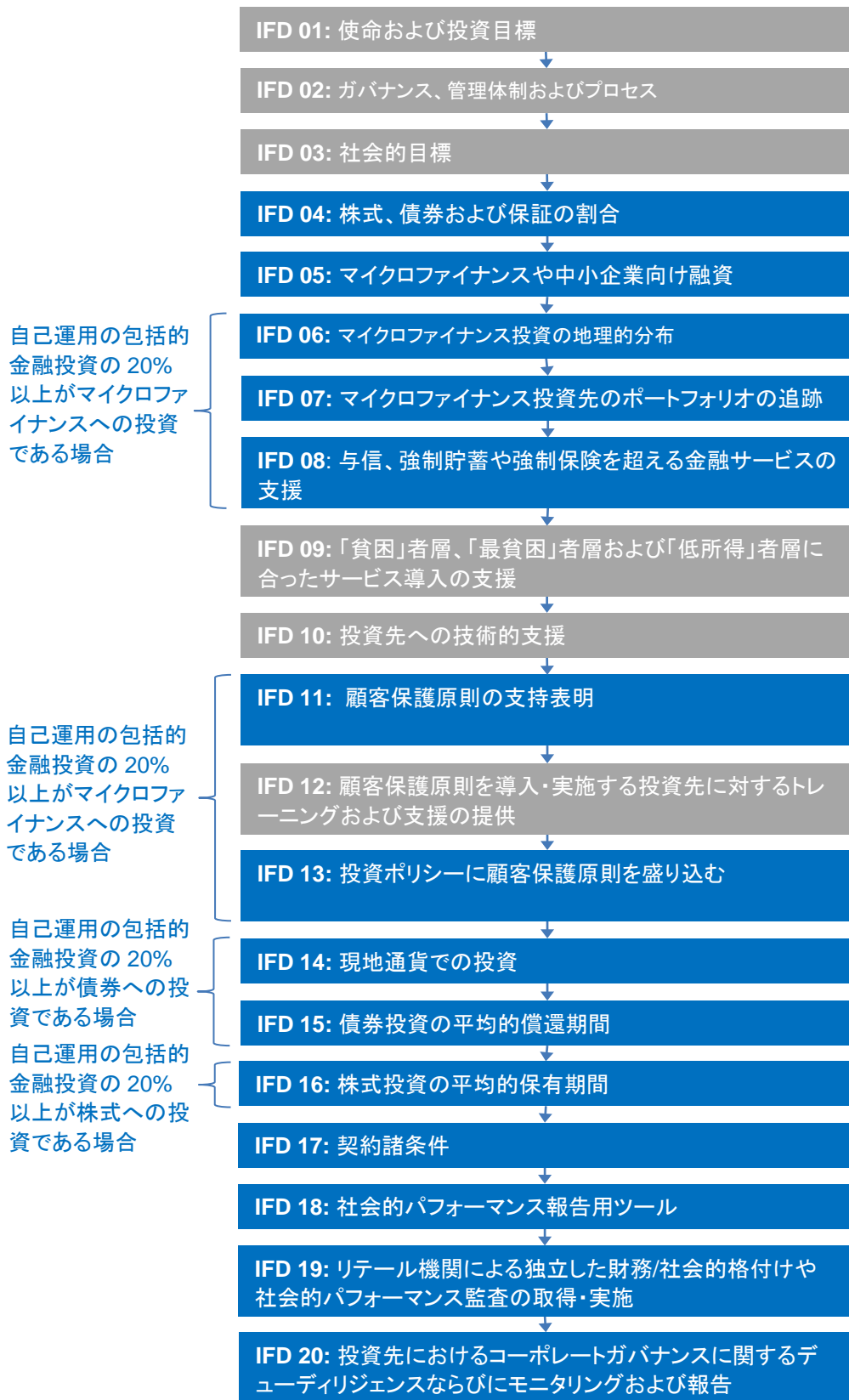
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告可能な項目の事例など、サブ指標を正確に解釈するうえでの指針となるものです。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する場合やその指標がそれ以降の指標に影響を及ぼすかどうかについて説明しています。ロジックボックスがない場合は、指標は必ず適用されますが、他の指標に影響を及ぼすことはありません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価方法の概要を記載しています。

xxx 01	定義
--------	-----------

目次

モジュールの経路	4
序文	6
背景	7
PIIFの原則 1: サービスの範囲	16
PIIFの原則 2: 顧客保護	26
PIIFの原則 3: 公正な取り扱い	30
PIIFの原則 4: 責任投資	39
PIIFの原則 5: 透明性	50
PIIFの原則 6: バランスの取れたリターン	54
PIIFの原則 7: 諸基準	58

モジュールの経路



指標 21-34 は次頁に続きます

前頁からの続き

自己運用の包括的
金融投資の 20%
以上が株式への投
資である場合

IFD 21: 投資先に対するコーポレートガバナンスに関する研
修の実施または支援

IFD 22: 組織が取締役会のメンバーとなっている投資先の割
合

IFD 23: 環境問題を投資決定プロセスに組み入れる手続き

IFD 24: 腐敗防止および内部告発ポリシー

IFD 25: 使命および投資目標をステークホルダーに周知徹底
する方法

IFD 26: 業界基準に沿った投資家や一般大衆への情報提供

IFD 27: 投資先における価格設定および諸条件の透明性

社会的パフ
ォーマンス報告
になんらかの
ツールを利用
している場合

IFD 28: 投資先の社会的パフォーマンスが意思決定およびポ
ートフォリオ管理にどのような影響を及ぼすか

IFD 29: 社会的パフォーマンス測定基準とリンクしたスタッ
フに対するインセンティブ

IFD 30: 投資先が行う業務の社会的成果に関するデータの
収集

IFD 31: 社会的パフォーマンスの追跡・監視を投資先に働き

IFD 32: 組織が支援または参画している協働的イニシアチブ

IFD 33: 投資先に協働的イニシアチブへの参加を働き掛ける

IFD 34: 投資先に対し業界ベンチマークの策定に寄与するイニシ
アチブへの参加を働き掛ける

IFD 終了モジュールの確認ページ

序文

別途記載のない限り、「資産」とは包括的金融に自己運用で投資されている資産の割合のみを指します。包括的金融(インクルーシブ・ファイナンス)に自己運用・委託運用の両方で投資している場合は、自己運用分のみに基づき以下の指標について報告してください。

自己運用投資家は組織レベルで全ての指標について報告を行う必要があります。そのためには、個々のマイクロファイナンス機関(MFI)や運用しているマイクロファイナンス投資商品(MIV)のデータに加え、可能な場合には、マイクロ企業、小企業および中企業向けの投資を含めた個別投資に関するデータも集約する必要があります。

IFD	定義
	<p>リテールプロバイダー/投資先</p> <p>このモジュール全体にわたって、「リテールプロバイダー」または「投資先」という場合には、これらは、投資家が投資を行っているリテール機関を意味します。これらは以下のいずれかに該当します¹：</p> <ul style="list-style-type: none">• マイクロファイナンス機関 (MFI) - これらの機関では、低所得者世帯を対象に、マイクロ企業向けの融資等を含む、より多様性に富んだ金融サービスの提供を目指しています。MFIには、銀行、規制対象非銀行系金融機関(NBFI)、貯蓄・貸付協同組合および非営利組織(NGO)などがあります。• 非特化型マイクロファイナンス・サービスプロバイダー - 例えば、商業銀行、郵貯銀行およびその他の金融機関であり、これらは、貧困・低所得者層の顧客に金融サービスを提供しているものの、柱となる事業はマイクロファイナンスではありません。• 持株会社 これらは、マイクロファイナンス機関に融資および技術的支援を行います。持株会社は通常、投資先の株式の過半数を保有しており、一般に私募によってのみ投資が可能です。

改正の概要

2017年度の報告フレームワークは2017年度から変わってはいません。

¹ これらの定義は、MIV開示ガイドラインに基づくものです。

背景

セクション

背景

IFD 01	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
--------	------------------	----------	----------

IFD 01	指標
IFD 01.1	あなたの組織では、包括的金融(インクルーシブ・ファイナンス)への投資について明確な使命および投資目標を設定しているかどうかを明示してください
	<input type="radio"/> 設定している <input type="radio"/> 設定していない
IFD 01.2	組織の包括的金融における使命および投資目標を記載してください。
IFD 01.3	補足情報 [任意]

背景

IFD 02	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
--------	------------------	----------	----------

IFD 02	指標
IFD 02.1	責任投資活動および PIIF の実施に関連して組織が整備しているガバナンス/管理体制およびプロセスについて簡潔に説明してください。
	<input type="checkbox"/> 組織図を添付します (次の画像フォーマットでアップロードすることができます: .jpg, .png, .bmp and .gif)。

IFD 02	説明
IFD 02	<p>回答には、以下の項目を含めることができます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 組織の取締役会の役割および責任範囲 • 責任投資を監督する正式な機関があればその詳細 • 当該機関は、組織内において、組織の責任投資活動を日常的に監視します • 責任投資のパフォーマンスのレビュー方法およびレビュー頻度の詳細 <p>この情報には組織図を含めることができます。</p> <p>この指標について戦略とガバナンス (SG) モジュールで報告している場合には、この指標は、SG で報告された情報と一部重複することになります。必要であれば、ここに、SG モジュールの指標およびそこで報告した情報を記載してください。</p>

背景

IFD 03	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 一般
--------	------------------	----------	----------

IFD 03	指標		
IFD 03.1	組織において包括的金融に固有な社会的目標を設定しているかどうかを明示してください。		
	○ 設定している	○ 設定していない	
IFD 03.2	補足情報 [任意]		

IFD 03	説明		
IFD 03	社会的目標の事例については ここ を参照ください		

背景

IFD 04	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
--------	--------------------------	--------------	----------

IFD 04	指標			
IFD 04.1	包括的金融に自己運用にて投資している総投資資産の内、以下の投資対象資産に投資している割合を明示してください。			
	株式	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超		
	債券	<table border="1"> <tr> <td> <input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超 </td> <td>その内、劣後債券の割合 <input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超 </td> </tr> </table>	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	その内、劣後債券の割合 <input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超
	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	その内、劣後債券の割合 <input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超		
	保証	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超		
	その他(具体的に記入してください) _____	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超		
合計	100%			
IFD 04.2	補足情報 [任意]			

IFD 04	説明
IFD 04	<p>このモジュールの対象範囲は、報告フレームワークのその他のモジュールとは異なりますのでご注意ください。ここで使われている「対象範囲」は、シンバイオティクスおよびマイクロレートの MIV 調査と一致したのになっています。</p> <p>株式 (MIV 開示ガイドライン 2.2.1.3 と一致しています): 株式投資の合計額として計算してください。株式とは、議決権が付いているか付いていないにかかわらず、包括的金融プロバイダーの株式の購入をいいます。</p> <p>債券 (MIV 開示ガイドライン 2.2.1.4 と一致しています): 債券投資の合計額として計算してください。債券投資とは、包括的金融プロバイダーまたは、特に包括的金融への融資に利用される非特化型金融仲介会社向けの MIV 融資またはそれらが発行する社債への投資 (即ち、上位債、下位債、転換債および劣後債) をいいます。</p> <p>劣後債務は、劣後債投資または下位債投資の合計額として計算してください。上位債務には、デフォルトが発生した際に劣後債または下位債より優先的に元利払いが行われます。これらも、また、包括的金融プロバイダーまたは、特に包括的金融への融資に利用される非特化型金融仲介会社向けの MIV 融資またはそれらが発行する社債への投資を意味します。</p> <p>保証 (MIV 開示ガイドライン 2.2.1.5 と一致しています): 包括的金融プロバイダーに提供される保証の合計額として計算してください。MIV 保証とは、マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの信用力を高める手段の一つとして当該サービスプロバイダーに付与される保証の金額をいいます。</p>
ロジック	
IFD 04	<p>この指標はゲートウェイ指標であり、この指標にある設問に対する回答により、このモジュールのどのセクションが該当するかが決定されます。</p> <p>組織の包括的金融投資の 20%以上が債券投資 (その内の何%が劣後債かどうかは関係ありません) である場合には、指標 [14-15] が適用されます。指標 [17] にある債券オプションも適用されることとなります。</p> <p>組織の包括的金融投資の 20%以上が株式投資である場合には、指標 [16]および[22] が適用されます。</p>

背景

IFD 05	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 ゲートウェイ	原則 一般
--------	--------------------------	--------------	----------

IFD 05	指標	
IFD 05.1	包括的金融に自己運用にて投資している総投資資産の内、以下の投資対象資産に投資している割合を明示してください。	
	マイクロファイナンス	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超
	SME (中小企業向け) 向けファイナンス (あなたの組織における SME の定義を記載してください)	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超
	その他(具体的に記入してください) _____	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超
	合計	100%
IFD 05.2	補足情報 [任意]	

IFD 05	説明
IFD 05	<p>マイクロファイナンス: 貧困層および低所得者層の顧客を対象とする多種多様な金融サービスの提供。これは、MIV 開示ガイドライン 2.1.2 に基づく定義です。MIV 開示ガイドラインに規定されている通り、マイクロクレジット融資ポートフォリオの特徴は、融資を受ける人々(主に自営業または非正規の零細企業オーナーである低所得借主、および、場合によっては、給与所得者)であり、平均融資残高が低水準にあること(一人当たり国民総所得(GNI)の 250%未満)、融資商品が多種多様であること(例えば小規模企業、与信枠、住宅、教育、差し迫った家庭ニーズに伴う融資等)、そして、一般的には、従来型の担保には頼らない代替的融資手法であることです。</p> <p>SME: 中小企業を意味し、その従業員が 6 名以上かつ 250 名未満の企業です(この定義は、MIV 開示ガイドラインに基づくものです)。PRI では、SME の定義は、国によって異なっており、そのため、この補足情報に該当する場合には、組織自身の定義を提示するようお勧めしています。SME 向け包括的金融は、SME への直接投資とは対照的に、SME に融資を行う金融機関に対して行う投資をいいます。</p> <p>その他: 住宅融資の提供などを含めることができます。</p>
ロジック	
IFD 05	<p>この指標はゲートウェイ指標であり、この指標にある設問への回答次第で、このモジュールのどのセクションが該当するかが決定されます。組織の包括的金融投資の 20%以上がマイクロファイナンスに自己運用にて投資されている場合には、指標 [06-08]および[11-13] が適用されます。</p>

IFD 06	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
--------	--------------------------	----------	----------

IFD 06	指標		
IFD 06.1	あなたの組織では、自己運用にてマイクロファイナンスに投資している総資産の地理的分布を追跡しているかどうかについて明示してください。		
	○ 追跡している	○ 追跡していない	
IFD 06.2	自己運用にてマイクロファイナンスに投資している総資産の地理的分布を各国・地域別のポートフォリオの割合として明示してください。		
	西欧諸国	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。 <div style="text-align: center;"> <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない </div>
	東欧諸国および中央アジア	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。 <div style="text-align: center;"> <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない </div>
	北米地域	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。 <div style="text-align: center;"> <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない </div>
	ラテンアメリカ諸国(中南米諸国を含む)およびカリブ海諸国	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。 <div style="text-align: center;"> <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない </div>
	東アジアおよび太平洋諸国	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。

IFD 06.3		<input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない
	南アジア諸国	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない
	中近東および北アフリカ諸国	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない
	サハラ以南のアフリカ諸国	<input type="radio"/> 0% <input type="radio"/> 20%未満 <input type="radio"/> 20～40% <input type="radio"/> 41～60% <input type="radio"/> 61～80% <input type="radio"/> 80%超	組織の投資先がこの地域の実働借主に融資している平均融資金額(米ドル建て)を明示してください。 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない
	補足情報 [任意]		

IFD 06	説明
IFD 06	<p>組織のポートフォリオの割合で示す地理的分布は、MIV 開示ガイダンス指標 2.2.3.1-6に基づいています。ここでは、分類を拡大し、西欧諸国と北米地域を含めています。</p> <p>MIV 開示ガイドライン 3.2.3に基づき、平均融資規模とは、マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの顧客の貧困水準を示す代理的指標です。「実働借主」とは、マイクロファイナンス・サービスプロバイダーとの間で未返済融資残高を有している、または、総融資残高の一定部分の返済に主要な責任を負っている個人をいいます。単一のマイクロファイナンス・サービスプロバイダーから複数件の融資を受けている個人は、単一の借主としてカウントしてください。計算方法は次の通りです: 自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの総融資ポートフォリオ合計額を自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの実働借主の合計数で割ります</p>
	ロジック
IFD 06	組織が[05]において、総包括的金融資産の20%以上をマイクロファイナンスに自己運用にて投資してい

背景

ると回答すると、この指標が適用されます。

[06.1] で「追跡している」と回答すると、[06.2] が適用されます。

セクション

PIIFの原則 1: サービスの範囲

考えられる取り組みの例:

低所得者層が利用できる金融サービスを開発するとともに、これらの顧客が利用できるサービスの範囲を拡大する。拡大対象には、貯蓄、融資、保険、支払いサービス、送金手段および年金制度などを含めることができます。

IFD 07	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 1
--------	----------------	------------	--------------

IFD 07	指標		
IFD 07.1	組織では、マイクロファイナンス投資先のポートフォリオに占める零細企業向け融資の割合を追跡しているかどうかを明示してください		
	<input type="radio"/> 追跡している。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占める零細企業向け融資の割合を明示してください[任意]</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 20%未満、<input type="radio"/> 20-40%、<input type="radio"/> 41-60%、<input type="radio"/> 61-80%、<input type="radio"/> 80%超</td> </tr> </table>	この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占める零細企業向け融資の割合を明示してください[任意]	<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超
	この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占める零細企業向け融資の割合を明示してください[任意]		
	<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超		
<input type="radio"/> 追跡していない			
<input type="radio"/> 該当しない (ポートフォリオには、零細企業向け融資はない)			
IFD 07.2	組織では、マイクロファイナンス投資先のポートフォリオに占める差し迫った家庭ニーズに伴う融資 (即ち、消費者ローン) の割合を追跡しているかどうかを明示してください。		
	<input type="radio"/> 追跡している。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占める差し迫った家庭ニーズに伴う融資の割合を明示してください[任意]</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 20%未満、<input type="radio"/> 20-40%、<input type="radio"/> 41-60%、<input type="radio"/> 61-80%、<input type="radio"/> 80%超</td> </tr> </table>	この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占める差し迫った家庭ニーズに伴う融資の割合を明示してください[任意]	<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超
	この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占める差し迫った家庭ニーズに伴う融資の割合を明示してください[任意]		
	<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超		
<input type="radio"/> 追跡していない			
<input type="radio"/> 該当しない (ポートフォリオには、差し迫った家庭ニーズに伴う融資はない)			
IFD 07.3	組織では、投資先のポートフォリオに占める住宅ローンの割合を追跡しているかどうかを明示してください。		
	<input type="radio"/> 追跡している。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占めるその他のカテゴリの融資の割合を明示してください。[任意]</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 20%未満、<input type="radio"/> 20-40%、<input type="radio"/> 41-60%、<input type="radio"/> 61-80%、<input type="radio"/></td> </tr> </table>	この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占めるその他のカテゴリの融資の割合を明示してください。[任意]	<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/>
この情報を組織レベルで集計している場合には、組織のポートフォリオに占めるその他のカテゴリの融資の割合を明示してください。[任意]			
<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/>			

PIIFの原則 1: サービスの範囲

IFD 07.4		80%超
	○ 追跡していない	
	○ 該当しない (ポートフォリオには、住宅ローンはない)	
	補足情報 [任意]	

IFD 07	説明												
IFD 07	これらのカテゴリは、全てを網羅しているわけではなく、従って、合計が必ずしも 100%である必要はありません。												
IFD 07.1	これは、MIV 開示ガイドライン 3.2.6.1 に基づいています。零細企業向け融資とは、零細企業 (従業員数が 5 名以下の企業) に資金を提供するために行われる融資をいいます。計算方法は以下の通りです: (マイクロファイナンス直接投資ポートフォリオにおける) マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの零細企業向け融資専用の総融資ポートフォリオの合計額をマイクロファイナンス自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの総融資ポートフォリオ合計額で割ります。												
IFD 07.2	これは、MIV 開示ガイドライン 3.2.6.2 に基づいています。差し迫った家庭ニーズに伴う融資とは、主に、消費およびその他の家庭ニーズを満たす資金を提供するために行われる融資をいいます。計算方法は以下の通りです: (マイクロファイナンス自己運用投資ポートフォリオにおける) マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの差し迫った家庭ニーズに伴う融資専用の融資ポートフォリオ合計額をマイクロファイナンス自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの総融資ポートフォリオ合計額で割ります。												
ロジック													
IFD 07	組織が[05]において、総包括的金融資産の20%以上をマイクロファイナンスに自己運用にて投資していると回答すると、この指標が適用されます。												
評価													
IFD 07	最大スコア: ★★ 3つ この指標は、[07.1、07.2 および 07.3]への回答に基づいて評価されます。												
指標採点方法													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>追跡していない</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>該当する三つのオプションの内一つのオプションを追跡している</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>該当する二つのオプションの内一つのオプションを追跡している、または 該当する三つのオプションの</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	追跡していない	○		該当する三つのオプションの内一つのオプションを追跡している	★		該当する二つのオプションの内一つのオプションを追跡している、または 該当する三つのオプションの	★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細											
追跡していない	○												
該当する三つのオプションの内一つのオプションを追跡している	★												
該当する二つのオプションの内一つのオプションを追跡している、または 該当する三つのオプションの	★★												

PIIFの原則 1: サービスの範囲

	内二つのオプションを追跡している		
	該当する全てのオプションを追跡している	★★★	

IFD 08	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 1
--------	----------------	------------	--------------

IFD 08	指標		
IFD 08.1	組織のマイクロファイナンス・ポートフォリオにおいて、与信枠、強制貯蓄や強制保険を超える金融サービスの提供を支援しているかどうかを明示してください。		
	○ 支援している	○ 支援していない	
IFD 08.2	以下のサービスの内、組織が支援しているサービスを明示してください。		
	任意貯蓄商品		
	組織が行っている支援の方法および支援の対象についてその事例を記載してください。	組織のポートフォリオを構成する金融サービスプロバイダーの内、当該サービスを提供しているサービスプロバイダーの割合に関してデータを収集しているかどうかを明示してください。	
		○ 収集している	○ 収集していない
		この情報を組織レベルで集計している場合には、MIVまたは組織の自己運用投資ポートフォリオに占める当該商品を提供しているマイクロファイナンス・プロバイダーの割合を明示してください。	
		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超	
	任意保険商品		
	組織が行っている支援の方法および支援の対象についてその事例を記載してください。	組織のポートフォリオを構成する金融サービスプロバイダーの内、かかるサービスを提供しているサービスプロバイダーの割合についてデータを収集しているかどうかを明示してください。	
		○ 収集している	○ 収集していない
		この情報を組織レベルで集計している場合には、MIVまたは組織の自己運用投資ポートフォリオに占める当該商品を提供しているマイクロファイナンス・プロバイダーの割合を明示してください。	
		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超	
	その他の金融サービス; 具体的に説明してください		
	組織が行っている支援の方法および支援の対象についてその事例を記載してください。	組織のポートフォリオを構成する金融サービスプロバイダーの内、当該サービスを提供しているサービスプロバイダーの割合に関してデータを収集しているかどうかを明示してください。	
		○ 収集している	○ 収集していない
		この情報を組織レベルで集計している場合には、MIVまたは組織の自己運用投資ポートフォリオに占める当該商品を提供しているマイクロファイナンス・プロバイダーの割合を明示してください。	

PIIFの原則 1: サービスの範囲

		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超	
	非金融サービス; 具体的に説明してください		
	組織が行っている支援の方法および支援の対象についてその事例を記載してください。	組織のポートフォリオを構成する金融サービスプロバイダーの内、当該サービスを提供しているサービスプロバイダーの割合に関してデータを収集しているかどうかを明示してください。	
		○ 収集している	○ 収集していない
		この情報を組織レベルで集計している場合には、MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオに占める当該商品を提供しているマイクロファイナンス・プロバイダーの割合を明示してください。	
		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超	
IFD 08.3	補足情報 [任意]		

IFD 08	説明									
IFD 08.1	<p>PRI では、国・地域によっては、マイクロファイナンス・サービスプロバイダーが貯蓄商品やその他金融サービス商品の提供を行うことを認めていないところがあることを認識しています。こうした状況が組織自身のポートフォリオに当てはまるかどうかを下ボックスに明示してください。希望される場合には、「していない」と回答したことについて詳しく説明することができます。</p> <p>これらのカテゴリにおける包括的金融ポートフォリオの提供の割合は、次のように計算することができます: MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオを構成する当該商品を提供しているマイクロファイナンス・プロバイダーの数を MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオを構成するマイクロファイナンス・プロバイダーの総数で割ります。</p> <p>貯蓄商品の指標は、MIV 開示ガイドライン 3.2.7.1 および MIX マーケット MFI データ提出フォームに基づいています。</p> <p>マイクロ貯蓄商品とは、主に、1) 当座/小切手口座 - 口座保有者が預金している資金を担保に小切手を振り出すことができる口座; 2) 貯蓄口座 - お金を預金し長い期間をかけて利息を得るために使用する口座; 3) 定期預金 - 預金時に指定した日付より以前に引き出しができない預金; 並びに 4) 特定目的貯蓄口座 - 個人が特定の目的のためにお金を蓄積するとともに、預金口座から利息を受け取る預金口座等をいいます。既存または将来の融資の条件の一つとして要求される貯蓄はこれには含まれません。</p> <p>保険の指標は、MIV 開示ガイドライン 3.2.7.2 および MIX マーケット MFI データ提出フォームに基づいています。</p> <p>マイクロ保険とは、主に、以下の四つの商品をいいます: 1) 信用生命保険 - 融資残高に対し、借主を被保険者とする生命保険です。被保険者が死亡すると、融資残高に相当する保険金額が支払われます; 2) 生命保険 - 被保険者が死亡した際には指定受取人に対し、または、被保険者が一定の年齢を超えて生存している場合には被保険者に対し所定の金額の支払いを保証する保険です; 3) 家屋保険 - 保険加入者の住宅、家具等に発生した損失、使用不能損失、または、その他住宅所有者の個人財産の損失を保障する財産保険; 4) 家畜・作物保険 - 作物の損失または損害を保障するおよび家庭用または利益目的で、特に、農場で飼育された家畜の損失を保障する保険。既存または将来の融資の条件の一つとして要求される保険はこれには含まれません。</p> <p>その他の金融サービス指標は、MIV 開示ガイドライン 3.2.7.3 に基づいています。その他の金融サービスとは、マイクロ年金、デビット/クレジット・カード、送金/振替および小切手支払い等をいいます。</p> <p>非金融サービス指標は、MIV 開示ガイドライン 3.2.8 に基づいています。非金融サービスとは、企業向けサービス、成人教育、医療サービス、農業拡大・研修および女性の社会的地位向上などをいいます。</p>									
ロジック										
IFD 08	<p>組織が[05]において、総包括的金融資産の 20%以上をマイクロファイナンスに自己運用にて投資していると回答すると、この指標が適用されます。</p> <p>[08.1]で「している」と回答すると、[08.2]が適用されます。</p>									
評価										
IFD 08	<p>最大スコア: ★★ 3つ</p> <p>この指標は、[08.1 および 08.2]への回答に基づいて評価されます。</p>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3" data-bbox="371 1744 1412 1798">指標採点方法</th> </tr> <tr> <th data-bbox="371 1798 710 1861">選択された回答</th> <th data-bbox="710 1798 1074 1861">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1074 1798 1412 1861">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="371 1861 710 2004">「いいえ、組織では、与信枠、強制貯蓄や強制保険を超える金融サービスの提供を支援していません」</td> <td data-bbox="710 1861 1074 2004">○</td> <td data-bbox="1074 1861 1412 2004"></td> </tr> </tbody> </table>	指標採点方法			選択された回答	スコア・レベル	詳細	「いいえ、組織では、与信枠、強制貯蓄や強制保険を超える金融サービスの提供を支援していません」	○	
指標採点方法										
選択された回答	スコア・レベル	詳細								
「いいえ、組織では、与信枠、強制貯蓄や強制保険を超える金融サービスの提供を支援していません」	○									

PIIFの原則 1: サービスの範囲

	<p>「はい、組織では、与信枠、強制貯蓄や強制保険を超える金融サービスの提供を支援していますが、データは収集していません」</p>	<p>★★</p>	
	<p>「はい、組織では、与信枠、強制貯蓄や強制保険を超える金融サービスの提供を支援しており、かつ、少なくとも、一つのオプションについてデータを収集しています」</p>	<p>★★★</p>	

考えられる取り組みの例

低所得者層の顧客ニーズに合った革新的な商品を導入するようプロバイダーに働き掛ける。

サービス提供の範囲をより遠隔地およびより弱い立場にある層に拡大するようプロバイダーに働き掛ける。

IFD 09	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 1
--------	------------------	------------	--------------

IFD 09	指標																		
IFD 09.1	組織では、以下の顧客グループに合ったサービスの導入を支援しているかどうかを明示してください。																		
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>○ 支援している</td> <td>○ 支援していない</td> </tr> <tr> <td>最貧困層</td> <td colspan="2">かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">○ 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">○ 組織では、投資先レベルで追跡していない。</td> </tr> </table>		○ 支援している	○ 支援していない	最貧困層	かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。			これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。			○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超			○ 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。			○ 組織では、投資先レベルで追跡していない。	
		○ 支援している	○ 支援していない																
	最貧困層	かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。																	
		これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。																	
		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超																	
		○ 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。																	
		○ 組織では、投資先レベルで追跡していない。																	
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>○ 支援している</td> <td>○ 支援していない</td> </tr> <tr> <td>貧困層</td> <td colspan="2">かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">○ 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">○ 組織では、投資先レベルで追跡していない。</td> </tr> </table>		○ 支援している	○ 支援していない	貧困層	かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。			これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。			○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超			○ 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。			○ 組織では、投資先レベルで追跡していない。	
		○ 支援している	○ 支援していない																
	貧困層	かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。																	
		これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。																	
	○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超																		
	○ 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。																		
	○ 組織では、投資先レベルで追跡していない。																		
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>○ 支援している</td> <td>○ 支援していない</td> </tr> <tr> <td>低所得者層</td> <td colspan="2">かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> </table>		○ 支援している	○ 支援していない	低所得者層	かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。			これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。			○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超								
	○ 支援している	○ 支援していない																	
低所得者層	かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。																		
	これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。																		
	○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超																		

PIIFの原則 1: サービスの範囲

IFD 09.2		<input type="radio"/> 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。 <input type="radio"/> 組織では、投資先レベルで追跡していない。	
	その他(具体的に記入してください) _____	<input type="radio"/> 支援している	<input type="radio"/> 支援していない
		かかるサービスの導入についてどのように支援しているかを説明してください。	
		これらの顧客を支援していることが分かっている投資資産の割合を明示してください。	
		<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超 <input type="radio"/> 組織では、投資先レベルで追跡しているが、この情報を集計していない。 <input type="radio"/> 組織では、投資先レベルで追跡していない。	
	組織では、以下のカテゴリに該当する実働顧客の割合または顧客数に関するデータを収集しているかどうかを明示してください。		
	農村地域・地方の顧客	<input type="radio"/> 収集している	<input type="radio"/> 収集していない
		地方の顧客が組織の自己運用投資ポートフォリオに占める割合を明示してください。	
		<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超	
	都市の顧客	<input type="radio"/> 収集している	<input type="radio"/> 収集していない
都市の顧客が組織の自己運用投資ポートフォリオに占める割合を明示してください。			
<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超			
女性顧客	<input type="radio"/> 収集している	<input type="radio"/> 収集していない	
	女性顧客が組織の自己運用投資ポートフォリオに占める割合を明示してください。		
	<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超		
IFD 09.3	補足情報 [任意]		

IFD 09	説明		
IFD 09	<p>こうしたサービスの導入を支援する方法は様々です。例えば、これらサービスの開発においてリテールプロバイダーを支援するためのインセンティブの提供または技術的支援の提供などがあります。</p> <p>農村地域/地方の指標は、MIV 開示ガイドライン 3.2.4.1 に基づいています。農村地域/地方とは、生活のほとんどが農業を基盤としている村落および部落などの町や都市から離れた居住地域をいいます。「農業」には、農作物だけでなく農作物以外の農業、例えば、家畜や漁業などを含みます。</p> <p>計算方法は以下の通りです: MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの農村地域の顧客の総数を MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの実働顧客の総数で割ります</p> <p>都市の顧客に係る指標は、MIV 開示ガイドライン 3.2.4.2 に基づいています。都市地域とは、周辺地域と比較して人口密度が高い都市または町で構成される地域であり、大多数の住民は、主要な経済活動として農業に依存していない。</p> <p>計算方法は以下の通りです: MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの都市の顧客の総数を MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの実働顧客の総数で割ります</p> <p>ジェンダーに係る指標は、MIV 開示ガイドライン 3.2.5.1 に基づいています。全ての実働借主に占める女性借主の割合</p> <p>計算方法は以下の通りです: MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの女性借主の総数を MIV または組織の自己運用投資ポートフォリオにおける各マイクロファイナンス・サービスプロバイダーの男性および女性の実働借主の総数で割ります</p>		
評価			
IFD 09	<p>最大スコア: ★★ 3つ</p> <p>この指標は、[09.1 および 09.2]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	すべて「していない」	○	
	(IFD 09.1 に) 列記されている顧客層の少なくとも一つに向けたサービスの導入を支援している、または (IFD 09.2 に記載されている) 農村地域、都市地域または女性のいずれかの顧客の割合を収集している	★	
	列記されている顧客層の少なくとも一つに向けたサービスの導入を支援している、かつ、農村地域、都市地域または女性のいずれかの顧客の割合を収集している または 列記されている顧客層の少なくとも一つに向けたサービスの導入を支援している、かつ、少なくとも一つのサービ	★★	

PIIFの原則 1: サービスの範囲

	スについてその割合を明示している		
	<p>列記されている顧客層の少なくとも一つに向けたサービスの導入を支援している、かつ、少なくとも一つのサービスについてその割合を明示している、かつ</p> <p>農村地域、都市地域または女性のいずれかの顧客の割合を収集している</p>	★★★	

IFD 09	定義
最貧困層	<p>インパクト報告および投資基準 (Impact Reporting & Investment Standards (IRIS)) の定義: 「最貧困層とは、一般的に認識されている絶対的かつ極度の貧困水準以下の生活をしている人々をいいます。一般的に認識されている極度の貧困水準には、(1) 各国政府が設定している法定貧困水準以下で生活している人々の下位 50%にあたる人々、(2) 一日当たり 1.00 米ドル未満で生活している人々 (厳密に言えば、1993 年の購買力平価 (PPP) で一人当たり一日 1.08 米ドルまたは 2005 年の PPP で一日当たり 1.25 米ドル未満で生活している人々)、または、(3) USAID の最貧困水準などがあり、国により異なります。貧困水準および購買力平価に関する最新情報については、次のウェブサイトをご覧ください: www.povertytools.org。</p>
貧困層	<p>インパクト報告および投資基準 (Impact Reporting & Investment Standards (IRIS)) の定義: 「貧困層とは、一般的に認識されている貧困水準以下の生活をしている人々をいいます。一般的に認識されている貧困水準には、(1) 各国政府が設定している法定貧困水準以下で生活している人々、または、(2) 1993 年の購買力平価で一人当たり一日 2.00 米ドル未満で生活している人々などがあります。貧困水準および購買力平価に関する最新情報については、次のウェブサイトをご覧ください: www.povertytools.org。</p>
低所得者層	<p>インパクト報告および投資基準 (Impact Reporting & Investment Standards (IRIS)) の定義: 「低所得者層の人々とは、貧困水準以上だが国民平均所得以下での生活をしている人々をいいます。」貧困水準および購買力平価に関する最新情報については、次のウェブサイトをご覧ください: www.povertytools.org。</p>

PIIFの原則 1: サービスの範囲

考えられる取り組みの事例

リテールプロバイダーを支援する。

IFD 10	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PIIF 1
--------	------------------	----------	--------------

IFD 10	指標	
IFD 10.1	あなたの組織が投資先に技術的な支援を行っているかどうかを明示してください。	
	○ 行っている	○ 行っていない
IFD 10.2	補足情報 [任意]	

IFD 10	説明
IFD 10.1	IFD 10.1 は、MIV 開示ガイドライン 1.3.9 に準じています。技術的支援は直接でも第三者経由でも構いません。
IFD 10.2	報告年度中に提供した技術的支援の種類や割り当てたリソースの範囲・規模について具体的に記載したい方はこの欄を利用してください。

セクション

PIIFの原則 2: 顧客保護

考えられる取り組みの事例

顧客保護原則 (CPP) を支持する旨を公表する。

IFD 11	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 2
--------	----------------	------------	--------------

IFD 11	指標		
IFD 11.1	あなたの組織では、顧客保護原則を支持する旨を公表しているかどうかを明示してください。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>○ 公表している</td> <td>○ 公表していない</td> </tr> </table>	○ 公表している	○ 公表していない
○ 公表している	○ 公表していない		
IFD 11.2	補足情報 [任意]		

IFD 11	説明									
IFD 11.1	IFD 11.1 は、MIV 開示ガイドライン 3.2.10.1 に準じています。顧客保護原則は、スマート・キャンペーン (Smart Campaign) の一環として策定されているものであり、低所得者層の顧客が公正に取り扱われ、かつ、有害な金融商品から適切に保護されることを目的に投資家に働き掛けを行うマイクロファイナンス業界全体の取り組みの一つです: http://www.smartcampaign.org/ .									
ロジック										
IFD 11	組織が[05]において、総包括的金融資産の20%以上をマイクロファイナンスに自己運用にて投資していると回答すると、この指標が適用されます。									
評価										
IFD 11	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[11.1]への回答に基づいて評価されます。									
指標採点方法										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「公表していない」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「公表している」</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「公表していない」	○		「公表している」	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細								
「公表していない」	○									
「公表している」	★★★									

PIIFの原則 2: 顧客保護

IFD 12	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 2
--------	------------------	------------	--------------

IFD 12		指標	
IFD 12.1	あなたの組織では、顧客保護原則やその他の顧客保護基準の導入に関して投資先に研修を実施したり支援を行っているかどうかを明示してください。		
	○ 行っている		○ 行っていない
IFD 12.2	補足情報		
	[任意]		

IFD 12		説明	
IFD 12.1	研修または支援は、直接でも提携企業経由でも構いません。数値で表す場合には、報告期間中に実施した研修の回数、および期間さらにはそれらに参加した人々の数などを記載してください。また、支援には、共同融資/支援を行った評価・審査、または証明書の数を含めることもできます。		
	ロジック		
IFD 12	組織が[05]において、総包括的金融資産の20%以上をマイクロファイナンスに自己運用にて投資していると回答すると、この指標が適用されます。		
評価			
IFD 12	最大スコア: ★ ★3つ この指標は、[12.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「行っていない」	○	
	「行っている」	★★★	

PIIFの原則 2: 顧客保護

IFD 13	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 2
--------	----------------	------------	--------------

IFD 13	指標
IFD 13.1	あなたの組織では、顧客保護原則やその他の顧客保護基準を投資ポリシーに組み入れているかどうかを明示してください。
	<input type="radio"/> 組み入れている <input type="radio"/> 組み入れていない
IFD 13.2	これが体系的に適用されているかどうかを明示してください。
	デューディリジェンスの段階において
	<input type="radio"/> 適用されている <input type="radio"/> 適用されていない
	金銭貸借契約書や融資契約書あるいは株主間契約書の契約条項において
	<input type="radio"/> 適用されている <input type="radio"/> 適用されていない
IFD 13.3	組織では、顧客保護証明書の申請を投資先に働き掛けているかどうかを明示してください。 [任意]
	<input type="radio"/> 働き掛けている <input type="radio"/> 働き掛けていない
IFD 13.4	補足情報
	[任意]

IFD 13	説明
IFD 13.1 および 13.2	IFD 13.1 および 13.2 は、MIV 開示ガイドライン 3.2.10.2 に基づいています。
IFD 13.3	顧客保護認定とは、金融機関における顧客の取り扱いを評価するものであり、顧客への配慮が行き届いており基準を十分満たしている金融機関を公に認定する独立した第三者の評価制度をいいます。この証明書を取得することにより、金融機関は、マイクロファイナンス業界の顧客保護原則を遵守していることを明示することができます。こうした活動は、顧客を良識をもって透明性を高く維持しつつ丁寧に取扱うことを目指す実務の奨励にもつながり、マイクロファイナンス業界の一層の安定化に寄与しています。投資先が顧客保護認定書を申請するよう投資先に働き掛ける方法には、認定書の取得を条件とする融資（例えば、認定されると融資が受けられる、または、認定書を取得する期間を設定するなど）等を含めることができます。 http://smartcampaign.org/certification
ロジック	
IFD 13	組織が[05]において、総包括的金融資産の20%以上をマイクロファイナンスに自己運用にて投資していると回答すると、この指標が適用されます。 [13.1] で「組み入れている」と回答すると、[13.2]および[13.3] が適用されます。
評価	

PIIFの原則 2: 顧客保護

IFD 13	最大スコア: ★★ 3つ この指標は、[13.1、13.2 および 13.3]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「いいえ、組織では、CPP やその他の顧客保護基準を投資ポリシーに組み入れていない」	○	
	「はい、組織では、CPP やその他の顧客保護基準を投資ポリシーに組み入れている」	★	
	「はい、組織では、CPP やその他の顧客保護基準を投資ポリシーに組み入れるとともに、デューデリジエンスの段階 または 金銭貸借契約書や融資契約書あるいは株主間契約書の契約条項の いずれか において、これらの原則等を体系的に適用している」	★★	
「はい、組織では、CPP やその他の顧客保護基準を投資ポリシーに組み入れるとともに、デューデリジエンスの段階 および 金銭貸借契約書や融資契約書あるいは株主間契約書の契約条項の 両方 において、これらの原則等を体系的に適用している」	★★★		

PIIFの原則 3: 公正な取り扱い

	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「行っていない」または 20%以下	○	
	21～40%	★	
	41～60%	★★	
	60%超	★★★	

考えられる取り組みの例:

適切な通貨および趣旨で融資を行う。

多様な資金調達基盤の構築を積極的に支援する。

IFD 15	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PIIF 3
--------	----------------	----------	--------------

IFD 15	指標				
IFD 15.1	あなたの組織の自己運用債券投資ポートフォリオに関連して、以下に記載する特定の（投資時点からの）償還期間を有する債券ポートフォリオの割合を明示してください:				
	<input type="checkbox"/> 12ヶ月以下 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #D9E1F2;">割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> </table>	割合を明示してください。		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超	
	割合を明示してください。				
	○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超				
	<input type="checkbox"/> 13ヶ月から 24ヶ月 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #D9E1F2;">割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> </table>	割合を明示してください。		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超	
割合を明示してください。					
○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超					
<input type="checkbox"/> 25ヶ月から 60ヶ月 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #D9E1F2;">割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> </table>	割合を明示してください。		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超		
割合を明示してください。					
○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超					
<input type="checkbox"/> 60ヶ月超 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #D9E1F2;">割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> </table>	割合を明示してください。		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超		
割合を明示してください。					
○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超					
IFD 15.2	組織では、投資先の債券投資の最大エクスポージャーについて一定の限度を設定しているかどうかを明示してください。 [任意]				
	<input type="radio"/> 設定している <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #D9E1F2;">割合を明示してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超</td> </tr> </table> <input type="radio"/> 設定していない	割合を明示してください。		○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超	
割合を明示してください。					
○ 20%未満、○ 20-40%、○ 41-60%、○ 61-80%、○ 80%超					
IFD 15.3	補足情報 [任意]				

IFD 15	説明
IFD 15	この指標は、組織が債券を自己運用している場合にのみ適用されます。
IFD 15.2	ここで言う限度とは、回答者が設定している各投資先の債券総額に占める一回毎の債券投資の割合の上限をいいます。
ロジック	

PIIFの原則 3: 公正な取り扱い

IFD 15

組織が、[04]において、総包括的金融資産の 20%以上を債券に投資していると回答すると、この指標が適用されます。

考えられる取り組みの例:

適切な通貨および趣旨で融資を行う。

多様な資金調達基盤の構築を積極的に支援する。

IFD 16	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 3
--------	----------------	------------	--------------

IFD 16	指標
IFD 16.1	(IFD 04 で回答した様に) あなたの組織が自己運用している株式投資ポートフォリオに関連して、株式投資の平均的な保有期間を明示してください。 <input type="checkbox"/> 12ヶ月以下 <input type="checkbox"/> 13ヶ月から24ヶ月 <input type="checkbox"/> 25ヶ月から60ヶ月 <input type="checkbox"/> 60ヶ月超
IFD 16.2	組織では、責任あるエグジット・アプローチに関連して、特定のポリシーまたは手続きを設定しているかどうかを明示してください <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <input type="radio"/> 設定している <input type="radio"/> 設定していない </div>
IFD 16.3	組織では、責任あるエグジット・アプローチに関連して、ポリシーまたは手続きを公表しているかどうかを明示してください。URLを記載してください。 [任意]
IFD 16.4	組織では、株式投資に関連して、株主資本利益率(ROE)の目標または上限に係る具体的なポリシーまたは手続きを設定しているかどうかを明示してください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <input type="radio"/> 設定している <input type="radio"/> 設定していない </div>
IFD 16.5	組織では、株式投資に関連して、株主資本利益率(ROE)の目標または上限に係る具体的なポリシーまたは手続きを公表しているかどうかを明示してください。URLを記載してください。 [任意]
IFD 16.6	株主資本利益率(ROE)の目標を明示してください。該当する場合には、ファンド毎にそれぞれの目標を記載してください。 [任意]
IFD 16.7	組織では、投資対象となる投資先の株式投資の最大エクスポージャーについて一定の限度を設定しているかどうかを明示してください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <input type="radio"/> 設定している <input type="radio"/> 設定していない </div>

PIIFの原則 3: 公正な取り扱い

IFD 16.8	補足情報 [任意]
----------	--------------

IFD 16	説明		
IFD 16	この指標は、組織が自己運用で株式に投資している場合にのみ適用されます。		
IFD 16.4 および 16.6	これは、ファンド・レベルにおける目標または上限をいい、個々の投資に適用されるものではなく、組織に適用される目標または上限です。合同運用ファンドの場合には、ファンドが、株式に 50%超投資している場合、この指標が適用されます。		
IFD 16.7	これは、回答者が設定している投資先の自己資本総額に占める一回毎の株式投資の割合の上限をいいます。		
ロジック			
IFD 16	<p>組織が[04]において、包括的金融資産の 20%以上を株式に投資していると回答すると、この指標が適用されます。</p> <p>この指標内において、[16.2] で「設定している」と回答すると、[16.3] が適用され、また、[16.4] において「設定している」と回答すると、[16.5] が適用されます。</p>		
評価			
IFD 16	<p>最大スコア: ★3つ</p> <p>この指標は、[16.2]および[16.4]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	エグジットおよび(ROE)目標のいずれにも特定のポリシーまたは手続きを設定していない	○	
	エグジットまたは(ROE)目標のいずれかについて特定のポリシーまたは手続きを設定している	★	
	エグジットおよび(ROE)目標の両方について特定のポリシーまたは手続きを設定している	★★	
	エグジットおよび(ROE)目標の両方について特定のポリシーまたは手続きを設定しており、かつ、少なくともどちらかを公表している	★★★	

PIIFの原則 3: 公正な取り扱い

考えられる取り組みの例:

公正契約解除条項を含む契約諸条件を透明性を持って、公正かつ合理的に交渉を行う。

IFD 17	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 3
--------	----------------	------------	--------------

IFD 17	指標		
IFD 17.1	あなたの組織が以下の実務慣行を採用しているかどうかを明示してください		
	<input type="checkbox"/> 債券投資については、「Lenders' Guidelines for Setting Covenants in Support of Responsible Microfinance (責任あるマイクロファイナンスを支援する契約条項を設定するための貸し手側のガイドライン)」を見本または参考文献として利用している		<p>これらの実務慣行が、ポリシー文書および手続書の作成を通じて、明文化されているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 明文化されている <input type="radio"/> 明文化されていない</p>
	<input type="checkbox"/> 融資/株主契約に署名する前に、投資先が契約条件、条項およびその意味するところを適切に理解するよう万全を図っている。	組織が設定しているプロセスを記載してください。	<p>これらの実務慣行が、ポリシー文書および手続書の作成を通じて、明文化されているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 明文化されている <input type="radio"/> 明文化されていない</p>
	<input type="checkbox"/> 契約条項の違反といった問題が発生した場合には、それらの問題について率直に話し合うことで、投資先との間で信頼関係を醸成するとともに、前向きな対話を心掛けている。	組織が設定しているプロセスを記載してください。	<p>これらの実務慣行が、ポリシー文書および手続書の作成を通じて、明文化されているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 明文化されている <input type="radio"/> 明文化されていない</p>
	<input type="checkbox"/> 重大な条項違反が発生した場合には、投資先が可能な限り、継続企業体であり続けるよう支援することを目標に、適切な場合には、自主的なワーキンググループを立ち上げている/ワーキンググループに参加している。		<p>これらの実務慣行が、ポリシー文書および手続書の作成を通じて、明文化されているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 明文化されている <input type="radio"/> 明文化されていない</p>
	<input type="checkbox"/> 債券投資については、組織のスタッフを対象に、効果的なモニタリングおよび債務返		<p>これらの実務慣行が、ポリシー文書および手続書の作</p>

PIIFの原則 3: 公正な取り扱い

	<p>済猶予交渉に関する研修を実施し悪化する状況に適切に対応できるようにするとともに、不良債権化しつつある融資契約を、当初の融資担当スタッフから紛争解決を担当する専門スタッフに移している。</p>	<p>成を通じて、明文化されているかどうかを明示してください。</p>	
		○ 明文化されている	○ 明文化されていない
	<p><input type="checkbox"/> 投資先に対して、財務予測、シナリオ策定およびストレス・テストに関する経営陣のスキル向上ならびに金融専門知識向上およびガバナンスに関する取締役陣のスキル向上を促している。</p>	<p>これらの実務慣行が、ポリシー文書および手続書の作成を通じて、明文化されているかどうかを明示してください。</p>	
		○ 明文化されている	○ 明文化されていない
	<p><input type="checkbox"/> その他; 説明してください _____</p>	<p>これらの実務慣行が、ポリシー文書および手続書の作成を通じて、明文化されているかどうかを明示してください。</p>	
		○ 明文化されている	○ 明文化されていない
	<p><input type="checkbox"/> 上記のいずれでもない</p>		
IFD 17.2	<p>補足情報 [任意]</p>		

IFD 17	説明
IFD 17	<p>The Lenders' Guidelines for Setting Covenants in Support of Responsible Microfinance では、債券投資家向けに具体的かつ妥当な条項、即ち、MFI 投資先が最終顧客を害することのないような「責任ある融資」行動を採用することに寄与する条項についての手引きを提供しています。</p>
IFD 17.1	<p>組織が自己運用で債券に投資している場合のみ、次の二つのオプション、「Lenders' Guidelines for Setting Covenants in Support of Responsible Microfinance (責任あるマイクロファイナンスを支援する契約条項を設定するための貸し手側のガイドライン)を見本または参考文献として利用している」、および「組織のスタッフを対象に効果的なモニタリングおよび債務返済猶予交渉に関する研修を実施し悪化する状況に適切に対応できるようにするとともに、不良債権化しつつある融資契約を当初の融資担当スタッフから紛争解決を担当する専門スタッフに移している」、が適用されます。</p>
ロジック	

PIIFの原則 3: 公正な取り扱い

IFD 17	<p>組織が、[04]において、包括的金融資産の 20%以上を債券に投資していると回答すると、以下のオプションが適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 債券投資については、「Lenders' Guidelines for Setting Covenants in Support of Responsible Microfinance (責任あるマイクロファイナンスを支援する契約条項を設定するための貸し手側のガイドライン)」を見本または参考文献として利用している • 債券投資については、組織のスタッフを対象に効果的なモニタリングおよび債務返済猶予交渉に関する研修を実施し悪化する状況に適切に対応できるようにするとともに、不良債権化しつつある融資契約を当初の融資担当スタッフから紛争解決を担当する専門スタッフに移している。 																		
評価																			
IFD 17	<p>最大スコア: ★3つ この指標は、[17.1]への回答に基づいて評価されます。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td colspan="3" data-bbox="324 590 1825 694">指標採点方法</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 694 828 750">選択された回答</td> <td data-bbox="828 694 1332 750">スコア・レベル</td> <td data-bbox="1332 694 1825 750">詳細</td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 750 828 813">「上記のいずれでもない」</td> <td data-bbox="828 750 1332 813">○</td> <td data-bbox="1332 750 1825 813"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 813 828 877">「採用している」を一つ選択</td> <td data-bbox="828 813 1332 877">★</td> <td data-bbox="1332 813 1825 877"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 877 828 941">「採用している」を二つ選択</td> <td data-bbox="828 877 1332 941">★★</td> <td data-bbox="1332 877 1825 941"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 941 828 997">「採用している」を三つ以上選択</td> <td data-bbox="828 941 1332 997">★★★</td> <td data-bbox="1332 941 1825 997"></td> </tr> </table>		指標採点方法			選択された回答	スコア・レベル	詳細	「上記のいずれでもない」	○		「採用している」を一つ選択	★		「採用している」を二つ選択	★★		「採用している」を三つ以上選択	★★★	
指標採点方法																			
選択された回答	スコア・レベル	詳細																	
「上記のいずれでもない」	○																		
「採用している」を一つ選択	★																		
「採用している」を二つ選択	★★																		
「採用している」を三つ以上選択	★★★																		

セクション

PIIFの原則 4: 責任投資

考えられる取り組みの例:

ソーシャル・パフォーマンス・タスクフォース基準およびツールを活用して、社会的パフォーマンスを測定し報告する。

IFD 18	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PIIF 4
--------	----------------	----------	--------------

IFD 18	指標
IFD 18.1	あなたの組織では、社会的パフォーマンス報告について以下のツールを利用しているかどうかを明示してください。
	外部で開発されたツール
	デューディリジェンスの段階において
	<input type="radio"/> 利用している <input type="radio"/> 利用していない <input type="radio"/> 組織では、社会的パフォーマンスを追跡していない
	モニタリングおよび報告目的で
	<input type="radio"/> 利用している <input type="radio"/> 利用していない <input type="radio"/> 組織では、社会的パフォーマンスを追跡していない
	採用しているアプローチおよび利用頻度について記載してください。[任意]
	外部で開発されたツールに基づく社内ツール
	デューディリジェンスの段階において
	<input type="radio"/> 利用している <input type="radio"/> 利用していない <input type="radio"/> 組織では、社会的パフォーマンスを追跡していない
	モニタリングおよび報告目的で
	<input type="radio"/> 利用している <input type="radio"/> 利用していない <input type="radio"/> 組織では、社会的パフォーマンスを追跡していない
	採用しているアプローチおよび利用頻度について記載してください。[任意]
	社内のみで開発されたツール
	デューディリジェンスの段階において
	<input type="radio"/> 利用している <input type="radio"/> 利用していない <input type="radio"/> 組織では、社会的パフォーマンスを追跡していない

PIIFの原則 4: 責任投資

	モニタリングおよび報告目的で		
	○ 利用している	○ 利用していない	○ 組織では、社会的パフォーマンスを追跡していない
	採用しているアプローチおよび利用頻度について記載してください。 [任意]		
IFD 18.2	補足情報 [任意]		

IFD 18	説明
IFD 18	<p>社会的パフォーマンスとは、一般的に認められている社会的価値に沿って、機関の使命が効果的に実務につながることを意味します (SPTF の定義)。これは、即ち、組織の社会的使命を現実化することです。これには、大勢の貧しく社会から排除されている人々にサービスを提供すること、金融サービスの質と適切性を高めること、顧客に便益をもたらすこと、そして MFI の社会的責任を向上させることなどを含めることができます。</p> <p>外部で開発されたツール: ダブルボトムライン(財務的評価と社会的評価の両方)を追求する全てのマイクロファイナンス機関に適用される一連の管理基準である Universal Standards for Social Performance Management(社会的パフォーマンス管理に係る普遍的基準)を参照ください。</p>
ロジック	
IFD 18	この指標にあるいずれかのツール(社内、外部で開発されたツール)を利用していると回答すると、指標 [28-31] が適用されます。

PIIFの原則 4: 責任投資

IFD 19	指標のステータス 必須	目的 説明	原則 PIIF 4
--------	----------------	----------	--------------

IFD 19	指標
IFD 19.1	<p>あなたの組織では、投資先のリテール機関に、独立した財務格付けを取得することを義務付けているかどうかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 常に義務付けている <input type="radio"/> 大部分のケースで義務付けている <input type="radio"/> 一部のケースで義務付けている <input type="radio"/> 義務付けていない
IFD 19.2	<p>組織では、投資先のリテール機関に、独立した社会的格付けを取得することを義務付けているかどうかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 常に義務付けている <input type="radio"/> 大部分のケースで義務付けている <input type="radio"/> 一部のケースで義務付けている <input type="radio"/> 義務付けていない
IFD 19.3	<p>組織では、投資先のリテール機関に、独立した社会的パフォーマンス監査を受けることを義務付けているかどうかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 義務付けている <input type="radio"/> 義務付けていない
IFD 19.4	<p>補足情報 [任意]</p>

IFD 19	説明
IFD 19	<p>独立した監査および格付けの利用は、財務アカウンティングに追加して行うものです。</p> <p><i>財務格付け</i></p> <p>財務パフォーマンス格付けでは、MFI の信用力のみならず、マイクロファイナンスにおける信頼度と卓越性についても評価しています。これらでは、信用格付けの特性のみならずより深度のある分析を組み入れて、小規模起業家に高品質の融資を行う際の各機関の有効性を評価しています。財務パフォーマンス格付けとは、一般的に、MFI のグローバル・パフォーマンス(強みと弱み)の統合評価を意味します。格付け機関各自の基準に従って、MFI のパフォーマンスに一定の格付けまたはグレードが付与されます。マイクロファイナンス機関格付け(MIR)は、マイクロファイナンス専門の格付け機関四社が行っており、四社いずれも、顧客保護指標を組み入れて評価を行っています。格付けおよびプロバイダーに関する詳細については、www.ratinginitiative.org を参照ください。</p> <p><i>社会的パフォーマンス監査/格付け</i></p> <p>社会的パフォーマンス監査/格付けとは、MFI の社会的パフォーマンスに関する独立した評価をいいます。社会的パフォーマンス監査/格付けでは、社会的リスク(社会的使命を達成できないリスク)および社会的パフォーマンス(社会的価値への貢献可能性)の両方を評価しています。監査と格付けの主な違いは、格付けには、格付け機関自身の基準に従って、一定の格付けまたはグレードが付与されるという点</p>

です。格付けおよびプロバイダーに関する詳細については、www.ratinginitiative.orgを参照ください。

考えられる取り組みの例:

コーポレートガバナンス上の問題が発生した場合に参照することができる適切な参考文献の策定を支援する。

IFD 20	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 4
--------	----------------	------------	--------------

IFD 20	指標		
IFD 20.1	投資先におけるコーポレートガバナンスに関するデューデリジェンスならびにモニタリングおよび報告に関連して、あなたの組織では以下の項目について評価を行っているかどうかを明示してください。		
	取締役会および経営委員会のメンバーの報酬(即ち、その透明性、ベンチマークとなる基準の利用)		
	投資前		
	○ 行っている	○ 行っていない	○ 包括的金融におけるすべての投資について行っていない
	投資後		
	○ 行っている	○ 行っていない	○ 包括的金融におけるすべての投資について行っていない
	組織として特に注目する項目、および投資後については、評価の頻度を記載してください。[任意]		
	取締役会の構成(即ち、経験の広さ・深さ、顧客を効果的に代表する人物、多様性)		
	投資前		
	○ 行っている	○ 行っていない	○ 包括的金融におけるすべての投資について行っていない
	投資後		
	○ 行っている	○ 行っていない	○ 包括的金融におけるすべての投資について行っていない
	組織として特に注目する項目、および投資後については、評価の頻度を記載してください。[任意]		
	取締役会では、経営陣から社会的パフォーマンス関連情報を受領し、それらを分析のうえ取締役会の意思決定に役立っているかどうか		
投資前			
○ 役立っている	○ 役立っていない	○ 包括的金融におけるすべての投資について行っていない	

PIIFの原則 4: 責任投資

	投資後		
	○ 役立っている	○ 役立っていない	○ 包括的金融におけるすべての投資について行っていない
	組織として特に注目する項目、および投資後については、評価の頻度を記載してください。[任意]		
IFD 20.2	補足情報 [任意]		

IFD 20	説明		
IFD 20	包括的金融におけるすべての投資について行っていない: これらのプロセスの中には、組織の投資対象となるマイクロファイナンス業界以外の業界の事業体、例えば、銀行や持株会社には異なる場合があります。その場合には、これは IFD 20.2 におけるケースであることを明示してください。		
評価			
IFD 20	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[20.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	すべて「行っていない」	○	
	投資前または投資後のいずれかにおいて、「行っている」の回答が三つ未満、または投資前または投資後のいずれかにおいて、「包括的金融におけるすべての投資について行っていない」の回答が五つ未満	★	
	投資前または投資後のいずれかにおいて、「行っている」の回答が三つから四つ、または投資前または投資後のいずれかにおいて、「包括的金融におけるすべての投資について行っていない」の回答が五つ以上	★★	
	投資前または投資後のいずれかにおいて、「行っている」の回答が五つ以上	★★★	

考えられる取り組みの例:

コーポレートガバナンス上の問題が発生した場合に参照することができる適切な参考文献の策定を支援する。

IFD 22	指標のステータス 自主開示	目的 説明	原則 PIIF 4
--------	------------------	----------	--------------

IFD 22	指標
IFD 22.1	<p>あなたの組織の自己運用株式ポートフォリオ(IFD 04 で報告している通り)に関連して、組織が取締役会にメンバーを送り込んでいる、または取締役会のメンバーを選定している投資先の割合を明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 20%未満、<input type="radio"/> 20-40%、<input type="radio"/> 41-60%、<input type="radio"/> 61-80%、<input type="radio"/> 80%超</p> <p><input type="checkbox"/> この情報を追跡していない</p>
IFD 22.2	<p>組織が取締役会に参加する頻度を明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 月一回以上</p> <p><input type="radio"/> 四半期毎</p> <p><input type="radio"/> 半年に一回</p> <p><input type="radio"/> 毎年</p> <p><input type="radio"/> 2年に一回以下</p> <p><input type="radio"/> 必要に応じ不定期で</p> <p><input type="radio"/> この情報を追跡していない</p>
IFD 22.3	<p>取締役会にメンバーを送り込んでいない株式投資先に対しては、組織では、どのように影響を及ぼしているか、または、影響力を維持しているかを記載してください。</p>
IFD 22.4	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

IFD 22	説明
IFD 22.1	この指標は、組織が自己運用で株式に投資している場合にのみ適用されます。
ロジック	
IFD 22	<p>組織が[04]において、包括的金融資産の 20%以上を株式に投資していると回答すると、この指標が適用されます。</p> <p>この指標内で、[22.1]で「20%以上」と回答すると、[22.2]が適用されます。</p>

考えられる取り組みの例:

環境上の問題が発生した場合に参考にすることができる適切な参考文献の策定を支援する。

IFD 23	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 4
--------	----------------	------------	--------------

IFD 23	指標
IFD 23.1	<p>組織では、一定の手続きを設定し、環境問題の考慮・検討を投資決定プロセスに織り込んでいるかどうかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> はい、すべての包括的金融投資について織り込んでいる <input type="radio"/> はい、大部分の包括的金融投資について織り込んでいる <input type="radio"/> はい、一部の包括的金融投資について織り込んでいる <input type="radio"/> 織り込んでいない
IFD 23.2	<p>環境問題の考慮・検討を投資決定プロセスに織り込む手続きがどのように投資前の意思決定に影響を及ぼしているかを明示してください。</p> <p>[任意]</p>
IFD 23.3	<p>環境問題の考慮・検討を投資決定プロセスに織り込む手続きがどのように投資後の意思決定に影響を及ぼしているかを明示してください。</p> <p>[任意]</p>
IFD 23.4	<p>組織では、投資先に対して、一定の環境除外リストを遵守するよう求めているかどうかを明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> はい、すべての投資先に求めている <input type="radio"/> はい、大部分の投資先に求めている <input type="radio"/> はい、一部の投資先に求めている <input type="radio"/> 求めていない
IFD 23.5	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

IFD 23	説明
IFD 23.1	<p>IFD 23.1 は、MIV 開示ガイドライン 3.1.3 に基づいています。包括的金融投資に関連する一般的な環境上の問題には、公害(廃棄物、水、空気)、化学薬品および農薬の使用、エネルギーの使用および森林の破壊(レンガ焼き、木炭製造および木材の伐採)などがあります。詳細情報および手引きについて、FMO では、主に、MFI および SME 銀行を対象に、MFI および SME サステナビリティおよびガイドン</p>

PIIFの原則 4: 責任投資

	ス・ツールを作成しています。これらのツールでは、E&S 評価およびガイダンスに沿ったフォローアップ・プロセスの導入方法について説明しています。		
IFD 23.4	IFD 23.4 は、MIV 開示ガイドライン 3.1.2 に基づいています。環境除外リストとは、一連の最低環境基準/実務や、環境を悪化させるリスクがあるために投資先の融資対象とはならない活動の一覧表をいいます。		
ロジック			
IFD 23	[23.1] で「織り込んでいる」と回答すると、[23.2]および[23.3] が適用されます。		
評価			
IFD 23	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[23.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「織り込んでいない」	○	
	はい、一部の包括的金融投資先に織り込んでいる	★	
	はい、大部分の包括的金融投資先に織り込んでいる	★★	
	はい、すべての包括的金融投資先に織り込んでいる	★★★	

考えられる取り組みの例:

腐敗防止のための実務慣行の導入を推進する。

IFD 24	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 4
--------	------------------	------------	--------------

IFD 24	指標
IFD 24.1	<p>あなたの組織では、腐敗防止ポリシーを策定しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> はい、策定のうえ公表している</p> <p><input type="radio"/> はい、策定しているが、公表はしていない</p> <p><input type="radio"/> 策定していない</p>
IFD 24.2	<p>組織では、内部告発ポリシーを策定しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> はい、策定のうえ公表している</p> <p><input type="radio"/> はい、策定しているが、公表はしていない</p> <p><input type="radio"/> 策定していない</p>
IFD 24.3	<p>投資先が腐敗防止ポリシーを策定しているかどうかをデュー・ディリジェンス・プロセスの一環として精査しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 精査している</p> <p><input type="radio"/> 精査していない</p>
IFD 24.4	<p>投資先が内部告発ポリシーを策定しているかどうかをデュー・ディリジェンス・プロセスの一環として精査しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 精査している</p> <p><input type="radio"/> 精査していない</p>
IFD 24.5	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

IFD 24	説明						
IFD 24.5	例えば、腐敗防止ポリシーの導入・実施を推進している場合には、どのように推進しているかを説明してください。						
評価							
IFD 24	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[24.1 および 24.2]への回答に基づいて評価されます。</p>						
	指標採点方法						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細			
選択された回答	スコア・レベル	詳細					

PIIFの原則 4: 責任投資

	腐敗防止ポリシーまたは内部告発ポリシーのいずれも策定していない	○	
	腐敗防止ポリシーまたは内部告発ポリシーのいずれかを策定している	★	
	腐敗防止ポリシーおよび内部告発ポリシーの両方を策定している	★★	
	腐敗防止ポリシーおよび内部告発ポリシーの両方を策定しており、かつ、それらを公表している	★★★	

セクション

PIIFの原則 5: 透明性

考えられる取り組みの例:

各種ポリシー、基準および商品・サービスに係る関連諸条件のすべてを投資先およびその他関連ステークホルダーに開示する

IFD 25	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 5
--------	------------------	------------	--------------

IFD 25	指標
IFD 25.1	<p>あなたの組織では、どのようにして、その使命および投資目標をステークホルダー（例えば、投資先、投資家）に周知徹底しているかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 公表している; その場合には、URL: _____ を記載してください</p> <p><input type="radio"/> 主要なステークホルダーのみ</p> <p><input type="radio"/> 要請があった場合のみ</p>
IFD 25.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

IFD 25	説明															
評価																
IFD 25	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[25.1]への回答に基づいて評価されます。</p>															
指標採点方法																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答なし</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>要請された場合のみ、使命および投資目標を提示している</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要なステークホルダーにのみ、使命および投資目標を提示している</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使命および投資目標を公表し周知徹底している</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	回答なし	○		要請された場合のみ、使命および投資目標を提示している	★		主要なステークホルダーにのみ、使命および投資目標を提示している	★★		使命および投資目標を公表し周知徹底している	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細														
回答なし	○															
要請された場合のみ、使命および投資目標を提示している	★															
主要なステークホルダーにのみ、使命および投資目標を提示している	★★															
使命および投資目標を公表し周知徹底している	★★★															

考えられる取り組みの例:

各種ポリシー、基準および商品・サービスに係る関連諸条件のすべてを投資先およびその他関連ステークホルダーに開示する

IFD 26	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 5
--------	----------------	------------	--------------

IFD 26	指標
IFD 26.1	<p>PRI/PIIF の他に、あなたの組織が業界基準に準拠した情報を投資家や一般公衆に提供しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 提供している <input type="radio"/> 提供していない</p>
IFD 26.2	<p>以下のガイドラインに沿った情報を提供していますか:</p> <p><input type="checkbox"/> MIV 情報開示ガイドライン</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="radio"/> はい、投資家のみを提供している</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="radio"/> はい、公表している</p> <p><input type="checkbox"/> インパクト報告および投資基準 (Impact Reporting & Investment Standards, IRIS)</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="radio"/> はい、投資家のみを提供している</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="radio"/> はい、公表している</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください) _____</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="radio"/> はい、投資家のみを提供している</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="radio"/> はい、公表している</p>
IFD 26.3	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

IFD 26	説明
IFD 26.1	<p>MIV 情報開示ガイドラインでは、マイクロファイナンス投資機関/事業体(定義およびガイダンスについては付属資料 1 を参照してください)が開示できる標準的な指標を提供しています。情報開示には、法律情報、投資戦略、財務業績および ESG ポリシーを評価するためのいくつかの指標など、MIV のプロフィールに関する情報が含まれています。MIV 情報開示ガイドライン一式については、http://www.cgap.org/gm/document-1.9.47636/CG_MIV_Rev.pdf を参照ください。</p> <p>インパクト報告および投資基準 (Impact Reporting & Investment Standards (IRIS)) は、組織の社会的パフォーマンスおよび環境パフォーマンスを説明する共通の言語です。IRIS では、組織がその影響を報告する際に使用する独立した信頼できる指標を提供しています。IRIS の指標は多岐にわたるパフォーマンス目標を扱っており、その中には、金融サービスなどの各種セクターに特化した指標もあります：http://iris.thegiin.org/</p>
IFD 26.3	<p>例えば、該当する場合には、組織では特定のいずれかの業界基準や指標を優先的に使用しているかどうか、およびこの報告の対象となっている資産の割合を記載してください。</p>
評価	

PIIFの原則 5: 透明性

IFD 26	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[26.1 および 26.2]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「提供していない」	○	
	「はい、投資家のみを提供している」	★★	少なくとも一つの基準またはガイドラインに準拠している
「はい、公表している」	★★★	少なくとも一つの基準またはガイドラインに準拠している	

PIIFの原則 5: 透明性

考えられる取り組みの例:

投資先が金融商品やサービスの価格設定および契約諸条件を十分に開示するよう万全を図るとともに、これらの価格設定および契約諸条件が顧客に確実に理解されるよう必要な措置を取る。

IFD 27	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 5
IFD 27	指標		
IFD 27.1	投資先であるリテール機関が、以下の情報を透明性をもって、かつ、顧客（即ち、当該機関の金融サービスを求める人々）が理解できるような方法で十分に説明を尽くすよう促しているかどうかを明示してください。		
	価格設定		
	<input type="radio"/> 促している	<input type="radio"/> 促していない	
	その他の契約諸条件		
	<input type="radio"/> 促している	<input type="radio"/> 促していない	
IFD 27.2	価格設定について顧客の理解を確実に得るためどのようにして万全を図っているかを明示してください、また、その具体例を記載してください。		
IFD 27.3	その他の契約書条件について顧客の理解を確実に得るためどのようにして万全を図っているかを明示してください、また、その具体例を記載してください。		
IFD 27.4	補足情報 [任意]		

IFD 27	説明		
IFD 27.1	例えば、透明性の高い価格設定を促す方法には、融資について定率法を採用するよう投資先に働き掛けることや、投資先に適用される金利 (APR、実効利率) および全ての追加手数料を機関のウェブサイトおよび融資契約書で開示するよう働き掛けることなどが挙げられます。		
評価			
IFD 27	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[27.2 および 27.3]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	両方とも「図っていない」	○	
	いずれかの回答が「図っている」	★★	
	両方とも「図っている」	★★★	

セクション

PIIFの原則 6: バランスの取れたリターン

考えられる取り組みの例:

顧客、リテールプロバイダーおよび投資家の利益を意識した社会的リスクおよび財務リスク調整後のバランスの取れた長期的リターンの実現を目指す。

IFD 28	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 6
--------	----------------	------------	--------------

IFD 28	指標				
IFD 28.1	<p>投資先の社会的パフォーマンスが以下の項目に影響を及ぼしているかどうかを明示してください。</p> <p>投資の意思決定</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 影響を及ぼしている</td> <td>○ 影響を及ぼしていない</td> </tr> </table> <p>ポートフォリオ管理</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 影響を及ぼしている</td> <td>○ 影響を及ぼしていない</td> </tr> </table>	○ 影響を及ぼしている	○ 影響を及ぼしていない	○ 影響を及ぼしている	○ 影響を及ぼしていない
○ 影響を及ぼしている	○ 影響を及ぼしていない				
○ 影響を及ぼしている	○ 影響を及ぼしていない				
IFD 28.2	<p>投資先の社会的パフォーマンスが投資の意思決定にどのような影響を及ぼしているかを説明してください。</p>				
IFD 28.3	<p>投資先の社会的パフォーマンスがポートフォリオ管理にどのような影響を及ぼしているかを説明してください。</p>				
IFD 28.4	<p>補足情報 [任意]</p>				

IFD 28	説明
ロジック	
IFD 28	<p>[18.1]において、社会的パフォーマンス報告用ツール(社内や外部で開発されたツール)を利用していると回答すると、この指標が適用されます。</p> <p>指標内:</p> <p>[28.1]において、投資の意思決定に「影響を及ぼしている」と回答すると、[28.2]が適用されます。</p> <p>[28.1]においてポートフォリオ管理に「影響を及ぼしている」と回答すると、[28.3]が適用されます。</p>
評価	

IFD 28	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[28.2 および 28.3]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	両方とも「影響を及ぼしていない」	○	
	いずれかの回答が「影響を及ぼしている」	★★	
	両方とも「影響を及ぼしている」	★★★	

考えられる取り組みの例:

顧客、リテールプロバイダーおよび投資家の利益を意識した社会的リスクおよび財務リスク調整後のバランスの取れた長期的リターンの実現を目指す。

IFD 29	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 6
--------	------------------	------------	--------------

IFD 29	指標		
IFD 29.1	組織のスタッフを対象に包括的金融における責任投資に関連する金銭的なインセンティブまたは業績目標が設定されているかどうかを明示してください。		
	○ 設定されている	○ 設定されていない	
IFD 29.2	補足情報		

IFD 29	説明		
ロジック			
IFD 29	[18.1]において、社会的パフォーマンス報告用ツール(社内や外部で開発されたツール)を利用していると回答すると、この指標が適用されます。		
評価			
IFD 29	最大スコア: ★ 3つ この指標は[29.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「設定されていない」	○	
	「設定されている」	★★★	

考えられる取り組みの例:

顧客、リテールプロバイダーおよび投資家の利益を意識した社会的リスクおよび財務リスク調整後のバランスの取れた長期的リターンの実現を目指す。

IFD 31	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 6
--------	------------------	------------	--------------

IFD 31	指標		
IFD 31.1	<p>組織では、社会的パフォーマンスを追跡するよう投資先に報奨金等を設定し奨励しているかどうかを明示してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 奨励している</td> <td>○ 奨励していない</td> </tr> </table>	○ 奨励している	○ 奨励していない
○ 奨励している	○ 奨励していない		
IFD 31.2	<p>組織では、社会的パフォーマンスを追跡するよう投資先に奨励するにあたって、どのようなインセンティブを設定しているかその内容を説明してください。</p>		
IFD 31.3	<p>補足情報 [任意]</p>		

IFD 31	説明									
IFD 31.2	<p>例えば、債券投資家については、環境上、社会的またはガバナンス上のパフォーマンスがプラスである場合には、割引金利が利用可能となっていますか？</p>									
ロジック										
IFD 31	<p>[18.1] において、社会的パフォーマンス報告用ツール(社内や外部で開発されたツール)を利用していると回答すると、この指標が適用されます。</p> <p>[31.1]で「奨励している」と回答すると、[31.2]が適用されます。</p>									
評価										
IFD 31	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[31.1]への回答に基づいて評価されます。</p>									
指標採点方法										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「奨励していない」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「奨励している」</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「奨励していない」	○		「奨励している」	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細								
「奨励していない」	○									
「奨励している」	★★★									

セクション

PIIFの原則 7: 諸基準

考えられる取り組みの例:

ネットワークに参加し、ツール、情報およびリソースを共有する。

IFD 32	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PIIF 7
--------	----------------	------------	--------------

IFD 32	指標
IFD 32.1	以下の協働的イニシアティブの中で、あなたの組織が支援または参加しているイニシアティブ、および組織が担う役割を選択してください。
	<p>包括的金融投資原則 (Principles for Investors in Inclusive Finance (PIIF))</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援または参加している <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な役割 ○ 中程度の役割 ○ 高度な役割 ○ 支援も参加もしていない
	<p>スマート・キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援または参加している <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な役割 ○ 中程度の役割 ○ 高度な役割 ○ 支援も参加もしていない
	<p>ソーシャル・パフォーマンス・タスクフォース</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援または参加している <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な役割 ○ 中程度の役割 ○ 高度な役割 ○ 支援も参加もしていない
	<p>ファイナンシャル・インクルージョン・エクイティ・カウンシル (Financial Inclusion Equity Council) (IF CMEF)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援または参加している <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な役割 ○ 中程度の役割

PIIFの原則 7: 諸基準

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高度な役割 ○ 支援も参加もしていない
	<p>欧州マイクロファイナンス・プラットフォーム (eMFP)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援または参加している <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な役割 ○ 中程度の役割 ○ 高度な役割 ○ 支援も参加もしていない
	<p>グローバルインパクト投資ネットワーク(GIIN)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援または参加している <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な役割 ○ 中程度の役割 ○ 高度な役割 ○ 支援も参加もしていない
	<p>その他のネットワーク、協会会員、ならびに包括的金融の推進に関連する特定の連携・提携; 具体的に記載してください_____</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援または参加している <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な役割 ○ 中程度の役割 ○ 高度な役割 ○ 支援も参加もしていない
IFD 32.2	<p>組織が上記のいずれかに関与していたと答えた場合には、その内容を簡潔に説明してください。 [任意]</p>
IFD 32.3	<p>補足情報 [任意]</p>

IFD 32	説明		
	評価		
IFD 32	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[32.1]への回答に基づいて評価されます。この指標では、協働的イニシアティブへの署名者の関与度を評価します。数多くの組織やイニシアティブに関与するよりも、関与レベルが高い方が高い評価を受けることになります。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細

PIIFの原則 7: 諸基準

すべて「支援も参加もしていない」	○	
いずれかのイニシャティブにおいて基本的な役割	★	
いずれかのイニシャティブにおいて中程度の役割	★★	
いずれかのイニシャティブにおいて高度な役割	★★★	

IFD 32	定義
基本的な役割	<p>これらの活動の少なくとも1つが組織に該当する場合に、このカテゴリを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> イニシャティブに参加または登録している 参加者としてカンファレンスに出席している イニシャティブが組織した、進捗を報告する1つまたは2つの会議に出席したことがある
中程度の役割	<p>これらの活動の少なくとも1つが組織に該当する場合に、このカテゴリを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> イニシャティブの公式スポークスマンの一社として、その時々、活動を行った 方針説明書および共同声明の作成を通じ、イニシャティブの推進にある程度関与した 団体またはイニシャティブが組織したイベントの内容に貢献した
高度の役割	<p>これらの活動の少なくとも1つが組織に該当する場合に、このカテゴリを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 方針説明書や共同声明の作成を通じ、イニシャティブにおいて主導的な役割を担った イニシャティブの公式スポークスマンの一社として日頃から行動するとともに、イニシャティブを積極的に推進した 会員としての基本的な要件・義務を超えて、イニシャティブに対して運営上、コンテンツ開発上ならびに財政上の重要な支援を行った
<p>マイクロファイナンスにおける責任投資イニシャティブのマップについては、http://www.unpri.org/wp-content/uploads/RInitiativesinmicrofinance.pdf を参照ください。付随説明は、http://www.unpri.org/wp-content/uploads/2012-11Responsibleinvestmentinitiativesaccompanyingbriefing.pdf に掲載されています。</p>	

考えられる取り組みの例:

ネットワークに参加し、ツール、情報およびリソースを共有する。

IFD 33	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 7
--------	------------------	------------	--------------

IFD 33	指標
IFD 33.1	あなたの組織では、投資先が以下の団体・イニシアチブのメンバーとなる/それらを支持するよう働き掛けを行っているかどうかを明示してください。
	<p>ソーシャル・パフォーマンス・タスクフォース</p> <p style="text-align: center;"><input type="radio"/> 行っている <input type="radio"/> 行っていない</p> <p>報告年度において、組織では、どのようにして投資先での導入・実施を支援している(直接か第三者経由かを問わず)のかを説明してください。</p>
	<p>組織の包括的金融自己運用投資ポートフォリオの割合として、投資先の何パーセントがこの団体のメンバーとなっているか/団体を支持しているかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 20%未満、<input type="radio"/> 20-40%、<input type="radio"/> 41-60%、<input type="radio"/> 61-80%、<input type="radio"/> 80%超 <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない</p>
	<p>スマート・キャンペーン</p> <p style="text-align: center;"><input type="radio"/> 行っている <input type="radio"/> 行っていない</p> <p>報告年度において、組織では、どのようにして投資先での導入・実施を支援している(直接か第三者経由かを問わず)のかを説明してください。</p>
	<p>組織の包括的金融自己運用投資ポートフォリオの割合として、投資先の何パーセントがこの団体のメンバーとなっているか/団体を支持しているかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 20%未満、<input type="radio"/> 20-40%、<input type="radio"/> 41-60%、<input type="radio"/> 61-80%、<input type="radio"/> 80%超 <input type="checkbox"/> この情報を追跡していない</p>
	<p>その他のネットワーク、協会会員、ならびに包括的金融の推進に関連する特定の連携・提携; 具体的に記載してください _____</p> <p style="text-align: center;"><input type="radio"/> 行っている <input type="radio"/> 行っていない</p> <p>報告年度において、組織では、どのようにして投資先での導入・実施を支援している(直接か第三者経由かを問わず)のかを説明してください。</p>
	<p>組織の包括的金融自己運用投資ポートフォリオの割合として、投資先の何パーセントがこの団体のメンバーとなっているか/団体を支持しているかを明示してください。</p>

PIIFの原則 7: 諸基準

	<input type="radio"/> 20%未満、 <input type="radio"/> 20-40%、 <input type="radio"/> 41-60%、 <input type="radio"/> 61-80%、 <input type="radio"/> 80%超 <input type="checkbox"/> 組織では、この情報を追跡していない		
IFD 33.2	補足情報 [任意]		
IFD 33	説明		
IFD 33	マイクロファイナンスにおける責任投資イニシアティブのマップについては、 http://www.unpri.org/wp-content/uploads/R/initiativesinmicrofinance.pdf を参照ください。付随説明は、 http://www.unpri.org/wp-content/uploads/2012-11/Responsibleinvestmentinitiativesaccompanyingbriefing.pdf に掲載されています。		
評価			
IFD 33	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[33.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「行っていない」	○	
	上記のいずれかについて「行っている」	★★★	

考えられる取り組みの例:

改善に向けたインセンティブとしてベンチマーク設定の推進に貢献する。

IFD 34	指標のステータス 自主開示	目的 追加評価	原則 PIIF 7
--------	------------------	------------	--------------

IFD 34	指標
IFD 34.1	あなたの組織では、投資先に対し、業界ベンチマークの策定に寄与するイニシアチブに参画するよう働き掛けを行っているかどうかを明示してください。
	MIX マーケット
	<input type="radio"/> 行っている
	<input type="radio"/> 行っていない
	組織では、どのような措置を講じているか、および MIX 社会的パフォーマンス指標に照らして報告を行うよう働き掛けを行っているかどうかを説明してください。
	MFトランスペアレンシー(MFTransparency)
	<input type="radio"/> 行っている
	<input type="radio"/> 行っていない
	どのような措置を講じているかを記載してください。
	社会的パフォーマンス測定に係る普遍的な基準
	<input type="radio"/> 行っている
	<input type="radio"/> 行っていない
どのような措置を講じているかを記載してください。	
その他(具体的に記入してください) _____	
<input type="radio"/> 行っている	
<input type="radio"/> 行っていない	
どのような措置を講じているかを記載してください。	
IFD 34.2	補足情報 [任意]

IFD 34	説明														
IFD 34	<p>MIX の主な目的は、データ収集および分析を通じて、マイクロファイナンス業界の透明性を高めることにあります。この目的を達成するため、MIX では、財務および経営データから社会的パフォーマンス、商品および資金構造に関するデータに至る、MFI に関する各種データを紹介しています。MFI では、自主的に、MIX にデータを提供しており、MIX のダウンロード可能なデータ様式 (複数の言語が利用可能) を使って、これらのデータを提出することが出来るほか、必要とされる情報(即ち、各種格付け、アニュアルレポート、ドナー/投資家向けレポートおよび監査報告書)を既に含む可能性のあるレポートを送付することができます。MFI は、また、主要な社会的パフォーマンス指標データを提出することもできます。</p> <p>MF トランスペアレンシーでは、マイクロファイナンス業界が、融資商品の正当な価格に関してオープンかつ透明性の高い業界となるとともに、明確かつ継続的に情報を提供していくよう、当該業界に働き掛けています。MF トランスペアレンシーでは、融資の価格設定に関するデータを収集のうえ公表し、投資家およびその他業界のステークホルダーが適切な比較を行うことができるよう支援しています。グローバル・トランスペアレンシー・プライシング・イニシャティブを通じて、すべての種類のマイクロファイナンス・サービスプロバイダー(NGO、銀行および協同組合等)は、マイクロ融資価格設定データを提出することで、このイニシャティブに参加することができます。また、国別で運営を行っており、データが各マーケットの大部分を示すようになるまではいずれの国であってもデータの公表は行わないことにしています。2012 年現在、MF トランスペアレンシーでは、以下の国々に関するデータを保有しています: アゼルバイジャン、ボリビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、カンボジア、コロンビア、エクアドル、エチオピア、ガーナ、インド、ケニヤ、マラウイ、モザンビーク、フィリピン、ルワンダ、タンザニア、ウガンダおよびザンビア。未だ対象となっていない国々の MFI については、MF トランスペアレンシーでは、徹底した分析の後に、正式な価格設定証明書を提供することができます。</p> <p>業界との広範な協議を通じて策定され、2012 年に公表された、SPTF の社会的パフォーマンス管理に係る普遍的な基準(Universal Standards for Social Performance Management) は、ダブルボトムライン(財務的評価と社会的評価の両方)を追求する全てのマイクロファイナンス機関に適用される一連の管理基準です。これらの基準を満たすことは、その機関が「強固な」社会的パフォーマンス管理(SPM)実務を確立していることを示すこととなります。これを達成するために、各機関では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的目標を規定しその進捗状況をモニタリングし; 2. 取締役会、経営陣および従業員が社会的目標の達成に全力で取り組むことを保証し; 3. 責任をもって顧客に接し; 4. 顧客のニーズおよび選好を満たす商品、サービス、提供モデルおよびチャネルを考案し; 5. 従業員を責任をもって処遇し;そして 6. 財務業績(パフォーマンス)および社会的パフォーマンスの間でバランスを取る必要があります。 <p>これらの基準は、自主的かつ野心的なものですが、各 MFI(特に SPTF メンバー)は、これらの基準を使って、戦略を適切な方向に導き、より強固な社会的パフォーマンス管理を達成するとともに、社会的パフォーマンスを自主的に管理するよう奨励されています。</p>														
評価															
IFD 34	<p>最大スコア: ★ 3 つ</p> <p>この指標は、[34.1]への回答に基づいて評価されます。</p> <table border="1" data-bbox="347 1668 1441 1935"> <thead> <tr> <th colspan="3" data-bbox="347 1668 1441 1727">指標採点方法</th> </tr> <tr> <th data-bbox="347 1727 715 1787">選択された回答</th> <th data-bbox="715 1727 1082 1787">スコア・レベル</th> <th data-bbox="1082 1727 1441 1787">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="347 1787 715 1848">「いいえ」</td> <td data-bbox="715 1787 1082 1848" style="text-align: center;">○</td> <td data-bbox="1082 1787 1441 1848"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1848 715 1935">「はい」、上記のいずれかを行っている</td> <td data-bbox="715 1848 1082 1935" style="text-align: center;">★★★</td> <td data-bbox="1082 1848 1441 1935"></td> </tr> </tbody> </table>			指標採点方法			選択された回答	スコア・レベル	詳細	「いいえ」	○		「はい」、上記のいずれかを行っている	★★★	
指標採点方法															
選択された回答	スコア・レベル	詳細													
「いいえ」	○														
「はい」、上記のいずれかを行っている	★★★														

2018年PRI報告フレームワーク 委託 – 包括的金融

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 3714 3187

日本語訳は株式会社 [QUICK](#)にご協力いただきました。

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報を掲載しています。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標に関する重要な情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価項目	原則 PRI 2
--------	----------------	--------------	-------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告必須 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は任意です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、またはグループ化に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も任意です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織が他の指標に該当する場合、モジュール内の他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用されます。
コア評価項目		これらの指標は、評価の中核部分を形成するものであり、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価項目		これらの指標はより高度な、または、代替となる実務を表しており、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標であり、組織の活動等を説明することができます。

指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを熟読のうえ、指標が組織に該当することを確認してください。

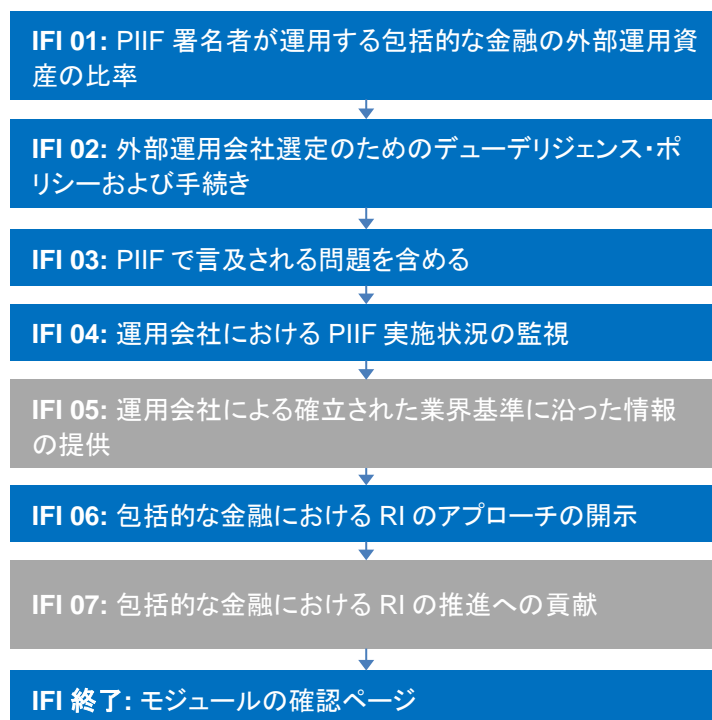
xxx 01	説明
xxx 01.1	報告が可能な項目の事例など、サブ指標を正確に解釈するうえで指針となるものです。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する場合やその指標がそれ以降の指標に影響を及ぼすかどうかについて説明しています。ロジックボックスがない場合は、指標は必ず適用されますが、他の指標に影響を及ぼすことはありません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価方法の概要を記載しています。

xxx 01	定義
xxx 01	指標で使用される個々の用語の定義を説明しています。

目次

モジュールの経路	4
序文	5
背景	6
選択	7
契約上の合意事項およびマンドートの設計	9
運用会社のモニタリングおよび報告	12
開示	13

モジュールの経路



序文

本モジュールは、包括的金融における間接投資(即ち、第三者が組織に代わって投資を運用する)に関連するものです。

別途記載のない限り、「資産」とは、包括的金融に直接投資されている資産の割合のみを言います。包括的金融に直接・間接的に投資している場合は、間接投資に該当する分のみに基づいて以下の指標について報告してください。

本モジュールの指標は、委託投資家の間接 – 外部の運用会社の選定、指名、モニタリングモジュールから採用しています。従って、包括的金融の投資に関して具体的なまたは明確なポリシーがない場合は、該当する以下の指標へ回答する際にこの旨を記載すると、繰り返し回答を記入する必要がなくなります。

改正の概要

本モジュールの指標の表現や構造は 2017 年度から変更はありません。

本モジュールでは事前入力が有効になっています。

背景

セクション
背景

IFI 01	指標のステータス 報告義務 自主開示	目的 説明	原則 一般
--------	--------------------------	----------	----------

IFI 01	指標
IFI 01.1	組織外で運用している包括的金融の資産のうち、PIIF に署名した運用会社が運用しているおおよその割合 (+/-10%) を明示してください。
	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 一部 <input type="text"/> 組織外で運用する包括的金融の資産が占める割合 (%)
IFI 01.2	補足情報 [任意]

IFI 01	説明
IFI 01.1	この数値を使用し、PRIのパブリック・コミュニケーション上、署名者のAUMIについて二重カウントの余地を減らします。この比率について価値判断を行うことはなく、従い、採点/評価方法の一部として使用されることはありません。

選択

セクション

選択

IFI 02	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 一般
--------	----------------	------------	----------

IFI 02	指標	
IFI 02.1	以下に記載する責任投資問題へのアプローチ（PIIFの原則）を考慮する組織外の資産運用会社を選定する際のデューデリジェンス・ポリシーや手続きを設定しているかどうかを明示してください。	
	低所得者層が利用できる金融サービスを開発のうえ対象範囲を拡大するリテールプロバイダーを積極的に支援する（原則1）	○ している ○ していない
	投資ポリシーや実務に顧客保護を組み入れる（原則2）	○ している ○ していない
	需要を満たす適切な融資、明確かつバランスの取れた契約、紛争を解決する公正なプロセスにより投資先を公平に扱う（原則3）	○ している ○ していない
	投資ポリシーおよび投資報告に環境、社会、ガバナンス（ESG）問題を組み込む（原則4）	○ している ○ していない
	あらゆる側面において透明性を積極的に推進する（原則5）	○ している ○ していない
	顧客、リテールプロバイダーおよび投資家の利益を認識する社会的・財務リスク調整後のバランスの取れたかつ長期的なリターンの実現に努める（原則6）	○ している ○ していない
	包括的金融のさらなる発展を支援する投資家のための統一基準の設定に協力する（原則7）	○ している ○ していない
IFI 02.2	補足情報 [任意]	

選択

IFI 02	説明		
IFI 02	PIIFが成立してからまたは組織がPIIFに署名してから、デューデリジェンスが行われていないこともあると思われます。これに該当する場合には、この指標は上記の問題を将来のデューデリジェンスに組み入れるプロセスや手続きを設定しているかどうかを意味します。		
IFI 02.1	上記の具体的な原則に関して投資家が取れる行動・対策を記載した原則の本文は、 www.unpri.org/areas-of-work/piif/ をご覧ください。運用会社は必ずしもポリシーの厳密な言い回しに従ったり予定される行動を行う必要はなく、むしろ、原則の精神に沿って行動することが重要であり、そうした姿勢は様々な方法で示すことができます。包括的金融(IFD)の自己運用投資家向け報告フレームワークのモジュールでは、この指標に回答する際に役立つ指標を記載しています。		
評価			
IFI 02	最大スコア: ★ 3つ この指標は、[02.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	全ての項目で「していない」と回答	○	
	一つまたは二つの項目で「している」と回答	★	
	三つまたは四つの項目で「している」と回答	★★	
	五つ以上の項目で「している」と回答	★★★	

セクション
契約上の合意事項およびマンドートの設計

IFI 03	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 一般
--------	----------------	------------	----------

IFI 03	指標		
IFI 03.1	運用会社と契約を締結したり、マンドートを設計するプロセスにおいて、PIIFにおいて言及されている以下の問題を含めることを考慮しているかどうかを明示してください。		
	低所得者層が利用できる金融サービスを開発のうえ対象範囲を拡大するリテールプロバイダーを積極的に支援する(原則1)	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない
		どのように考慮しているかを説明してください。	
	投資ポリシーや実務に顧客保護を組み入れる(原則2)	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない
		どのように考慮しているかを説明してください。	
	需要を満たす適切な融資、明確かつバランスの取れた契約、紛争を解決する公正なプロセスにより投資先を公平に扱う(原則3)	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない
		どのように考慮しているかを説明してください。	
	投資ポリシーおよび投資報告にESG問題を組み込む(原則4)	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない
	どのように考慮しているかを説明してください。		
あらゆる側面において透明性を積極的に推進する(原則5)	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない	
	どのように考慮しているかを説明してください。		
顧客、リテールプロバイダーおよび投資家の利益を認識する社会的・財務リスク調整後のバランスの取れたかつ長期的なリターンの実現に努める(原則6)	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない	
	どのように考慮しているかを説明してください。		
包括的金融のさらなる発展を支援する投資家のための統一基準の設定に協力する(原則7)	<input type="radio"/> 考慮している	<input type="radio"/> 考慮していない	
	どのように考慮しているかを説明してください。		
IFI 03.2	補足情報 [任意]		

IFI 03	説明
IFI 03	<p>契約やマンドートは、PIIFや組織がPIIFに署名するよりも前に存在していることがあります。そのような場合、この指標は上記の問題を将来の契約やマンドートに組み入れるプロセスや手続きがあるかどうかを意味します。</p> <p>委託投資家である署名者がPIIFの原則を考慮する一つの方法は、運用会社がPIIFの署名者であることを確認することです。運用会社を選定する際には個々の原則へのコミットメントを示す多くの方法があります。以下は、原則に従って運用会社が取ることができる対策の例で、その他にも数多くあります。</p> <p>自己運用投資家が7つの原則に関連して組み入れることができるポリシーや手続きの例については、報告フレームワークの包括的金融直接(IFD)モジュールを参照してください。また、適宜、これらの要素の第三者の検証に言及することもできます。これには、紹介、外部監査、格付けなどの形態があります。</p> <p>PIIFの原則1: 金融サービスを低所得層に拡大する。考えられる対策の例: リテールプロバイダーに対し、低所得層の顧客のニーズに合わせた革新的な商品を開発し、サービスをさらなる遠隔地、より影響を受けやすい層に拡大することを奨励する。</p> <p>PIIFの原則2: 投資ポリシーや実務における顧客保護。考えられる対策の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投資ポリシー、デューデリジェンスプロセスおよび融資または株主間契約に顧客保護ポリシーを適宜組み入れる。 ● 強制的な報告および定期的なモニタリングや評価を通じて、顧客保護の原則の実施の進捗度を確認する。 ● 顧客保護原則の推進における進展を投資家や他のステークホルダーに報告する。 <p>PIIFの原則3: 投資先を公平に扱う。考えられる対策の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適切な通貨で、十分な期間の融資を提供する。 ● デフォルト、やむを得ないエグジットまたは事業再編の状況では、最終顧客の利益を重視する。 <p>PIIFの原則4: 投資ポリシーや報告へのESG問題の組み入れ。考えられる対策の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Universal Standards for Social Performance Managementなどの社会的パフォーマンススタスクフォースの基準やツールを使用して社会的パフォーマンスを測定し、報告する。 ● 環境およびコーポレートガバナンスの問題に係る適切な参考資料の策定をサポートする。 ● 汚職防止の実践の導入を推進する。 <p>PIIFの原則5: 積極的な透明性推進。考えられる対策の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投資先が提供する金融商品やサービスの価格設定や契約条件を十分に開示し、顧客が価格や契約条件を理解していることを確認する。 ● 財務上および社会的な投資目的を投資家にすべて開示する。 ● マイクロファイナンス業界における公正かつ透明性の高い価格設定の実現に向けたグローバル・イニシアティブであるMFTransparencyに署名する。 <p>PIIFの原則6: 社会的・財務リスク調整後のバランスの取れた長期的なリターンの実現。考えられる対策の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 可能な限り議決権を行使する。 ● 株式に投資する際には、投資先に対しエンゲージメントを行い、社会に及ぼす影響と株主が

契約上の合意事項およびマンドートの設計

	<p>求める財務リターンの中で、長期的な視野から、妥当かつ公正な一致点を見出す。</p> <p>PIIFの原則7: 包括的金融のさらなる発展の支援。考えられる対策の例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークに参加し、ツール、情報、リソースを共有する。 • 適切で協働的なイニシアティブを策定のうえ支援する。 		
評価			
IFI 03	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[03.1]への回答に基づいて評価されます。</p>		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	全ての項目で「考慮していない」	○	
	一つか二つの項目で「考慮している」	★	
	三つか四つの項目で「考慮している」	★★	
	五つ以上の項目で「考慮している」	★★★	

セクション

運用会社のモニタリングおよび報告

IFI 04	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 一般
--------	----------------	------------	----------

IFI 04	指標		
IFI 04.1	<p>現行運用会社によるPIIF原則の実施状況をモニタリングしているかどうかを明示してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>○している</td> <td>○していない</td> </tr> </table>	○している	○していない
○している	○していない		
IFI 04.2	<p>組織が通常義務付けている報告頻度を明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年1回以上 ○ 2年毎以下 ○ 不定期(具体的に記入してください) _____ 		
IFI 04.3	<p>補足情報 [任意]</p>		

IFI 04	説明												
IFI 04.3	該当する場合、運用会社における実施状況のモニタリングにおいて優先している分野の例を挙げてください。												
ロジック													
IFI 04	[04.1]で「している」と回答すると、[04.2]が適用されます。												
評価													
IFI 04	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[04.1および04.2]への回答に基づいて評価されます。</p>												
指標採点方法													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしてはいない</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年に一回以下の頻度でまたはその時々状況に応じて、運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしている</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年一回以上の頻度で、運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしている</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしてはいない	○		2年に一回以下の頻度でまたはその時々状況に応じて、運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしている	★★		年一回以上の頻度で、運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしている	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細											
運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしてはいない	○												
2年に一回以下の頻度でまたはその時々状況に応じて、運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしている	★★												
年一回以上の頻度で、運用会社による PIIF 原則の実施状況をモニタリングしている	★★★												

開示

セクション
開示

IFI 05	指標のステータス 自主開示	目的 追加 評価	原則 一般
--------	------------------	-------------	----------

IFI 05	指標
IFI 05.1	確立された業界基準に従って情報を提供するよう、運用会社に要請しているかどうかを明示してください。
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○ 要請している</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p><input type="checkbox"/> MIV情報開示ガイドライン</p> <p><input type="checkbox"/> インパクト報告および投資基準 (Impact Reporting & Investment Standards, IRIS)</p> <p><input type="checkbox"/> 包括的金融投資原則 (Principles for Investors in Inclusive Finance, PIIF)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください)</p> <p>_____</p> </div> </div>
	○ 要請していない
IFI 05.2	優先される指標およびこれが適用される資産の割合を記載してください。
IFI 05.3	補足情報 [任意]

IFI 05	説明
IFI 05.1	MIV情報開示ガイドラインでは、マイクロファイナンス投資機関/媒体(定義およびガイダンスについては付属資料2を参照してください)が開示できる標準的な指標を提供しています。情報開示には、法的情報、投資戦略、業績およびESGポリシーを評価するためのいくつかの指標など、MIVのプロファイルが含まれています。MIV情報開示ガイドラインの完全な詳細については、 www.cgap.org/gm/document-1.9.47636/CG_MIV_Rev.pdf をご覧ください。
	Impact Reporting & Investment Standards(IRIS)は、各組織における社会(S)および環境(E)に係るパフォーマンスを説明する共通の基準です。IRISは組織がその影響を報告する際に使用する独立した信頼できる指標を提供しています。IRISの指標は様々なパフォーマンス目標を扱い、金融サービスなどの各種セクターに特化した指標があります。 http://iris.thegiin.org/

開示

ロジック			
IFI 05	指標内: [05.1]で「要請している」と回答すると、[05.2]が適用されます。		
評価			
IFI 05	最大スコア: ★ 3つ この指標は[05.1]への回答に基づいて評価されます。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	「要請していない」	○	
	「要請している」	★★★	

開示

IFI 06	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 一般
--------	----------------	------------	----------

IFI 06	指標
IFI 06.1	<p>包括的金融の責任投資に対する組織のアプローチについての情報を積極的に開示しているかどうかを明示してください。</p> <p><input type="radio"/> 一般に開示している。URL: _____</p> <p><input type="radio"/> 顧客や受益者のみに開示している</p> <p><input type="radio"/> 開示していない</p>
IFI 06.2	<p>補足情報</p> <p>[任意]</p>

IFI 06	説明												
IFI 06	<p>この指標の目的は、署名者が包括的金融に関する情報をどのくらい広範に入手できるようにしているかを明示できるようにすることです。年金ファンドの受益者などの特定グループに提供される情報は事実上公知となっていると言えるでしょう。しかし、ここではより広く一般に対する丁寧な報告を別のカテゴリーのコミュニケーションとして扱っています。</p> <p>「積極的に」とは、PRIのウェブサイト上でPRIの報告フレームワークに回答を公表する以外のことを指します。これには、組織自身のウェブサイト上の情報（PRIの報告フレームワークへの回答など）が含まれることもあります。また、最も適切であると判断されるフォームを使用して顧客に積極的に提供される情報であることもあります。</p>												
評価													
IFI 06	<p>最大スコア: ★ 3つ</p> <p>この指標は、[06.1]への回答に基づいて評価されます。</p>												
指標採点方法													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択された回答</th> <th>スコア・レベル</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「開示していない」</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「はい、顧客のみに開示している」</td> <td>★★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「はい、一般に開示している」</td> <td>★★★</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	選択された回答	スコア・レベル	詳細	「開示していない」	○		「はい、顧客のみに開示している」	★★		「はい、一般に開示している」	★★★	
選択された回答	スコア・レベル	詳細											
「開示していない」	○												
「はい、顧客のみに開示している」	★★												
「はい、一般に開示している」	★★★												

2018年PRI報告フレームワーク 終了モジュール

2017年11月

reporting@unpri.org

+44 (0) 20 7749 5106

日本語訳は株式会社[QUICK](#)にご協力いただきました。

PRI Association

Registered office: Bath Place Business Centre, 2 Bath Place,
Rivington Street EC2A 3DR London, UK. Company no. 7207947
T: +44 (0) 20 7749 1940 W: www.unpri.org E: info@unpri.org

本書を理解するために

PRI 報告フレームワークの各モジュールでは、指標の詳しい説明や選択可能なオプションに加えて、どの指標が組織に関連するかを特定するうえで役立つ情報を掲載しています。

トッパー






トッパーには、指標のステータス(必須または自主開示)、指標の目的、関連する PRI の原則など、各指標に関する重要な情報が表示されています。

xxx 01	指標のステータス 必須	目的 コア評価	原則 PRI 2
--------	-----------------------	-------------------	--------------------

指標のステータス

必須	必須指標は中核的な実務を反映しています。これらの回答は公開されますので、回答を記入してフレームワークに送信することが義務付けられています。
報告義務 自主開示	一部の指標は記入が義務付けられていますが、開示は任意です。これらの指標は、それ以降のどの指標が該当するか、または比較に使用されるかを決定しますが、企業の機密情報を含む場合もあります。
自主開示	自主開示指標は代替または高度な実務を反映しています。これらの指標は報告も開示も任意です。

目的

ゲートウェイ		この指標への回答は、組織が他の指標に該当する場合、モジュール内の他の指標を「解除」します。詳細はロジックボックスを参照してください。
グループ化		これらの指標は、評価目的のため同じ特性を持つグループを形成するために使用されます。
コア評価		これらの指標は評価の中核部分を形成するものであり、最終的な評価スコアの大部分を占めます。
追加評価		これらの指標はより高度な、または代替となる実務を表しており、スコアに占める割合は小さくなります。
説明		これらは、自由回答形式の指標であり、組織の活動等を説明することができます。

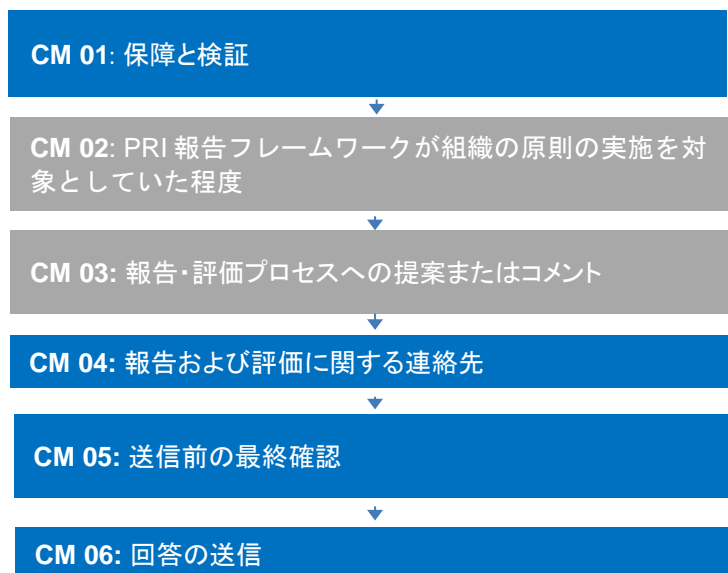
指標の下部

指標の下には、指標を解釈し、回答するための重要な情報を含む説明や定義があります。ロジックボックスを熟読のうえ、指標が組織に該当することを確認してください。

xxx 01	説明
xxx 01.1	報告が可能な項目の事例など、サブ指標を正確に解釈するうえで指針となるものです。
xxx 01.2	
ロジック	
xxx 01	この指標が該当する場合やその指標がそれ以降の指標に影響を及ぼすかどうかについて説明しています。ロジックボックスがない場合は指標は必ず適用されますが、他の指標に影響を及ぼすことはありません。
評価	
xxx 01	この指標のパイロット評価方法の概要を記載しています。
定義	
xxx 01	指標で使用される個々の用語の定義を説明しています。

目次	
本書を理解するために	2
モジュールの経路	4
序文	5
改正の概要	5
フィードバック	6
フィードバック	18
連絡者情報	19
最終確認および送信	20

モジュールの経路



序文

本モジュールでは、回答者の皆さんが PRI 報告フレームワークに関するフィードバックを行うとともに、送信前に回答内容の精査・見直しを行う機会を提供しています。

改正の概要

指標	改正
CM 01	新しい指標です。本モジュールの残りの部分については改訂されていないため、この指標の後に記載されます。

セクション

フィードバック

CM 01	指標のステータス 必須	目的 追加評価	原則 一般
CM 01	指標		
CM 01.1	本年度の PRI Transparency Report を対象に提供いただく報告情報が以下項目にある各プロセスを経たものであるかどうかを明示してください:		
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 本年度の PRI Transparency Report 中の主要な回答について第三者の保証 <input type="checkbox"/> その後に、本年度の PRI への回答に使用された他のソースからのデータポイントに関する第三者の保証 <input type="checkbox"/> (本年度 PRI に報告された) RI プロセスの実施に関する第三者による保証または監査 <input type="checkbox"/> (本年度 PRI に報告された) RI プロセスまたは RI データの実施について内部監査人により実施された内部監査 <input type="checkbox"/> PRI への提出前の回答に対する内部検証(例: CEO または取締役会によるもの) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> PRI 透明性レポート全体について内部で検証されている <input type="radio"/> 主要なデータが内部で検証されている <input type="checkbox"/> その他、具体的説明してください _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも該当しない 		
CM 01.2	<p>本年度の PRI Transparency Report に関する第三者による保証を約束しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> PRI Transparency Report 全体を対象に保証される予定である <input type="radio"/> 選択されたデータを対象に保証される予定である <input type="radio"/> 本年度の PRI Transparency Report が保証される予定はない 		

保証および検証

<p>CM 01.3</p>	<p>昨年度の PRI Transparency Report に関しては、第三者による独立した保証を取り付けている</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度については、PRI Transparency Report 全体を対象に保証されている ○ 昨年度の PRI Transparency Report においては、主要なデータについて保証をされている ○ 昨年度の PRI Transparency Report を保証していない
<p>CM 01.4</p>	<p>PRI Transparency Report に含まれているデータに限定せず、信頼性を築くための手段を定めている。:</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> RI 認証または表示スキームに対して忠実 <input type="checkbox"/> 本年度の PRI Transparency Report に公的報告書(例えば、サステナビリティ・レポート)からの抜粋を含む場合には、当該公的報告書の全体を対象に独立した/第三者の保証を取り付けている <input type="checkbox"/> 保有投資資産に関する ESG 監査 <input type="checkbox"/> その他、具体的に説明してください _____ <input type="checkbox"/> 上記のいずれも該当しない

保証および検証

CM 01.5	本年度の PRI Transparency Report から選択された回答に対する、または、本年度の PRI への回答にその後使用された他のソースからのデータポイントに対する、第三者保証について、詳細を提供してください。							
	保証の対象となるデータ	関連モジュール	対応する指標の番号	保証を行った者	使用した保証基準	目指した保証レベル	監査報告書へのリンク先	元データ・ソースのリンク先(公表データの場合)
	<input type="checkbox"/> 財務・組織データ <input type="checkbox"/> RI 活動関連データ <input type="checkbox"/> RI ポリシー <input type="checkbox"/> RI プロセス (エンゲージメントプロセス等) <input type="checkbox"/> ポートフォリオの ESG 運用データ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____	[モジュールのチェックボックス] <input type="checkbox"/> 組織概要 <input type="checkbox"/> モジュール 2 <input type="checkbox"/> モジュール 3 等			<input type="checkbox"/> ISAE/ ASEA 3000 <input type="checkbox"/> ISAE 3402 <input type="checkbox"/> ISO 規格、具体的に記入____ <input type="checkbox"/> AAF01/06 <input type="checkbox"/> AA1000AS <input type="checkbox"/> IFC パフォーマンス基準 <input type="checkbox"/> ASAE 3410 温室効果ガス報告に対する保証業務 <input type="checkbox"/> 国家規格、具体的に記入____ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____	<input type="radio"/> 限定的またはそれに準じるもの <input type="radio"/> 合理的またはそれに準じるもの		

保証および検証

CM 01.6	RI関連プロセスの第三者による保証もしくは監査の詳細、または(本年度PRIに報告された)RI関連プロセスに関する、内部監査人により実施された内部監査の詳細を提供してください。					
	保証の対象となった RI プロセス	対応する指標の番号	保証を行った者	プロセス保証完了日 (dd/mm/yy)	使用した保証基準	目指した保証レベル
	<input type="checkbox"/> RI 活動関連データ <input type="checkbox"/> RI ポリシー、具体的に記入 [文字列] <input type="checkbox"/> RI 関連ガバナンス <input type="checkbox"/> エンゲージメントプロセス <input type="checkbox"/> 代理投票プロセス <input type="checkbox"/> 記載された資産における統合プロセス <input type="checkbox"/> 記載された資産におけるスクリーニングプロセス <input type="checkbox"/> 記載された資産におけるテーマプロセス <input type="checkbox"/> 非記載された資産における投資選定プロセス <input type="checkbox"/> 外部運用資産のための運用会社選定プロセス <input type="checkbox"/> 外部運用資産のための運用会社任命プロセス <input type="checkbox"/> 外部運用資産のための運用会社モニタリングプロセス <input type="checkbox"/> 第三者不動産管理会社 SAM プロセス <input type="checkbox"/> 第三者インフラ管理会社 SAM プロセス <input type="checkbox"/> プライベートエクイティ投資の選定プロセスにおける ESG 組み入れ <input type="checkbox"/> インフラまたは不動産資産に関する投資後 ESG 活動 <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____				<input type="checkbox"/> IIA の内部監査の専門職の実施の国際基準 <input type="checkbox"/> ISAE 3402 <input type="checkbox"/> ISO、具体的に記入____ <input type="checkbox"/> AAF 01/06 <input type="checkbox"/> SSE18 <input type="checkbox"/> AT 101 (財務データを除く) <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____	<input type="radio"/> 限定的またはそれに準じるもの <input type="radio"/> 合理的またはそれに準じるもの

保証および検証

CM 01.7	PRI Transparency Report 全体(またはその中から選択されたデータ)を内部で見直した、または検証した者を示し、選択されたデータにこれが適用される場合には、どのデータを見直したか具体的に記入してください。		
	検証実施者	検証対象データ	関連モジュール 対応する指標の番号
	<input type="checkbox"/> CEOまたはその他チーフ・レベルのスタッフ <input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 全回答の見直し		
	<input type="checkbox"/> 取締役会 <input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 全回答の見直し	各行には次の選択肢がある <input type="checkbox"/> ポリシー	各行は完了したモジュールのチェックボックスを表示する <input type="checkbox"/> 組織概要
	<input type="checkbox"/> 投資委員会 <input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 全回答の見直し	<input type="checkbox"/> 包括的な戦略およびプロセス <input type="checkbox"/> 資産の種類別プロセス	<input type="checkbox"/> モジュール 2 <input type="checkbox"/> モジュール 3
	<input type="checkbox"/> コンプライアンス部門	<input type="checkbox"/> RIプロセスに関連する定量的データ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入 [文字列]	等
	<input type="checkbox"/> RI/ESGチーム		
	<input type="checkbox"/> 投資チーム		
	<input type="checkbox"/> 法務部門		
	<input type="checkbox"/> その他 (具体的に記載して下さい)_____		

保証および検証

CM 01.8	選択されたデータが保証される予定である						
	保証作業の終了予定日	保証対象となるデータ	関連モジュール	対応する指標の番号	保証を行う者	使用される保証基準	目指す保証レベル
[日付]	<input type="checkbox"/> 財務・組織データ <input type="checkbox"/> RI 活動関連データ <input type="checkbox"/> RI ポリシー <input type="checkbox"/> RI プロセス(エンゲージメントプロセス等) <input type="checkbox"/> ポートフォリオの ESG 運用データ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____	モジュールのチェックボックス] <input type="checkbox"/> 組織概要 <input type="checkbox"/> モジュール 2 <input type="checkbox"/> モジュール 3 等				ISAE/ ASEA 3000 <input type="checkbox"/> ISAE 3402 <input type="checkbox"/> ISO 規格、具体的に記入____ <input type="checkbox"/> AAF01/06 <input type="checkbox"/> AA1000AS <input type="checkbox"/> IFC パフォーマンス基準 <input type="checkbox"/> ASAE 3410 温室効果ガス報告に対する保証業務 <input type="checkbox"/> 国家規格 具体的に記入____ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____	<input type="checkbox"/> 限定的またはそれに準じるもの <input type="checkbox"/> 合理的またはそれに準じるもの

保証および検証

CM 01.9	昨年度のPR Transparency Report IIにおいては、選択されたデータについて保証されている						
	保証の対象となったデータ	関連モジュール	対応する指標の番号	保証を行った者	使用された保証基準	目指した保証レベル	監査報告書へのリンク先
	<input type="checkbox"/> 財務・組織データ <input type="checkbox"/> RI 活動関連データ <input type="checkbox"/> RI ポリシー <input type="checkbox"/> RI プロセス(エンゲージメントプロセス等) <input type="checkbox"/> ポートフォリオのESG 運用データ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____	モジュールのチェックボックス] <input type="checkbox"/> 組織概要 <input type="checkbox"/> モジュール 2 <input type="checkbox"/> モジュール 3 等			<input type="checkbox"/> ISAE/ ASEA 3000 <input type="checkbox"/> ISAE 3402 <input type="checkbox"/> ISO 規格、具体的に記入____ <input type="checkbox"/> AAF01/06 <input type="checkbox"/> AA1000AS <input type="checkbox"/> IFC パフォーマンス基準 <input type="checkbox"/> ASAE 3410 温室効果ガス報告に対する保証業務 <input type="checkbox"/> 国家規格 具体的に記入____ <input type="checkbox"/> その他、具体的に記入____	<input type="radio"/> 限定的またはそれに準じるもの <input type="radio"/> 合理的またはそれに準じるもの	[URL]
CM 01.10	RI認証または表示スキームに忠実である						
	どのスキームですか?			スキームが適用される資産の総AUMに占める割合			
	<input type="checkbox"/> EUROSIF透明性ガイドラインに基づく国家SRIラベル			<input type="radio"/> < 25% <input type="radio"/> 25-50 % <input type="radio"/> 50-70 % <input type="radio"/> >75 % [割合]			

保証および検証

	<input type="checkbox"/> Bコーポレーション	[同上]
	<input type="checkbox"/> 英国スチュワードシップコード	[同上]
	<input type="checkbox"/> GRESB	[同上]
	<input type="checkbox"/> 商品種別ラベル(BCI等)、具体的に記入_____	[同上]
	<input type="checkbox"/> 社会貢献ラベル、具体的に記入_____	[同上]
	<input type="checkbox"/> 気候ラベル、具体的に記入_____	[同上]
	<input type="checkbox"/> RIAA	[同上]
	<input type="checkbox"/> その他、具体的に記入_____	[同上]
CM 01.11	公的報告書(第三者による保証を実施するサステナビリティ・レポートで、本年度の PRI Transparency Report においてその抜粋を使用したもの等)へのリンクを提供してください。また、監査人の報告書へのリンクも含めてください。	
	サステナビリティ/RII統合レポートへのリンク先	監査報告書へのリンク先
	[url]	[url]
CM 01.12	どのデータが保証対象となったのかも含め、保有資産に関する、外部の / 第三者による ESG 監査のプロセスを説明してください。	
	プロセスの説明 (どのデータが保証対象となったかについても記載ください)	
CM 01.13	補足情報 [任意]	

CM 01	説明
CM 01.1	<p>各関係者が報告情報を精査、検証や保証を行った場合には、該当する回答オプションを選択してください。これは、PRIに報告される情報であり、それゆえ、本報告年度の PR Transparency Report I に使われた情報に固有のものであります。</p> <p>その他のソース (例えば、CSR レポートまたは統合レポート) から保証済みのデータを取得し、それらのデータポイントを PRI への本年度の回答に組み入れている場合には、「その後、本年度の PRI への回答に使用された他のソースからのデータポイントに関する第三者の保証」を選択してください。</p> <p>PRI 署名者が報告する保証オプションの種類およびこれらのオプションが PRI Transparency Report 内の報告データとどのような関連があるのかに関する詳細な情報については、PRI signatories and assurance に掲載されている最新の PRI 公表文献を参照願います。</p>
CM 01.2	<p>貴社が本年度の PRI 透明性レポートに固有な、第三者による独立した保証を取得する予定である場合には、該当する回答オプションを選択してください。</p>
CM 01.3	<p>貴社が前年度の PRI Transparency Report に固有な、第三者による独立した保証を取得した場合には、該当する回答オプションを選択してください。</p>
CM 01.4	<p>貴社が本年度に PRI に報告するデータには固有ではないが、貴社の RI 活動に対するステークホルダーの信頼を醸成するうえで有益となる、信頼性を築くための手段を定めている場合には、該当する回答オプションを選択してください。</p> <p>例えば、貴社がファンド認証または表示スキームに忠実な場合、これは、(PRI に報告されていない限りは) PRI に提供する回答の保証および検証とは関係のないものとなります。但し、より一般的には、それは組織の RI 活動に対するステークホルダーの信頼醸成に役立ちます。</p> <p>同様に、組織が CSR または統合レポートといった保証済みの公的報告書の全体を入手しており、当該報告書の抜粋を PRI 透明性レポートに含めている場合には、これは、組織の RI 活動に於いて信頼醸成を目指すものといえますが、公的報告書のどの側面が保証されているのかが不明であるため、PRI Transparency Report に記載されているデータとは、特定の関連性がないことになります。</p>
CM_01.5	<p>PRI 報告書に対する回答と Transparency Report で以降使用されているその他のデータソースの両方に対して外部保証を行った場合、PRI Transparency Report に関連する保証の詳細を提供してください。</p> <p>情報種別に関する説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務および業務データ: 例えば運用資産、資産配分およびスタッフ数が含まれます。 ● ポートフォリオの ESG 運用データ: このデータにはインフラ、不動産、農地、森林、農業および包括的金融など、物的資産に関わりが大きい炭素排出量、環境への影響、水の消費や廃棄の発生などが考えられます。 ● RI 活動関連 RI データ: これらは、投票数、エンゲージメント対象企業の割合、炭素目標をもつ不動産資産の割合、ESG スクリーニングが適用されるアクティブ運用における記載された資産の割合など、RI 活動を裏付ける数値データまたはパーセンテージ型データのことです。 ● RI プロセス: エンゲージメント、スクリーニング、投資選定および運用会社選定プロセスなど。このプロセスの保証は、より幅広い戦略内のプロセスの存在に限定されます。組織が、記載されているこれらのプロセスの的確な実施を行った場合、RI プロセスの保証に触れている CM_01.6 でそれらの詳細を提供してください。 <p>基準: データを保証する目的で使用した基準を選択してください。</p>
CM 01.6	
CM 01.16	<p>これには、次のような項目に関する説明を含めることができます:特定の保証/検証基準を選択した理由; 貴社の保証/検証活動に関するステークホルダーからのフィードバック; 貴社にとってのこれらの活動を実施するメリット; 保証/検証活動にもとづく重要な確認事項および勧告、ならびに、組織としてこれらの勧告をどのように実施しているかまたは実施に移す予定であるか。</p>

ロジック																															
CM 01	<p>[01.1]において「本年度のPRI Transparency Reportの中の主要な回答について第三者の保証」あるいは「その後、本年度のPRIへの回答に使用された他のソースからのデータポイントに関する第三者の保証」と回答すると、[01.5]が適用されます。</p> <p>[01.1]において「本年度のPRI Transparency Reportの中の主要な回答について第三者の保証」と回答すると、[01.2]が適用されます。</p> <p>[01.1]において「(本年度PRIに報告された)RIプロセスの実施に関する第三者による保証または監査」あるいは「(本年度PRIに報告された)RIプロセスまたはRIデータの実施について内部監査人により実施された内部監査」と回答すると、[01.6]が適用されます。</p> <p>[01.1]において「PRI透明性レポート全体について内部で検証されている」あるいは「主要なデータが内部で検証されている」と回答すると、[01.7]が適用されます。</p> <p>[01.2]において「PRI Transparency Report全体を対象に保証される予定である」あるいは「主要なデータについて保証される予定である」と回答すると、[01.8]が適用されます。</p> <p>[01.3]において「昨年度については、PRI Transparency Report全体を対象に保証されている」あるいは「昨年度のPRI Transparency Reportにおいては、主要なデータについて保証をされている」と回答すると、[01.9]が適用されます。</p> <p>[01.4]において「RI認証または表示スキームを忠実」と回答すると、[01.10]が適用されます。</p> <p>[01.4]において「本年度のPRI Transparency Reportに公的報告書(例えば、サステナビリティレポート)からの抜粋を含む場合には、当該公的報告書の全体を対象に独立した/第三者の保証を取り付けている」と回答すると、[01.11]が適用されます。</p> <p>[01.4]において「保有資産に関する外部/第三者ESG監査」と回答すると、[01.12]が適用されます。</p>																														
事例																															
<p>スタッフ研修に関する一部のデータは、CSRレポートの一部として保証されています。CSRレポートからのデータポイントはPRI Reporting Frameworkフレームワークへの回答に含まれています。</p> <p>内部プロセスの保証は、エンゲージメント活動の特定および優先順位付けのために設定されている各種プロセスを対象に2016年1月に実施されています。</p> <p>CM 01.1 の選択項目</p> <p><input type="checkbox"/> 後に、本年度においてPRIへの回答に使用されている他のソースからのデータポイントに関する第三者による独立した保証の取得</p> <p><input type="checkbox"/> 内部監査人が実施する内部プロセスの保証(本年度にPRIに報告されるRIプロセスの保証に固有なもの)</p> <p>関連サブ指標 CM 01.5:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保証の対象となるデータ</th> <th>関連モジュール</th> <th>対応する指標の番号</th> <th>保証を行った者</th> <th>使用した保証基準</th> <th>目指した保証レベル</th> <th>元データソースのリンク先(公表データの場合)</th> <th>監査報告書へのリンク先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RIに関するスタッフ研修</td> <td>戦略とガバナンス</td> <td>SG 07</td> <td>KMPG</td> <td>AA1000</td> <td>限定的</td> <td>www.x.com</td> <td>www.y.com</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連サブ指標 CM 01.6:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保証の対象となったRIプロセス</th> <th>対応する指標の番号</th> <th>プロセス保証実施時期(年/月)</th> <th>使用した保証基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>								保証の対象となるデータ	関連モジュール	対応する指標の番号	保証を行った者	使用した保証基準	目指した保証レベル	元データソースのリンク先(公表データの場合)	監査報告書へのリンク先	RIに関するスタッフ研修	戦略とガバナンス	SG 07	KMPG	AA1000	限定的	www.x.com	www.y.com	保証の対象となったRIプロセス	対応する指標の番号	プロセス保証実施時期(年/月)	使用した保証基準				
保証の対象となるデータ	関連モジュール	対応する指標の番号	保証を行った者	使用した保証基準	目指した保証レベル	元データソースのリンク先(公表データの場合)	監査報告書へのリンク先																								
RIに関するスタッフ研修	戦略とガバナンス	SG 07	KMPG	AA1000	限定的	www.x.com	www.y.com																								
保証の対象となったRIプロセス	対応する指標の番号	プロセス保証実施時期(年/月)	使用した保証基準																												

保証および検証

エンゲージメントプロセス	LEA 03	2017年1月	内部監査業務の専門的実務に係る IIA の国際的基準
--------------	--------	---------	----------------------------

CM 01	評価		
CM 01	指標CM 01への回答は、戦略およびガバナンス・モジュールのスコアの一部として評価されます。 終了モジュールに関するスコアはありません。		
	指標採点方法		
	選択された回答	スコア・レベル	詳細
	CM 01.1 において「いずれも該当しない」または「その他」を選択	○	
	CM 01.1 から一つのオプションを選択	★★	
CM 01.1 から二つのオプションを選択	★★★		

CM 01	定義
第三者の保証	独立した第三者が実施する保証活動を意味し、一定の保証基準に沿って実施され、報告されたデータの信頼性に関する公的な結論を生み出す。
内部検証/精査	経営幹部、取締役会、組織内の特定の部署またはワーキング・グループが一部の/全てのPRI向け回答を提出前に見直し・精査することを意味します。
RI プロセスの的確な実施に関する第三者による監査または保証	一般的に、次の二つの形態を取ります： <ul style="list-style-type: none"> 独立した第三者が実施する監査であり、十分な管理統制が整備されており、責任投資ポリシーが適切に遵守されるよう万全の対応が図られているという確信をマネジメントに与えることを目的に設定されている一定の保証基準に従って行われる監査（データ品質についてのコメントは出されず、また、通常は声明書が出されることもない）。 独立した第三者が実施する監査であり、資産運用などの外部委託業務の信頼性について顧客に確信を与えることを目的とする監査（データ品質についてのコメントは出されず、また、通常は、声明書が出されることもない）。
RI プロセスの的確な実施または RI データの正確性に関する内部監査	しかるべき保証基準（例えば、グローバル・インスティテュート・オブ・インターナル・オーディターズが策定している内部監査専門家向けの国際基準）に従って内部監査人が実施する保証。 貴社のリスク管理、ガバナンスおよび内部統制プロセスが効果的に機能していることについて独立した（監査人が対象プロセスから除外されている状態で）保証を与えることを目的とするものです。この種の保証は、基本的には、組織によるリスク管理の評価に関わるものです。例えば、内部監査人は、リスク管理プロセス、内部統制システムおよびコーポレート・ガバナンス・プロセスの品質を評価のうえその結果をマネジメント/取締役会に報告します。詳細については、 www.iaa.org.uk を参照願います。
RI 認証または表示スキーム	組織またはファンド・レベルの表示または認証であり、例としては、ルクセンブルク・ファンド・ラベリング・エージェンシー (LuxFLAG) またはサステナビリティ・イニシアチブが提供するスキームなどがあります。

<p>公的報告書に関する独立した/第三者による保証</p>	<p>第三者による保証活動の裏付けであり、PRI Transparency Reportを除くRIレポートとは別形式の、信頼性に関して公的な結論を示すものであり、代表例としては、CSR、RI、サステナビリティまたは統合レポートなどがあります。</p>
<p>保有投資資産に関する外部の/第三者によるESG監査</p>	<p>投資家は保有する株式等を発行する企業のESG特性について理解を深めることとともに、その保証を求めています。一般的に、保証とは、データを収集、見積り、提示するという投資家自身のプロセスに対する保証です。</p>
<p>目指した保証レベル</p>	<p>多くの場合、エンゲージメント活動の保証には二つの異なる種類があります。例えば、ISAE3000は、「限定的な保証」および「合理的な保証」のために利用されており、一方、AA1000は、「高度な」および「中程度の」水準の保証のために使われています。</p> <p>合理的な保証は、限定的な保証エンゲージメントよりも高いレベルの信用を提供し、RIプロセスの場合、ある程度、データ収集プロセス、または情報そのものを見直します。IFAC定義のように、合理的な保証では、「当方の見解では、ZYZ基準に基づき、あらゆる重要な点において、内部統制が有効である」など、実施者が肯定的な形で結論を伝えます。</p> <p>限定的な保証では、「ZYZ基準に基づき、あらゆる重要な点において、内部統制が有効でないと当方が信じるに足るものは何一つ見当たらなかった」など、実施者が否定的な形で結論を伝えます。</p>
<p>PRIとして適切であるとは見なさない事柄</p>	
<p>データ作成における第三者の支援</p>	<p>コンサルタントが報告の編集を手助けすること(監査基準では、一般的に、報告書の作成者が当該報告書の監査を行わないよう求めています。何故なら、そのような監査はもはや独立したものではなくなるためです。)</p>
<p>第三者からのデータ受領</p>	<p>一部またはすべてのデータを第三者から受領すること(例えば、議決権行使助言会社)。</p>

セクション

フィードバック

CM 02	指標のステータス 任意報告 非開示	目的 説明	原則 一般
-------	-------------------------	----------	----------

CM 02	指標				
CM 02.1	PRI 報告フレームワークが組織における原則の実施状況についてどの程度まで捕捉しているかを明示してください。				
		かなりの程度まで	ある程度まで	わずかな程度にとどまっている	まったく捕捉できていない
	最も当てはまるものを選択してください	○	○	○	○
CM 02.2	補足情報 [任意]				

CM 03	指標のステータス 任意報告 非開示	目的 説明	原則 一般
-------	-------------------------	----------	----------

CM 03	指標				
CM 03.1	報告および評価プロセスについて、ご提案またはご意見がありましたら以下にご記入ください。 [任意]				

CM 03	説明				
CM 03	皆様からの回答は PRI 報告および評価プロセスの改善に役立てさせていただきます。				

セクション

連絡先情報

CM 04	指標のステータス 報告義務 非開示	目的 説明	原則 一般
-------	-------------------------	----------	----------

CM 04	指標		
CM 04.1	主担当者および副窓口担当者の詳細を記載してください。		
	名	姓	Eメールアドレス
	主担当者		
	副担当者 [任意]		
	データポータル担当者 1		
	データポータル担当者 2		

CM 04	説明
CM 04	<p>主担当者および副担当者には、報告された情報に基づく問い合わせの場合に連絡が行き、報告・評価プロセスについてのあらゆるフォローアップ情報を受け取ります。</p> <p>データポータル担当者は、新たな機能、評価報告書の発表、条件の変更など、データポータルに重要な変更が発生した場合、通知を受けます。</p>

CM 04	定義
データポータル	データポータルでは、署名者による自身の報告書の閲覧、他の署名者のプライベート透明性および評価報告書閲覧のためのアクセス依頼ができるとともに、反対にアクセスの付与も可能です。また、ユーザーは公的回答をエクスポートすること、フィルターに合致する報告書を容易に検索できるよう、リストを作成することも可能です。
データポータル担当者	データポータル内のユーザー種別には2種類あります。一般データポータルユーザーとデータポータル担当者です。その他のすべての機能に加え、データポータル担当者は、自身の署名者の完全な透明性・評価報告へのアクセスを他の署名者に付与する権限を有しています。この担当者は自身の組織の最高幹部から承認を受ける必要があります。

セクション

最終確認および送信

CM 05	指標のステータス 報告義務 非開示	目的 説明	原則 一般
-------	-------------------------	----------	----------

CM 05	指標
CM 05.1	<p>PRI 報告フレームワークへのご回答ありがとうございます。</p> <p>以下のリンクをクリックすると、報告された情報が RI 透明性レポートにどのように表示されるかをご覧ください。RI 透明性レポートは一般に公開されます。</p> <p>いずれかの指標に間違えて回答していた場合は、オンライン報告ツール上の該当する指標に戻り適宜修正してください。</p> <p>[RI 透明性レポートを確認してください]</p>
CM 05.2	<p>「報告義務」指標に加え、組織が「公開」と表示したすべての情報の公表を PRI に許可するかどうかを明示してください。</p> <p>一旦報告が送信されますと、回答を修正することはできなくなり、「公開」と表示された情報は自動的に PRI ウェブサイト上に掲載されることになります。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 組織が「公開」と表示した情報の開示を PRI に許可します (2017 年 6 月)。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 報告した情報を送信しますが、PRI がこれを公開することは許可しません (準備期間の組織にのみ適用されます)。</p>

CM 05	説明
	ロジック
CM 05.2	準備期間 (PRI 署名者としての初年度) の一環として回答の取りまとめを行っている組織については、回答の公表を許可しないオプションが表示されます。
	評価
CM 05	署名者はこの評価レポートの受領を見合わせるすることができます。レポートの受領を見合わせても、回答は評価が行われ、そのスコアは集計され、評価レポートを希望するその他の署名者がグループ比較ができるよう、機密事項を保持した状態で使用されます。